

# 第21回 県民意識調査報告書

調査テーマ

「県民の健康づくりと食育」

平成27年度

兵 庫 県

# 目次

I	調査の概要	
1	調査目的	1
2	調査設計	1
3	回収結果	1
4	標本抽出および集計方法	2
5	回答者のプロフィール	3
6	標本誤差	5
II	調査の結果	
1	「健康づくり」に関することについて	6
問1	健康を維持するために大切な要素	6
問2	健康づくりのために実践している取組	10
問3	あてはまる食習慣	26
問4	飲食店、そう菜店への希望	35
問5	継続的に行っている運動の状況	38
問6	喫煙の状況	42
問7	ストレスや睡眠の状況	46
問8	ストレスなどがあつたときの相談相手	51
問9	歯の健康づくりの実践状況	54
問10	直近1年間の歯科診療所での受診状況	57
問11	かかりつけ医、歯科医の状況	60
問12	健（検）診の受診状況	65
問13	健康づくりに関する用語の認知度	68
2	「食育」に関することについて	
問14	関心のある食育活動	83
問15	実践している食育活動	86
問16	郷土料理の認知度と実践状況	89
問17	災害時の健康を保つために備えているもの	92
問18	災害への食の備えの認識	95
3	「行政等の取組への参加と期待」に関することについて	
問19	行政等が行う取組への参加状況	98
問20	行政等へ期待すること	101
4	毎年調査項目	104
問21	今の生活全般での満足度	104
問22	今の生活の個別側面での満足度	108
問23	去年と比べた生活の向上感	148
問24	大地震発生の可能性	152
問25	地域活動への参加状況	157
問26	県政への関心	161
問27	県政への評価	164
問28	県民局・県民センターの認知度	197
III	調査票	
	第21回 県民意識調査「県民の健康づくりと食育」調査票	200

## 調査結果を読む際の注意

結果数値（％）は0.1%未満を四捨五入しているため、内訳の合計が計に一致しないことがある。

グラフ中のカテゴリーの順番が、調査票と異なることがある。

グラフ・表中での選択肢表記は、語句を短縮・簡略化していることがある。

# I 調査の概要

## 1 調査目的

本調査は県民の価値観や行動志向、行政への評価・要望など、県民生活の基本的な意識の経年変化を大きな潮流として捉えることにより、政策形成、施策運営の基礎資料を得ることを目的としている。

今回は、年次テーマを「県民の健康づくりと食育」とし、健康ひょうごの実現を目指した今後の取組や、「健康づくり推進プラン（H24～28）」及び「食育推進計画（第2次）（H24～28）」の改訂に活用するため、生活習慣病予防や、歯及び口腔、こころ等についての健康づくり、また、あわせて心身の健康の増進につながる食育に係る県民意識や取組状況等について、以下の項目により調査する。

## 2 調査設計

- (1) 調査地域 兵庫県全域
- (2) 調査対象 県内に居住する満20歳以上の男女個人
- (3) 標本数 5,000人
- (4) 調査方法 郵送法（ハガキによる督促1回）
- (5) 調査時期 平成27年8月27日（木）～9月17日（木）
- (6) 県民意識調査有識者会議  
設問作成にあたり、県民意識調査有識者会議を開催して、下記の学識経験者から指導・助言を得た。

立木 茂雄 （同志社大学教授）

伊達 ちぐさ （兵庫県立大学教授）

鳥越 皓之 （大手前大学副学長）

吉田 三千代 （(株)サンケイリビング新聞社 シティ事業部長）

[五十音順]

## 3 回収結果

回収数 3,083件(回収率61.7%)

地域	標本数	回収数	回収率	無効票	有効回答
神戸	500	291	58.2%	0	291
阪神南	500	264	52.8%	0	264
阪神北	500	294	58.8%	0	294
東播磨	500	322	64.4%	0	322
北播磨	500	319	63.8%	1	318
中播磨	500	321	64.2%	1	320
西播磨	500	320	64.0%	0	320
但馬	500	314	62.8%	1	313
丹波	500	335	67.0%	1	334
淡路	500	303	60.6%	0	303
全県	5,000	3,083	61.7%	4	3,079

※無効票は属性不明等

#### 4 標本抽出および集計方法

- (1) 母集団 住民基本台帳（H27.3.31）に記載された県民数（外国人県民を含む。）を母集団とした。
- (2) 標本配分 地域ごとに500の標本数を都市規模別母集団構成比に応じて配分（合計5,000人）した。
- (3) 抽出方法 層化無作為抽出法
  - ・住民基本台帳（H27.3.31）に記載された県民数を母集団数とし、10の地域毎に500の標本数を市町別・男女別・年齢10歳階級別の母集団構成比に応じて配分した。
  - ・各地点における対象者の抽出は、住民基本台帳から等間隔抽出法で抽出した。
- (4) 集計方法 地域ごとの回収数について、全県内の母集団構成比を復元するよう重み付け集計をした。

#### 地域区分



県民局・ 県民センター	該当市町
神戸	神戸市
阪神南	尼崎市、西宮市、芦屋市
阪神北	伊丹市、宝塚市、川西市、三田市、猪名川町
東播磨	明石市、加古川市、高砂市、稲美町、播磨町
北播磨	西脇市、三木市、小野市、加西市、加東市、多可町
中播磨	姫路市、神河町、市川町、福崎町
西播磨	相生市、たつの市、赤穂市、宍粟市、太子町、上郡町、佐用町
但馬	豊岡市、養父市、朝来市、香美町、新温泉町
丹波	篠山市、丹波市
淡路	洲本市、南あわじ市、淡路市

## 5 回答者のプロフィール

### ○ 性別 (%)

	男性	女性	不明
全県	40.9	57.2	1.9
神戸	38.5	59.5	2.1
阪神南	39.8	57.2	3.0
阪神北	42.2	56.1	1.7
東播磨	43.5	55.6	0.9
北播磨	41.8	56.3	1.9
中播磨	41.9	57.5	0.6
西播磨	41.9	56.3	1.9
但馬	42.2	56.2	1.6
丹波	44.3	52.4	3.3
淡路	42.6	54.5	3.0

### ○ 年齢 (%)

	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上	不明
全県	7.6	11.7	15.7	14.9	22.4	16.8	9.3	1.6
神戸	7.9	9.6	16.2	14.8	22.3	17.2	10.7	1.4
阪神南	8.0	15.9	14.4	14.0	22.3	15.2	7.6	2.7
阪神北	5.4	11.9	19.0	16.7	21.4	16.0	7.8	1.7
東播磨	9.3	14.6	15.8	13.7	23.0	17.1	5.9	0.6
北播磨	6.3	8.2	15.4	14.5	22.0	19.8	12.3	1.6
中播磨	7.5	11.9	16.9	15.6	21.6	17.2	8.8	0.6
西播磨	8.8	9.4	12.5	15.3	22.8	18.4	10.6	2.2
但馬	5.8	7.3	10.5	14.4	24.0	18.8	17.6	1.6
丹波	8.4	7.2	11.1	16.8	23.7	17.1	13.2	2.7
淡路	6.3	7.3	13.5	17.5	24.8	15.5	12.9	2.3

### ○ 職業 (%)

	職業別								
	自営業	正規社員 (職員)	会社等の 役員	契約・ 派遣社員	パート・ アルバイト	主婦 (主夫)	学生	その他 無職	不明
全県	9.6	23.7	2.1	5.1	13.6	19.1	1.2	23.2	2.4
神戸	8.6	21.0	1.7	5.5	13.7	22.0	1.0	24.1	2.4
阪神南	10.6	25.4	3.0	4.2	12.9	15.9	1.1	23.5	3.4
阪神北	9.5	23.1	2.0	4.4	16.7	18.0	0.3	24.1	1.7
東播磨	7.1	28.6	1.2	5.9	14.0	20.8	0.9	20.5	0.9
北播磨	9.4	20.8	2.8	8.2	13.2	18.2	0.9	23.0	3.5
中播磨	8.4	24.4	2.5	4.7	11.6	23.4	2.5	20.6	1.9
西播磨	9.4	25.0	2.2	4.4	14.4	15.3	1.6	24.7	3.1
但馬	11.2	22.0	1.9	5.1	9.9	14.7	1.6	30.0	3.5
丹波	15.0	24.0	2.1	6.3	9.9	12.6	2.7	22.8	4.8
淡路	23.8	21.1	1.0	4.3	14.5	9.9	1.3	21.1	3.0

○ 世帯構成 (%)

	1人世帯	夫婦だけ (1世代)	親と子ども (2世代)	親と子と孫 (3世代)	その他	不明
全県	9.0	24.9	51.7	10.7	1.6	2.0
神戸	11.7	25.4	48.8	10.7	1.0	2.4
阪神南	13.6	22.7	53.4	5.3	1.9	3.0
阪神北	5.1	24.1	57.8	9.2	2.0	1.7
東播磨	9.3	27.0	54.3	8.1	0.6	0.6
北播磨	5.0	26.1	45.0	19.8	2.5	1.6
中播磨	1.9	26.6	56.6	12.5	1.6	0.9
西播磨	5.9	24.1	50.0	14.4	3.8	1.9
但馬	8.6	23.6	44.1	19.2	2.9	1.6
丹波	7.2	21.9	38.6	25.7	3.0	3.6
淡路	9.9	25.7	43.2	17.2	1.3	2.6

○ 在住年数 (%)

	1年未満	1～3年未満	3～5年未満	5～10年未満	10～15年未満	15～20年未満	20年以上	不明
全県	2.5	6.3	5.6	9.7	10.8	10.7	52.8	1.7
神戸	2.4	8.2	5.5	10.7	9.6	11.3	50.2	2.1
阪神南	3.0	6.8	8.7	12.5	16.7	13.3	36.4	2.7
阪神北	3.4	7.5	6.5	13.3	11.2	12.9	43.5	1.7
東播磨	2.5	6.5	5.3	6.5	9.9	9.3	59.6	0.3
北播磨	1.3	1.3	3.8	5.7	6.3	7.2	73.0	1.6
中播磨	2.8	3.8	4.1	8.8	10.3	8.1	61.6	0.6
西播磨	0.6	5.9	2.5	6.6	7.5	7.8	67.5	1.6
但馬	1.6	1.9	1.0	5.1	7.0	8.6	73.2	1.6
丹波	0.9	2.4	3.0	2.4	6.0	6.9	75.1	3.3
淡路	1.0	2.6	3.0	4.3	8.9	9.9	67.3	3.0

## 6 標本誤差

世論調査で無作為抽出法をとった場合は、数学的に標本誤差を計算することが可能であり、誤差の幅はサンプル数と得られた結果の比率などによって異なる。

今回の調査のサンプル数についての標本誤差の幅は、以下のとおりである。

誤差の算出 (層化抽出、信頼度95%の場合)

$$\text{標本誤差} = \pm 2 \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{P(100-P)}{n}}$$

N : 母集団 n : 回答者 P : 回答比率(%)

〈例：サンプル数3,079の場合〉

回答比率	10%	20%	30%	40%	50%
(%)	(または90%)	(または80%)	(または70%)	(または60%)	
誤差(%)	±1.08	±1.44	±1.65	±1.77	±1.80



## II 調査の結果

### 1 『健康づくり』に関することについて

#### 問1 健康を維持するために大切な要素

##### 問1

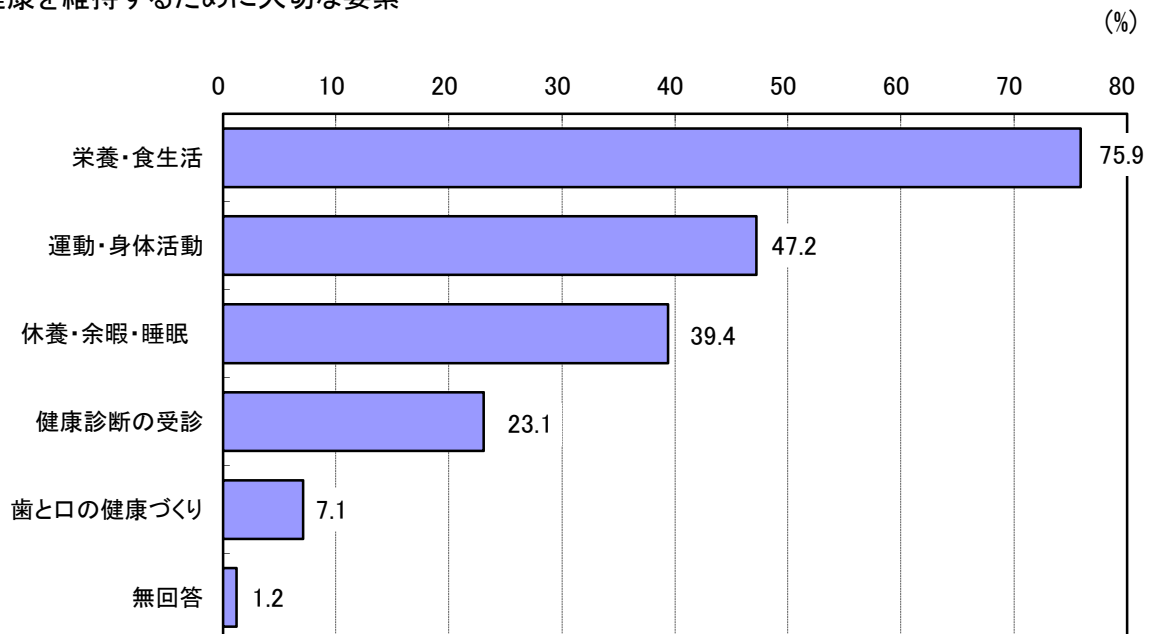
あなたは、自分の健康を維持するために、特に何が大切だと思いますか。次の中からあてはまるものを2つまで選んで番号に○をつけてください。

- 1 栄養・食生活                      2 運動・身体活動                      3 休養・余暇・睡眠  
4 歯と口の健康づくり              5 健康診断の受診

##### 【全 県】

- 「栄養・食生活」が75.9%と最も高く、続いて「運動・身体活動」が47.2%、「休養・余暇・睡眠」が39.4%となっており、健康のための3つの要素とされてきた項目が上位を占めている。

##### ○ 健康を維持するために大切な要素



【地域別】

全地域とも全県と同様の傾向にある。

(%)

○ 健康を維持するために大切な要素【地域別】

最小値

最大値

	栄養・食生活	運動・身体活動	休養・余暇・睡眠	歯と口の健康づくり	健康診断の受診	無回答
全 県	75.9	47.2	39.4	7.1	23.1	1.2
地域別						
神 戸	78.0	48.5	35.4	8.2	22.0	0.7
阪神南	74.2	46.2	43.6	6.8	20.8	3.4
阪神北	75.5	49.3	45.2	6.1	21.1	0.3
東播磨	73.9	45.7	42.5	5.6	25.2	0.9
北播磨	74.5	46.9	35.5	7.5	25.8	1.3
中播磨	77.5	48.8	34.7	7.5	24.4	0.6
西播磨	74.1	44.7	37.8	6.3	25.6	1.6
但 馬	75.1	43.8	37.4	7.3	27.8	1.0
丹 波	72.8	41.6	40.4	9.3	27.5	0.9
淡 路	79.5	43.9	37.6	5.9	28.4	0.0
地域間の差	6.8	7.7	10.6	3.7	7.5	3.4

【性別】

「栄養・食生活」は女性の方が14.5ポイント高く、「運動・身体活動」は男性の方が11.4ポイント高くなっており、男女の意識の差がでている。

○ 健康を維持するために大切な要素【性別】 (%)

	栄養・食生活	運動・身体活動	休養・余暇・睡眠	歯と口の健康づくり	健康診断の受診	無回答
全 県	75.9	47.2	39.4	7.1	23.1	1.2
<b>性別</b>						
男 性	67.5	54.1	39.4	7.1	24.4	1.8
女 性	82.0	42.7	39.8	7.0	22.1	0.8
性別間の差	14.5	11.4	0.4	0.1	2.3	1.0

【年代別】

20代から40代は、全県と異なり、「休養・余暇・睡眠」が「運動・身体活動」より高くなっている。

○ 健康を維持するために大切な要素【年代別】 (%)

	栄養・食生活	運動・身体活動	休養・余暇・睡眠	歯と口の健康づくり	健康診断の受診	無回答
全 県	75.9	47.2	39.4	7.1	23.1	1.2
<b>年代別</b>						
20代	76.4	36.8	65.8	4.3	9.2	0.0
30代	79.9	37.5	59.9	3.5	13.8	0.9
40代	70.9	44.2	52.2	4.0	22.8	0.2
50代	76.8	43.5	41.4	7.6	24.0	1.2
60代	75.8	53.6	30.8	7.9	24.0	2.0
70代	76.3	56.4	22.0	9.1	28.7	1.7
80歳以上	76.8	47.7	23.2	11.7	32.5	1.7
年代間の差	9.0	19.6	43.8	8.2	23.3	2.0

【性・年代別】

全県で28.7ポイントの差がある「栄養・食生活」と「運動・身体活動」について、男性の40代と60代以上は、それほどの差はなく、同程度に大切な要素と考えていることがうかがえる。

男女とも、「休養・余暇・睡眠」が年代間の差が最も大きくなっている。

(%)

○ 健康を維持するために大切な要素【性・年代別】

	最大値		最小値		無回答	
	栄養・食生活	運動・身体活動	休養・余暇・睡眠	歯と口の健康づくり	健康診断の受診	
全 県	75.9	47.2	39.4	7.1	23.1	1.2
性・年代別						
男 性						
20代	72.9	45.6	60.9	4.0	9.6	0.0
30代	77.0	37.1	56.3	3.6	19.5	1.5
40代	59.2	57.5	54.8	2.4	20.5	0.5
50代	68.5	47.7	40.9	6.9	26.0	2.4
60代	67.2	57.6	29.9	7.2	30.0	2.1
70代	67.5	66.9	22.2	8.9	27.3	2.6
80歳以上	62.6	52.8	26.6	21.9	28.8	3.6
年代間の差	17.8	29.8	38.7	19.5	20.4	3.6
女 性						
20代	80.7	31.0	68.7	4.7	9.1	0.0
30代	81.9	37.7	62.4	3.4	9.9	0.6
40代	79.0	35.1	50.3	5.1	24.4	0.0
50代	82.9	40.3	41.7	8.2	22.5	0.3
60代	81.9	51.2	31.0	8.6	19.8	2.0
70代	83.5	47.7	21.8	9.3	30.0	1.0
80歳以上	83.6	45.8	22.5	7.0	32.7	0.8
年代間の差	4.6	20.2	46.9	5.9	23.6	2.0

## 問2 健康づくりのために実践している取組

### 問2

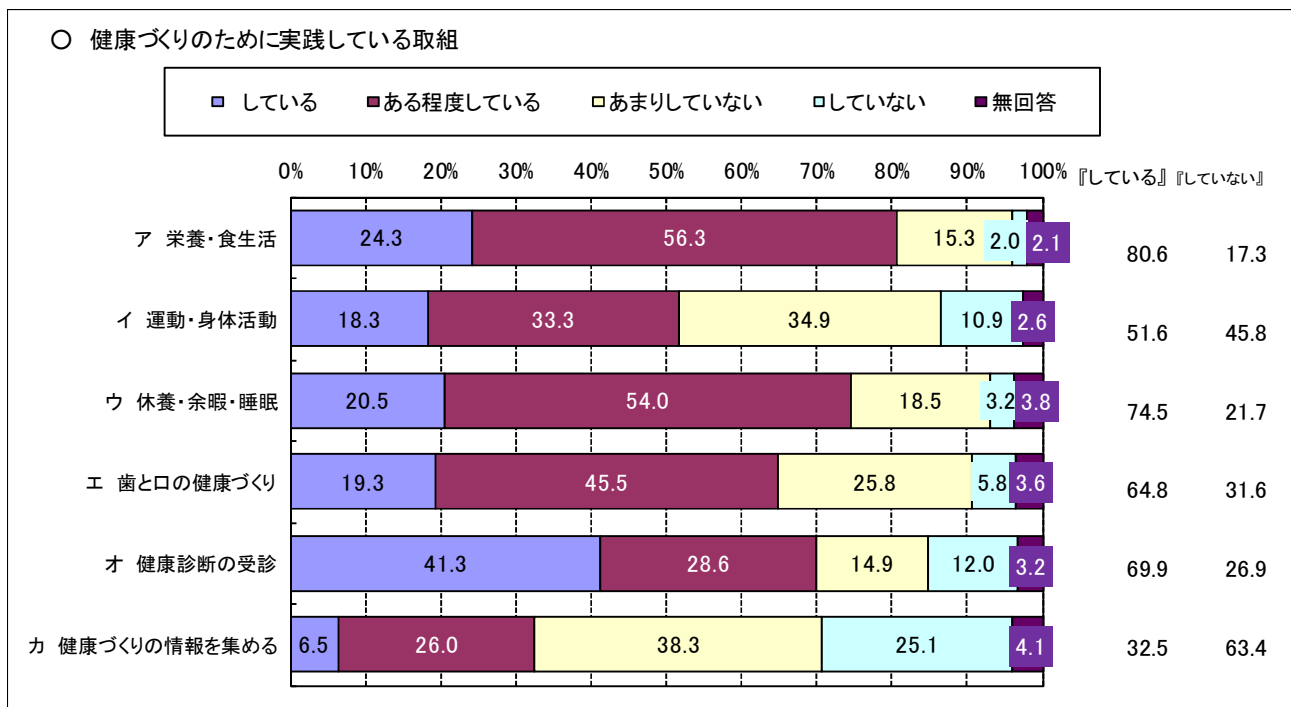
あなたは、自分の健康を維持するために、どのようなことに取り組んでいますか。それぞれの項目ごとに、あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

- ア 栄養・食生活
- イ 運動・身体活動
- ウ 休養・余暇・睡眠
- エ 歯と口の健康づくり
- オ 健康診断の受診
- カ 健康づくりの情報を集める

1 している    2 ある程度している    3 あまりしていない    4 していない

### 【全 県】

- 「している」と「ある程度している」を合わせた『している』は、「栄養・食生活」が80.6%で最も高く、次に、「休養・余暇・睡眠」が74.5%で高くなっている。
- 「健康づくりの情報を集める」以外の項目は、全て半数以上の人に取り組んでいる。



【地域別（『している』）】

全県では、「ア栄養・食生活」、「ウ休養・余暇・睡眠」、「オ健康診断の受診」、「エ歯と口の健康づくり」、「イ運動・身体活動」、「カ健康づくりの情報を集める」の順で高くなっているが、阪神南は「オ健康診断の受診」と「エ歯と口の健康づくり」が同順位で、北播磨は「ウ休養・余暇・睡眠」より「オ健康診断の受診」が高く、但馬は「ウ休養・余暇・睡眠」と「オ健康診断の受診」が同順位となっている。

他の地域は全県と同じ順位となっている。

○ 健康づくりのために実践している取組【地域別】	最大値						最小値	（%）
	ア	イ	ウ	エ	オ	カ		
	栄養・食生活	運動・身体活動	休養・余暇・睡眠	歯と口の健康づくり	健康診断の受診	健康づくりの情報を集める		
全 県	80.6	51.6	74.5	64.8	69.9	32.5		
地域別								
神 戸	79.7	51.9	73.2	65.6	70.1	34.4		
阪神南	84.8	52.7	75.0	67.8	67.8	34.5		
阪神北	80.3	51.7	75.9	66.3	70.4	32.7		
東播磨	80.1	51.2	75.8	63.0	69.6	30.7		
北播磨	78.6	48.4	72.0	61.3	74.2	33.6		
中播磨	80.3	52.8	75.6	67.5	69.7	27.5		
西播磨	79.1	47.2	72.5	53.8	68.8	26.9		
但 馬	78.0	53.0	74.8	60.7	74.8	34.5		
丹 波	77.2	51.5	74.0	59.6	68.6	32.3		
淡 路	78.9	49.8	75.6	60.7	71.6	33.7		
地域間の差	7.6	5.8	3.8	14.1	7.0	7.6		

【性別（『している』）】

「運動・身体活動」と「健康診断の受診」は男性が高く、「栄養・食生活」、「休養・余暇・睡眠」、「歯と口腔の健康づくり」、「健康づくりの情報を集める」は女性が高くなっている。

○ 健康づくりのために実践している取組【性別】 (%)

	栄養・食生活	運動・身体活動	休養・余暇・睡眠	歯と口の健康づくり	健康診断の受診	健康づくりの情報を集める
全 県	80.6	51.6	74.5	64.8	69.9	32.5
性別						
男 性	73.7	56.2	72.7	57.2	72.6	24.3
女 性	85.7	48.2	76.2	70.8	68.6	38.5
性別間の差	12.0	8.0	3.5	13.7	4.0	14.3

【年代別（『している』）】

60代と70代は、全ての項目で全県を上回っている。

○ 健康づくりのために実践している取組【年代別】 最大値 最小値 (%)

	栄養・食生活	運動・身体活動	休養・余暇・睡眠	歯と口の健康づくり	健康診断の受診	健康づくりの情報を集める
全 県	80.6	51.6	74.5	64.8	69.9	32.5
年代別						
20代	65.9	41.6	76.7	62.1	56.6	21.7
30代	76.9	37.9	74.8	53.8	61.6	22.9
40代	77.6	42.0	72.4	58.6	72.5	26.6
50代	78.8	47.6	66.7	64.2	75.8	36.8
60代	84.9	59.5	80.1	74.5	72.5	39.3
70代	87.2	68.0	78.2	70.7	72.0	37.9
80歳以上	83.2	50.5	70.3	60.8	72.1	31.2
年代間の差	21.3	30.1	13.5	20.7	19.2	17.6

【性・年代別（『している』）】

男性は、「栄養・食生活」が最も年代間の差があり、70代が高く、20代が低くなっている。女性は、「運動・身体活動」が最も年代間の差があり、70代が高く、30代が低くなっている

	栄養・食生活	運動・身体活動	休養・余暇・睡眠	歯と口の健康づくり	最大値	健康診断の受診	健康づくりの情報を集める (%)
					最小値		
全 県	80.6	51.6	74.5	64.8	69.9	32.5	
性・年代別							
男 性							
20代	52.1	48.7	73.4	55.9	53.5	11.7	
30代	71.2	45.7	71.5	42.6	69.2	15.8	
40代	66.4	48.7	65.0	48.9	79.8	17.7	
50代	75.2	54.6	66.9	59.8	79.1	29.3	
60代	77.5	62.9	80.5	67.9	72.8	29.7	
70代	83.2	67.3	73.0	59.0	70.0	29.5	
80歳以上	77.4	50.9	77.7	55.6	75.4	24.7	
年代間の差	31.1	21.6	15.5	25.4	26.3	18.0	
女 性							
20代	78.2	36.8	78.7	68.1	57.9	30.0	
30代	80.9	32.5	77.1	61.6	56.2	28.0	
40代	85.4	37.3	77.5	65.4	67.4	32.8	
50代	81.4	42.4	66.5	67.5	73.3	42.2	
60代	90.2	56.8	79.7	79.1	72.1	45.9	
70代	90.6	68.7	82.6	80.6	73.7	45.0	
80歳以上	85.4	49.9	69.0	63.4	70.7	35.1	
年代間の差	12.3	36.2	16.2	18.9	17.5	18.0	

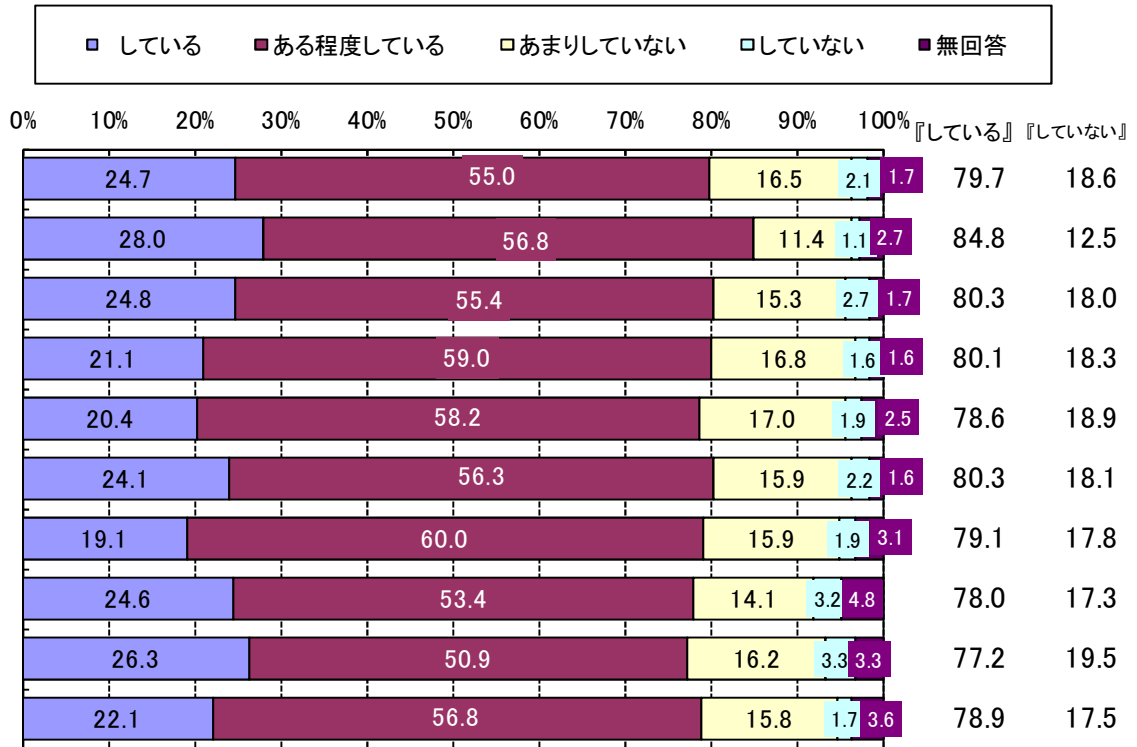


〔栄養・食生活〕

【地域別】

地域別では、阪神南だけが、全県(80.6%)より『している』が高くなっている。

◎ア 栄養・食生活【地域別】

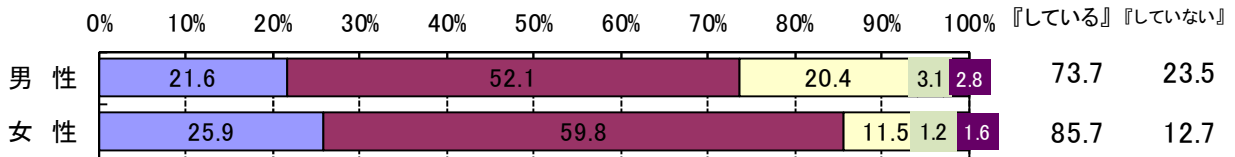
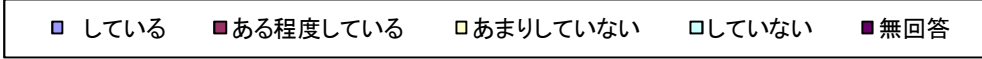


【性別、性・年代別】

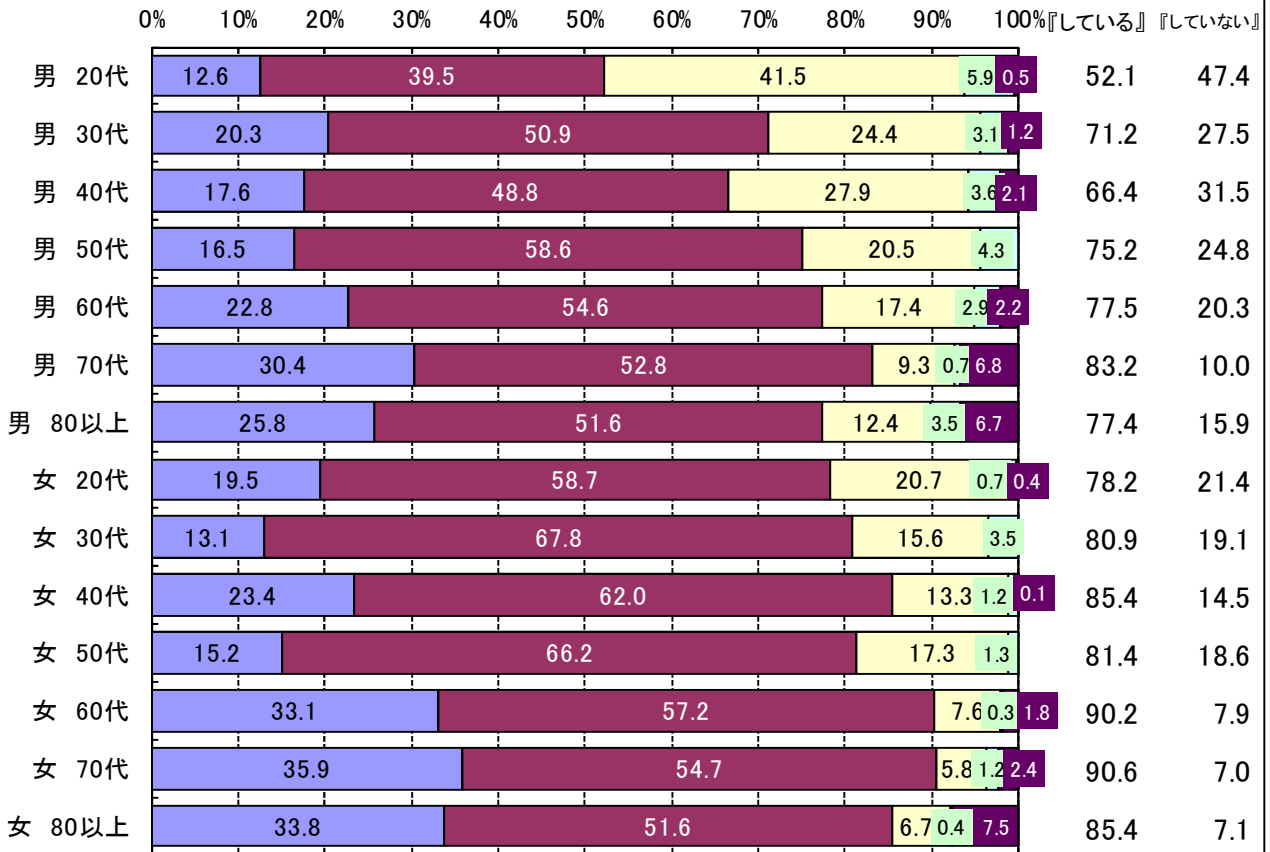
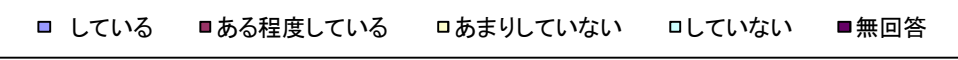
●性別では、女性の方が『している』が高くなっている。

●性・年代別では、男性の70代と女性は20代以外が、全県(80.6%)より『している』が高くなっている。

◎ア 栄養・食生活【性別】



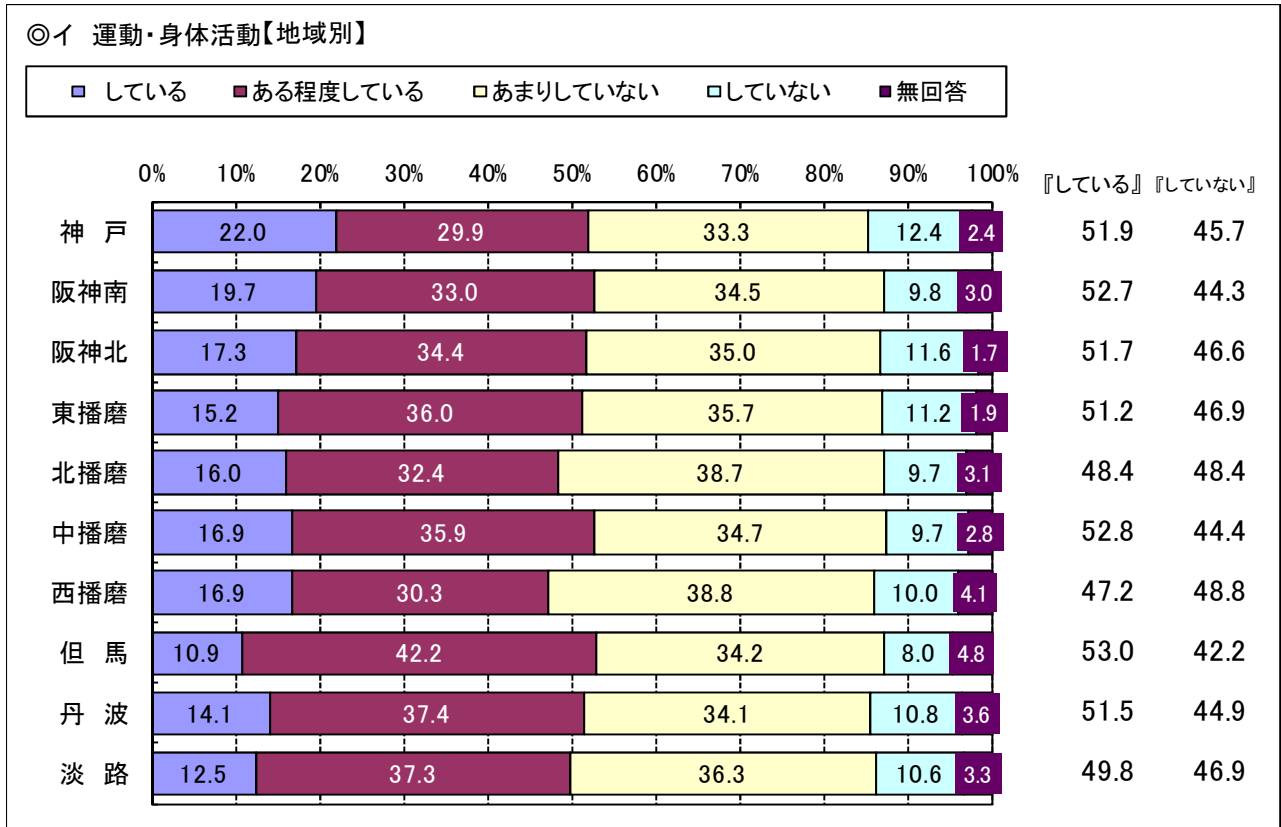
◎ア 栄養・食生活【性・年代別】



〔運動・身体活動〕

【地域別】

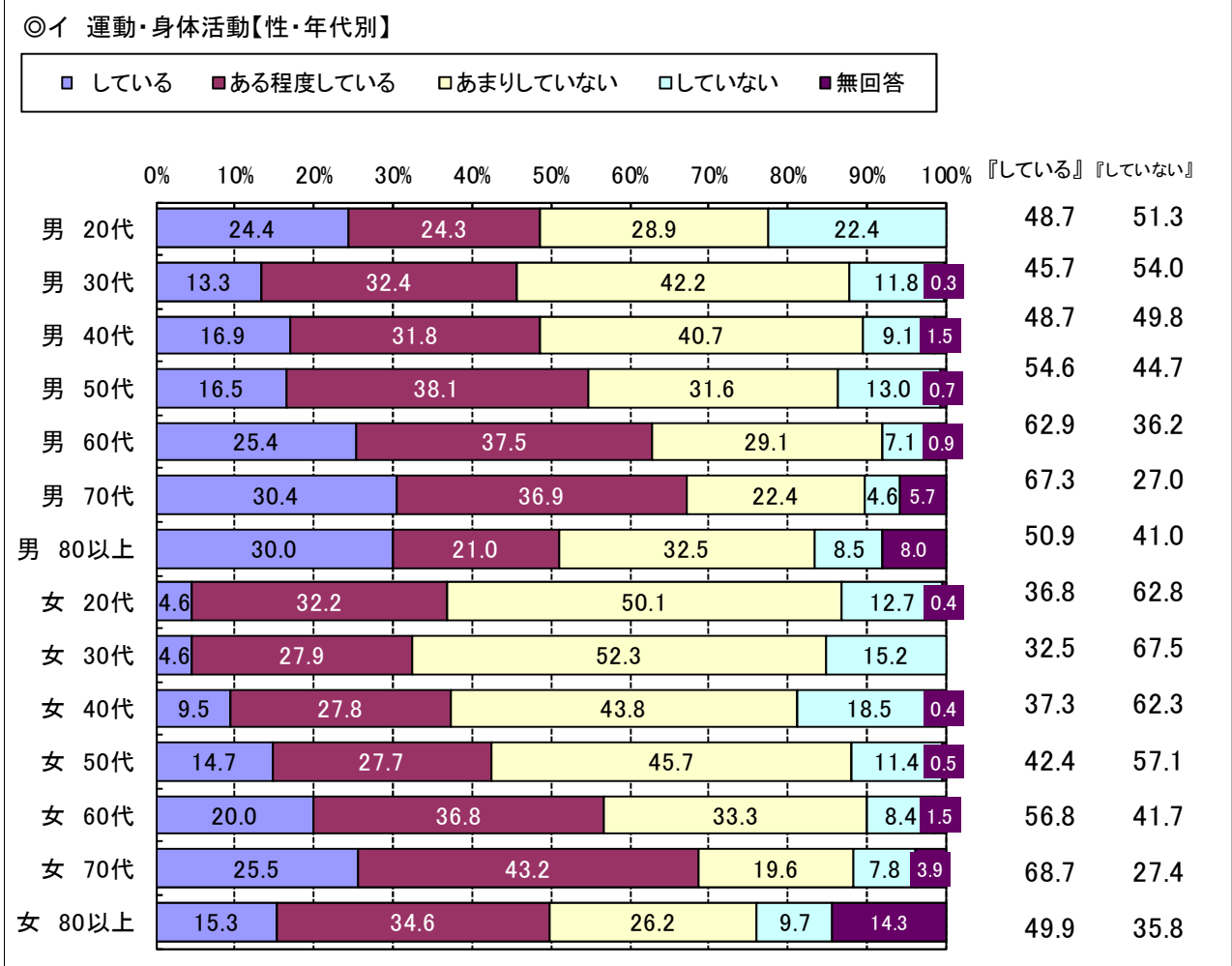
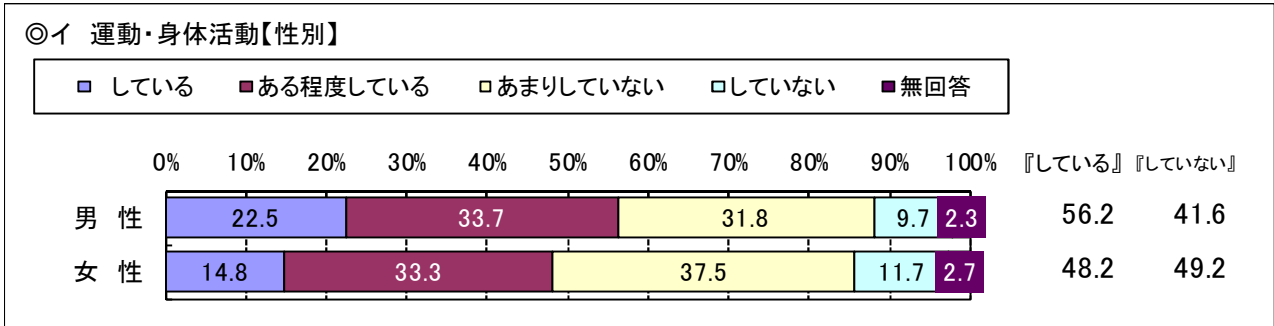
地域別では、神戸、阪神南、阪神北、中播磨、但馬が、全県(51.6%)より『している』が高くなっている。



【性別、性・年代別】

●性別では、男性の方が『している』が高くなっている。

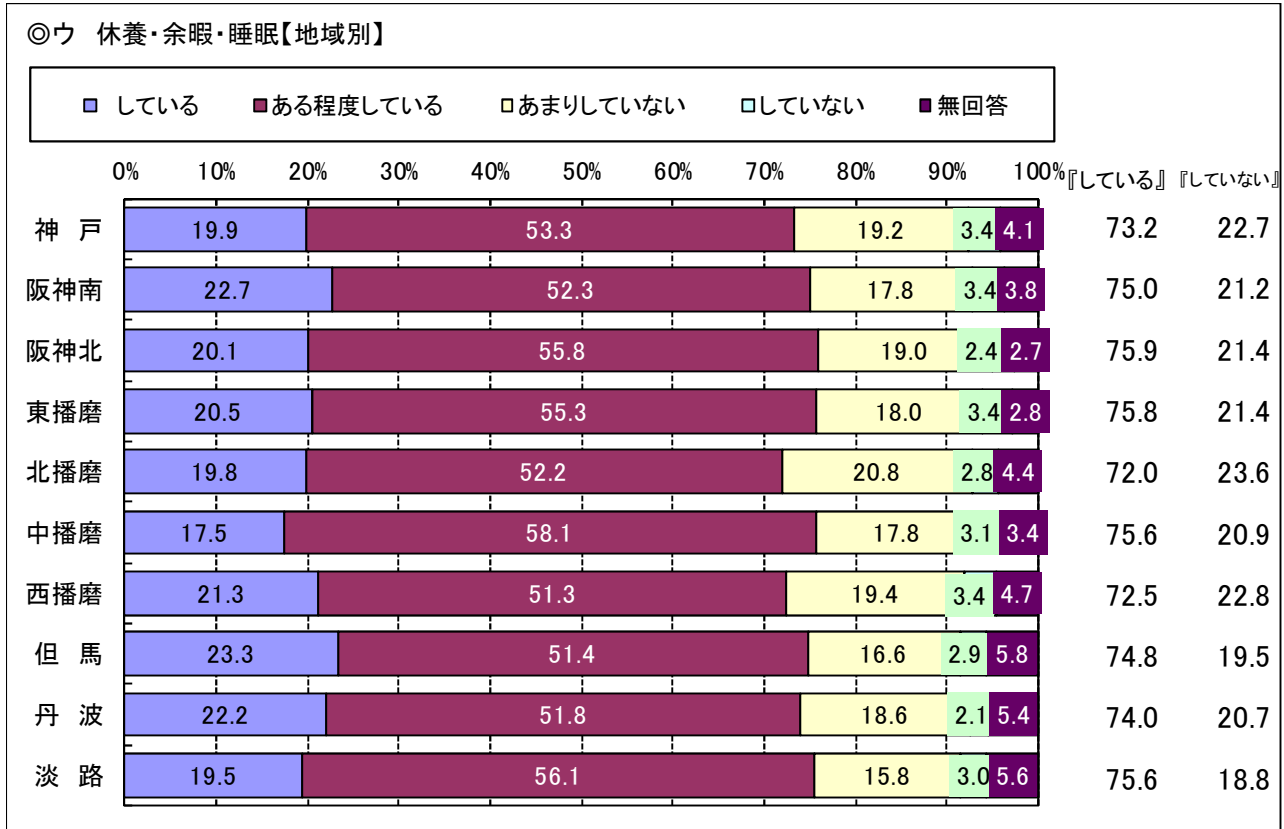
●性・年代別では、男性は50代から70代と女性は60代、70代が、全県(51.6%)より『している』が高くなっている。



〔休養・余暇・睡眠〕

【地域別】

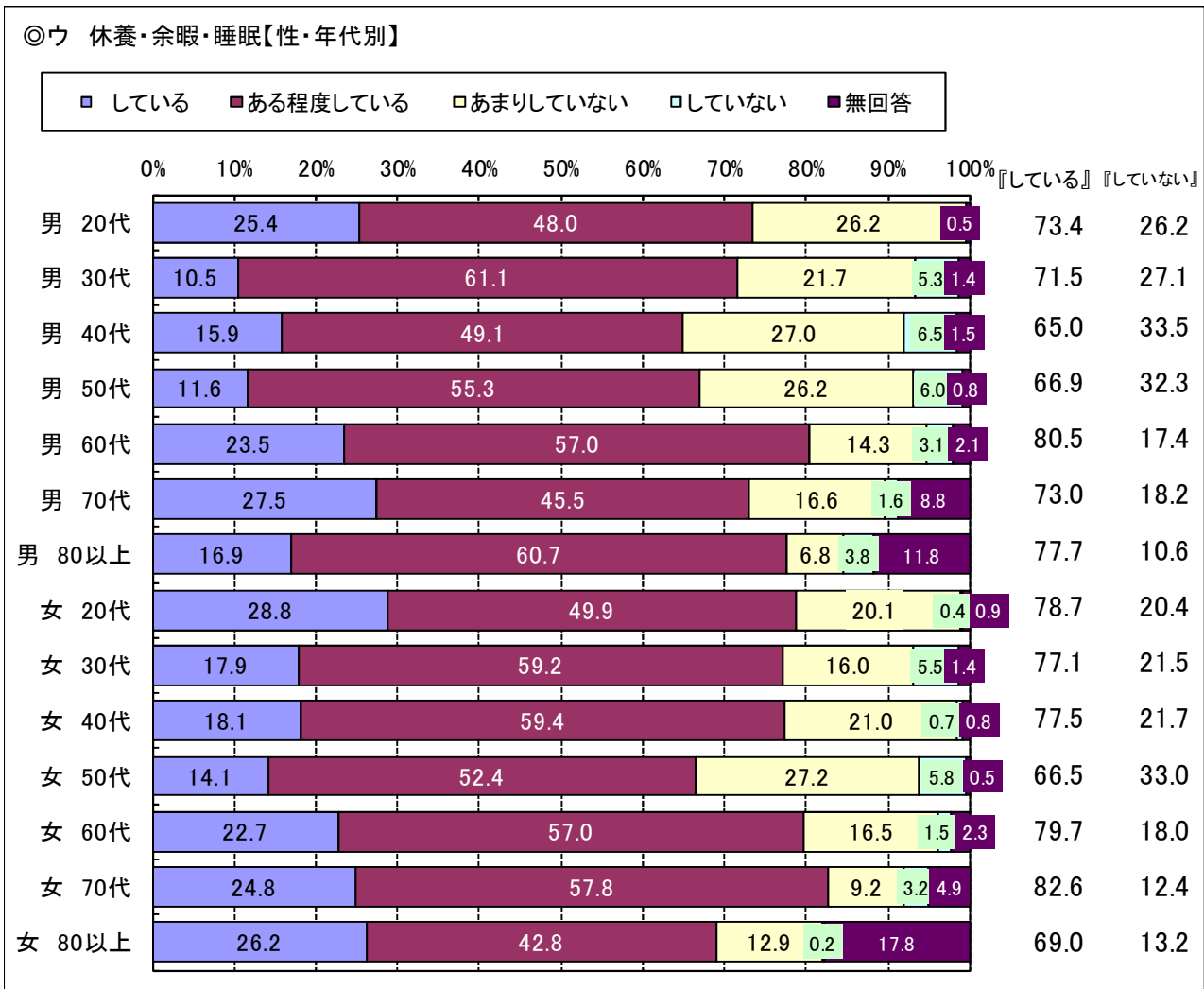
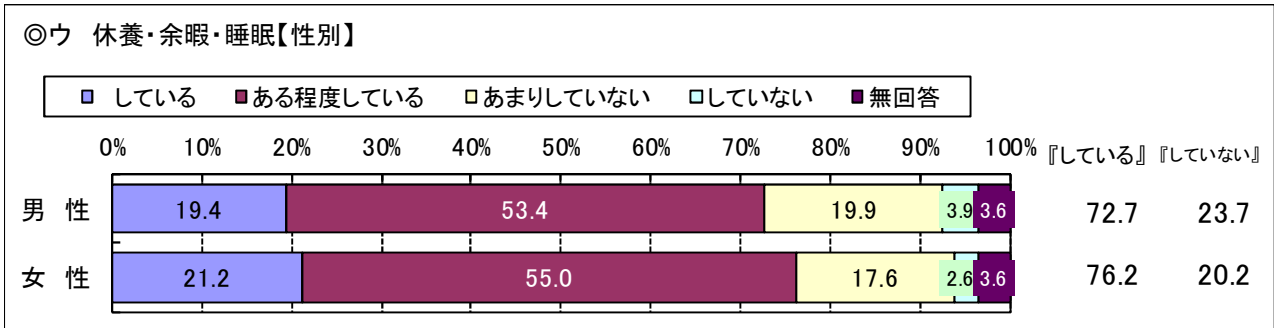
地域別では、阪神南、阪神北、東播磨、中播磨、但馬、淡路が、全県(74.5%)より『している』が高くなっている。



【性別、性・年代別】

●性別では、女性の方が『している』が高くなっている。

●性・年代別では、男性の60代、80歳以上と女性は50代と80歳以上以外が、全県(74.5%)より『している』が高くなっている。

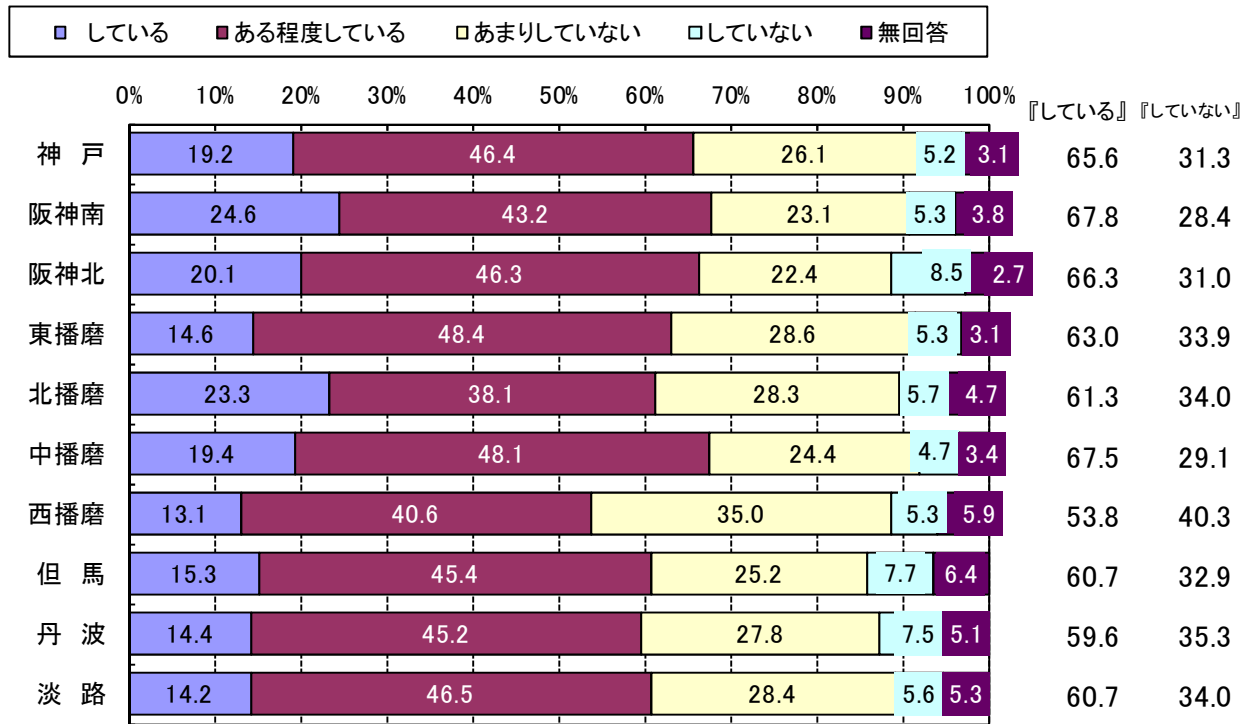


〔歯と口の健康づくり〕

【地域別】

地域別では、神戸、阪神南、阪神北、中播磨が、全県(64.8%)より『している』が高くなっている。

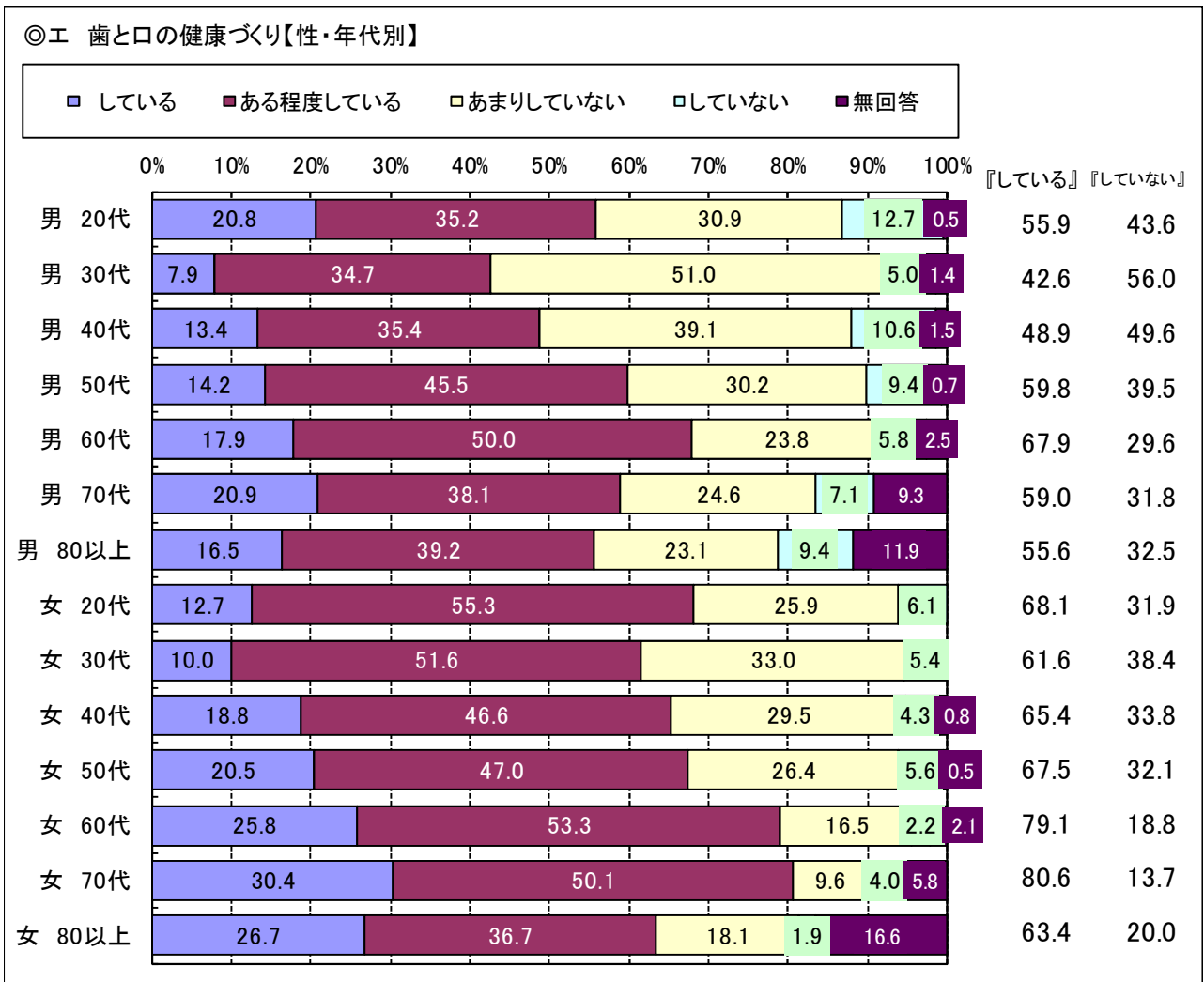
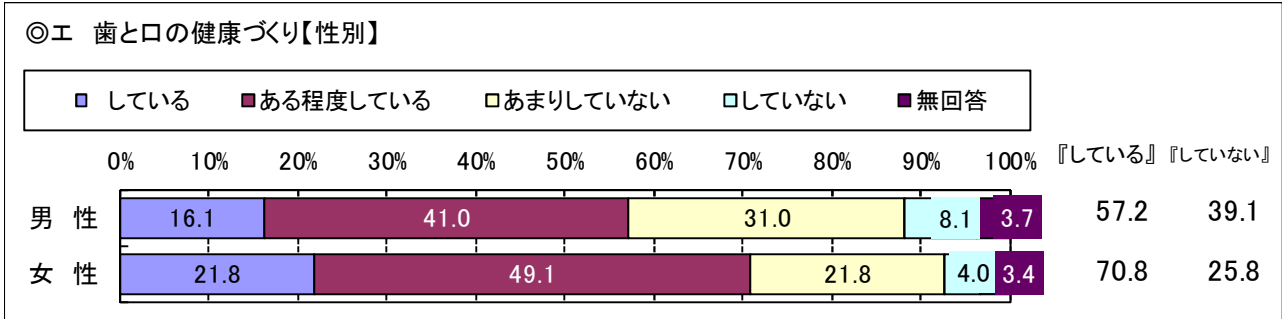
◎エ 歯と口の健康づくり【地域別】



【性別、性・年代別】

●性別では、女性の方が『している』が高くなっている。

●性・年代別では、男性の60代と女性の20代、40代から70代が、全県(64.8%)より『している』が高くなっている。

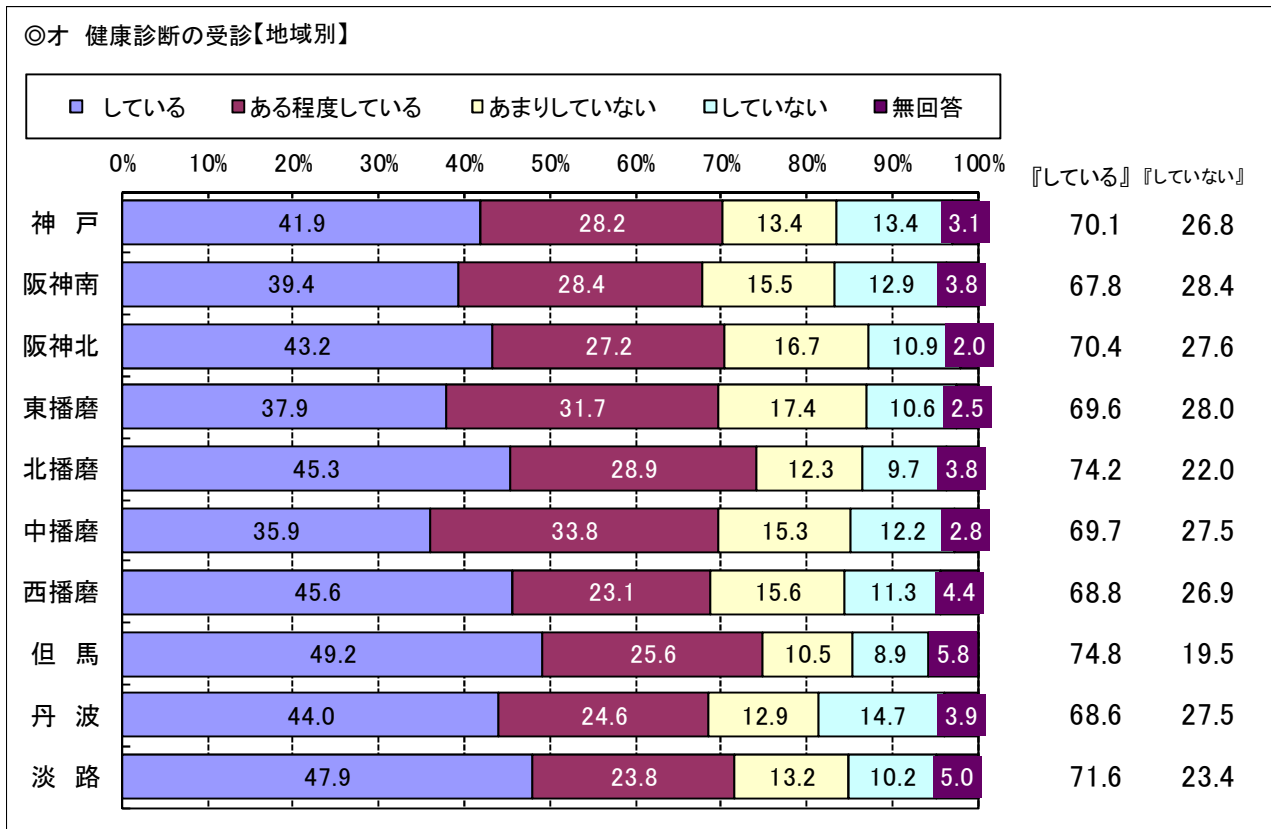




〔健康診断の受診〕

【地域別】

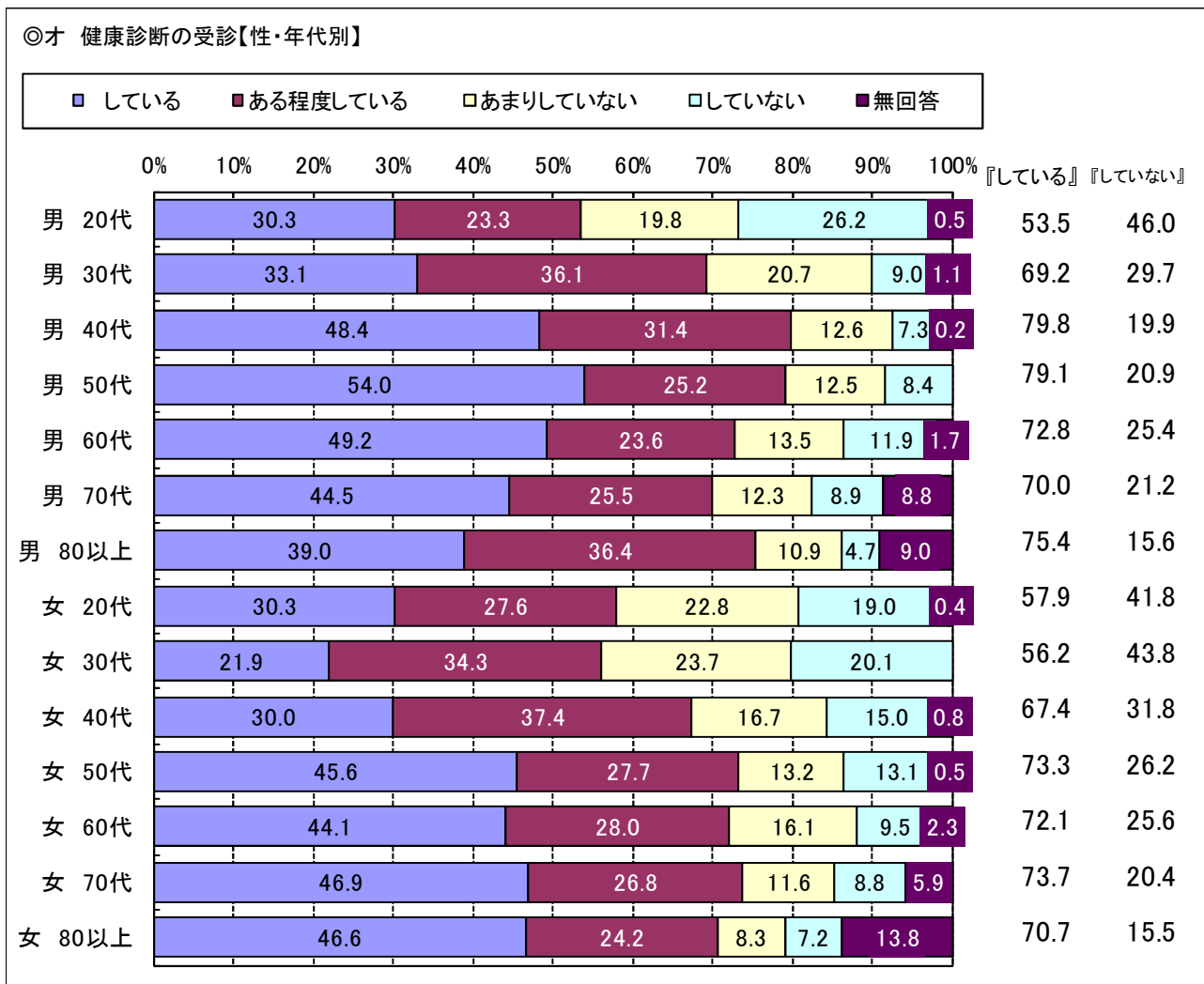
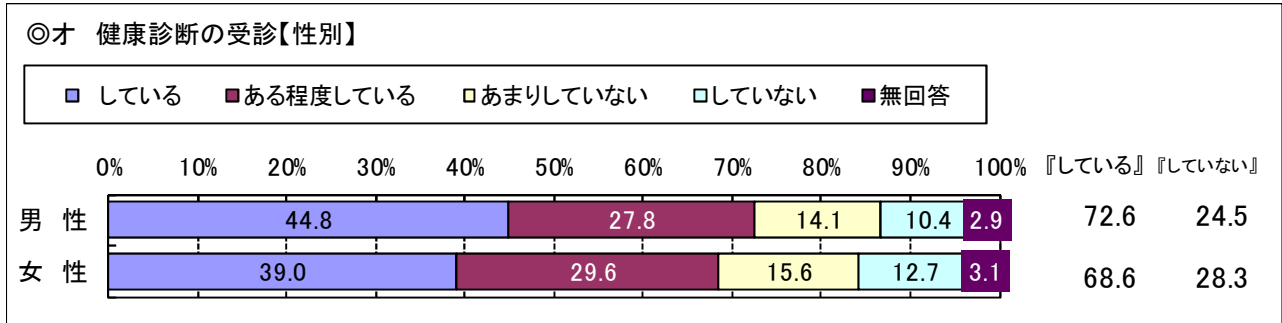
地域別では、神戸、阪神北、北播磨、但馬、淡路が、全県(69.9%)より『している』が高くなっている。



【性別、性・年代別】

●性別では、男性の方が『している』が高くなっている。

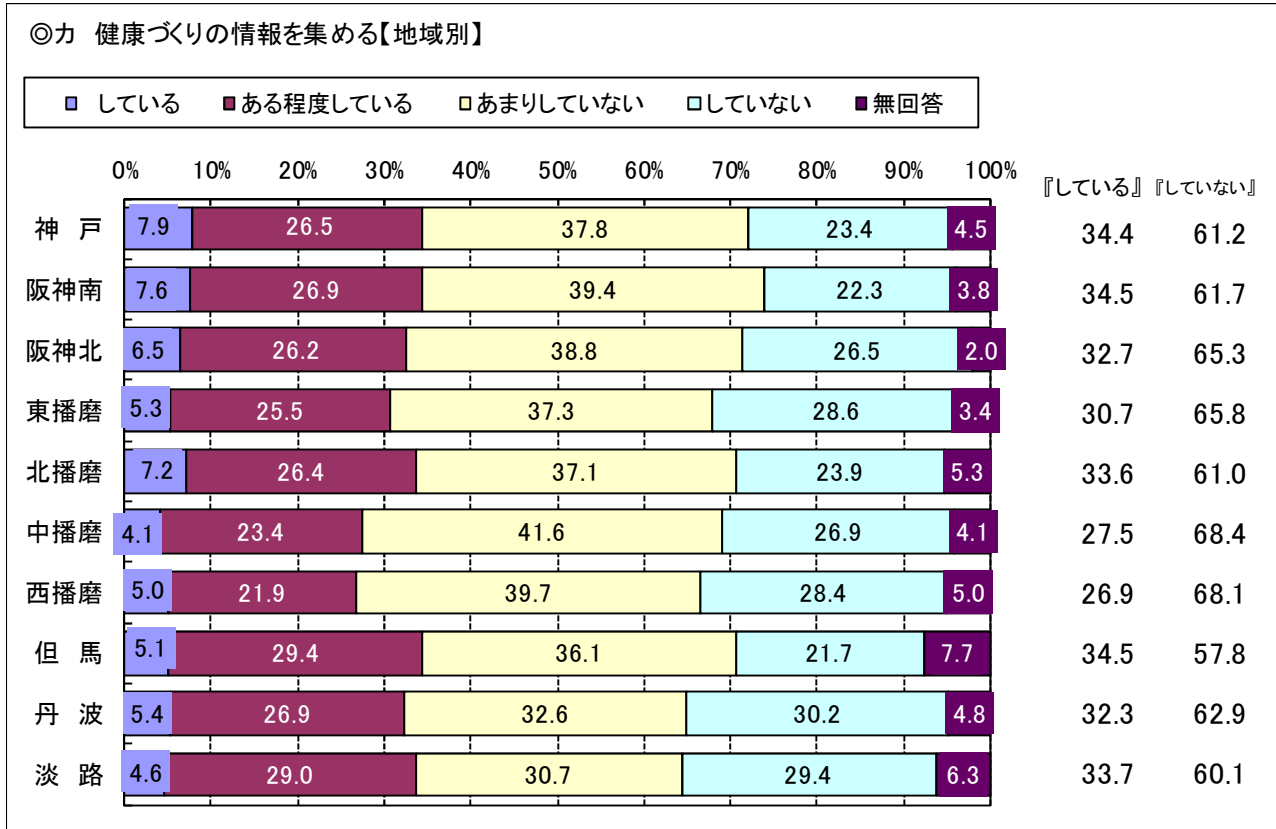
●性・年代別では、男性は40代以上、女性は50代以上が、全県(69.9%)より『している』が高くなっている。



〔健康づくりの情報を集める〕

【地域別】

地域別では、神戸、阪神南、阪神北、北播磨、但馬、淡路が、全県(32.5%)より『している』が高くなっている。

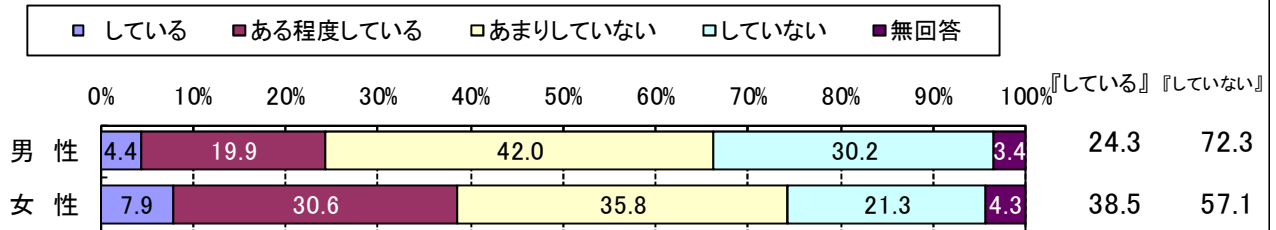


【性別、性・年代別】

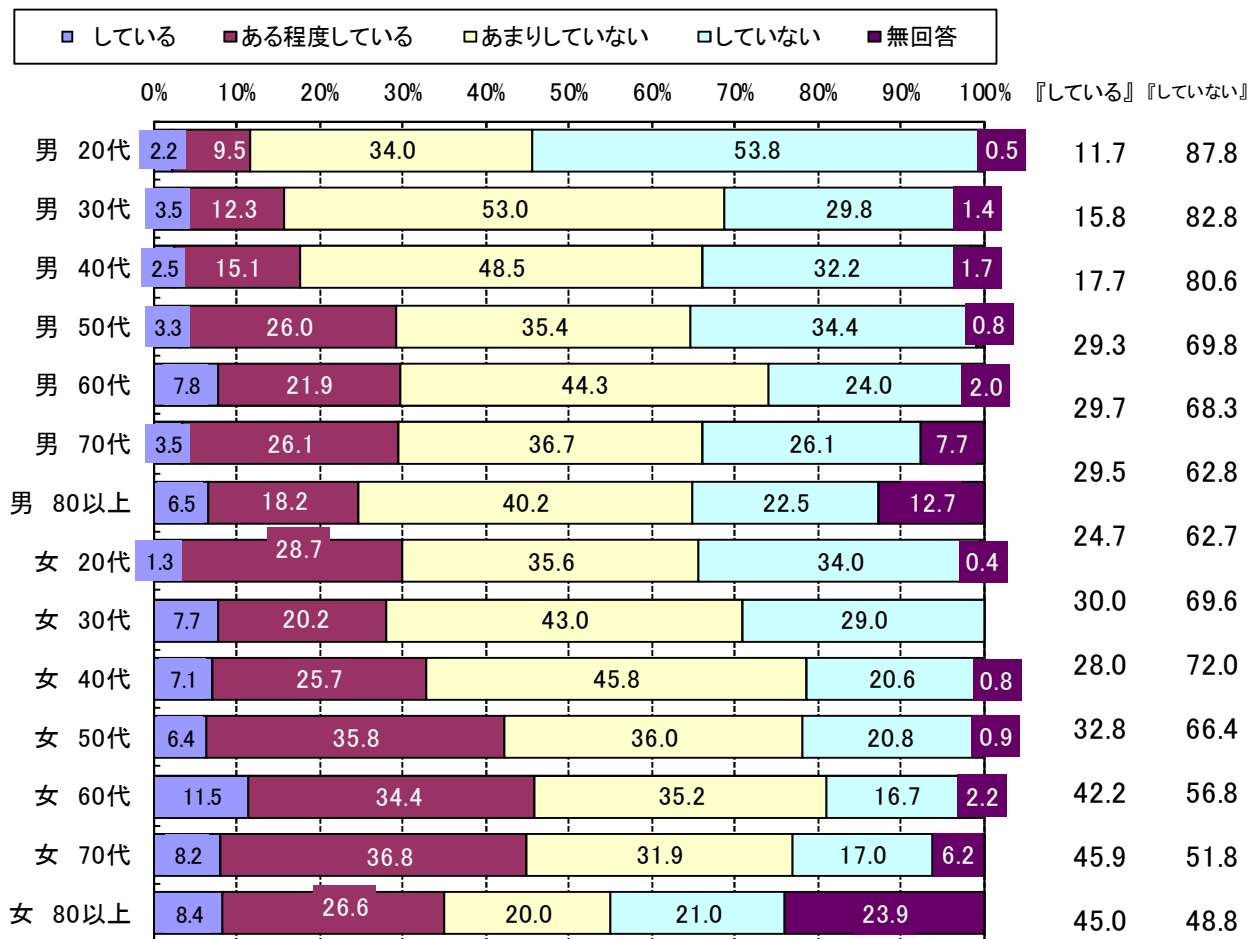
●性別では、女性の方が『している』が高くなっている。

●性・年代別では、女性の50代以上が全県(32.5%)より『している』が高くなっている。

◎カ 健康づくりの情報を集める【性別】



◎カ 健康づくりの情報を集める【性・年代別】



### 3 あてはまる食習慣

#### 問3

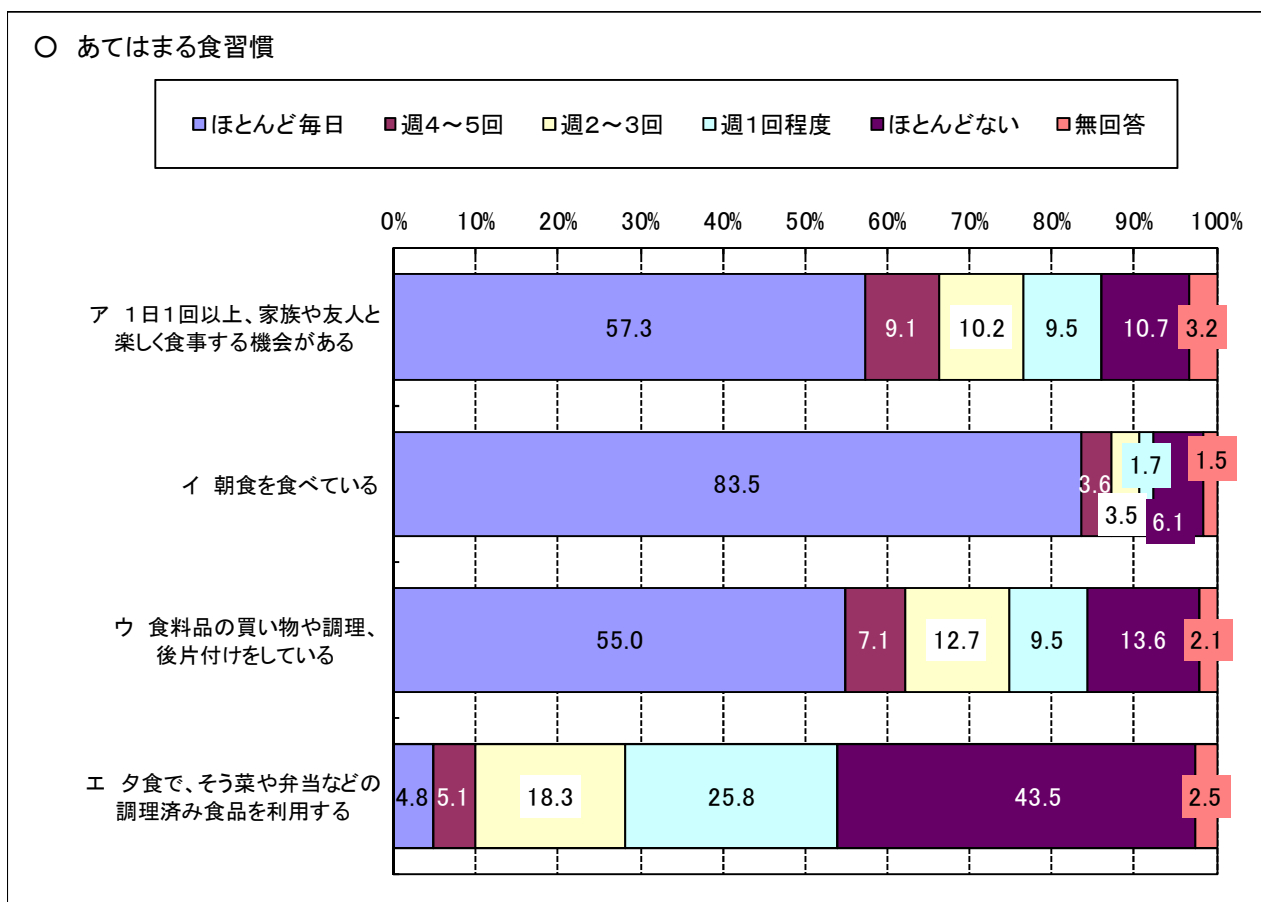
あなたの普段の食生活について、それぞれの項目ごとに、あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

- ア 1日1回以上、家族や友人と楽しく食事する機会がある
- イ 朝食を食べている
- ウ 食料品の買い物や調理、後片付けをしている
- エ 夕食で、そう菜や弁当などの調理済み食品を利用する

- 1 ほとんど毎日      2 週4～5回      3 週2～3回
- 4 週1回程度      5 ほとんどない

#### 【全 県】

「1日1回以上、家族や友人と楽しく食事する機会がある」、「朝食を食べている」、「食料品の買い物や調理、後片付けをしている」はいずれも、ほとんど毎日行っている人が半数以上を越えており、特に朝食は8割を越える人が摂っている。

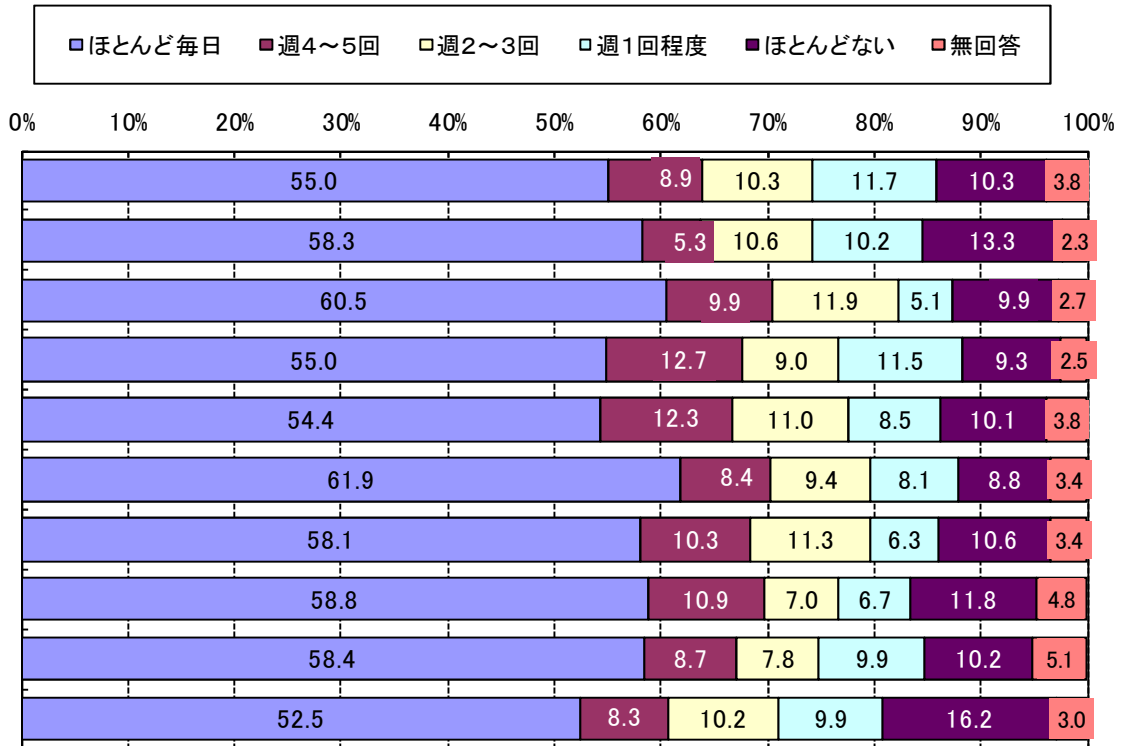


[1日1回以上、家族や友人と楽しく食事する機会がある]

【地域別】

地域別では、阪神南、阪神北、中播磨、西播磨、但馬、丹波が、全県(57.3%)より「ほとんど毎日」が高くなっている。

◎ア 1日1回以上、家族や友人と楽しく食事する機会がある【地域別】

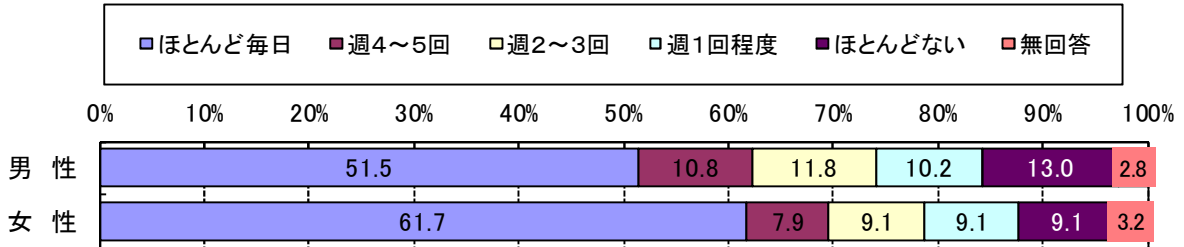


【性別、性・年代別】

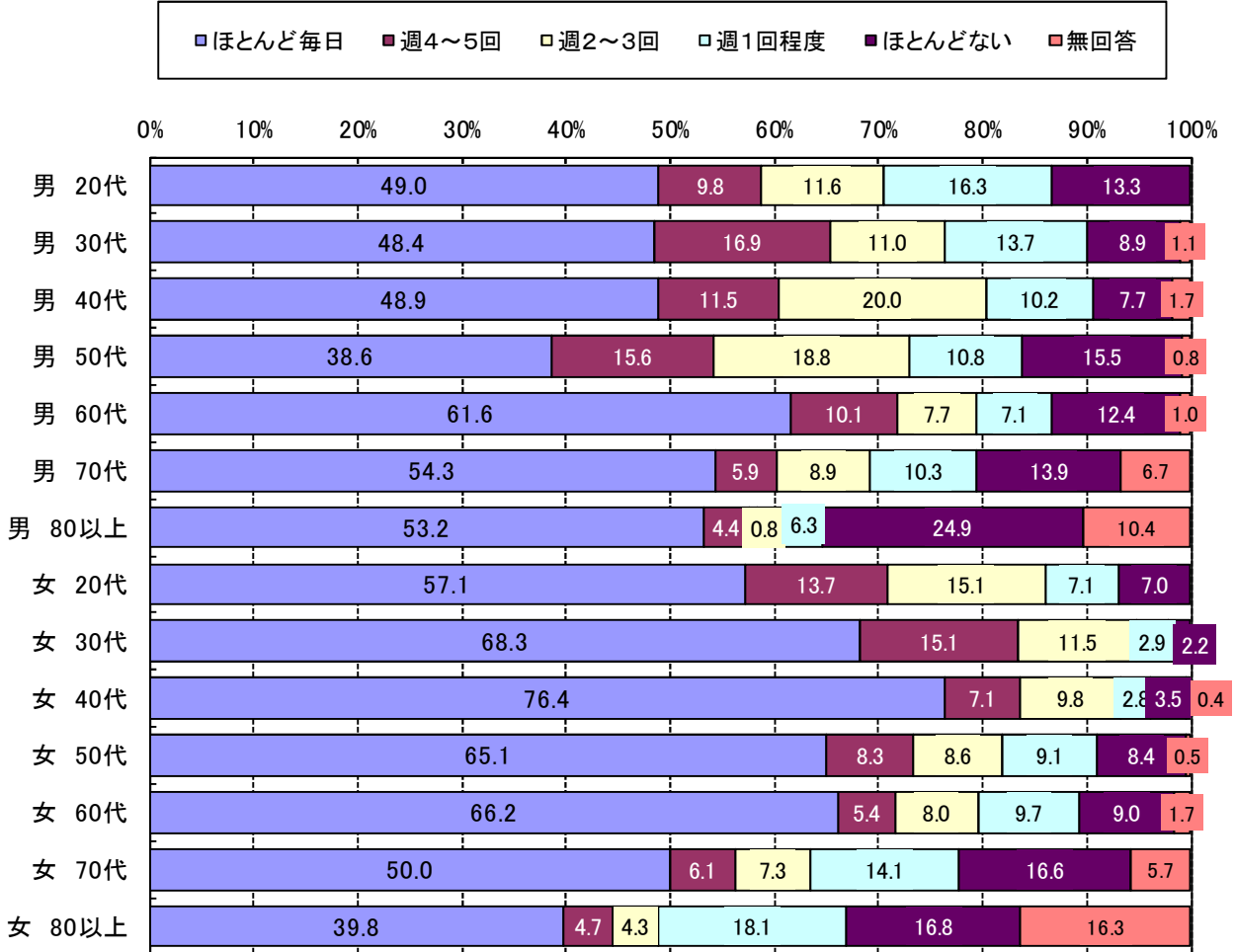
●性別では、女性の方が「ほとんど毎日」が高くなっている。

●性・年代別では、男性の60代と女性の30代から60代が全県(57.3%)より「ほとんど毎日」が高くなっている。

◎ア 1日1回以上、家族や友人と楽しく食事する機会がある【性別】



◎ア 1日1回以上、家族や友人と楽しく食事する機会がある【性・年代別】

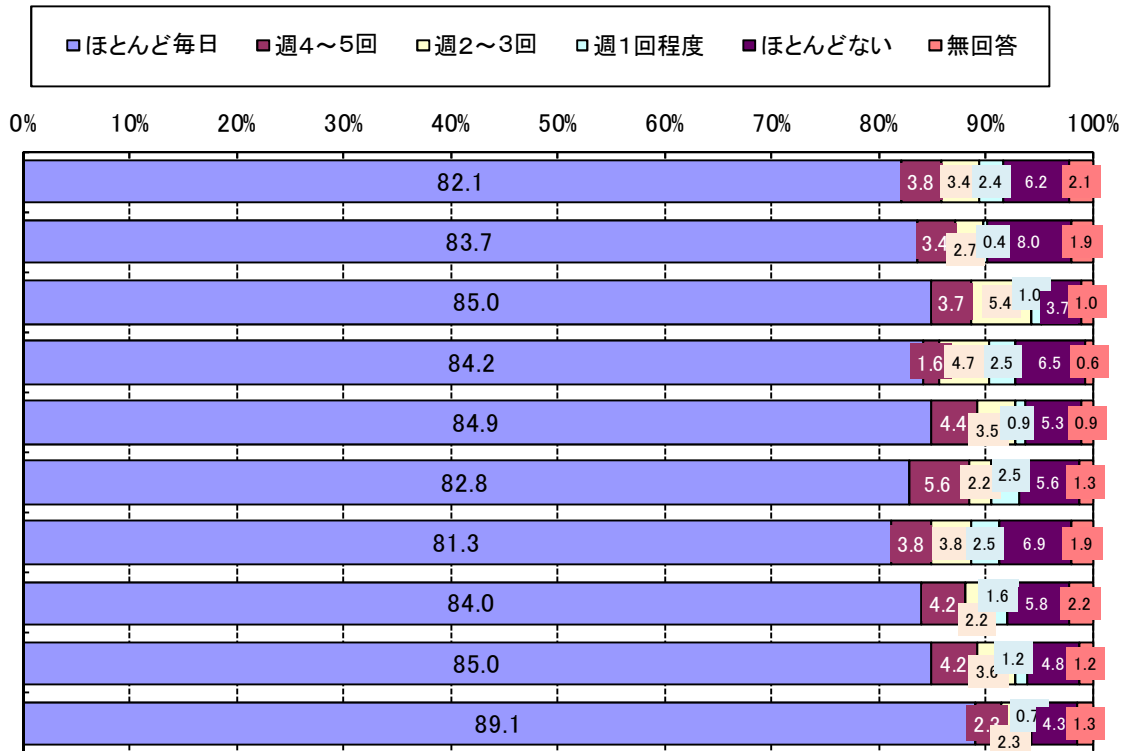


〔朝食を食べている〕

【地域別】

地域別では、神戸、中播磨、西播磨以外は、全県(83.5%)より「ほとんど毎日」が高くなっている。

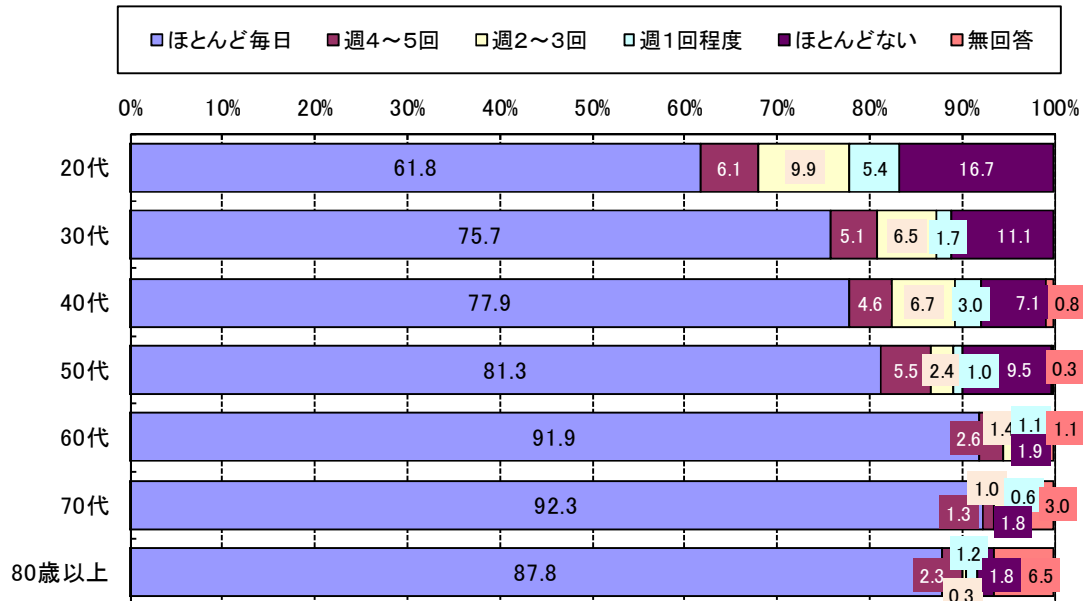
◎イ 朝食を食べている【地域別】



【年代別】

20代は約6割しか、毎日朝食を摂っておらず、他の年代に比べ低くなっている。

◎イ 朝食を食べている【年代別】

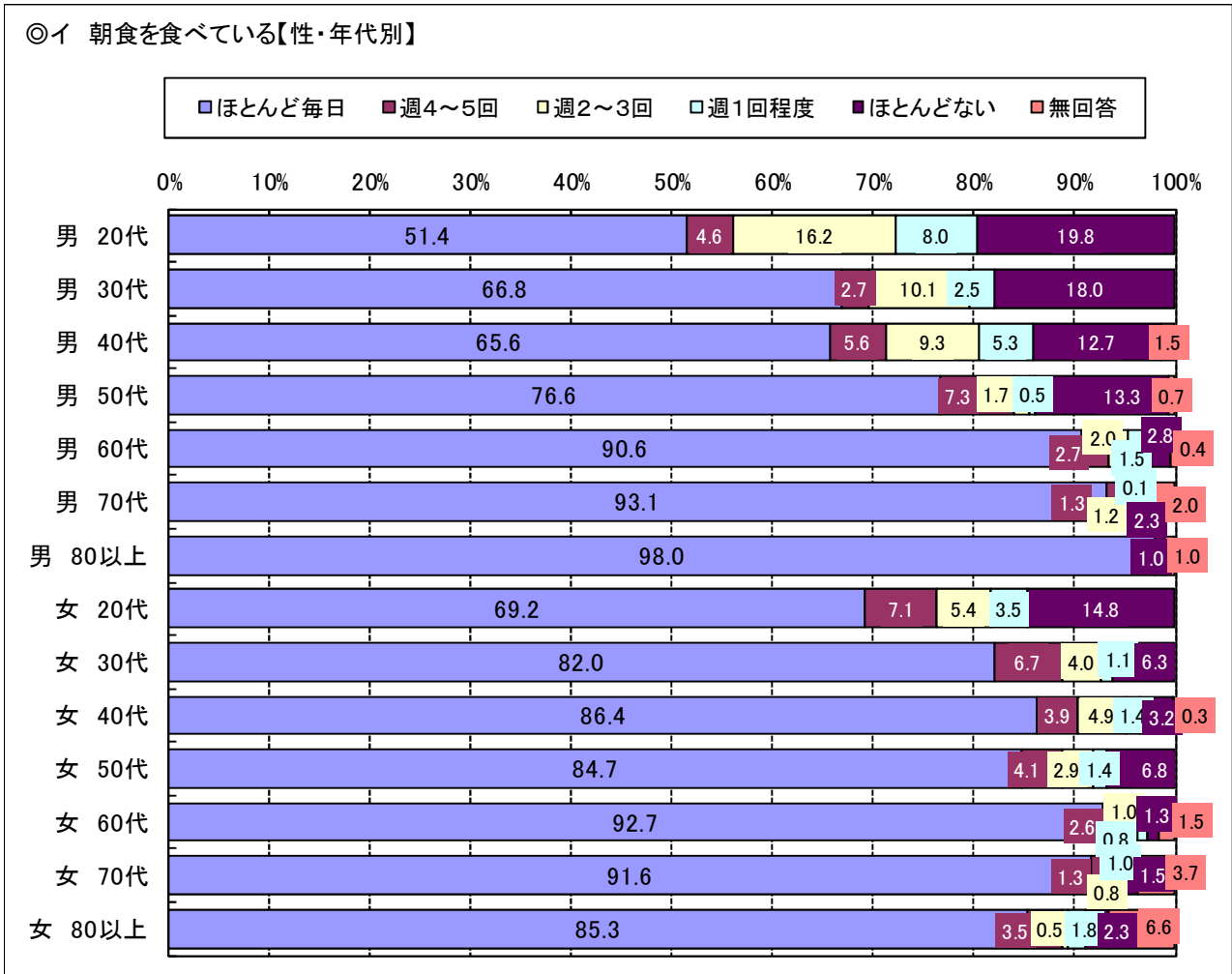
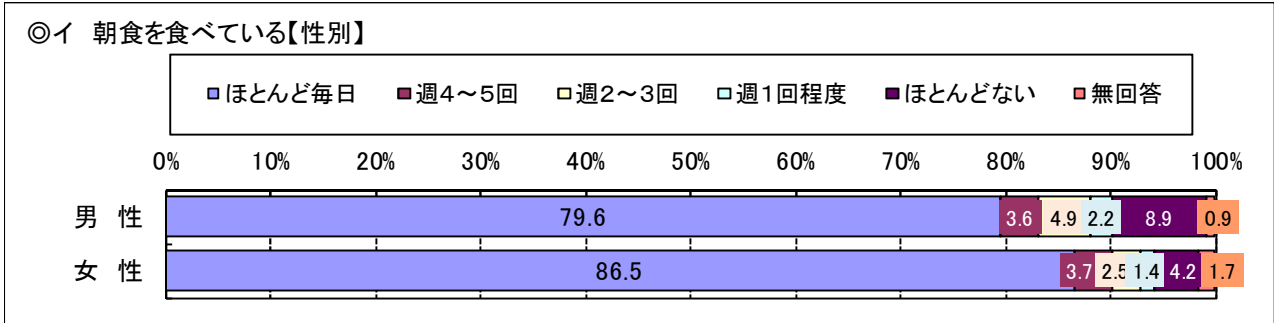




【性別、性・年代別】

●性別では、女性の方が「ほとんど毎日」が高くなっている。

●性・年代別では、男性の60代以上と女性の40代以上が全県(83.5%)より「ほとんど毎日」が高くなっている。

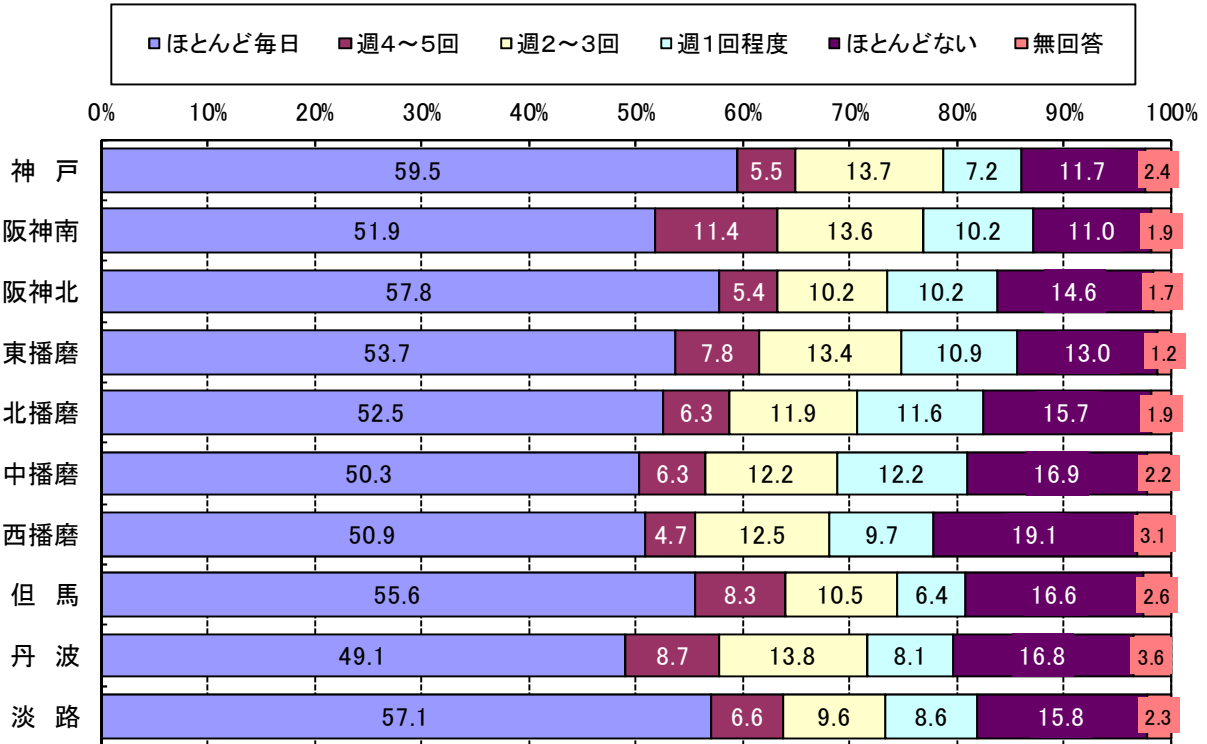


〔食料品の買い物や調理、後片付けをしている〕

【地域別】

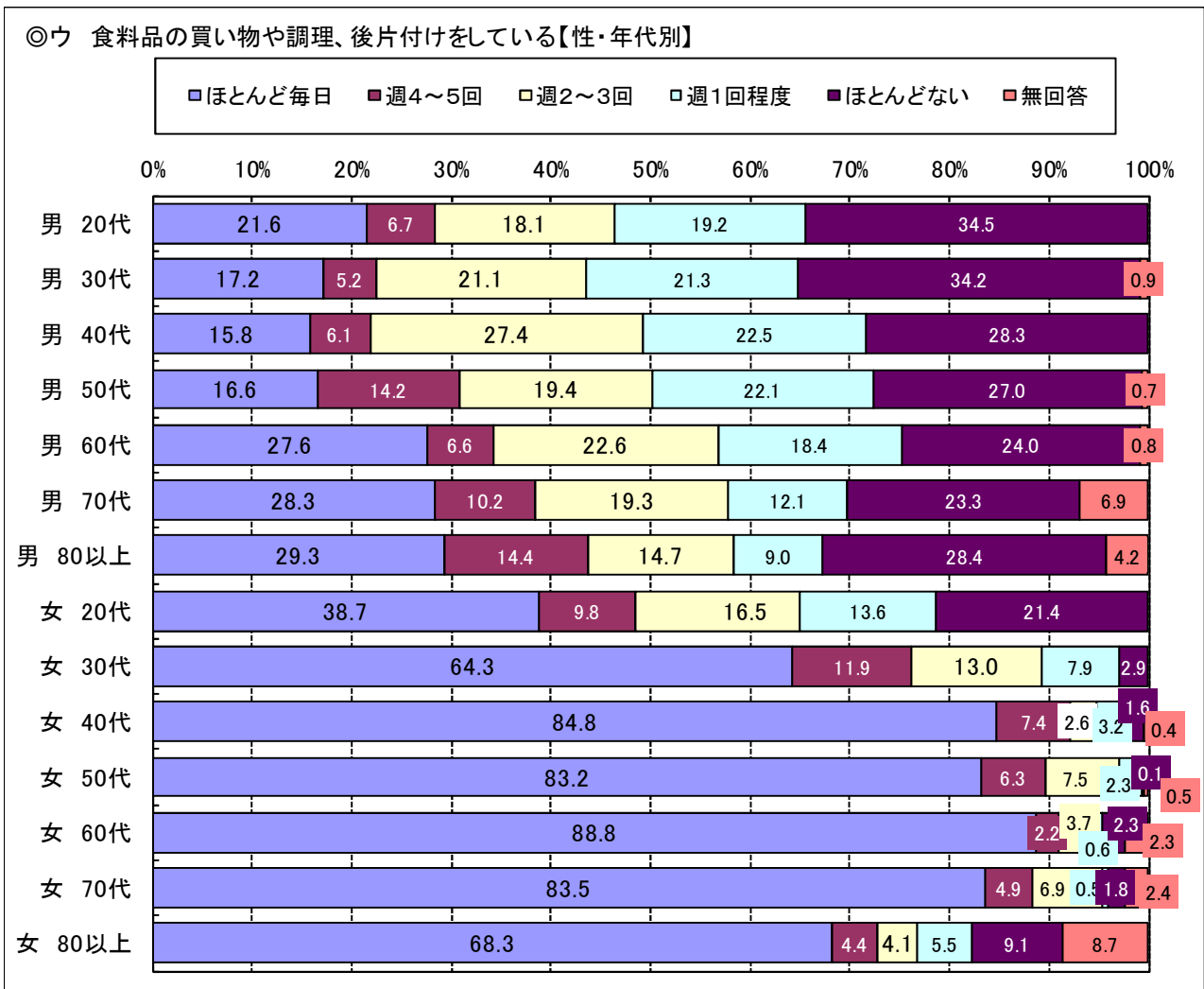
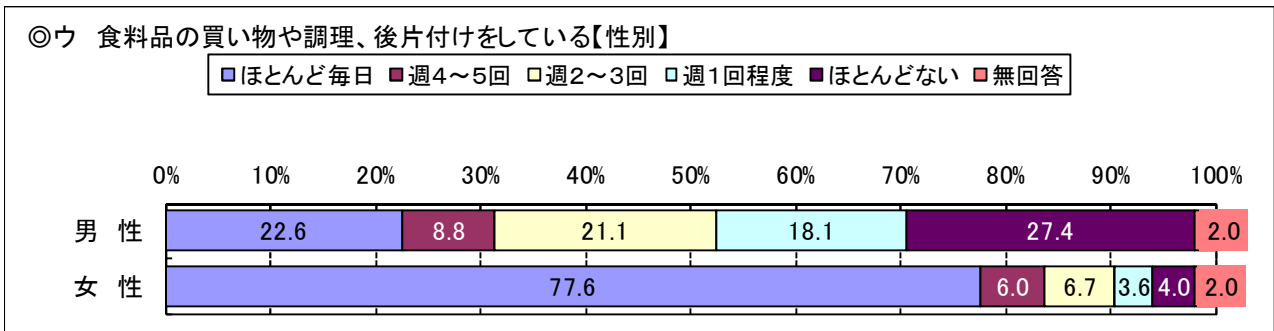
地域別では、神戸、阪神北、但馬、淡路が、全県(55.0%)より「ほとんど毎日」が高くなっている。

◎ウ 食料品の買い物や調理、後片付けをしている【地域別】



【性別、性・年代別】

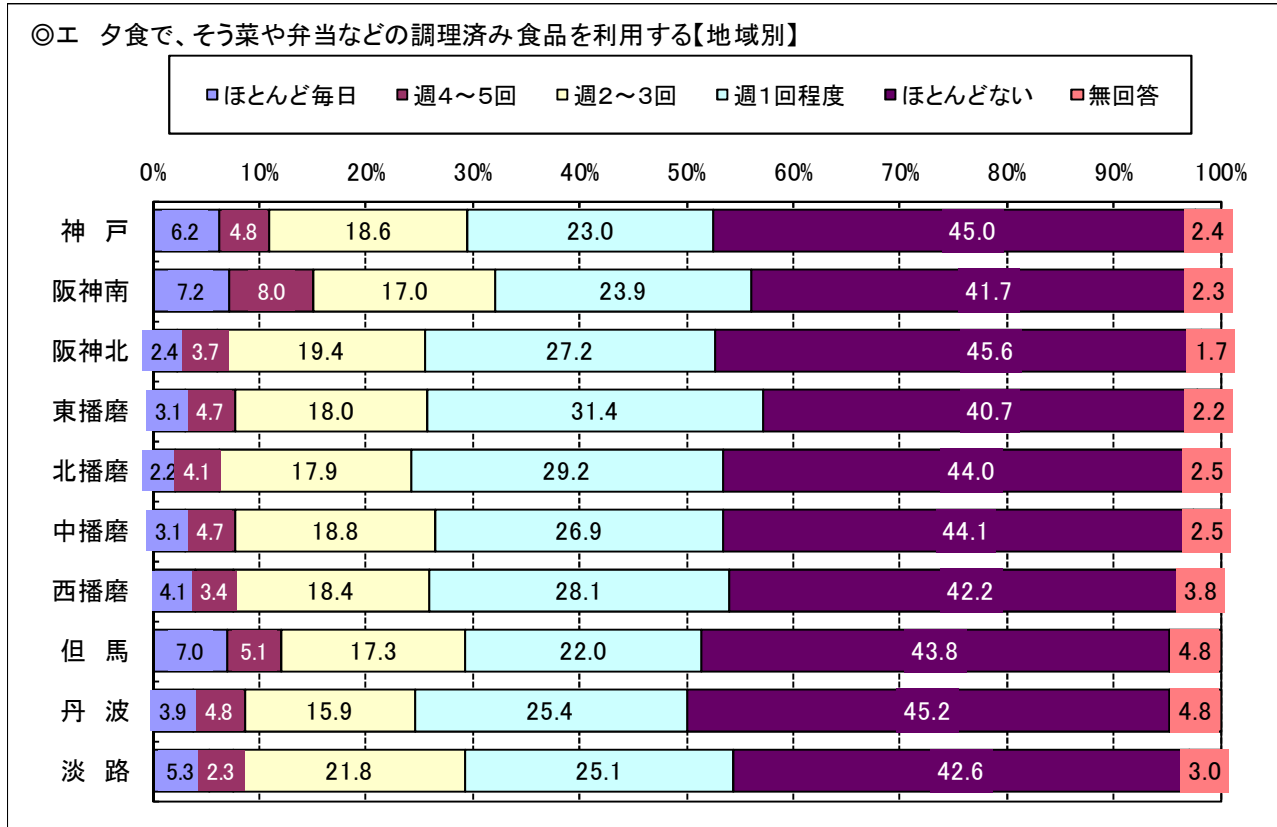
- 性別では、食料品の買い物や調理、後片付けは、女性が高くなっている。
- 性・年代別では、女性の30代以上が全県(55.0%)より「ほとんど毎日」が高くなっている。



〔夕食で、そう菜や弁当などの調理済み食品を利用する〕

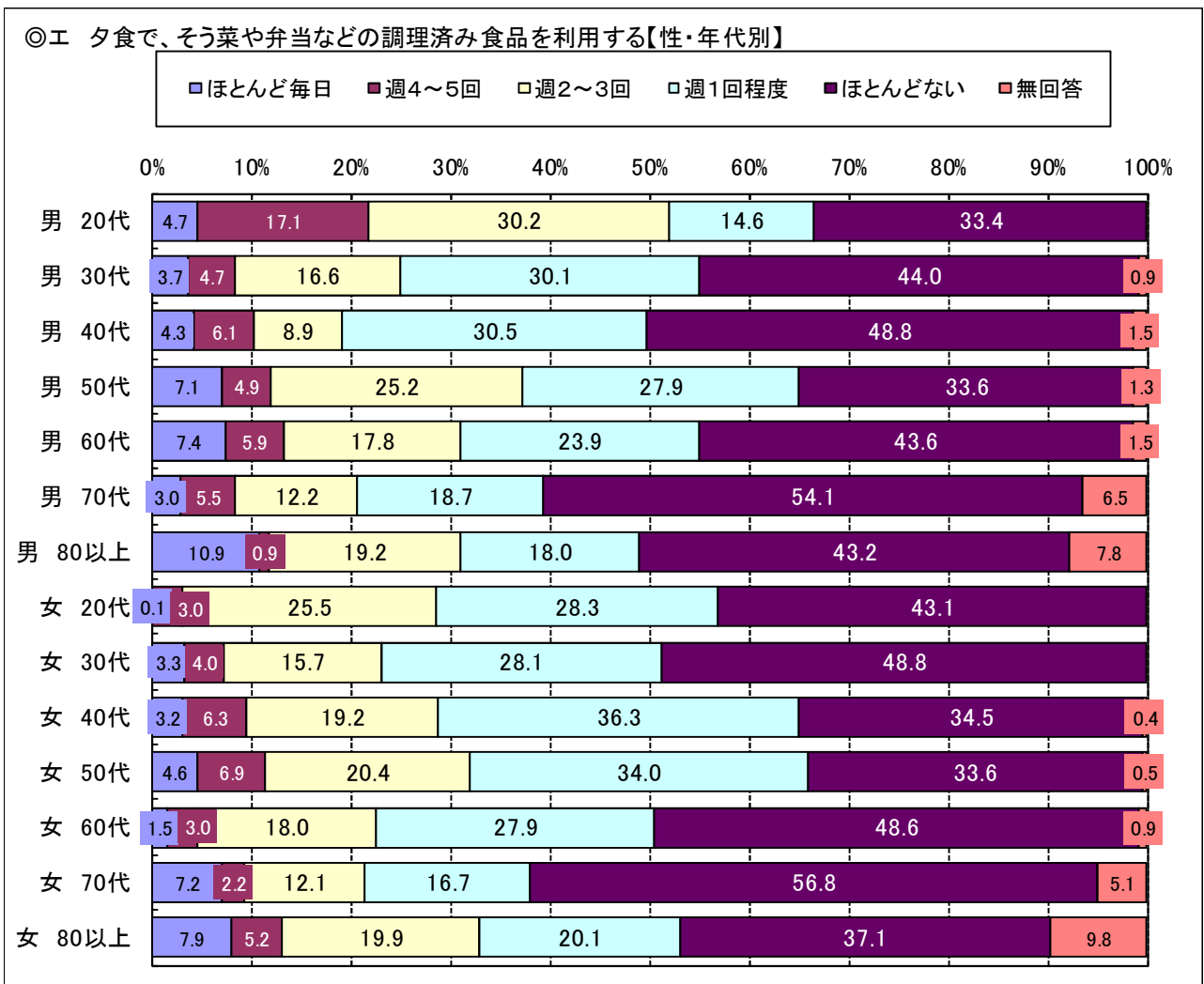
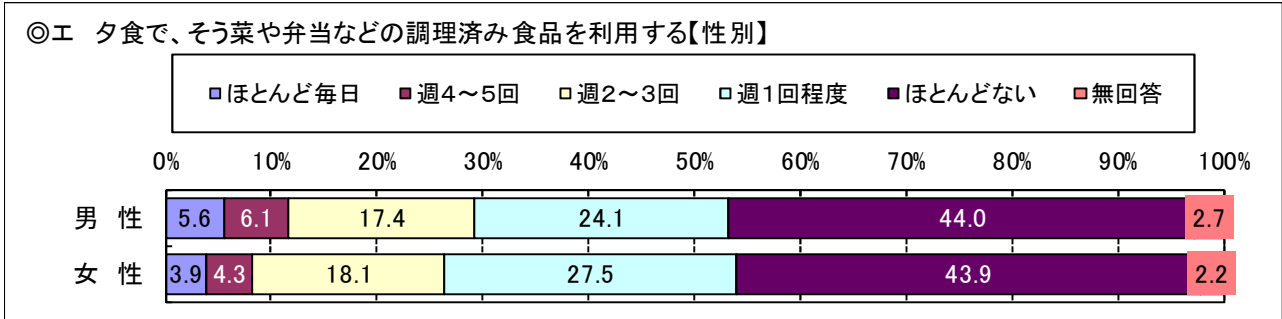
【地域別】

地域別では、神戸、阪神北、北播磨、中播磨、但馬、丹波が、全県(43.5%)より「ほとんどない」が高くなっている。



【性別、性・年代別】

- 性別では、「ほとんどない」は、男女間に大きな差は見られない。
- 性・年代別では、男性の30代、40代、60代、70代と女性の30代、60代、70代が全県(43.5%)より「ほとんどない」が高くなっている。



#### 問4 飲食店、そう菜店への希望

##### 問4

あなたは、飲食店やそう菜を販売するお店に望むことはありますか。次の中からあてはまるものを全て選んで番号に○をつけてください。

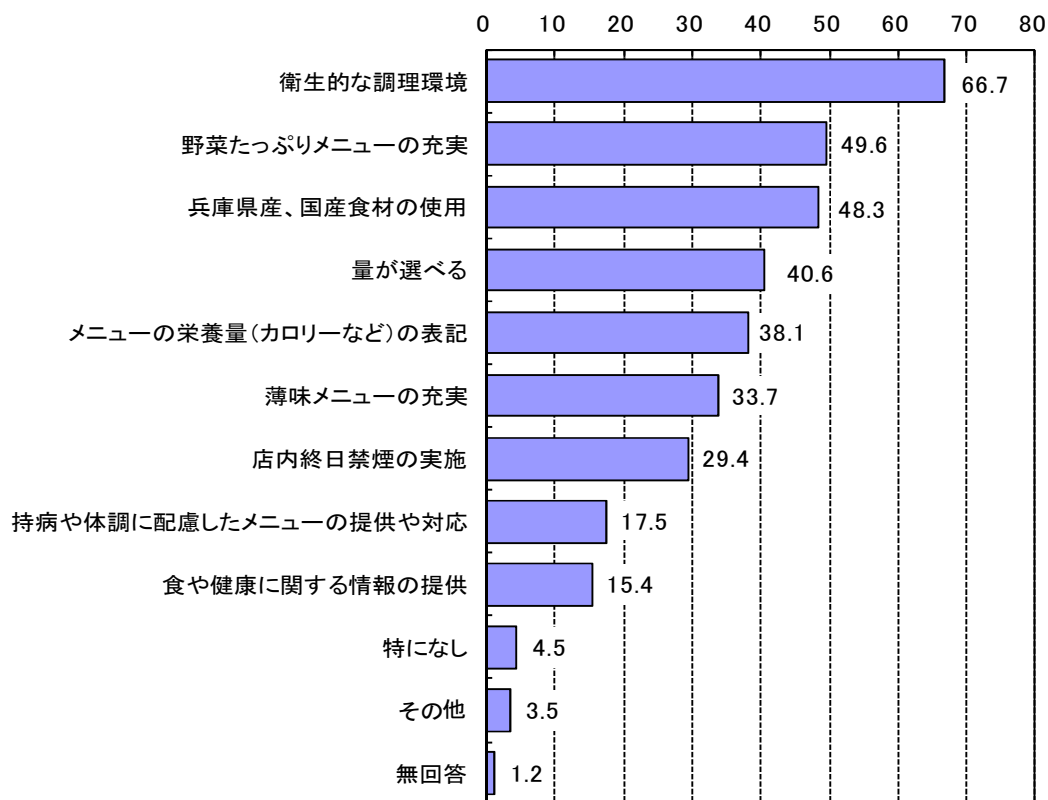
- 1 メニューの栄養量（カロリーなど）の表記
- 2 量が選べる
- 3 野菜たっぷりメニューの充実
- 4 薄味メニューの充実
- 5 兵庫県産、国産食材の使用
- 6 持病（糖尿病やアレルギーなど）や体調に配慮（軟らかさ、刻み方など）したメニューの提供や対応
- 7 食や健康に関する情報の提供
- 8 店内終日禁煙の実施
- 9 衛生的な調理環境
- 10 その他（ ）
- 11 特になし

##### 【全 県】

- 「衛生的な調理環境」が66.7%で最も高く、次に「野菜たっぷりメニューの充実」が49.6%となっており、続いて「兵庫県産、国産食材の使用」が48.3%となっている。

##### ○ 飲食店、そう菜店への希望

(%)



【地域別】

地域別では、全県で最も高い「衛生的な調理環境」は、全ての地域で最も高くなっている。

○ 飲食店、そう菜店への希望【地域別】

								最大値	衛生的な調理環境	最小値		(%)
	メニューの栄養量（カロリーなど）の表記	量が選べる	野菜たっぷりメニューの充実	薄味メニューの充実	兵庫県産、国産食材の使用	持病や体調に配慮したメニューの提供や対応	食や健康に関する情報の提供	店内終日禁煙の実施	衛生的な調理環境	その他	特になし	無回答
全 県	38.1	40.6	49.6	33.7	48.3	17.5	15.4	29.4	66.7	3.5	4.5	1.2
地域別												
神 戸	35.7	41.6	55.3	34.4	51.2	16.2	14.8	34.4	66.7	4.8	4.8	1.4
阪神南	41.7	37.5	50.4	37.5	44.3	19.7	15.9	33.0	72.0	4.2	3.0	0.8
阪神北	41.2	41.2	46.9	31.0	42.9	18.0	19.0	28.6	68.4	3.1	3.4	0.7
東播磨	39.8	41.6	52.2	34.8	47.8	14.0	13.7	23.3	64.0	1.2	2.8	1.6
北播磨	33.0	43.4	42.8	34.3	54.4	18.9	13.5	26.4	63.2	2.5	5.0	2.2
中播磨	39.7	43.1	43.1	30.3	52.5	19.1	14.7	29.1	66.9	2.8	5.0	0.9
西播磨	34.4	38.8	43.4	31.3	42.8	16.9	15.0	21.6	59.7	3.1	10.3	1.6
但 馬	33.9	37.4	48.2	32.3	51.4	21.7	14.4	22.7	62.9	3.5	6.1	2.2
丹 波	31.7	38.0	41.9	30.5	52.7	17.1	15.3	22.8	62.6	3.3	6.3	1.8
淡 路	34.0	39.9	42.9	30.4	50.5	18.2	17.8	19.5	61.4	1.7	7.3	0.0
地域間の差	9.9	6.0	13.4	7.2	11.6	7.8	5.5	14.9	12.3	3.6	7.5	2.2

【性別、性・年代別】

●男女別では、男女とも「衛生的な調理環境」が最も高く、次に男性は全県と同じく「野菜たっぷりメニューの充実」が高く、女性は「兵庫県産、国産食材の使用」が高くなっている。

●性・年代別では、女性の80歳以上以外は「衛生的な調理環境」が最も高く、女性の80歳以上は「兵庫県産、国産食材の使用」が最も高くなっている。

○ 飲食店、そう菜店への希望【性別】

	メニューの栄養量（カロリーなど）の表記	量が選べる	野菜たっぷりメニューの充実	薄味メニューの充実	兵庫県産、国産食材の使用	持病や体調に配慮したメニューの提供や対応	食や健康に関する情報の提供	店内終日禁煙の実施	衛生的な調理環境	その他	特になし	無回答
全 県	38.1	40.6	49.6	33.7	48.3	17.5	15.4	29.4	66.7	3.5	4.5	1.2
性別												
男 性	34.2	39.9	42.9	25.8	39.3	17.1	14.1	27.2	60.6	3.0	7.2	1.0
女 性	41.3	41.7	54.9	39.5	55.1	18.0	16.6	31.6	71.7	3.7	2.6	1.2
性別間の差	7.1	1.8	12.0	13.7	15.8	0.9	2.5	4.4	11.1	0.7	4.6	0.2

○ 飲食店、そう菜店への希望【性・年代別】

	メニューの栄養量（カロリーなど）の表記	量が選べる	野菜たっぷりメニューの充実	薄味メニューの充実	兵庫県産、国産食材の使用	持病や体調に配慮したメニューの提供や対応	食や健康に関する情報の提供	店内終日禁煙の実施	衛生的な調理環境	その他	特になし	無回答
全 県	38.1	40.6	49.6	33.7	48.3	17.5	15.4	29.4	66.7	3.5	4.5	1.2
性・年代別												
男 性												
20代	30.9	50.9	38.3	20.0	31.2	11.8	11.7	23.9	58.9	3.8	9.7	0.0
30代	24.6	41.3	46.2	20.1	41.5	13.7	10.8	25.0	63.4	3.8	6.5	0.0
40代	34.4	43.9	41.5	17.8	29.8	10.0	7.3	29.4	64.2	4.0	6.9	0.0
50代	34.4	36.6	48.7	24.4	32.0	16.3	12.3	23.6	60.2	1.3	5.9	0.6
60代	34.9	38.8	41.3	29.4	45.6	20.9	15.1	26.0	61.2	1.3	6.5	0.5
70代	41.6	39.8	43.1	30.7	45.4	21.7	21.4	31.3	60.6	3.6	5.5	2.6
80歳以上	30.5	27.0	38.3	37.0	44.5	20.7	18.8	30.2	48.8	5.6	16.4	3.4
年代間の差	17.0	23.9	10.4	19.2	15.8	11.7	14.1	7.7	15.4	4.3	10.9	3.4
女 性												
20代	51.4	40.9	67.8	28.2	38.7	9.0	19.0	34.1	71.6	2.4	0.4	0.0
30代	37.0	42.1	62.5	32.1	51.4	8.8	18.4	35.7	78.2	5.2	1.7	0.0
40代	40.5	41.0	64.1	37.6	55.2	18.7	18.9	36.0	78.2	5.4	1.5	0.0
50代	44.5	48.4	55.1	30.7	51.5	18.7	14.5	37.6	80.4	3.8	0.4	0.2
60代	45.7	40.1	53.2	43.5	61.7	23.4	10.9	25.6	71.2	3.2	3.6	2.0
70代	39.7	45.5	46.9	52.9	60.1	19.5	21.7	26.8	66.3	2.4	2.7	0.4
80歳以上	29.8	32.0	39.7	43.1	54.4	19.3	17.3	29.7	51.3	3.4	7.2	6.1
年代間の差	21.6	16.4	28.1	24.7	23.0	14.6	10.8	12.0	29.1	3.0	6.8	6.1



問5 継続的に行っている運動の状況

問5

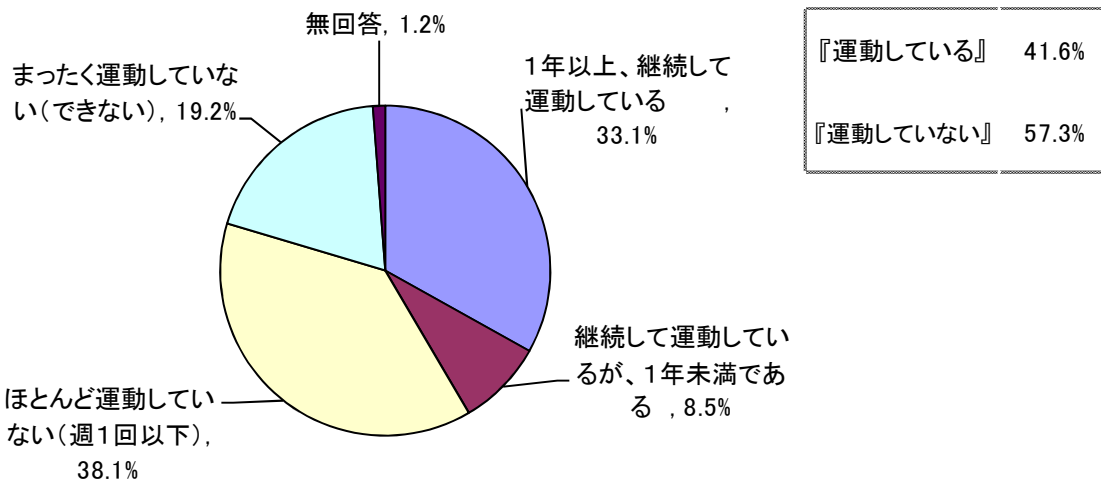
あなたは、ウォーキングや健康体操、スポーツなどの運動（1回30分以上、週2回以上）を継続して行っていますか。次の中からあてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

- 1 1年以上、継続して運動している
- 2 継続して運動しているが、1年未満である
- 3 ほとんど運動していない（週1回以下）
- 4 まったく運動していない（できない）

【全 県】

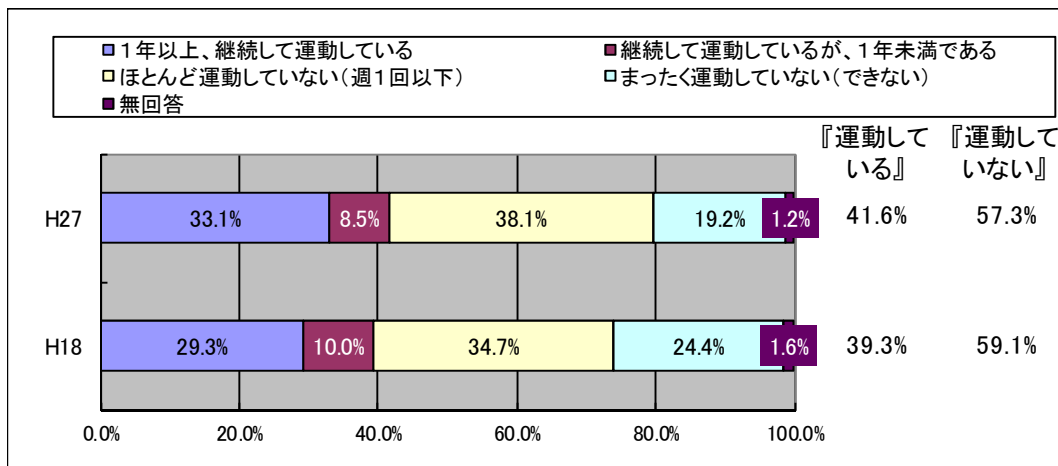
- 「1年以上、継続して運動している」と「継続して運動しているが、1年未満である」を合わせた『運動している』が41.6%で、「ほとんど運動していない（週1回以下）」と「まったく運動していない（できない）」を合わせた『運動していない』が57.3%となっている。

○ 継続的に行っている運動の状況



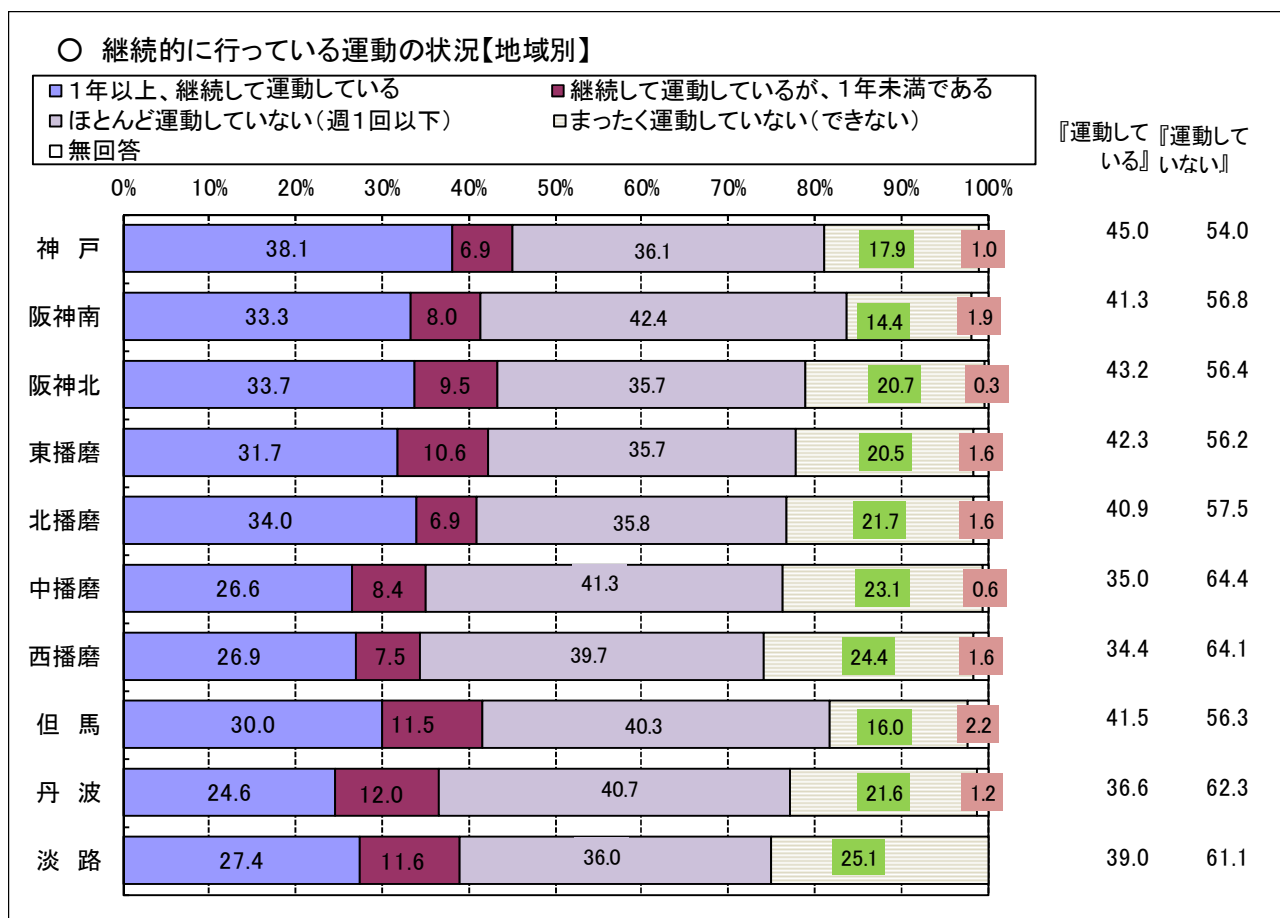
【経年比較】

『運動している』はH18年より2.3ポイント増加している。



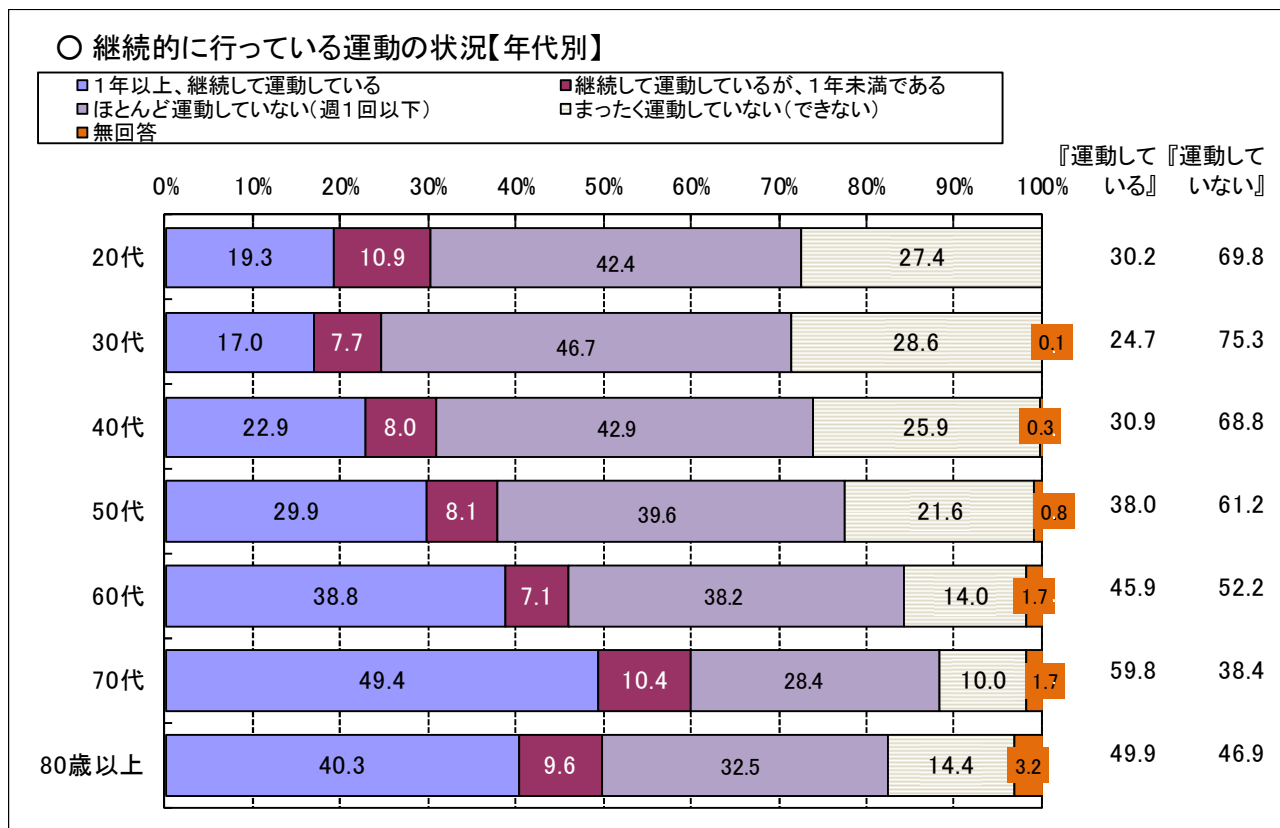
【地域別】

地域別では、神戸、阪神北、東播磨が、全県(41.6%)より『運動している』が高くなっている。

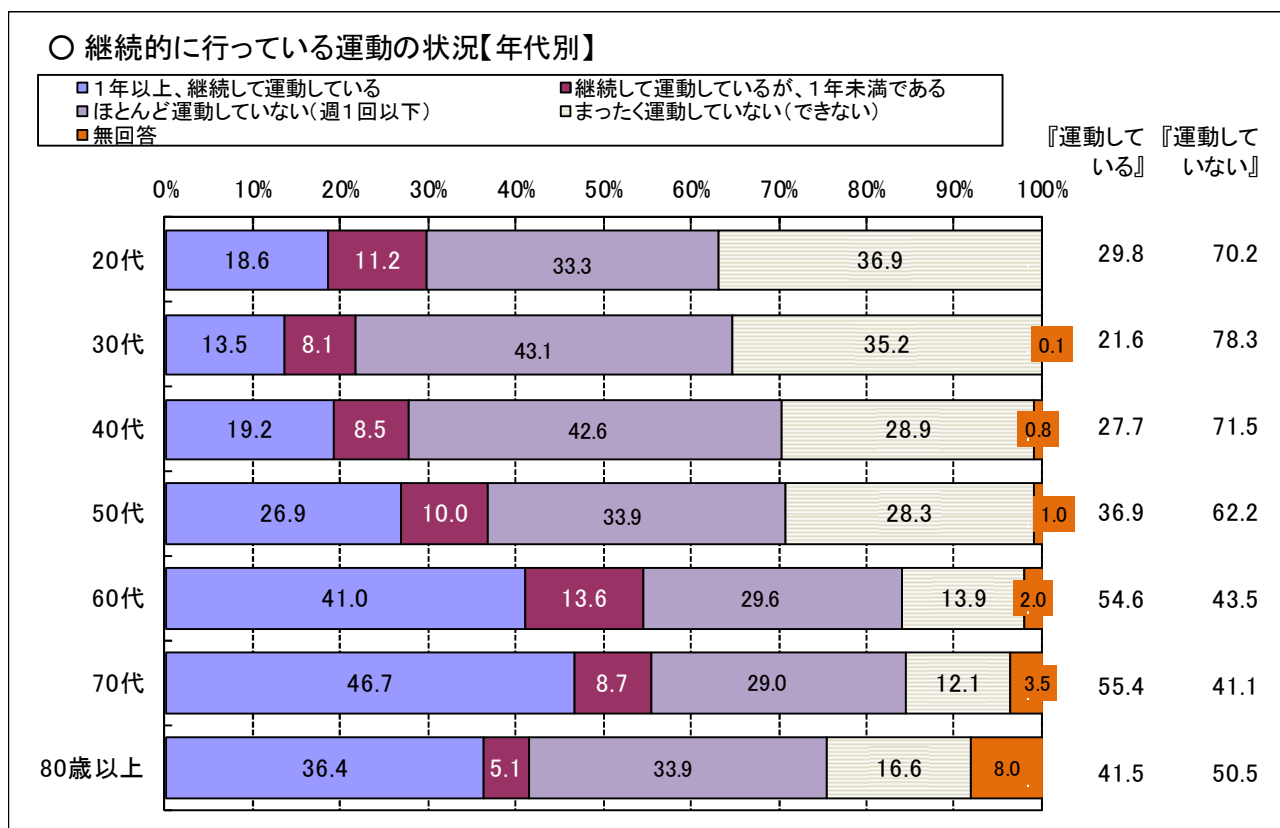


【年代別】

年代別では、60代以上で全県(41.6%)より『運動している』が高くなっている。



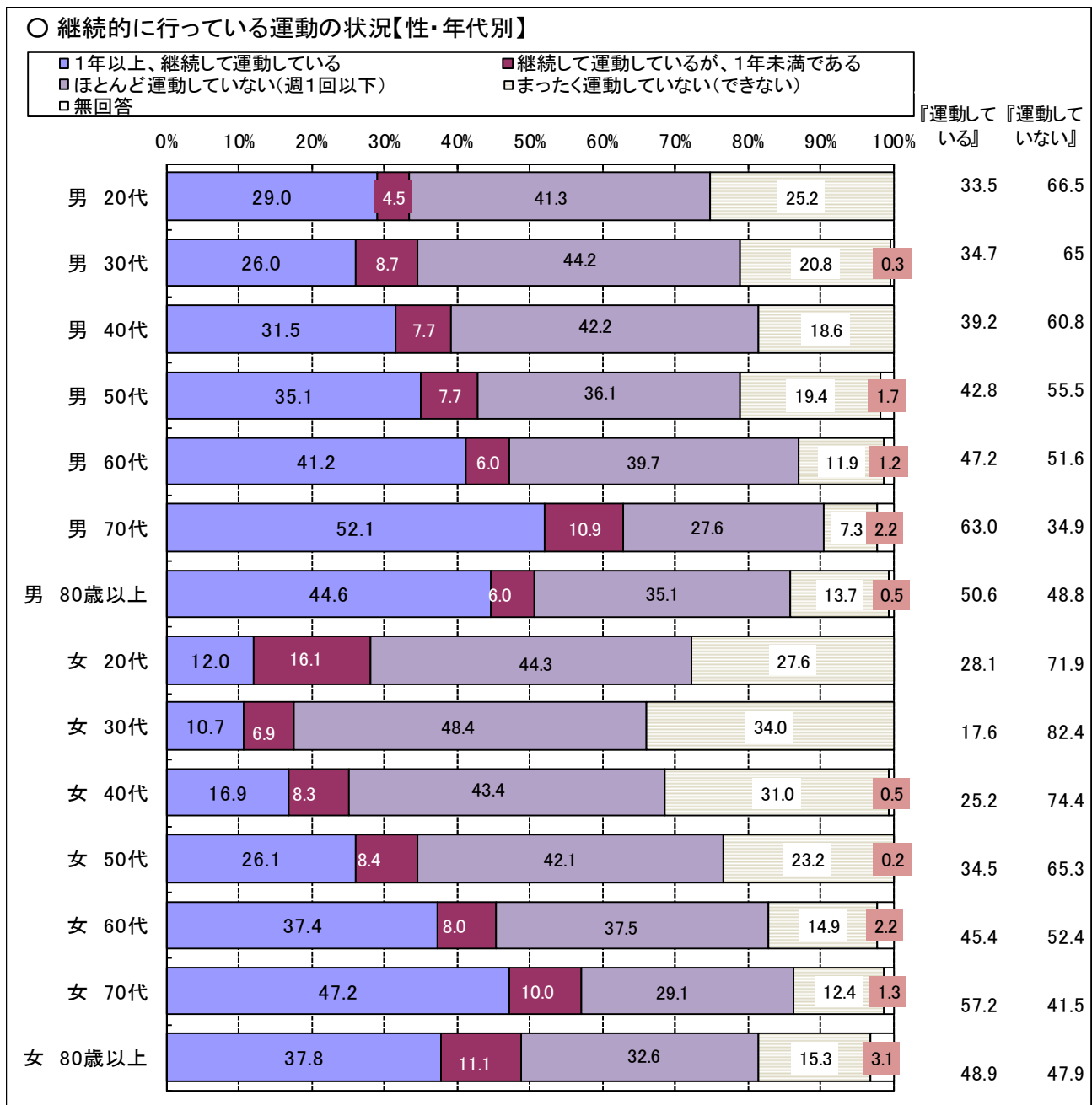
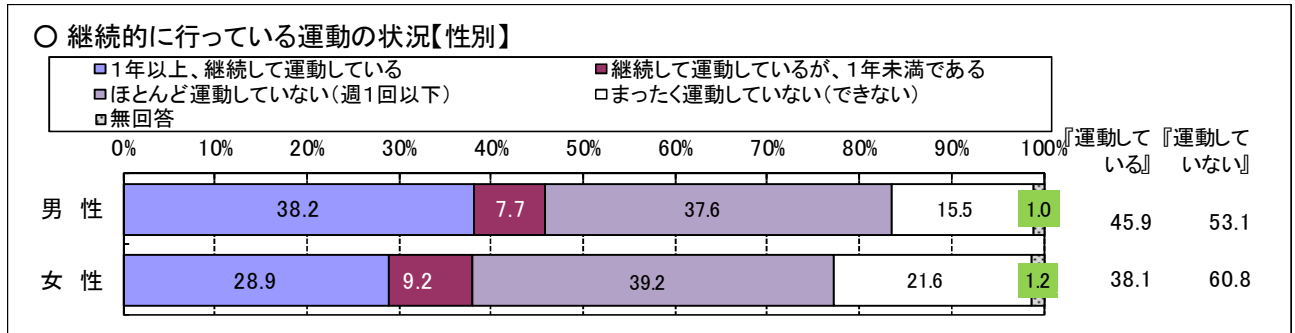
[H18 調査結果]



【性別、性・年代別】

●性別では、男性の方が『運動している』が高くなっている。

●性・年代別では、男性の50代以上と女性の60代以上が全県(41.6%)より『運動している』が高くなっている。



問6 喫煙の状況

問6

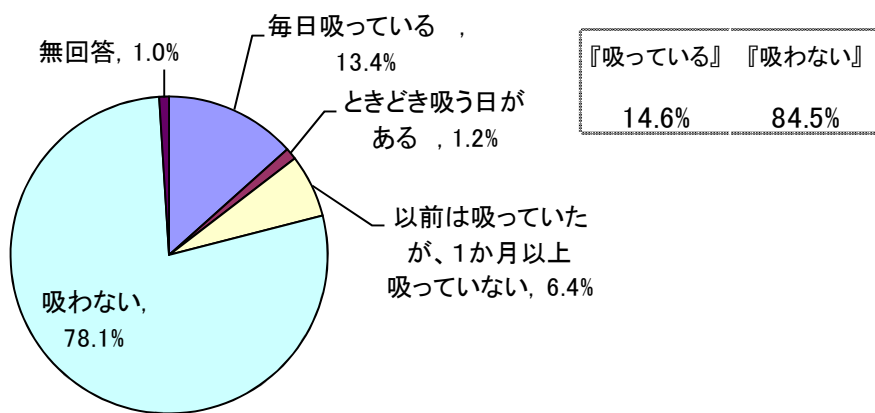
あなたは、たばこを吸いますか。次の中からあてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

- 1 毎日吸っている
- 2 ときどき吸う日がある
- 3 以前は吸っていたが、1か月以上吸っていない
- 4 吸わない

【全 県】

- 「吸わない」と「以前は吸っていたが、1か月以上吸っていない」を合わせた『吸わない』が84.5%で、「毎日吸っている」と「ときどき吸う日がある」を合わせた『吸っている』は14.6%となっている。

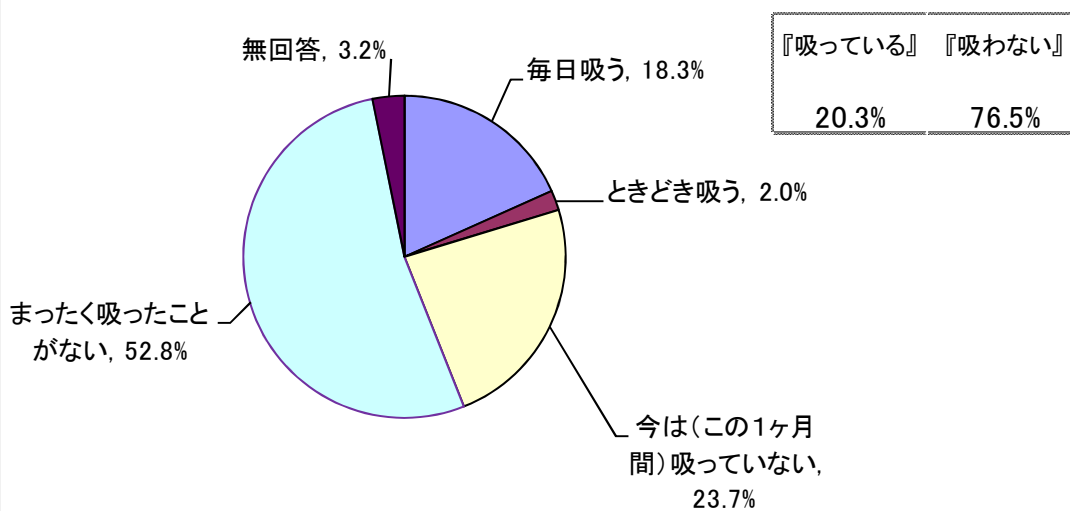
○ 喫煙の状況



【経年比較】

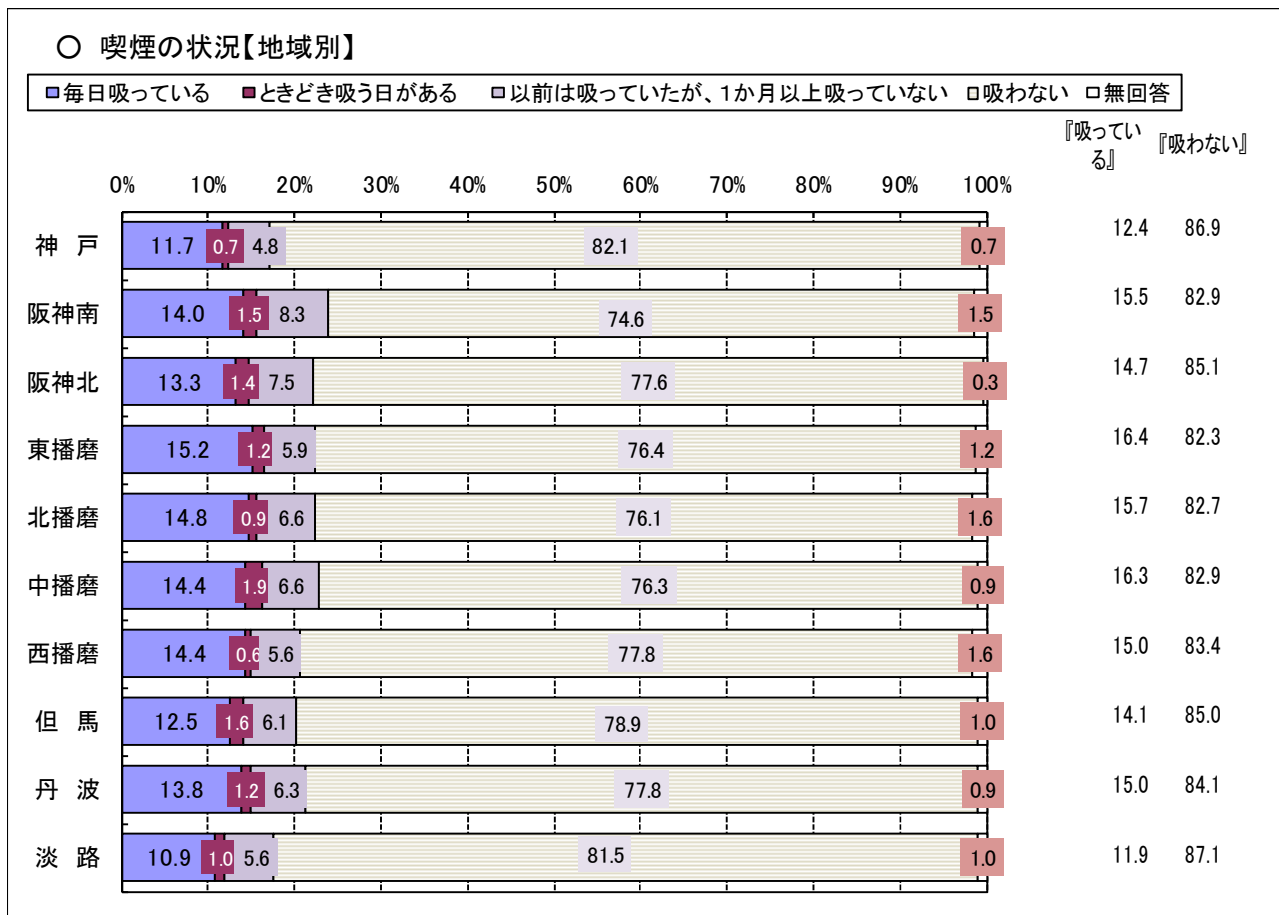
『吸っている』はH18年より5.7ポイント減少し、『吸わない』は8.0ポイント増加した。

○ H18 喫煙の状況



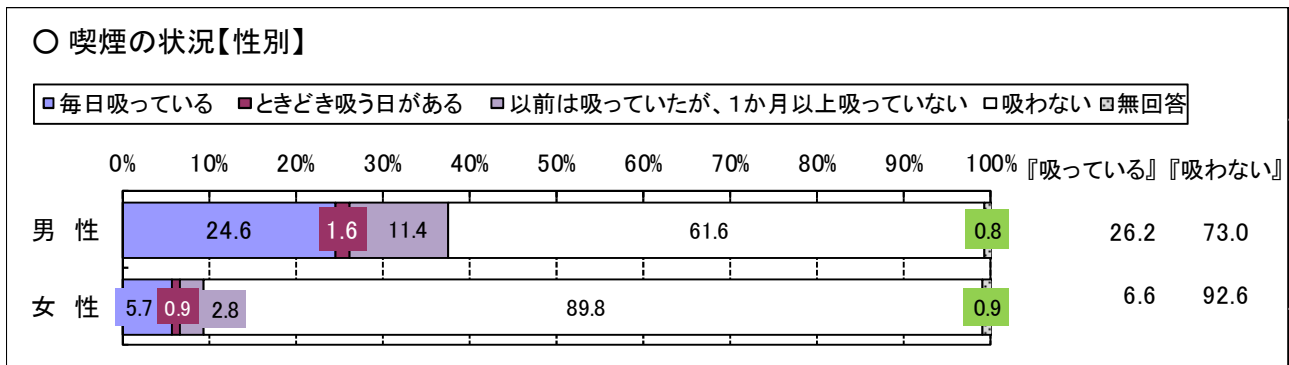
【地域別】

地域別では、神戸、阪神北、但馬、淡路が、全県(84.5%)より『吸わない』が高くなっている。

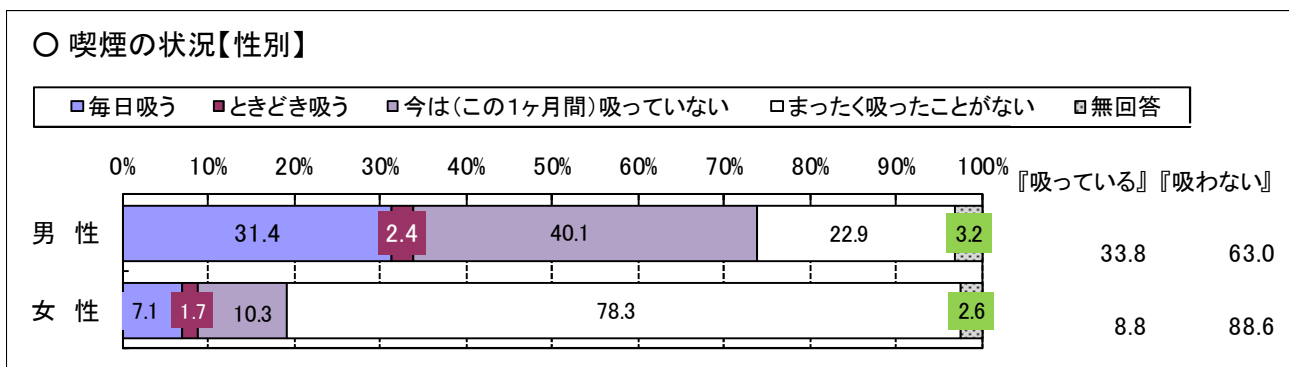


【性別】

性別では、女性の方が『吸わない』が高くなっている。

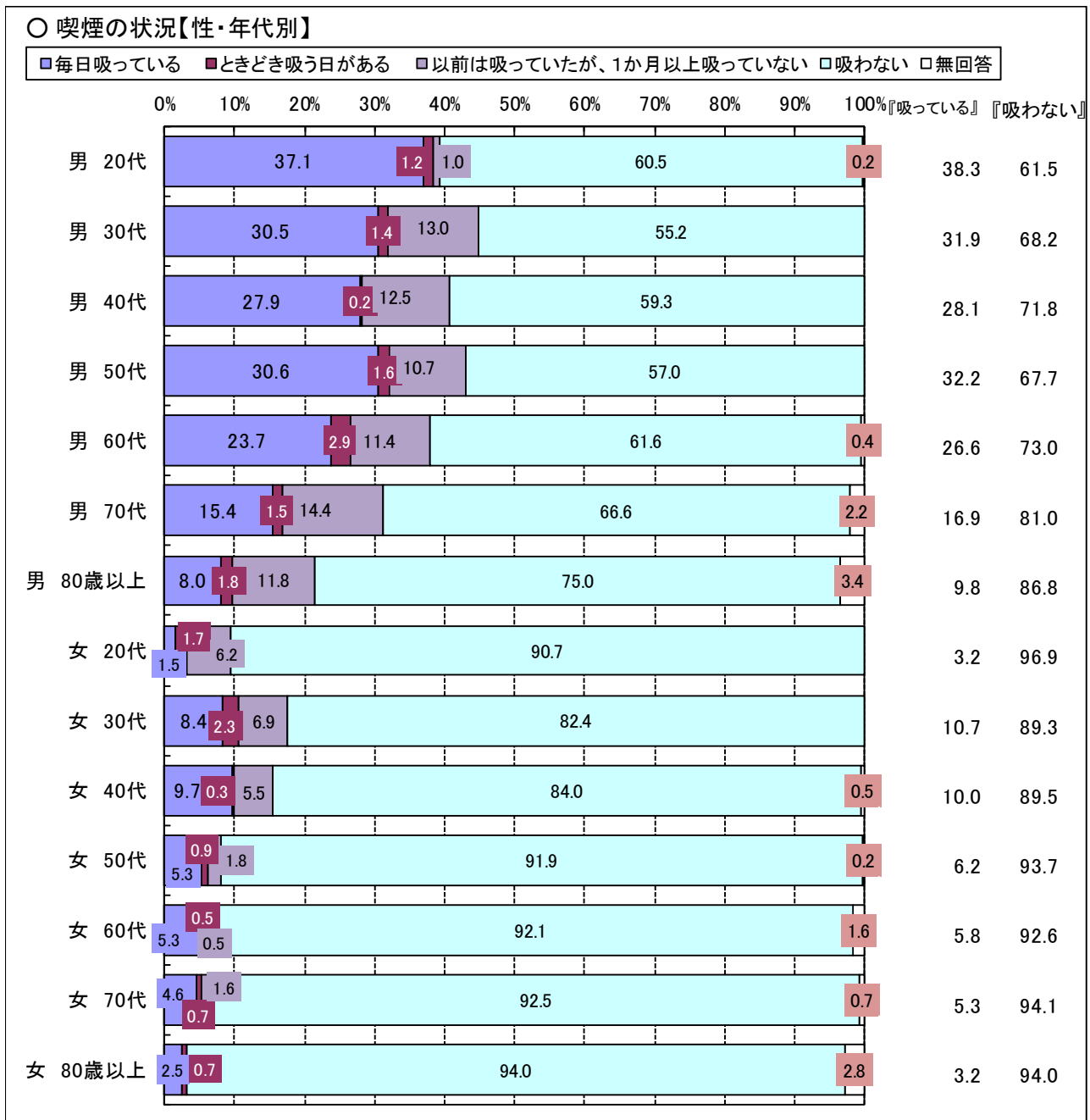


〔H18 調査結果〕



【性・年代別】

『吸っている』は、男性では20代、女性では30代が1位となっている。





## 問7 ストレスや睡眠の状況

### 問7

あなたは、この1か月間に、次のようなことがありましたか。それぞれの項目ごとに、あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

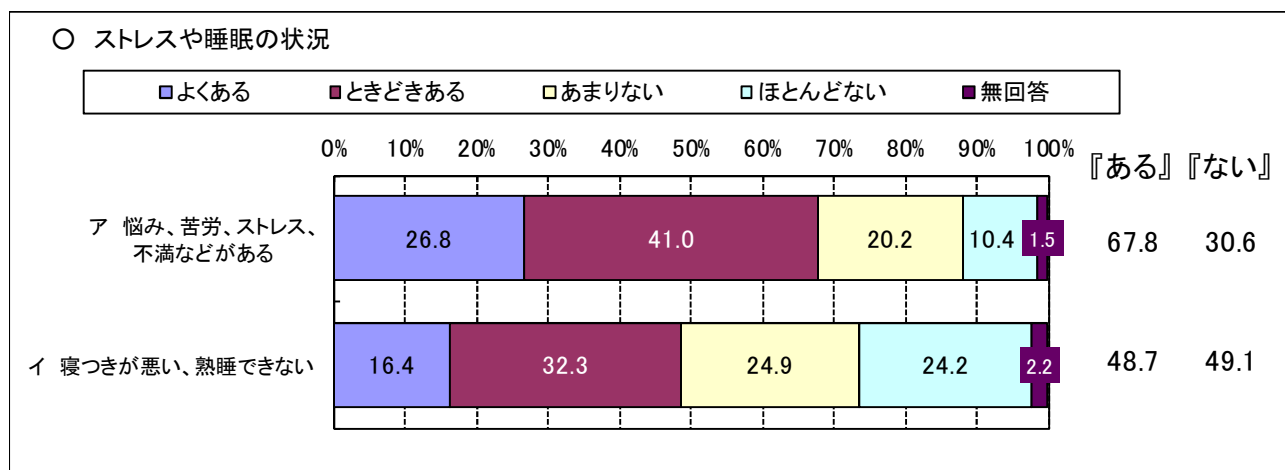
ア 悩み、苦勞、ストレス、不満などがある

イ 寝つきが悪い、熟睡できない

1 よくある    2 ときどきある    3 あまりない    4 ほとんどない

### 【全 県】

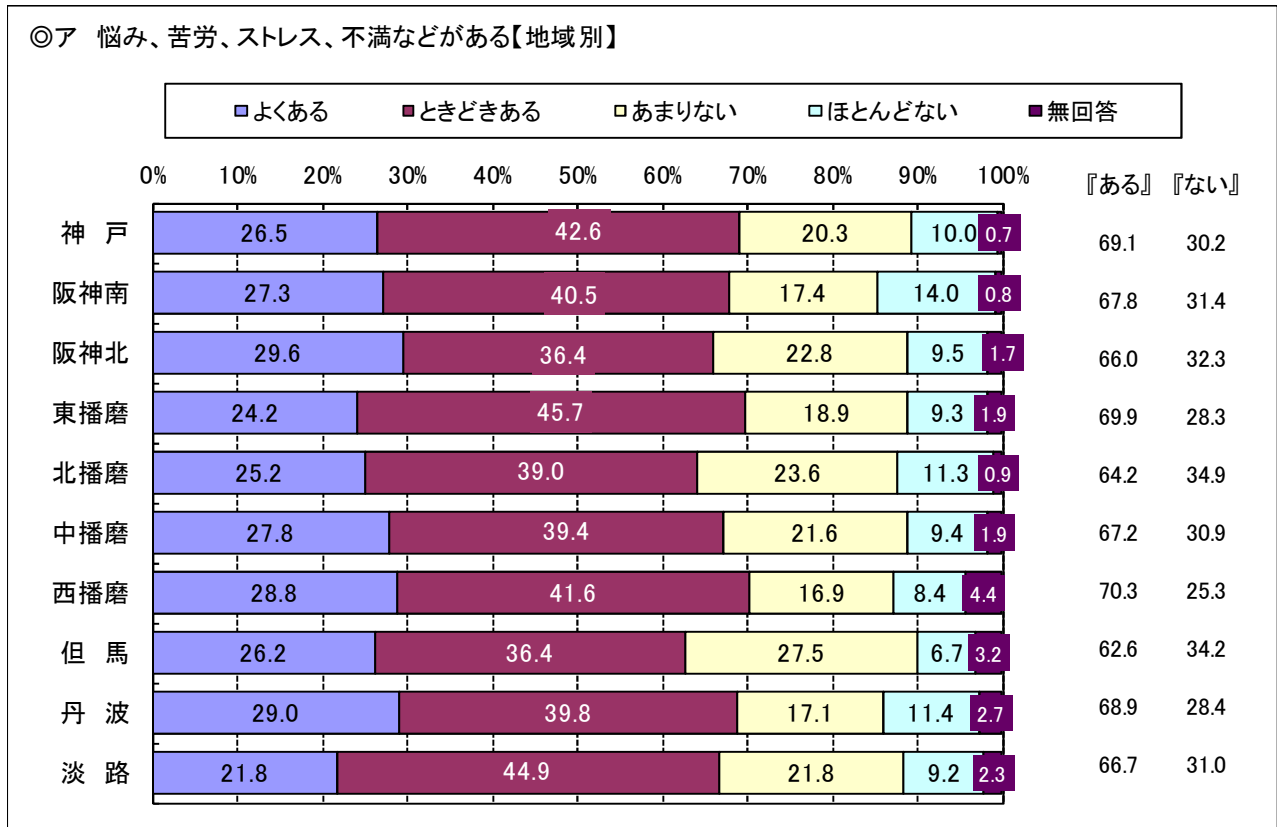
- 悩み、苦勞、ストレス、不満などが「よくある」と「ときどきある」を合わせた『ある』は 67.8%で、「あまりない」と「ほとんどない」を合わせた『ない』は 30.6%となっている。
- 寝つきが悪い、熟睡できないことが「よくある」と「ときどきある」を合わせた『ある』は 48.7%で、「あまりない」と「ほとんどない」を合わせた『ない』は 49.1%となっている。



〔ア 悩み、苦勞、ストレス、不満などがある〕

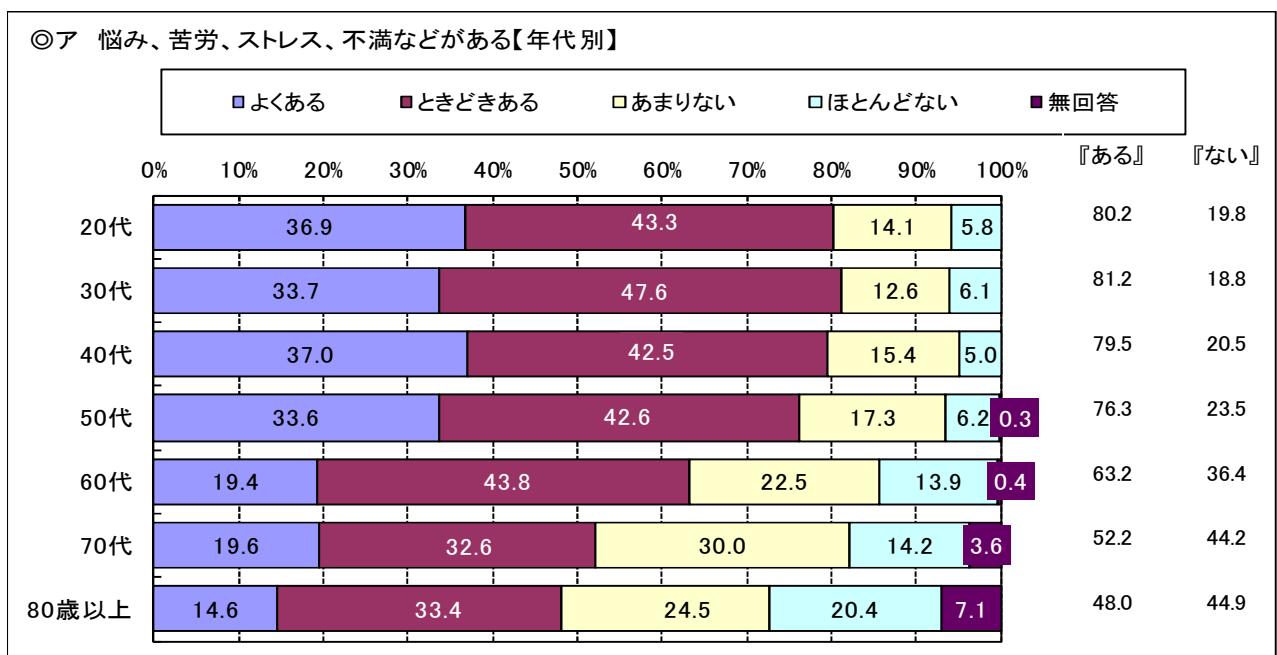
【地域別】

地域別では、神戸、阪神南、東播磨、西播磨、丹波が、全県(67.8%)より悩みやストレス等が『ある』が高くなっている。



【年代別】

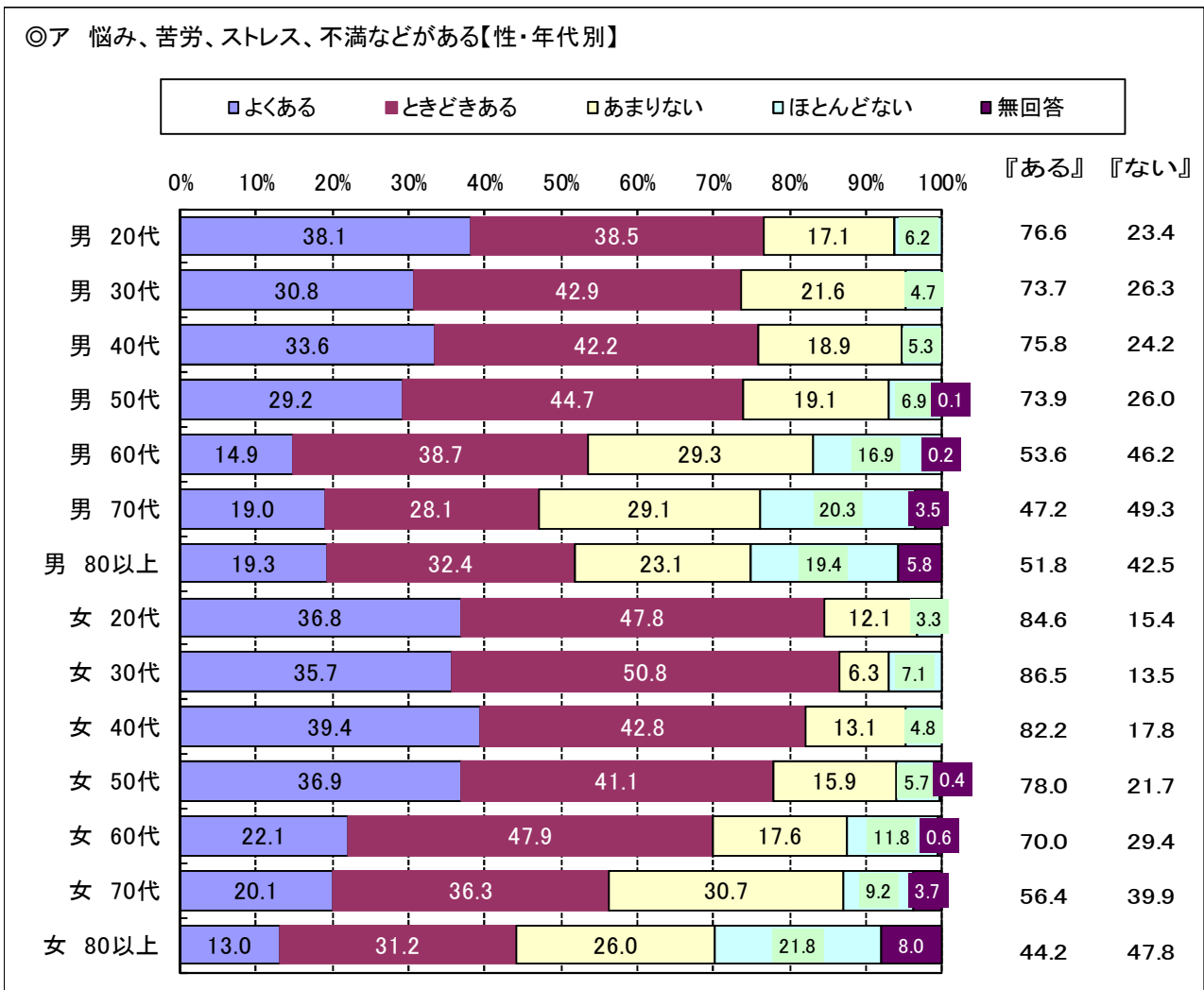
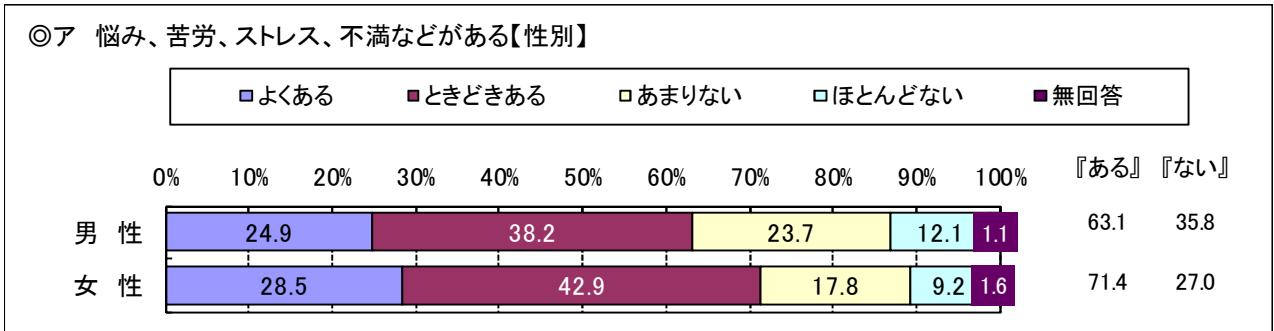
年代別では、悩み、苦勞、ストレス、不満などが『ある』は30代が最も高く、年代が高くなるにつれて減少している。



【性別、性・年代別】

●性別では、悩みやストレス等が『ある』は、女性が高くなっている。

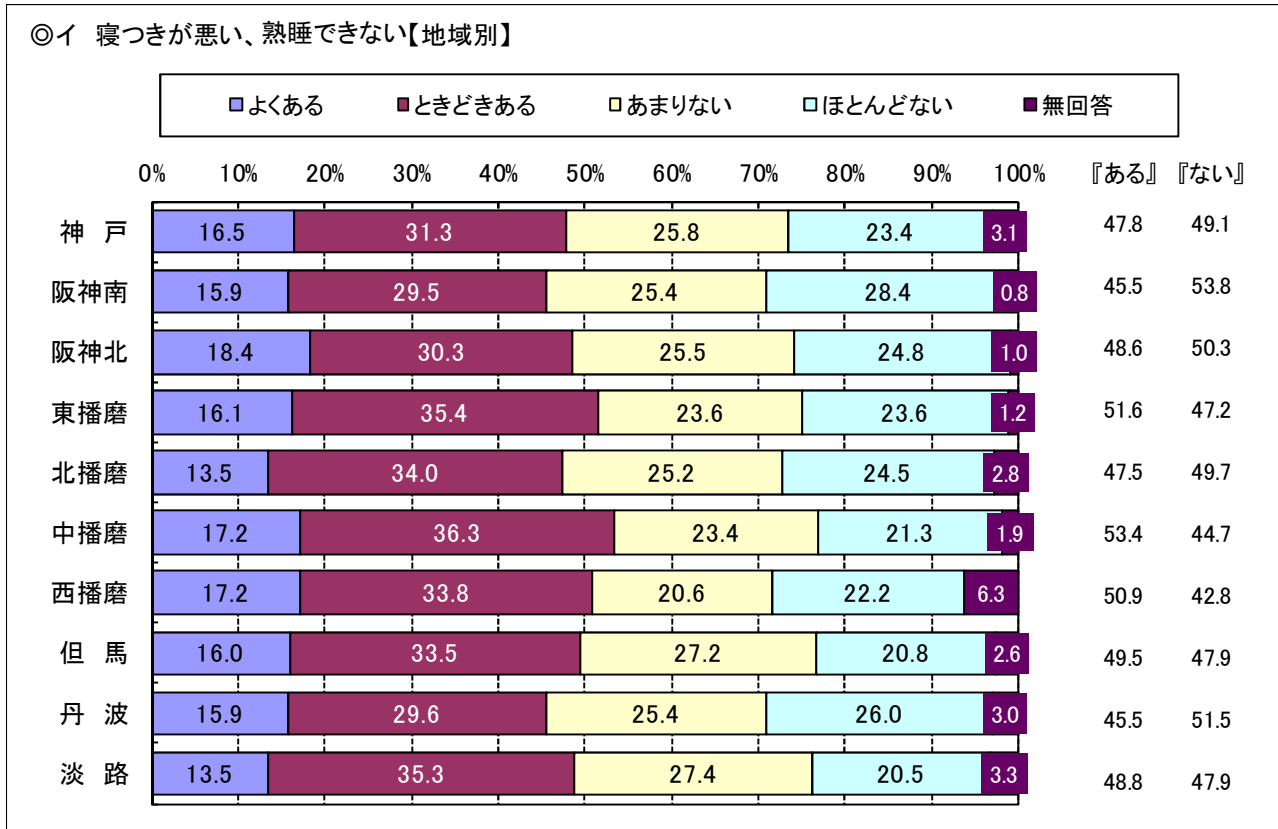
●性・年代別では、男性の20代から50代と女性の20代から60代が全県(67.8%)より悩みやストレス等が『ある』が高くなっている。



〔イ 寝つきが悪い、熟睡できない〕

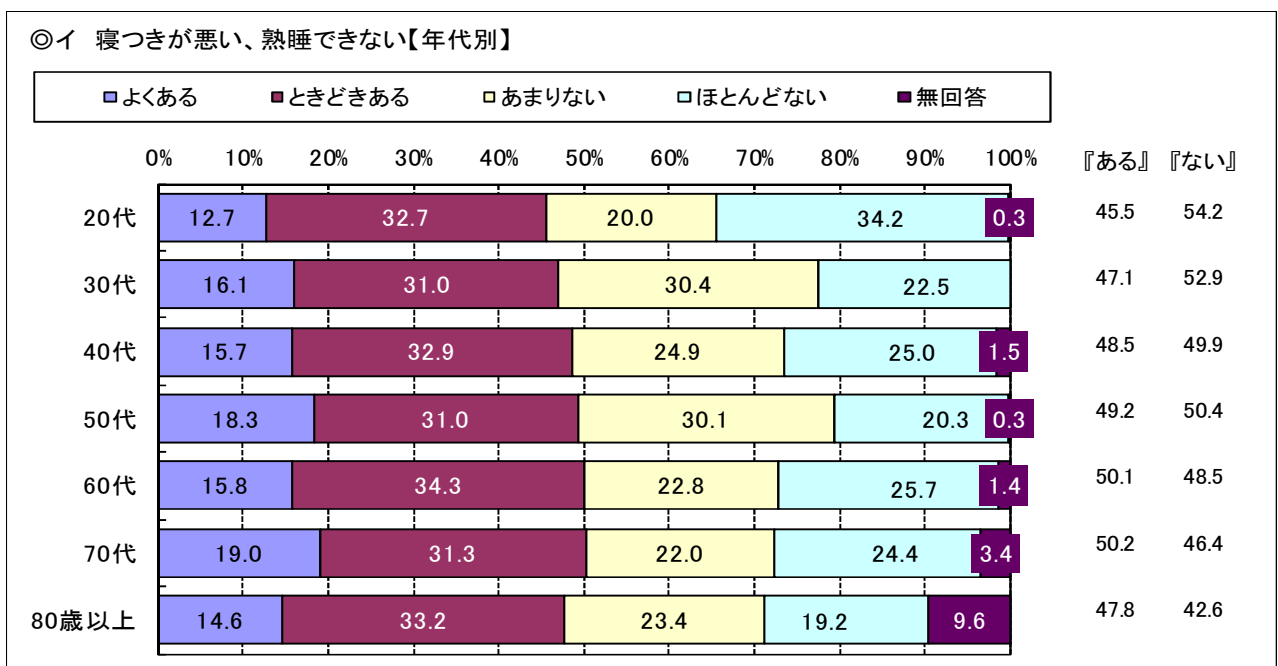
【地域別】

地域別では、東播磨、中播磨、西播磨、但馬、淡路が、全県(48.7%)より寝つきが悪い等が『ある』が高くなっている。



【年代別】

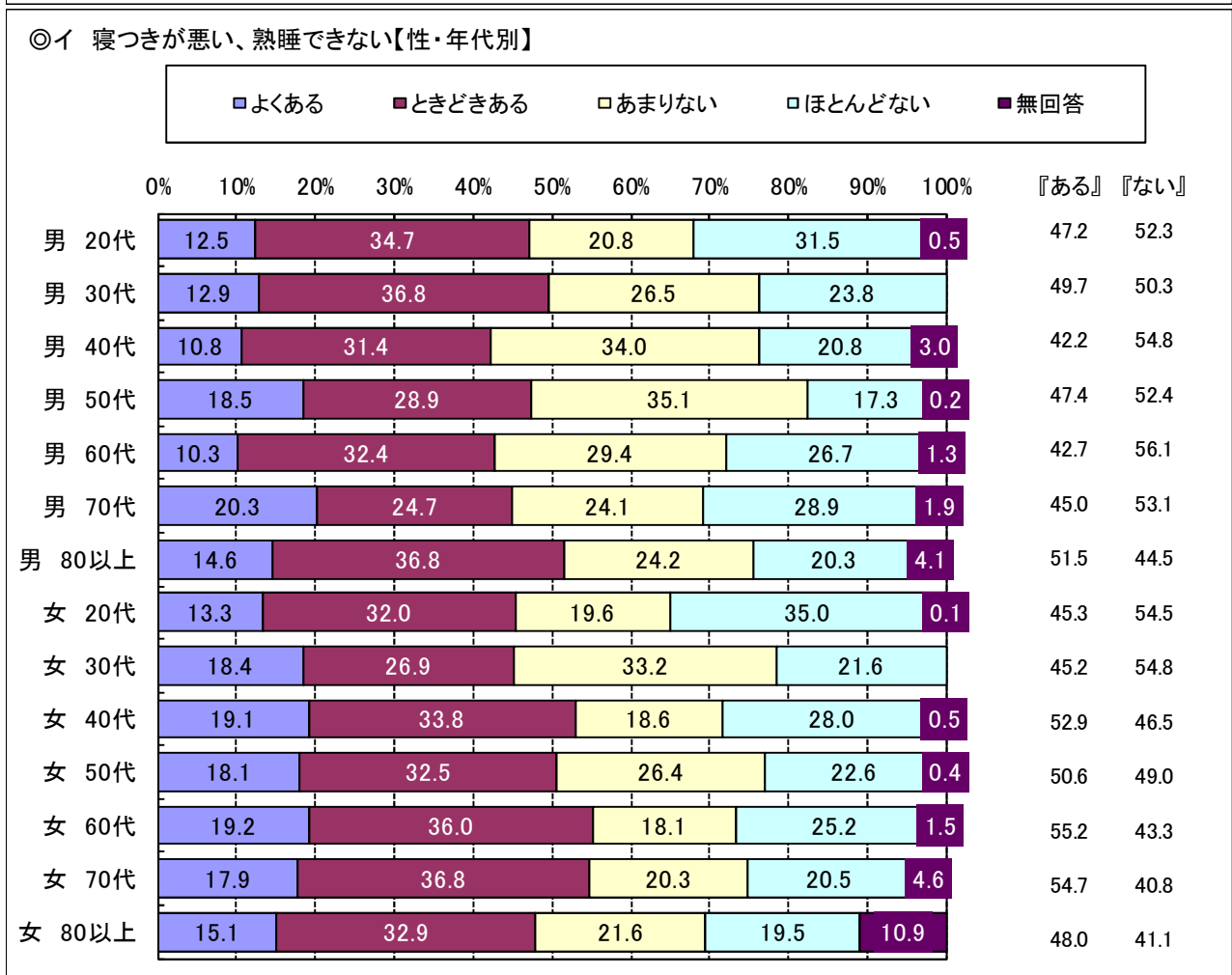
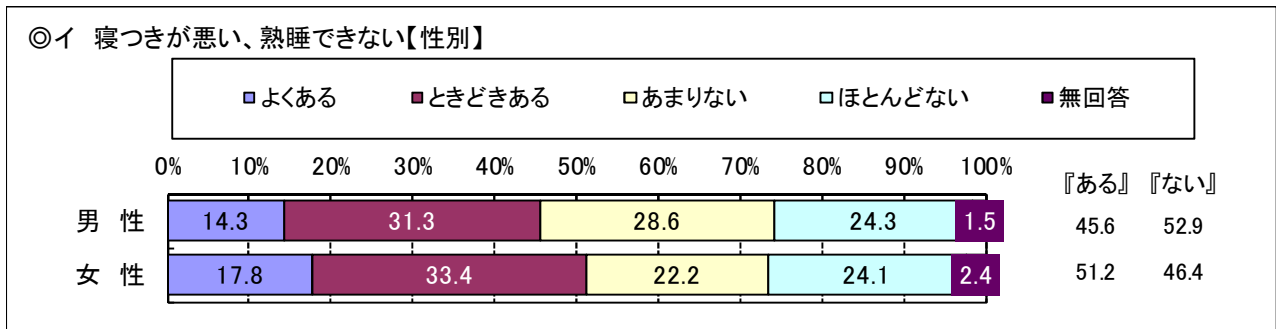
年代別では、寝つきが悪い、熟睡できないことが『ある』は80代以上を除き、年代順で高くなっている。



【性別、性・年代別】

●性別では、寝つきが悪い、熟睡できないことが『ある』は、女性が高くなっている。

●性・年代別では、男性は30代と80歳以上、女性は40代から70代が全県(48.7%)より寝つきが悪い、熟睡できないが『ある』が高くなっている。



問8 ストレスなどがあったときの相談相手

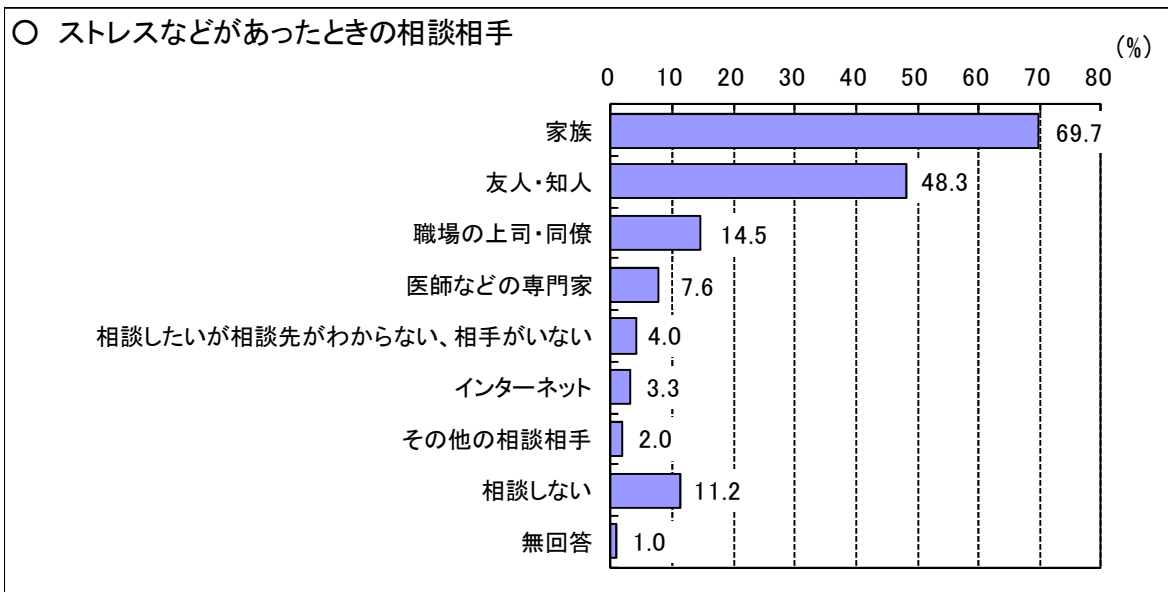
問8

あなたは、悩み、苦勞、ストレス、不満などがあったときに、誰に話したり、相談したりしますか。  
あてはまるものを全て選んで番号に○をつけてください。

- |            |                          |
|------------|--------------------------|
| 1 家族       | 2 友人・知人                  |
| 3 職場の上司・同僚 | 4 医師などの専門家               |
| 5 インターネット  | 6 相談したいが相談先がわからない、相手がいない |
| 7 その他の相談相手 | 8 相談しない                  |

【全 県】

- ストレスなどがあったときの相談相手としては、「家族」が69.7%で最も高く、次に「友人・知人」が48.3%となっており、続いて「職場の上司・同僚」が14.5%となっている。なお、11.2%の人が「相談しない」と回答している。



【地域別】

全ての地域で、全県と同様に、「家族」、「友人・知人」が上位を占めており、「相談しない」は丹波が最も高くなっている。

○ ストレスなどがあつたときの相談相手【地域別】 最大値 最小値 (%)

	家族	友人・知人	職場の上司・同僚	医師などの専門家	インターネット	相談したいが相談先がわからない、相手がいない	その他の相談相手	相談しない	無回答
全 県	69.7	48.3	14.5	7.6	3.3	4.0	2.0	11.2	1.0
地域別									
神 戸	68.7	48.5	12.0	8.9	4.5	4.8	2.1	11.3	0.3
阪神南	73.5	51.1	20.5	9.5	1.5	2.7	3.0	10.2	0.8
阪神北	69.0	49.3	11.9	6.1	3.1	3.7	1.7	11.9	1.0
東播磨	68.0	49.4	16.5	5.9	5.3	5.9	1.6	11.5	0.9
北播磨	66.0	45.6	11.0	6.3	2.2	5.7	0.3	11.6	1.9
中播磨	73.8	43.8	15.0	5.9	3.1	2.2	1.3	11.3	1.3
西播磨	67.8	46.6	12.2	6.3	2.8	3.4	1.9	8.8	3.1
但 馬	65.5	48.6	13.4	8.0	2.2	2.6	1.6	11.8	0.6
丹 波	65.6	45.2	14.1	9.0	3.6	2.4	3.0	12.9	2.4
淡 路	67.0	45.9	13.2	6.6	1.7	4.6	2.0	11.9	1.7
地域間の差	8.3	7.4	9.4	3.6	3.8	3.7	2.7	4.1	2.8

【性別、性・年代別】

●性別では、「友人・知人」は男女間で30.1ポイントの差があり、女性が高くなっている。また、「相談しない」は男性が高くなっている。

●性・年代別では、男女とも80代以上が「相談しない」が高くなっている。

○ ストレスなどがあつたときの相談相手【性別】

(%)

	家族	友人・知人	職場の上司・同僚	医師などの専門家	インターネット	わからない、相談がない	相談したいが相談先がわからない、相談がない	その他の相談相手	相談しない	無回答
全 県	69.7	48.3	14.5	7.6	3.3	4.0	2.0	11.2	1.0	
性別										
男 性	65.1	31.0	16.2	8.6	4.0	5.5	0.6	7.2	0.9	
女 性	73.2	61.1	13.5	6.8	3.0	3.0	2.8	2.6	0.9	
性別間の差	8.1	30.1	2.7	1.8	1.0	2.5	2.2	4.6	0.0	

○ ストレスなどがあつたときの相談相手【性・年代別】

最大値

最小値

(%)

	家族	友人・知人	職場の上司・同僚	医師などの専門家	インターネット	わからない、相談がない	相談したいが相談先がわからない、相談がない	その他の相談相手	相談しない	無回答
全 県	69.7	48.3	14.5	7.6	3.3	4.0	2.0	11.2	1.0	
性・年代別										
男 性										
20代	57.1	58.9	23.7	0.7	6.6	6.3	3.1	9.7	0.0	
30代	58.8	36.1	35.0	2.9	8.7	6.1	0.0	6.5	0.0	
40代	66.8	35.3	29.5	6.8	0.9	5.2	0.1	6.9	0.2	
50代	60.1	33.6	25.9	6.6	8.2	3.1	0.0	5.9	0.2	
60代	62.0	22.9	6.6	9.3	1.4	6.0	1.3	6.5	1.4	
70代	74.3	27.0	0.0	13.8	2.5	6.7	0.3	5.5	1.6	
80歳以上	77.0	12.9	0.0	19.4	2.8	4.8	0.0	16.4	3.3	
年代間の差	19.9	46.0	35.0	18.7	7.8	3.6	3.1	10.9	3.3	
女 性										
20代	80.7	80.3	30.4	2.2	11.7	2.2	1.7	0.4	0.0	
30代	78.5	72.7	25.3	3.5	5.5	1.6	3.6	1.7	0.0	
40代	76.1	69.2	22.6	7.2	2.1	3.1	4.1	1.5	0.8	
50代	75.6	59.4	18.7	4.3	2.8	3.6	0.2	0.4	0.4	
60代	75.3	59.3	7.3	1.4	1.2	3.0	3.5	3.6	0.6	
70代	65.2	49.8	0.4	14.5	2.8	3.4	1.9	2.7	2.1	
80歳以上	62.0	45.6	0.1	16.7	0.0	3.9	4.3	7.2	2.0	
年代間の差	18.7	34.7	30.3	15.3	11.7	2.3	4.1	6.8	2.1	



## 問9 歯の健康づくりの実践状況

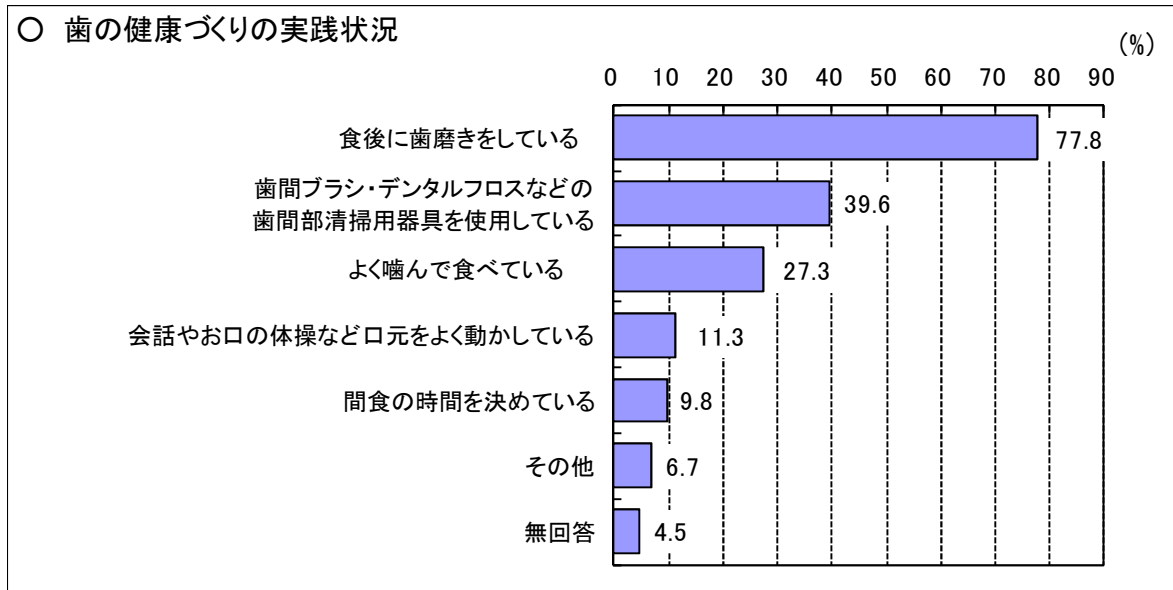
### 問9

あなたは、歯の健康づくりのために実践していることはありますか。あてはまるものを全て選んで番号に○をつけてください。

- 1 食後に歯磨きをしている
- 2 歯間ブラシ・デンタルフロスなどの歯間部清掃用器具を使用している
- 3 よく噛んで食べている
- 4 間食の時間を決めている
- 5 会話やお口の体操など口元をよく動かしている
- 6 その他

### 【全 県】

- 「食後に歯磨きをしている」が 77.8%と最も高く、次に「歯間ブラシ・デンタルフロスなどの歯間部清掃用器具を使用している」が 39.6%となっており、続いて「よく噛んで食べている」が 27.3%となっている。



【地域別】

地域別では、全県で上位にある「食後に歯磨きをしている」と「歯間ブラシ・デンタルフロスなどの歯間部清掃用器具を使用している」は、両項目とも淡路が最も低くなっている。

(%)

○ 歯の健康づくりの実践状況【地域別】

				最大値		最小値	
	食後に歯磨きをしている	歯間ブラシ・デンタルフロスなどの歯間部清掃用器具を使用している	よく噛んで食べている	間食の時間を決めている	会話やお口の体操など口元をよく動かしている	その他	無回答
全 県	77.8	39.6	27.3	9.8	11.3	6.7	4.5
地域別							
神 戸	76.6	47.8	28.5	8.2	11.0	6.5	3.4
阪神南	82.6	44.3	26.1	9.1	12.9	7.6	3.8
阪神北	82.7	38.8	25.2	9.2	11.9	8.8	4.4
東播磨	76.4	30.1	28.9	10.9	11.8	5.6	5.3
北播磨	74.2	32.7	33.6	12.6	11.6	6.9	4.7
中播磨	78.4	37.8	22.5	10.0	9.4	4.7	5.3
西播磨	72.2	27.5	25.9	9.7	8.4	7.2	7.8
但 馬	70.0	32.6	29.4	14.4	9.3	6.1	6.1
丹 波	71.0	33.8	28.1	9.6	11.4	6.6	6.3
淡 路	67.7	26.7	30.4	16.5	10.9	5.6	5.0
地域間の差	15.0	21.0	11.1	8.3	4.4	4.2	4.4

【性別、性・年代別】

●性別では、「その他」「無回答」以外は、女性が高くなっている。

●性・年代別では、全県で最も高い「食後に歯磨きをしている」は、男性は70代、女性は50代と80歳以上以外が、全県(77.8%)より高くなっている。

○ 歯の健康づくりの実践状況【性別】		最大値			最小値			(%)
	食後に歯磨きをしている	歯間ブラシ・デンタルフロスなどの歯間部清掃用器具を使用している	よく噛んで食べている	間食の時間を洗めている	会話やお口の体操など口元をよく動かしている	その他	無回答	
全 県	77.8	39.6	27.3	9.8	11.3	6.7	4.5	
性別								
男 性	72.7	32.6	24.5	7.6	5.9	6.7	5.9	
女 性	81.5	44.9	29.3	11.1	14.9	6.0	3.4	
性別間の差	8.8	12.3	4.8	3.5	9.0	0.7	2.5	

○ 歯の健康づくりの実践状況【性・年代別】		最大値			最小値			(%)
	食後に歯磨きをしている	歯間ブラシ・デンタルフロスなどの歯間部清掃用器具を使用している	よく噛んで食べている	間食の時間を洗めている	会話やお口の体操など口元をよく動かしている	その他	無回答	
全 県	77.8	39.6	27.3	9.8	11.3	6.7	4.5	
性・年代別								
男 性								
20代	73.1	18.7	10.6	2.3	5.9	8.6	3.4	
30代	76.6	22.3	17.3	3.4	3.4	4.6	11.1	
40代	71.9	24.6	12.3	2.0	3.6	9.5	10.1	
50代	61.8	36.5	20.0	10.6	6.5	5.8	5.6	
60代	77.7	35.1	29.0	9.5	5.0	6.5	3.4	
70代	79.6	41.1	34.4	9.0	8.9	5.5	2.8	
80歳以上	57.6	43.3	47.5	16.8	8.5	7.8	7.9	
年代間の差	22.0	24.6	36.9	14.8	5.5	4.9	8.3	
女 性								
20代	84.4	20.8	22.1	3.1	13.7	3.2	1.8	
30代	90.3	43.3	22.2	6.0	11.4	4.9	0.7	
40代	86.2	43.4	22.4	7.8	9.9	6.1	2.7	
50代	77.1	45.7	20.0	9.5	11.8	5.7	6.2	
60代	81.1	51.8	29.8	11.7	15.4	7.7	2.5	
70代	79.2	48.7	40.6	18.2	23.4	5.7	4.7	
80歳以上	72.8	43.6	48.3	17.1	18.0	6.2	4.0	
年代間の差	17.5	31.0	28.3	15.1	13.5	4.5	5.5	

## 問10 直近1年間の歯科診療所での受診状況

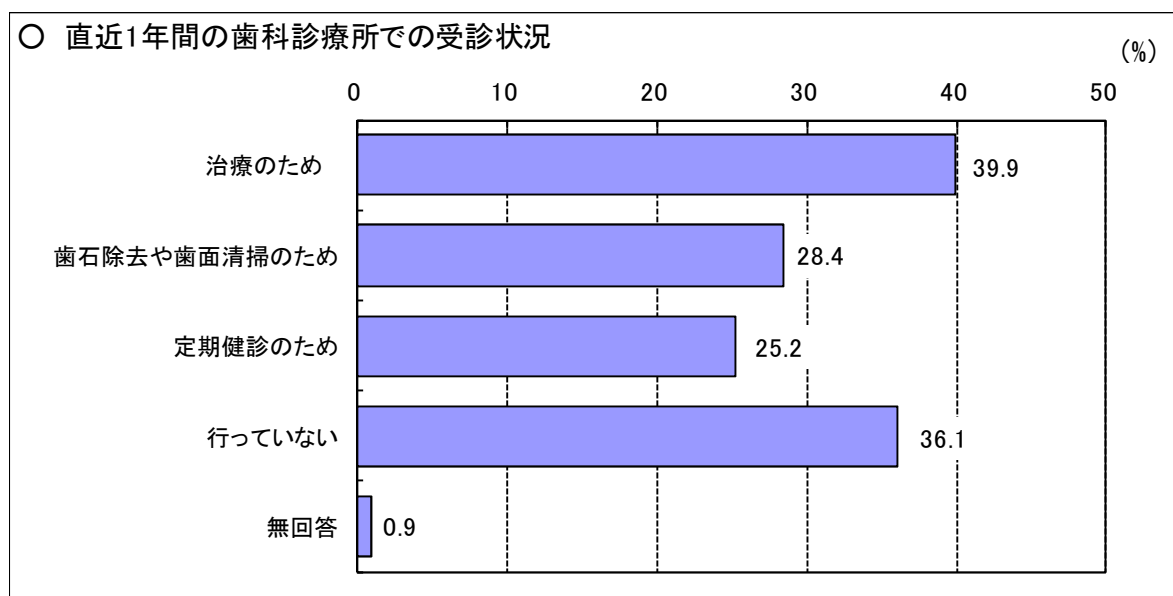
### 問10

この1年間に歯科診療所に行きましたか。あてはまるものを全て選んで番号に○をつけてください。

- |                |           |
|----------------|-----------|
| 1 治療のため        | 2 定期健診のため |
| 3 歯石除去や歯面清掃のため | 4 行っていない  |

### 【全 県】

- 「治療のため」が39.9%と最も高く、次に「歯石除去や歯面清掃のため」が28.4%となっており、続いて「定期健診のため」が25.2%となっている。また、歯科診療所に「行っていない」は36.1%となっている。



【地域別】

地域別では、全県で最も高い「治療のため」は淡路が最も高く、「定期検診のため」、「歯石除去や歯面清掃のため」は、都市部の方が比較的高くなっている。

○ 直近1年間の歯科診療所での受診状況【地域別】					
			最大値	最小値	(%)
	治療のため	定期健診のため	歯石除去や歯面清掃のため	行っていない	無回答
全 県	39.9	25.3	28.4	36.1	0.9
地域別					
神 戸	40.5	29.6	30.2	33.3	1.0
阪神南	36.7	28.4	36.0	35.2	0.4
阪神北	41.2	29.9	29.3	36.7	0.0
東播磨	41.0	22.7	21.1	37.0	0.9
北播磨	38.7	19.8	29.6	38.4	0.6
中播磨	42.8	20.6	27.5	33.8	1.6
西播磨	37.8	14.4	19.4	42.8	2.5
但 馬	38.7	14.7	19.8	44.7	1.9
丹 波	35.6	17.4	25.4	41.6	2.1
淡 路	43.6	13.5	16.5	40.3	1.3
地域間の差	7.9	16.4	19.5	11.4	2.5

【年代別】

年代別では、歯科診療所に「行っていない」は、20代、40代、30代の順で高くなっている。

○ 直近1年間の歯科診療所での受診状況【年代別】					
			最大値	最小値	(%)
	治療のため	定期健診のため	歯石除去や歯面清掃のため	行っていない	無回答
全 県	39.9	25.3	28.4	36.1	0.9
年代別					
20代	33.1	16.6	18.6	50.2	0.0
30代	35.3	27.3	23.7	38.7	0.1
40代	35.1	20.7	25.3	44.8	0.0
50代	43.3	23.6	29.3	36.2	1.4
60代	41.6	26.6	35.5	31.2	0.4
70代	43.4	34.8	31.9	27.9	1.3
80歳以上	44.6	21.0	24.5	30.9	3.2
年代間の差	11.5	18.2	16.9	22.3	3.2

【性別、性・年代別】

●性別では、「定期検診のため」、「歯石除去や歯面清掃のため」は女性が高くなっており、「行っていない」は男性が高くなっている。

●性・年代別では、「行っていない」は男性の20代から50代までと、女性は20代と40代が全県(36.1%)より高くなっている。

○ 直近1年間の歯科診療所での受診状況【性別】 (%)

	治療のため	定期健診のため	歯石除去や歯面清掃のため	行っていない	無回答
全 県	39.9	25.3	28.4	36.1	0.9
性別					
男 性	39.5	20.2	24.5	39.6	0.9
女 性	40.3	29.1	31.8	33.2	0.8
性別間の差	0.8	8.9	7.3	6.4	0.1

(%)

○ 直近1年間の歯科診療所での受診状況【性・年代別】

最大値  
最小値

	治療のため	定期健診のため	歯石除去や歯面清掃のため	行っていない	無回答
全 県	39.9	25.3	28.4	36.1	0.9
性・年代別					
男 性					
20代	30.3	10.3	9.4	56.8	0.0
30代	30.8	17.6	16.6	49.1	0.3
40代	38.2	14.9	22.3	44.5	0.0
50代	41.7	21.0	24.3	39.8	2.1
60代	41.9	19.9	30.8	35.4	0.0
70代	45.0	31.0	29.6	31.3	0.4
80歳以上	40.3	18.0	25.5	29.3	6.2
年代間の差	14.7	20.7	21.4	27.5	6.2
女 性					
20代	35.8	21.9	25.8	44.3	0.0
30代	38.4	34.0	28.6	31.4	0.0
40代	33.0	24.7	27.3	45.0	0.0
50代	44.4	25.4	33.0	33.5	0.8
60代	41.8	31.0	39.2	28.4	0.7
70代	42.1	38.1	33.8	25.0	2.0
80歳以上	44.9	23.1	24.2	33.0	1.9
年代間の差	11.9	16.2	15.0	20.0	2.0

問 1 1 かかりつけ医、歯科医の状況

問 1 1

あなたは、かかりつけ医と、かかりつけ歯科医を決めていますか。それぞれの項目ごとに、あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

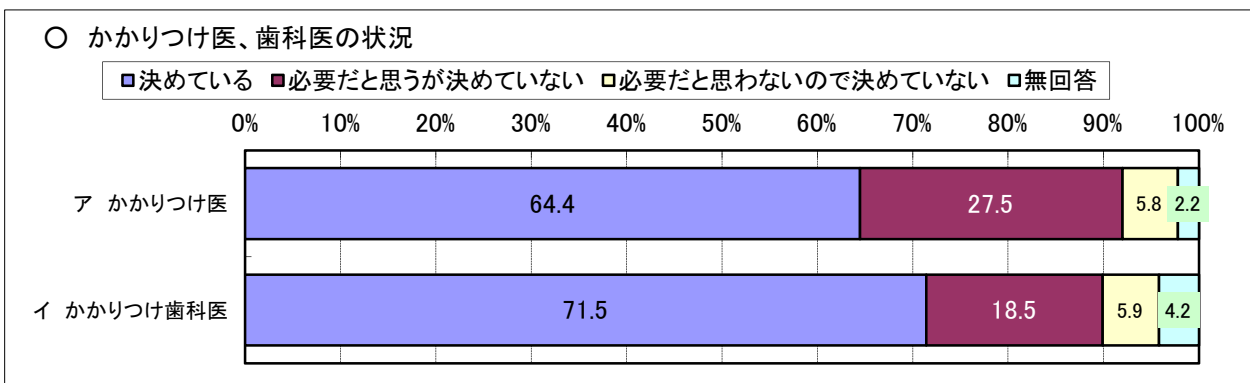
ア かかりつけ医

イ かかりつけ歯科医

1 決めている    2 必要だと思うが決めていない    3 必要だと思わないので決めていない

【全 県】

- 「かかりつけ医」を決めている人は64.4%で、「かかりつけ歯科医」を決めている人は71.5%となっている。



【地域別（決めている）】

地域別では、かかりつけ医は、神戸、阪神南、東播磨以外は、全県(64.4%)より高く、かかりつけ歯科医は、神戸、東播磨、北播磨、中播磨、但馬、丹波は、全県(71.5%)より高くなっている。

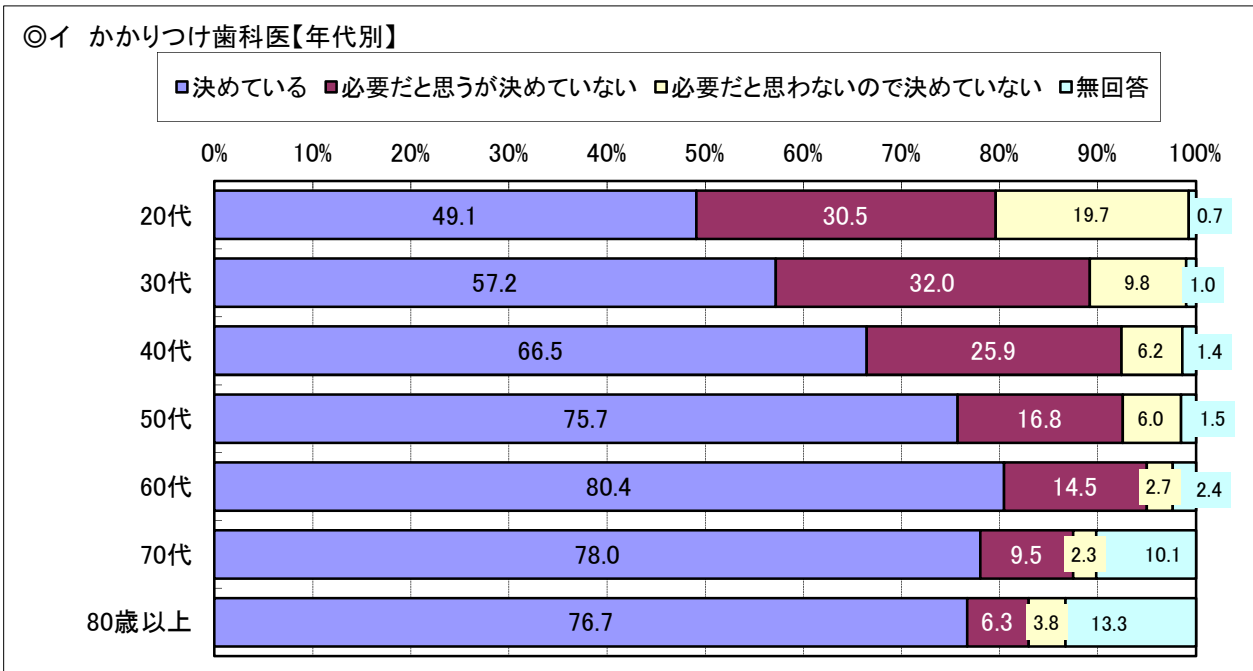
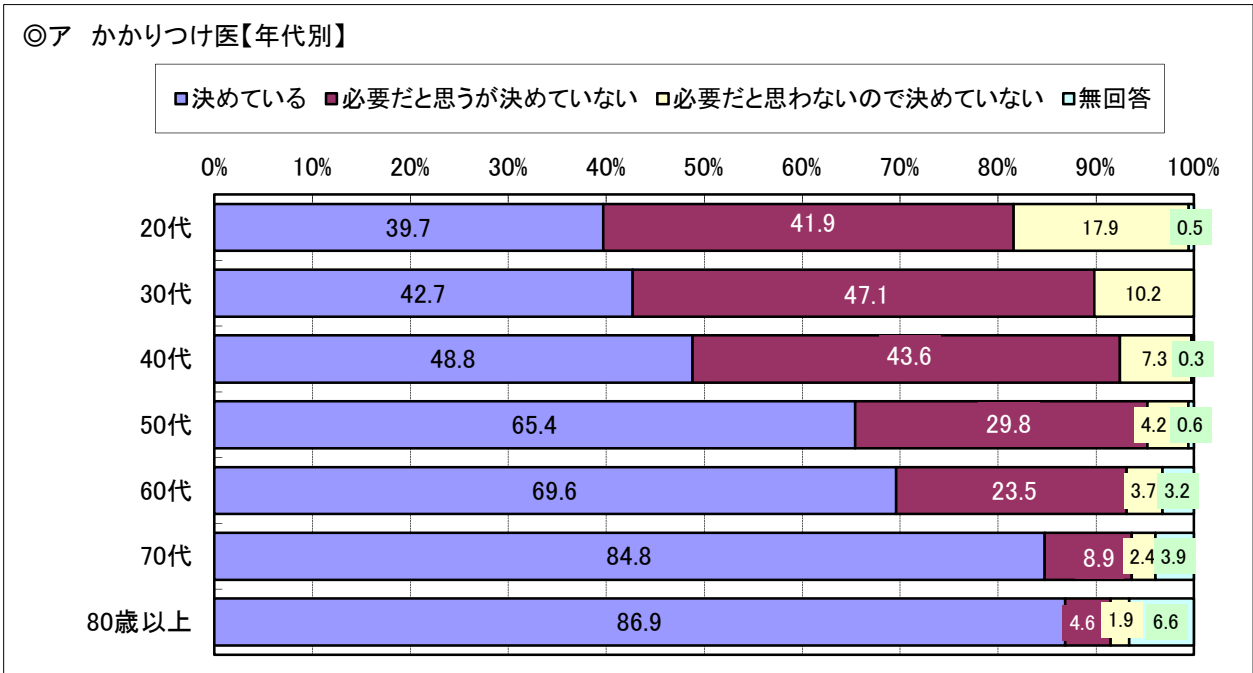
○ かかりつけ医、歯科医の状況【地域別】 (％)

	ア かかりつけ医	イ かかりつけ歯科医
	最大値	
	最小値	
全 県	64.4	71.5
地域別		
神 戸	63.2	73.2
阪神南	59.5	67.4
阪神北	65.0	71.1
東播磨	62.4	72.7
北播磨	67.6	76.1
中播磨	69.1	74.1
西播磨	69.1	65.3
但 馬	74.1	72.2
丹 波	69.8	72.2
淡 路	71.3	68.3
地域間の差	14.7	10.8



【年代別】

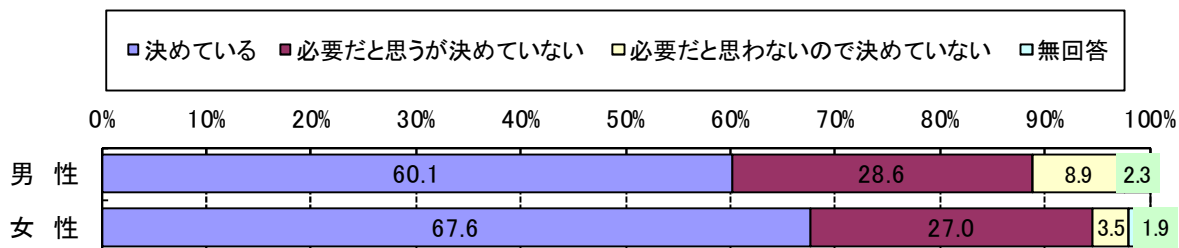
年代別では、かかりつけ医、かかりつけ歯科医ともに、決めている人は、高齢者に多い傾向となっている。



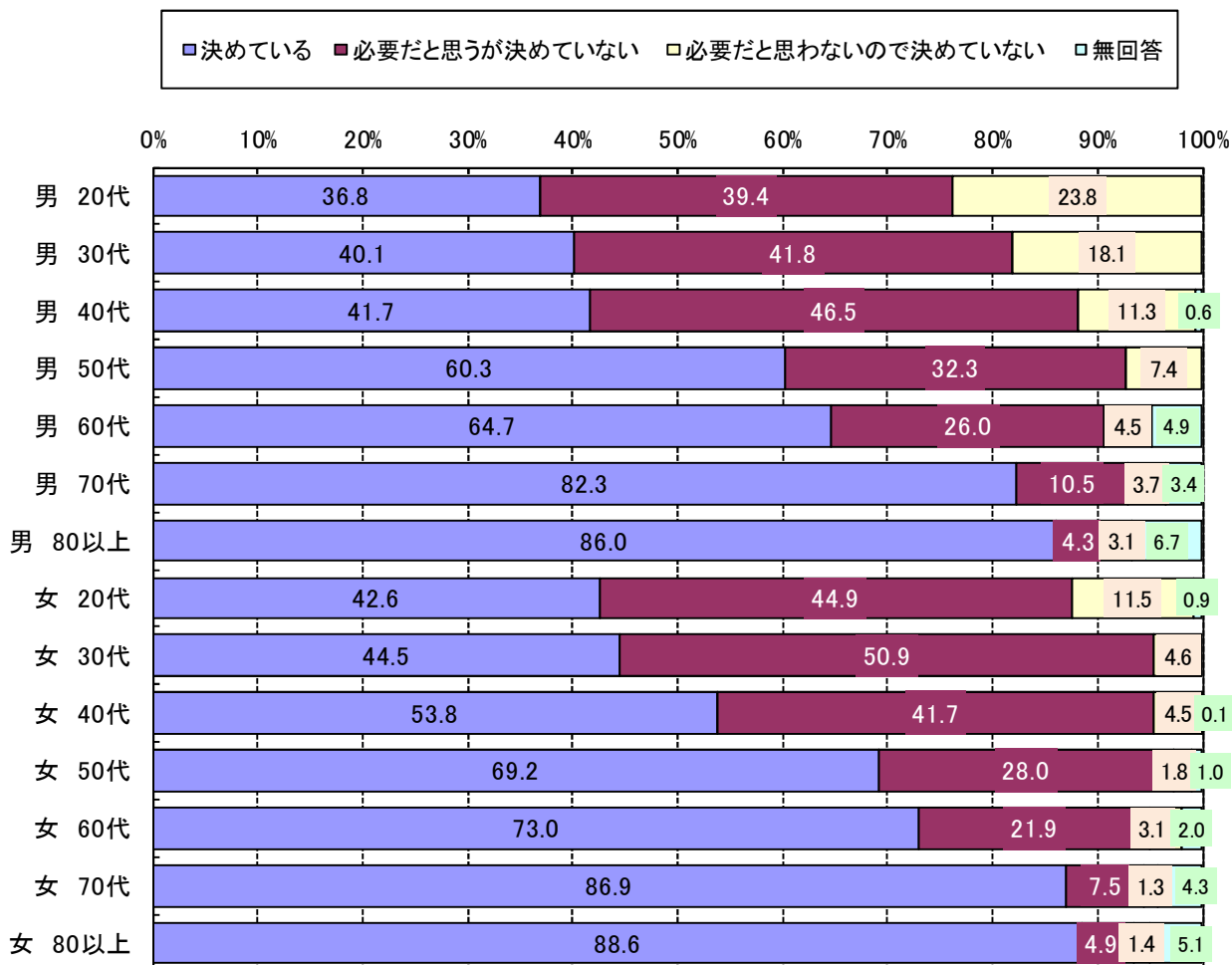
【性別、性・年代別】

- 性別では、かかりつけ医を決めているのは、女性が高くなっている。
- 性・年代別では、かかりつけ医を決めているのは、男女とも高齢になるほど高くなっている。

◎ア かかりつけ医【性別】



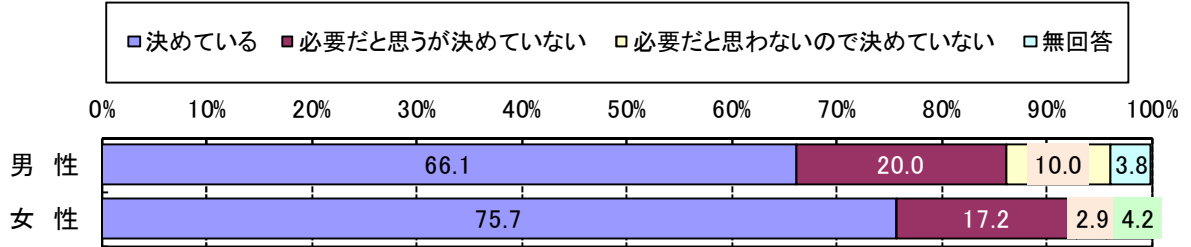
◎ア かかりつけ医【性・年代別】



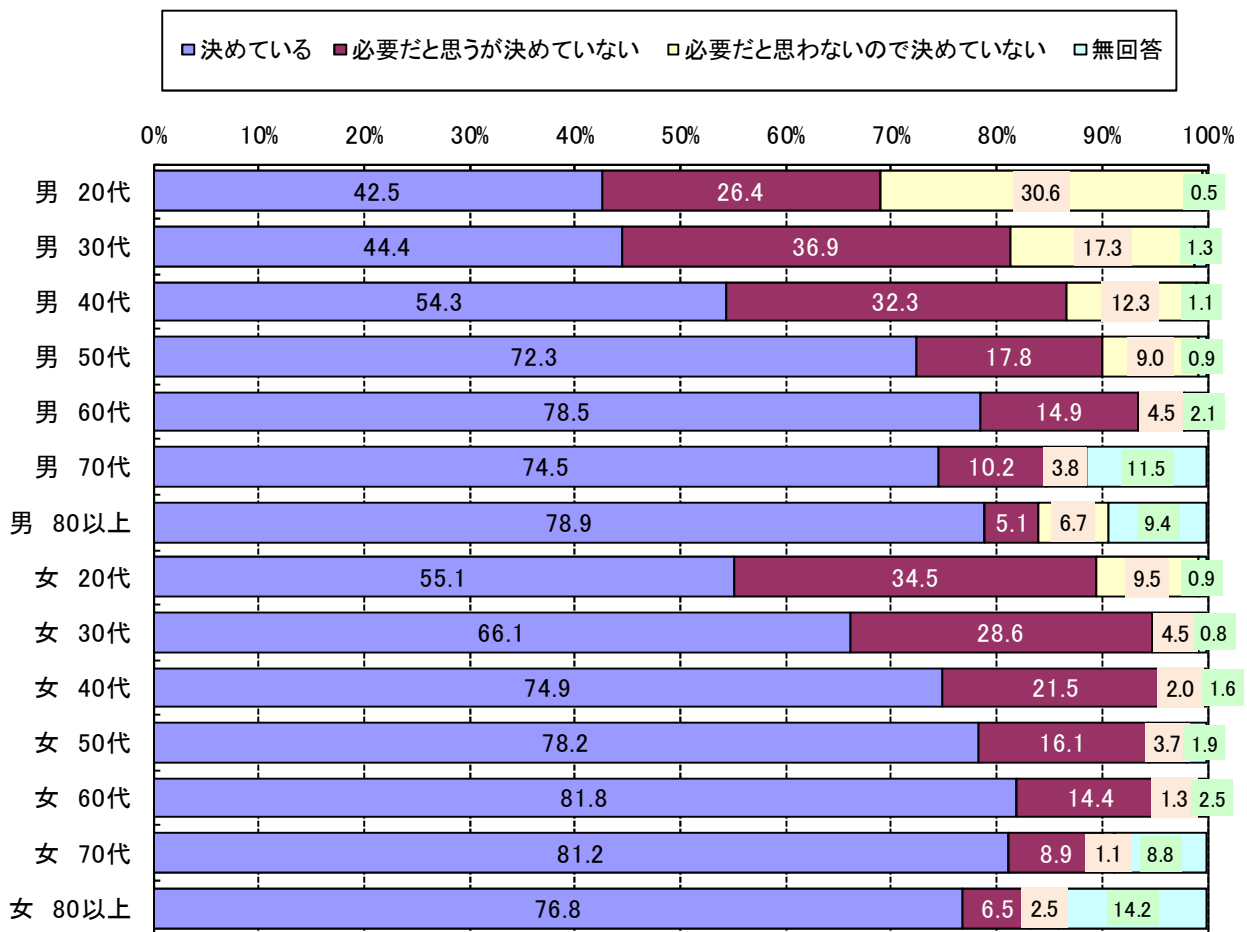
【性別、性・年代別】

- 性別では、かかりつけ歯科医を決めているのは、女性が高くなっている。
- 性・年代別では、かかりつけ歯科医を決めているのは、男女とも高齢者が高い傾向にある。

◎イ かかりつけ歯科医【性別】



◎イ かかりつけ歯科医【性・年代別】



## 問 1 2 健（検）診の受診状況

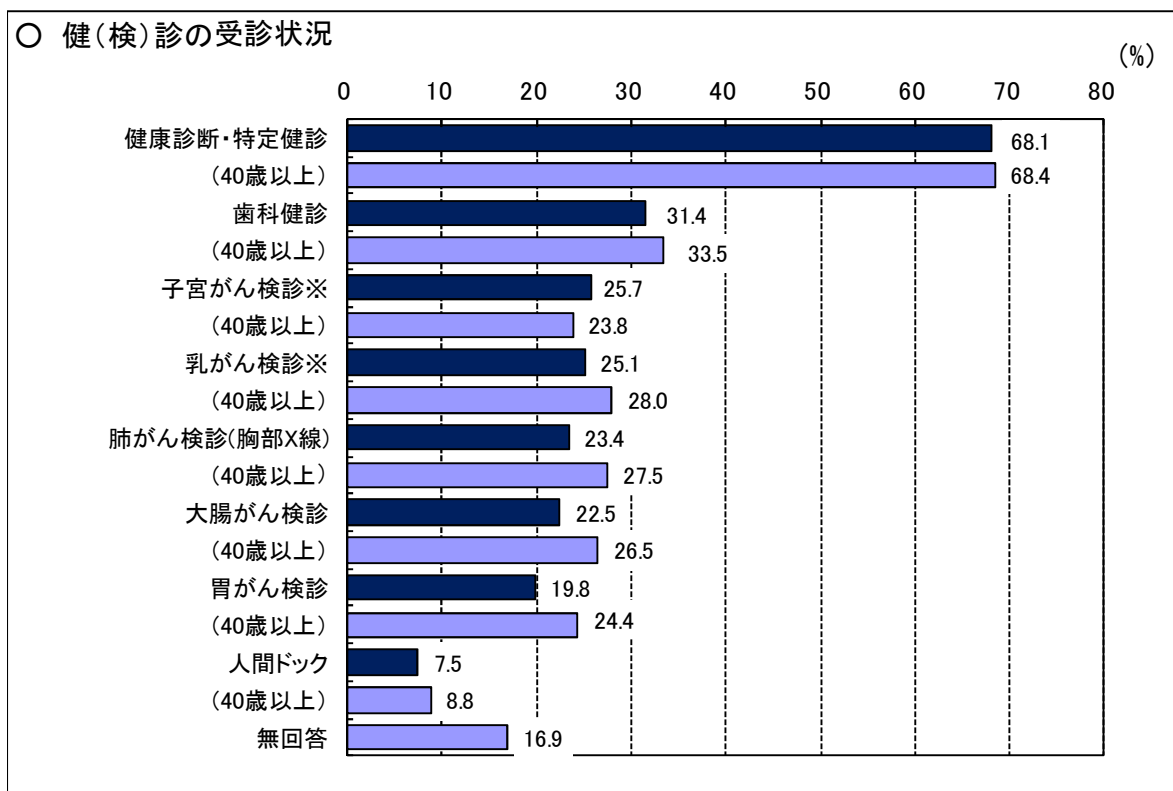
### 問 1 2

あなたは、おおむね1年ごと（※印は2年ごと）に健康診断やがん検診を受けていますか。受けた項目を全て選んで番号に○をつけてください。なお、健康診断や人間ドックの項目としてがん検診を受診した場合も、該当する検診項目全てに○をつけてください。

- |               |           |
|---------------|-----------|
| 1 健康診断・特定健診   | 2 人間ドック   |
| 3 歯科健診        | 4 胃がん検診   |
| 5 肺がん検診(胸部X線) | 6 大腸がん検診  |
| 7 乳がん検診※      | 8 子宮がん検診※ |

### 【全 県】

- 「健康診断・特定健診」が68.1%と最も高く、次に「歯科健診」が31.4%となっており、続いて、女性のみ対象の「子宮がん検診」が25.7%となっている。



※40歳以上の割合を各健（検）診の下段に記載

※子宮がん検診と乳がん検診は女性のみを記載

【地域別】

地域別では、「肺がん検診（胸部X線）」が最も地域間の差が大きく、比較的、郡部が高くなっている。  
また、次に差が大きい「歯科検診」は、比較的、阪神間が高くなっている。

○健（検）診の受診状況【地域別】		最大値	最小値							(%)
	健康診断・特定健診	人間ドック	歯科健診	胃がん検診	肺がん検診（胸部X線）	大腸がん検診	乳がん検診※	子宮がん検診※	無回答	
全 県	68.1	7.5	31.4	19.8	23.4	22.5	25.1	25.7	16.9	
地域別										
神 戸	67.7	7.6	36.8	20.6	23.7	23.7	24.9	23.1	15.8	
阪神南	64.8	8.7	34.1	17.0	17.4	20.8	26.5	28.5	22.3	
阪神北	65.6	8.2	38.4	19.7	23.8	25.5	25.5	25.5	12.9	
東播磨	72.7	7.1	26.1	20.2	25.5	18.0	26.3	29.1	13.4	
北播磨	71.7	3.8	26.1	21.1	27.4	24.8	24.0	28.5	17.0	
中播磨	65.9	9.4	24.4	14.4	17.5	15.9	20.1	23.9	17.5	
西播磨	72.5	3.1	21.6	25.9	27.8	27.8	26.7	25.6	20.0	
但 馬	71.9	5.8	19.8	24.3	40.9	27.8	24.4	21.0	18.8	
丹 波	68.6	7.5	24.6	27.2	32.0	29.9	25.7	22.9	16.8	
淡 路	73.3	5.6	20.8	25.4	31.0	28.7	29.1	28.5	16.8	
地域間の差	8.5	6.3	18.6	12.9	23.5	14.0	9.0	8.0	9.4	

【性別、性・年代別】

●性別では、「健康診断・特定健診」は男性が高くなっている。

●性・年代別では、「健康診断・特定健診」は、男性の60代と80歳以上、女性は50代と70代以外が、全県(68.1%)より低くなっている。

○ 健(検)診の受診状況【性別】

	健康診断・特定健診	人間ドック	歯科健診	胃がん検診	肺がん検診(胸部X線)	大腸がん検診	乳がん検診※	子宮がん検診※	無回答	(%)
全 県	68.1	7.5	31.4	19.8	23.4	22.5	—	—	16.9	
性別										
男 性	72.8	10.7	26.1	21.1	24.6	19.7	—	—	15.4	
女 性	65.1	5.4	35.8	19.3	23.2	24.5	25.1	25.7	17.5	
性別間の差	7.7	5.3	9.7	1.8	1.4	4.8	—	—	2.1	

○ 健(検)診の受診状況【性・年代別】

	健康診断・特定健診	人間ドック	歯科健診	胃がん検診	肺がん検診(胸部X線)	大腸がん検診	乳がん検診※	子宮がん検診※	無回答	(%)
全 県	68.1	7.5	31.4	19.8	23.4	22.5	—	—	16.9	
性・年代別										
男 性										
20代	74.3	0.0	13.5	0.0	2.5	0.5	—	—	23.1	
30代	84.3	2.4	14.9	2.7	14.8	5.2	—	—	12.6	
40代	82.2	14.8	25.4	19.1	27.1	18.9	—	—	10.7	
50代	73.6	19.1	26.3	22.4	26.0	23.9	—	—	11.9	
60代	64.7	15.4	30.4	31.5	27.5	23.7	—	—	19.0	
70代	70.8	7.5	31.9	29.4	29.7	26.9	—	—	14.5	
80歳以上	60.9	2.6	30.2	20.5	33.8	26.4	—	—	20.0	
年代間の差	23.4	19.1	18.4	31.5	31.3	26.4	—	—	12.4	
女 性										
20代	66.7	0.0	23.7	0.0	2.0	1.9	6.7	23.1	21.1	
30代	54.7	5.5	36.1	3.5	10.2	11.6	17.5	40.2	24.6	
40代	65.5	6.0	27.8	17.9	20.4	26.1	39.2	40.3	18.3	
50代	68.3	10.9	36.3	19.5	27.8	25.5	38.3	34.4	15.6	
60代	64.1	7.7	43.1	27.0	33.1	29.3	30.3	20.2	15.8	
70代	68.9	1.7	38.6	29.1	27.9	37.9	19.4	15.0	14.2	
80歳以上	67.4	1.0	35.6	21.8	23.3	21.3	4.4	5.0	16.2	
年代間の差	14.2	10.9	19.4	29.1	31.1	36.0	34.8	35.3	10.4	

### 問13 健康づくりに関する用語の認知度

#### 問13

あなたは、次の言葉やその意味を知っていますか。それぞれの項目ごとに、あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

- ア 健康寿命
- イ 食育
- ウ メンタルヘルス
- エ 8020運動
- オ メタボリックシンドローム
- カ ロコモティブシンドローム
- キ COPD（慢性閉塞性肺疾患）

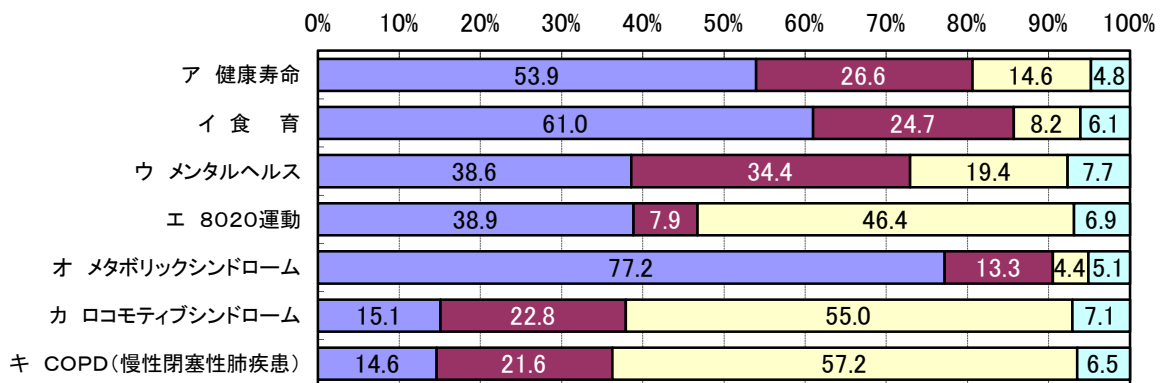
- 1 言葉も意味も知っている
- 2 言葉は知っているが、意味は知らない
- 3 言葉も意味も知らない

#### 【全 県】

- 健康づくりに関する用語で、言葉も意味も知られているのは、「メタボリックシンドローム」が77.2%で最も高く、次に「食育」が61.0%となっており、続いて「健康寿命」が53.9%となっている。また、言葉も意味も知られていないのは、「COPD（慢性閉塞性肺疾患）」が57.2%、続いて「ロコモティブシンドローム」が55.0%、「8020運動」が46.4%となっている。

#### ○ 健康づくりに関する用語の認知度

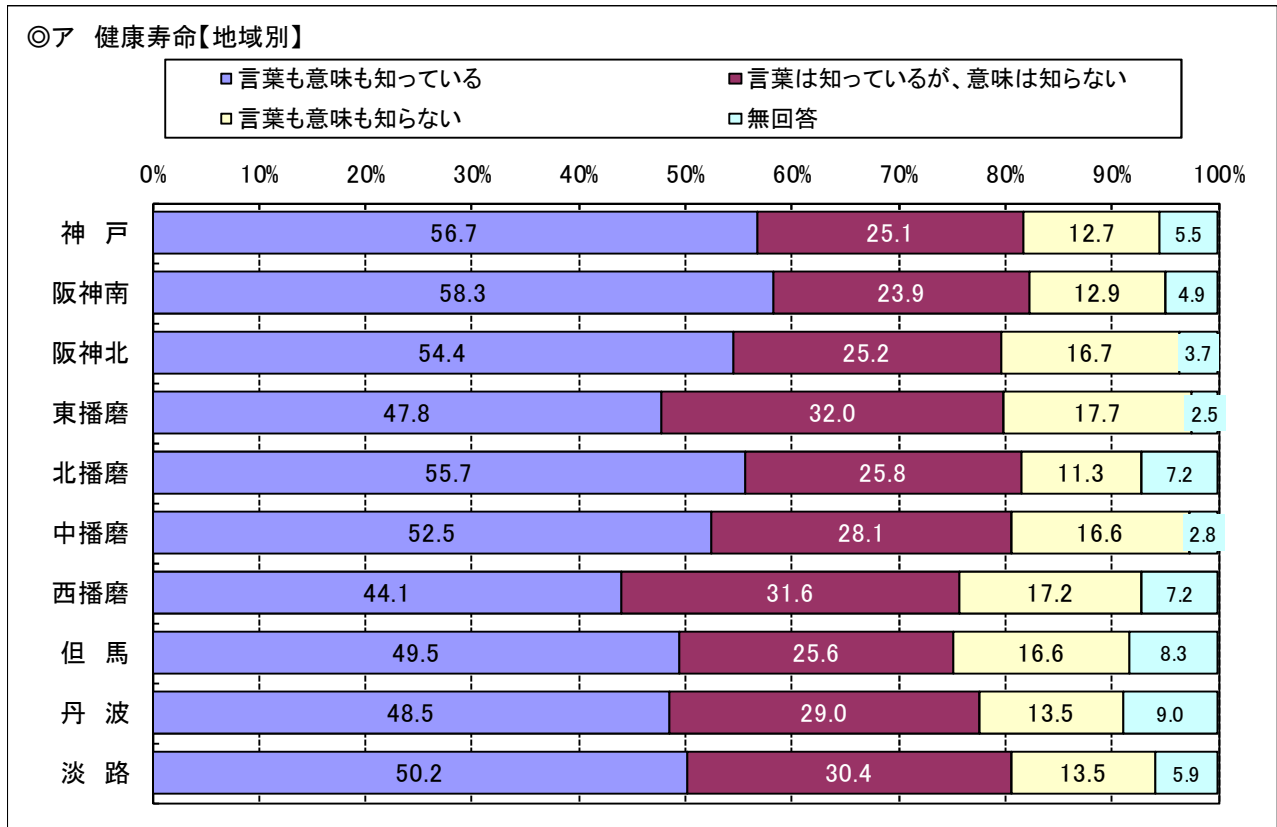
- 言葉も意味も知っている
- 言葉は知っているが、意味は知らない
- 言葉も意味も知らない
- 無回答



〔ア 健康寿命〕

【地域別】

地域別では、「言葉も意味も知っている」は神戸、阪神南、阪神北、北播磨が、全県(53.9%)より高くなっている。



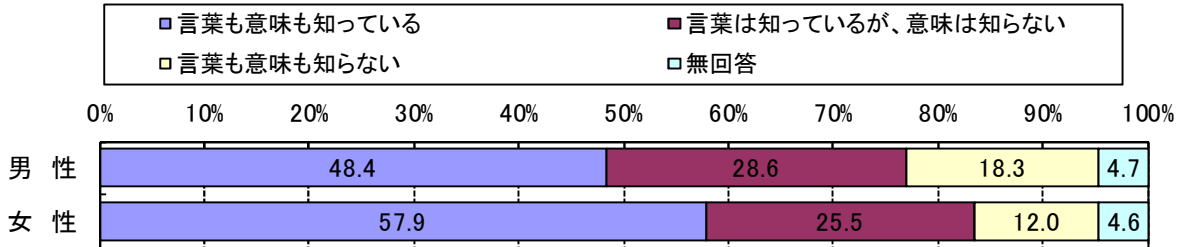


【性別、性・年代別】

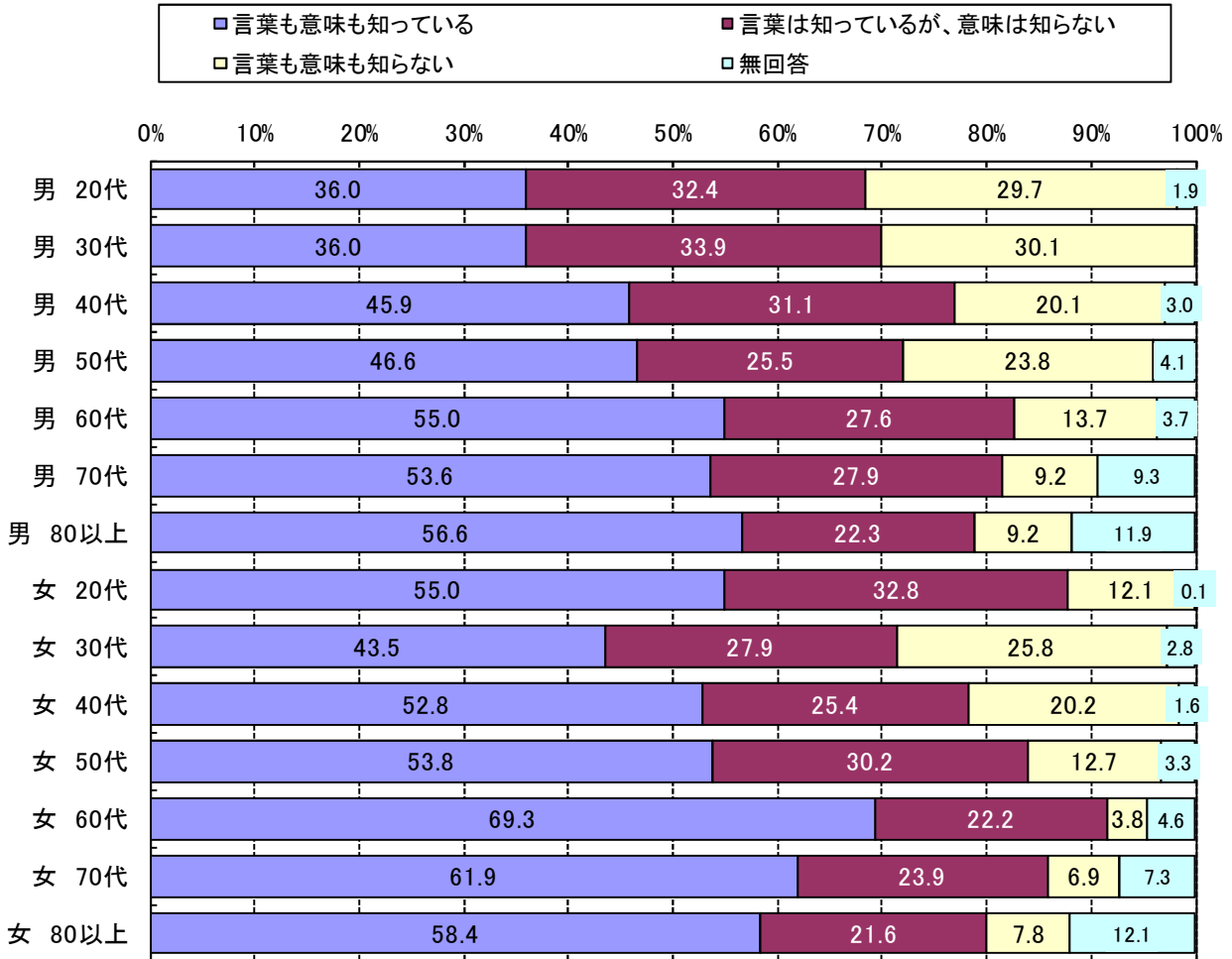
●性別では、「言葉も意味も知っている」は、女性が高くなっている。

●性・年代別では、「言葉も意味も知っている」は、男性の60代と80歳以上、女性の20代と60代以上が、全県(53.9%)より高くなっている。

◎ア 健康寿命【性別】



◎ア 健康寿命【性・年代別】

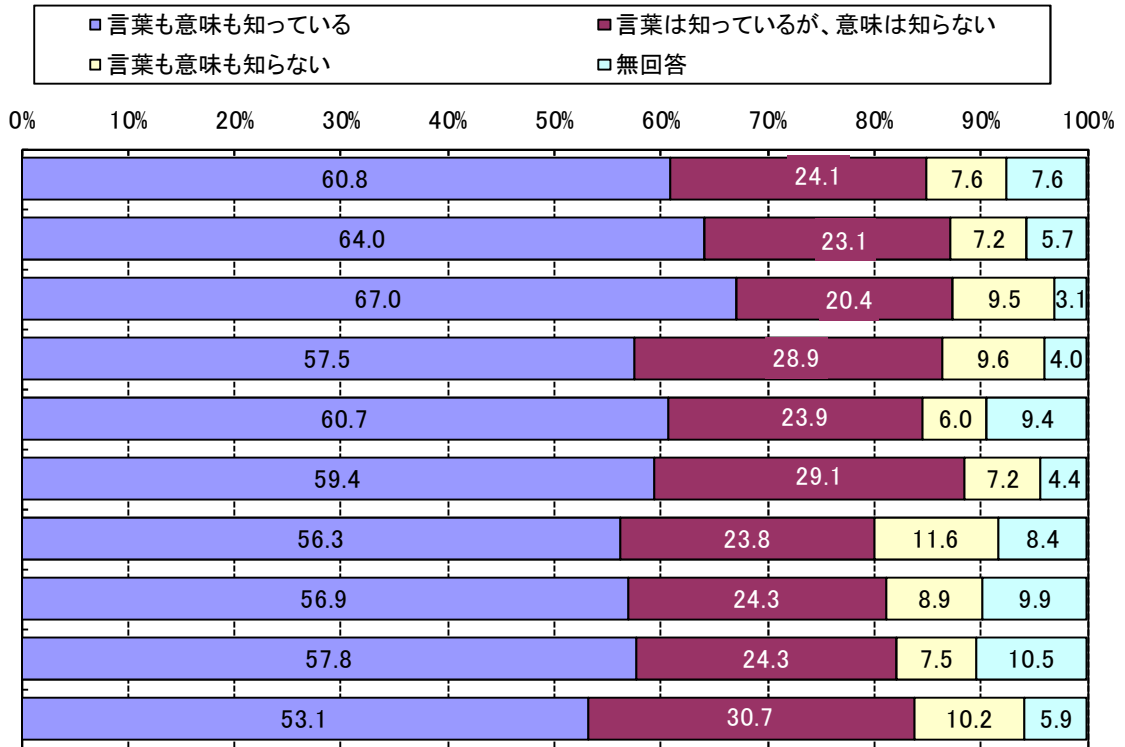


〔イ 食 育〕

【地域別】

地域別では、「言葉も意味も知っている」は阪神南、阪神北が、全県(61.0%)より高くなっている。

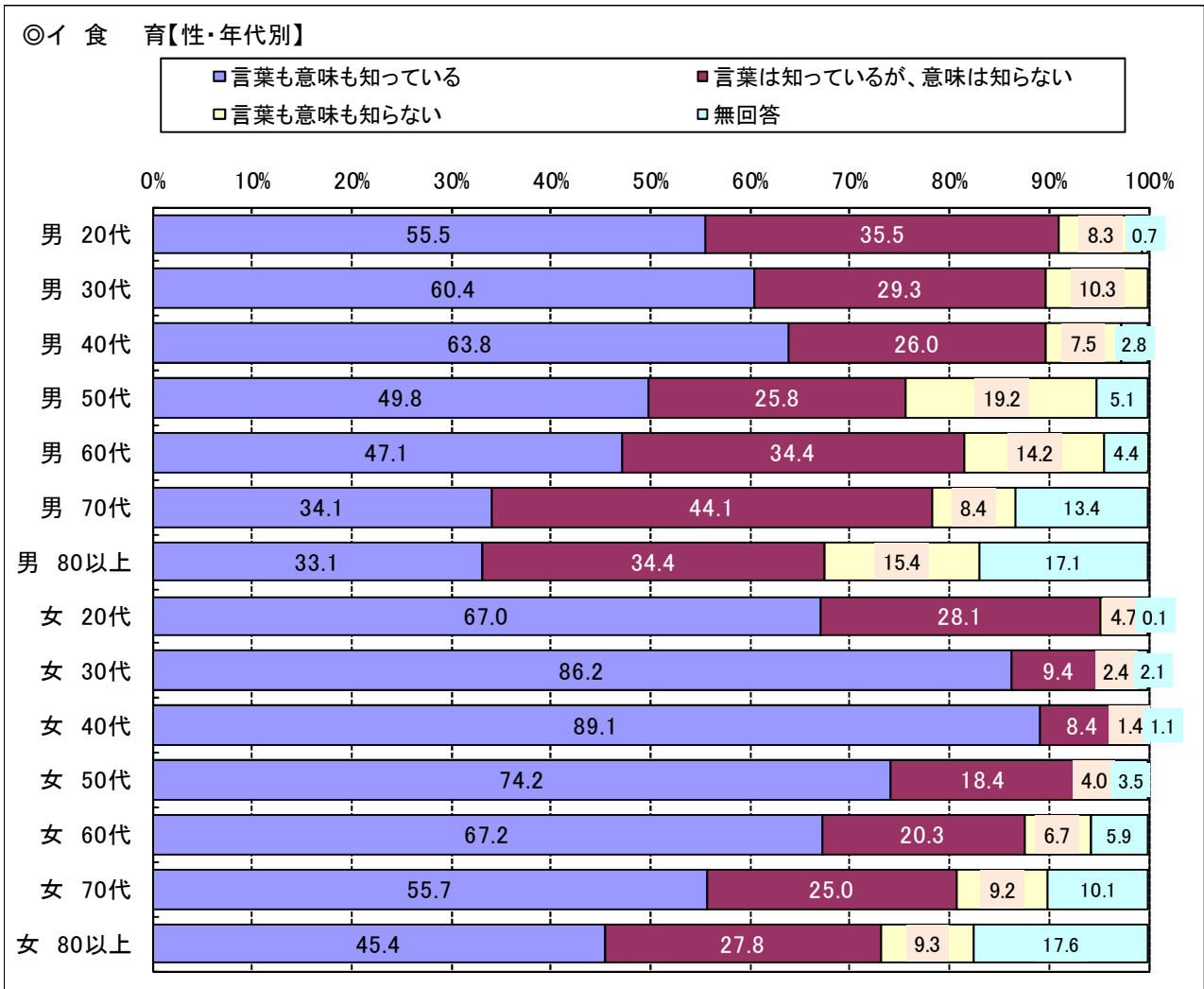
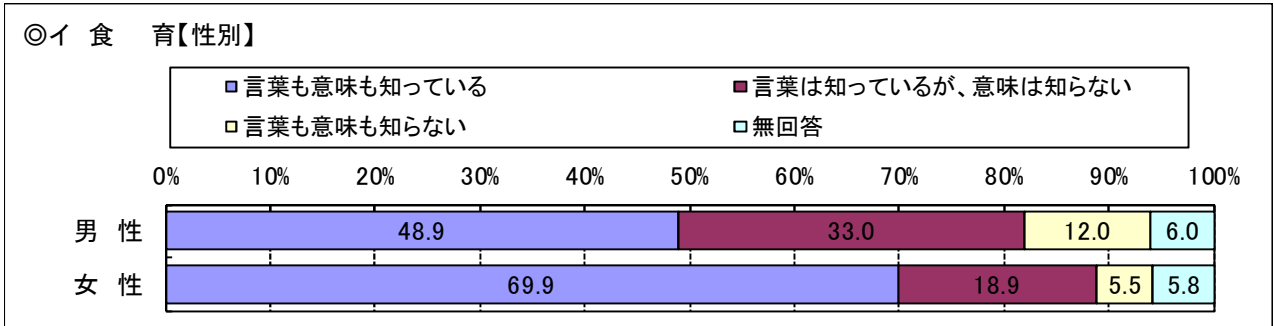
◎イ 食 育【地域別】



【性別、性・年代別】

●性別では、「言葉も意味も知っている」は、女性が高くなっている。

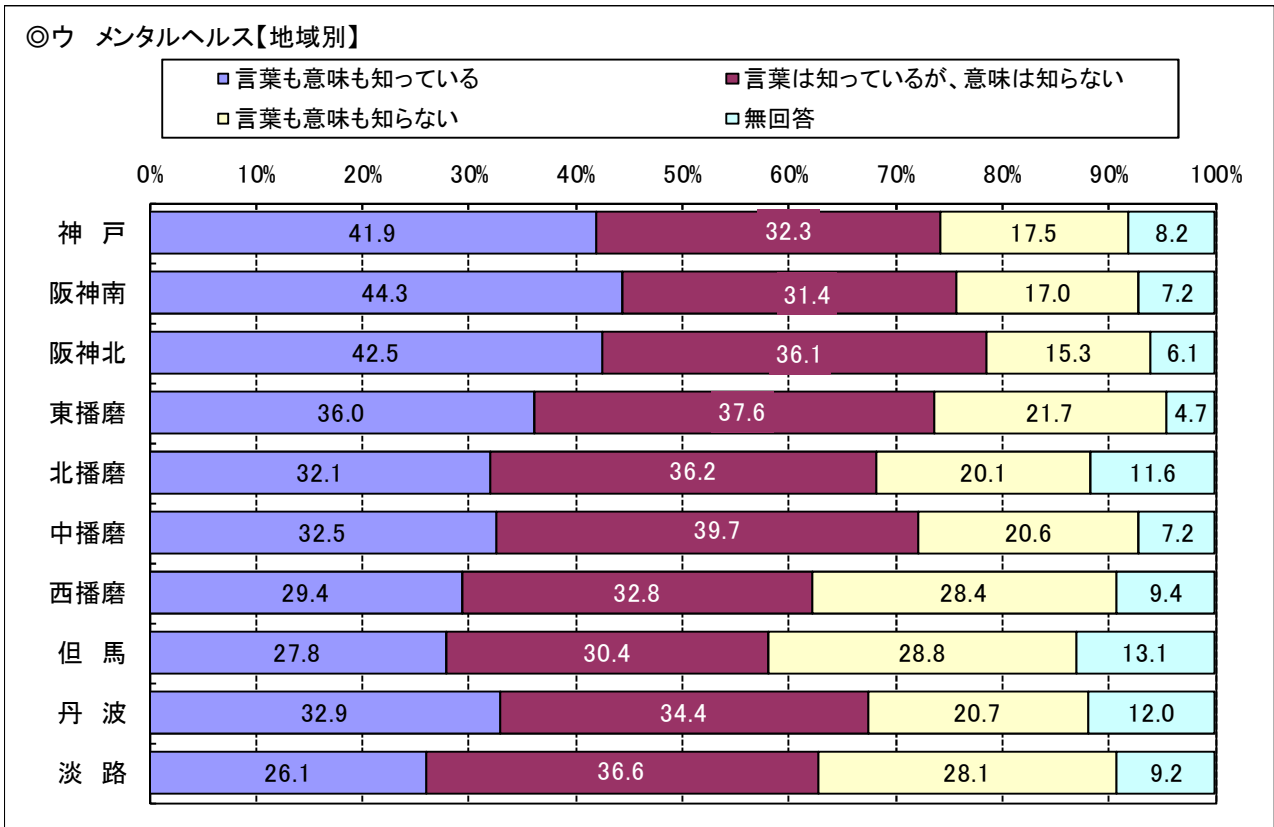
●性・年代別では、「言葉も意味も知っている」は、男性の40代と女性の20代から60代が、全県(61.0%)より高くなっている。



〔ウ メンタルヘルス〕

【地域別】

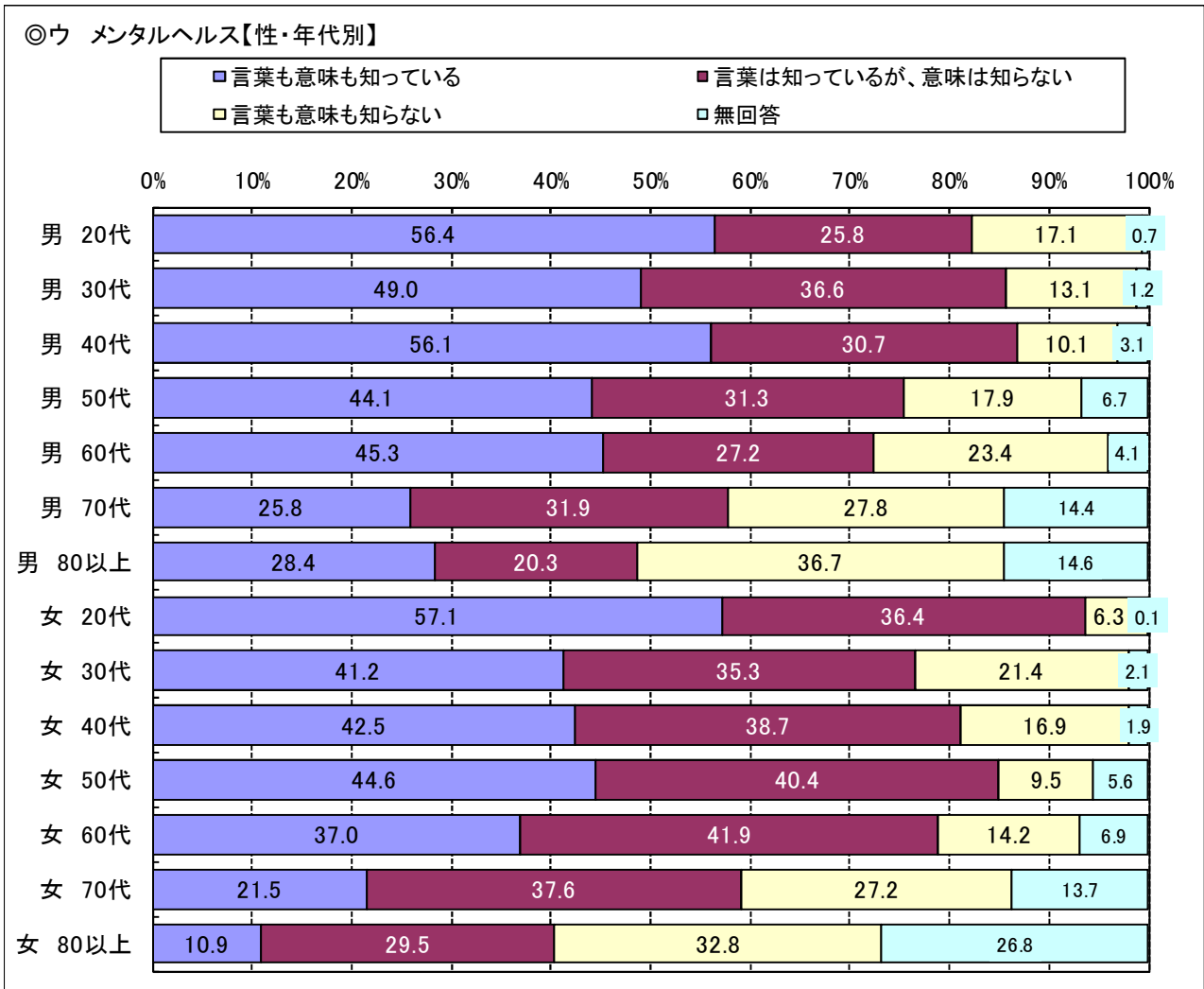
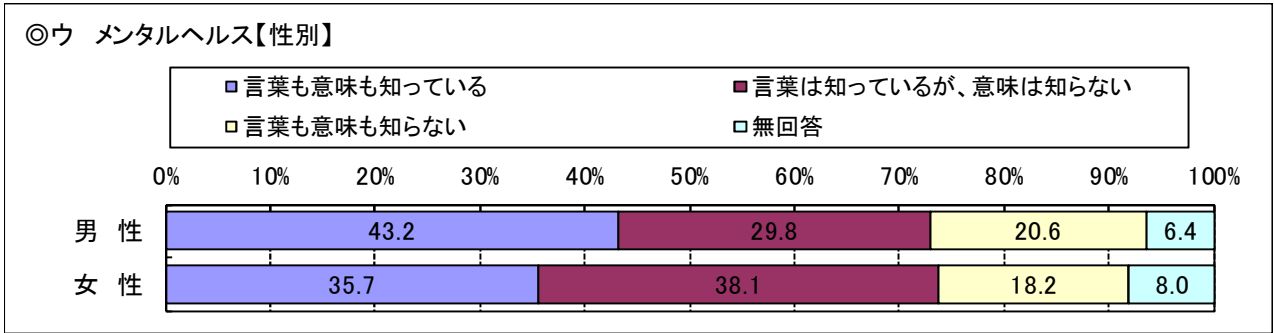
地域別では、「言葉も意味も知っている」は神戸、阪神南、阪神北が、全県(38.6%)より高くなっている。



【性別、性・年代別】

●性別では、「言葉も意味も知っている」は、男性が高くなっている。

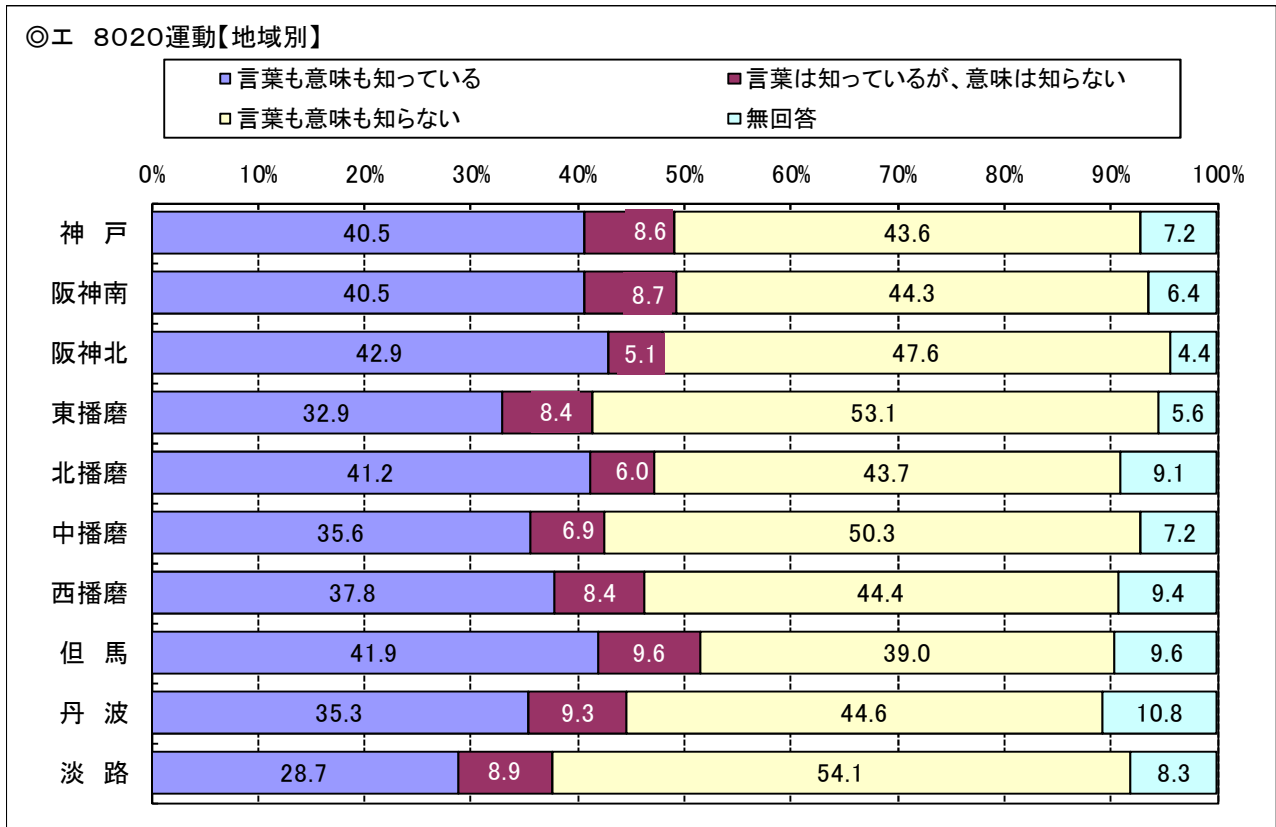
●性・年代別では、「言葉も意味も知っている」は、男性の20代から60代と、女性の20代から50代が、全県(38.6%)より高くなっている。



〔エ 8020運動〕

【地域別】

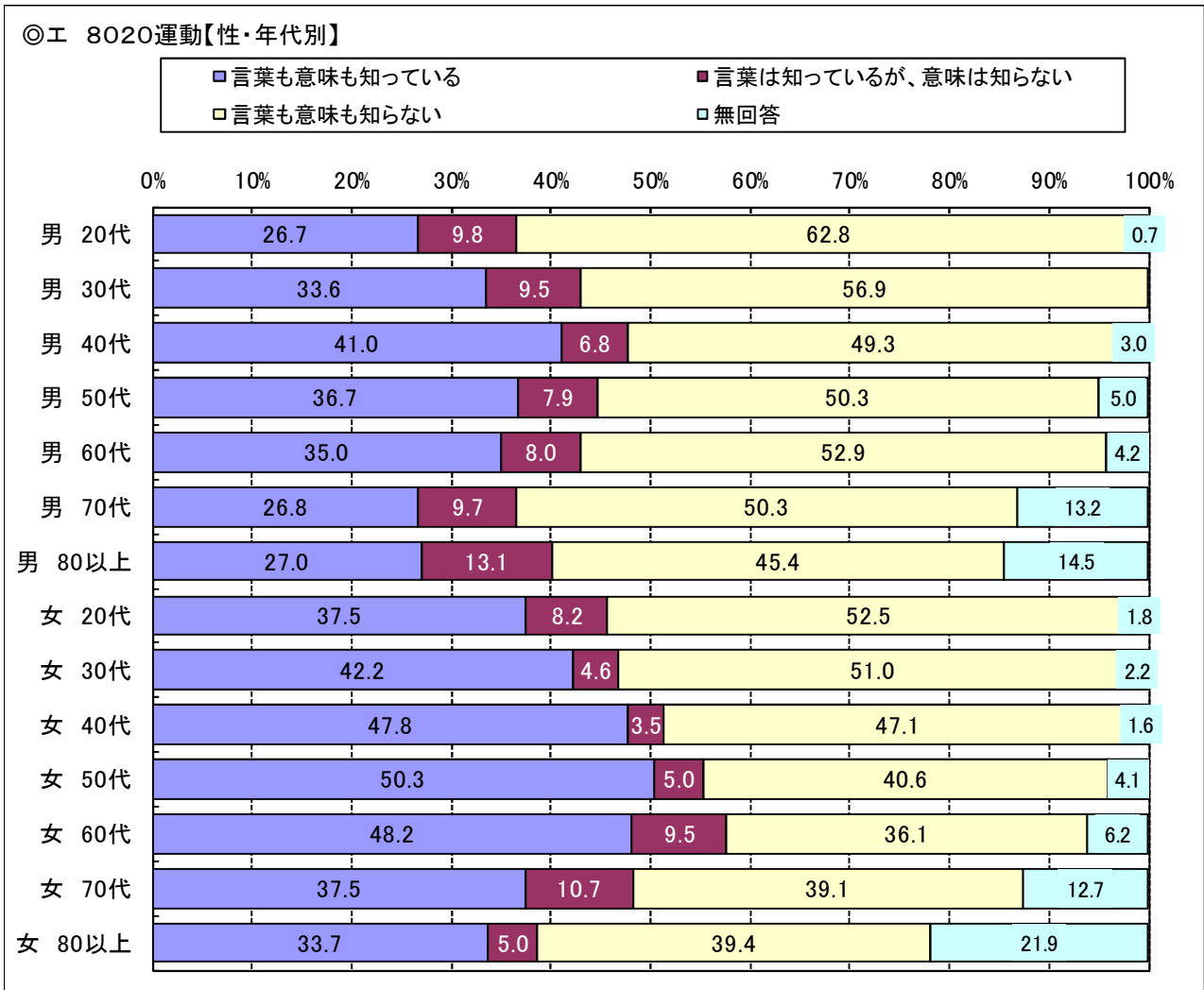
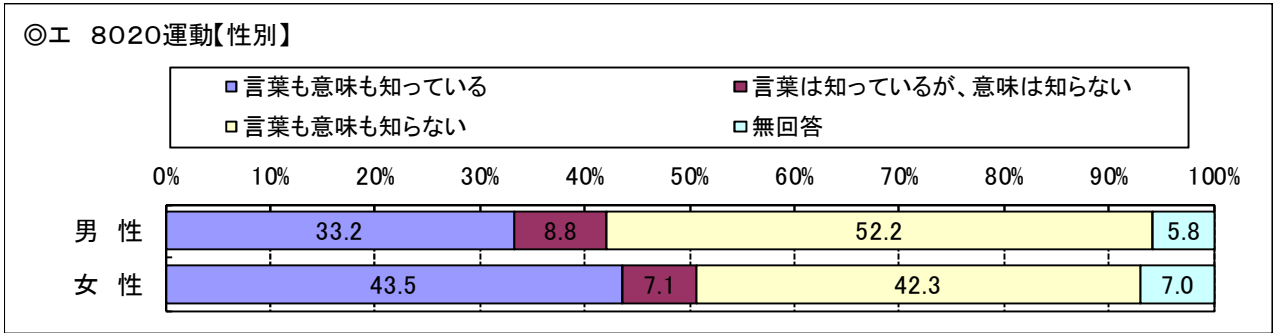
地域別では、「言葉も意味も知っている」は神戸、阪神南、阪神北、北播磨、但馬が、全県(38.9%)より高くなっている。



【性別、性・年代別】

●性別では、「言葉も意味も知っている」は、女性が高くなっている。

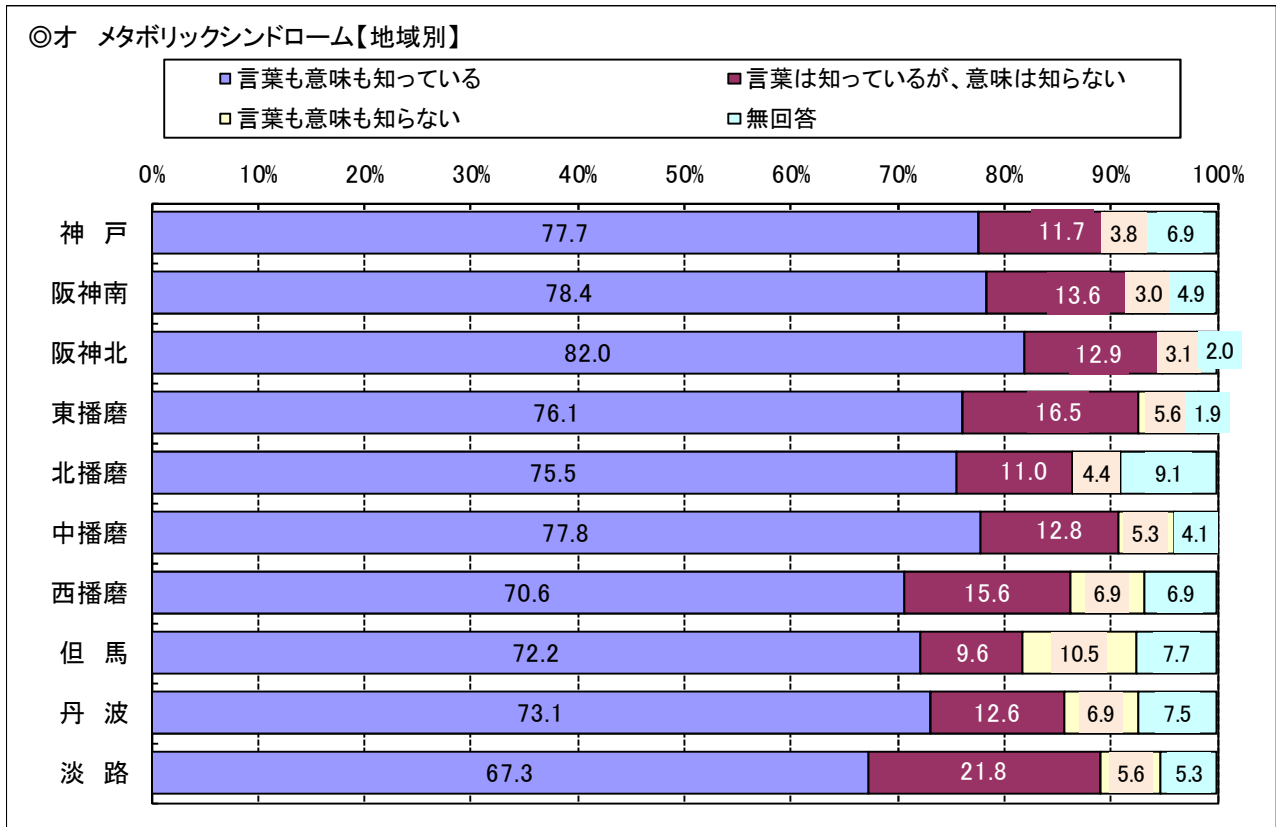
●性・年代別では、「言葉も意味も知っている」は、男性の40代と女性の30代から60代が、全県(38.9%)より高くなっている。



〔オ メタボリックシンドローム〕

【地域別】

地域別では、「言葉も意味も知っている」は神戸、阪神南、阪神北、中播磨が、全県(77.2%)より高くなっている。

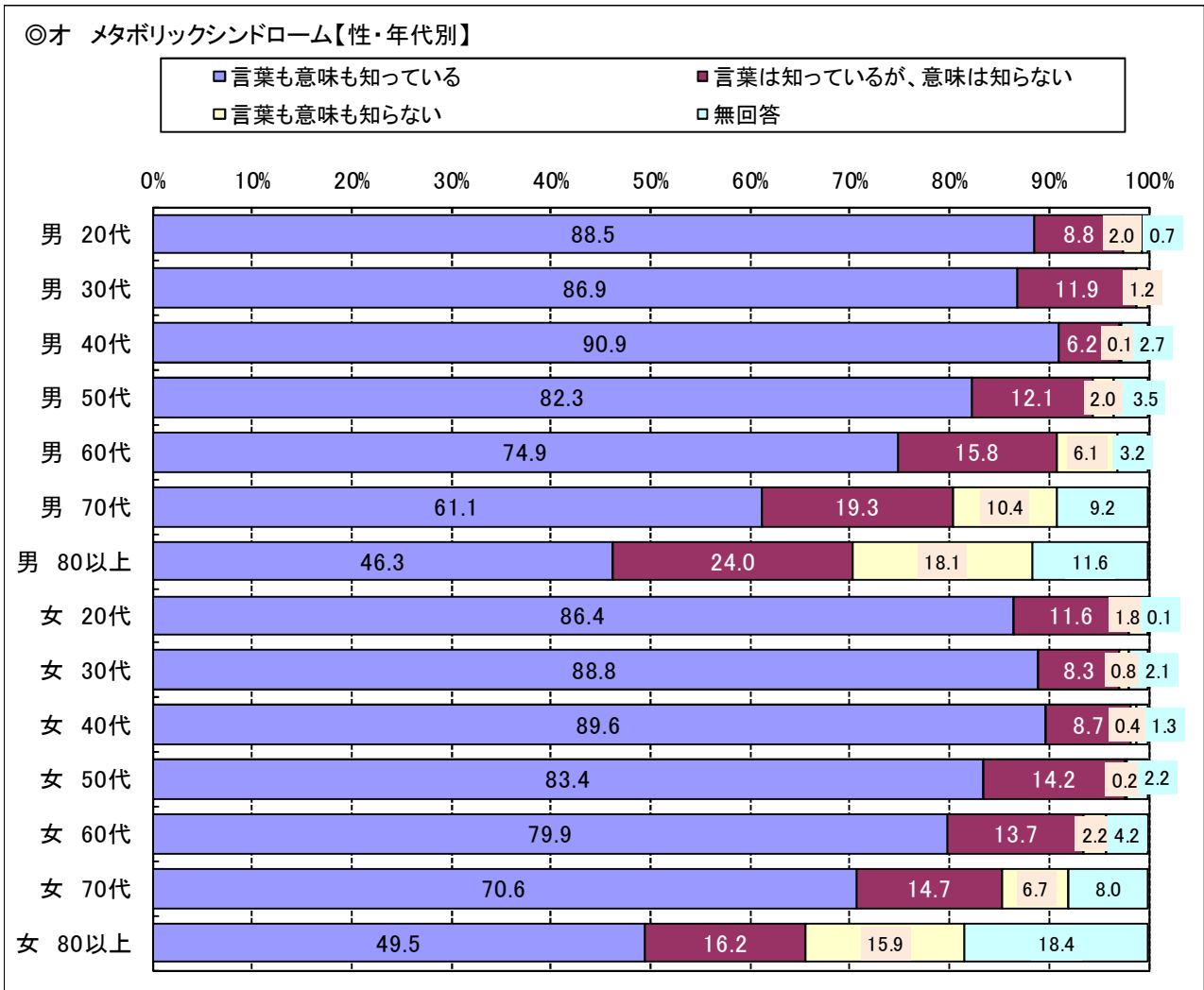
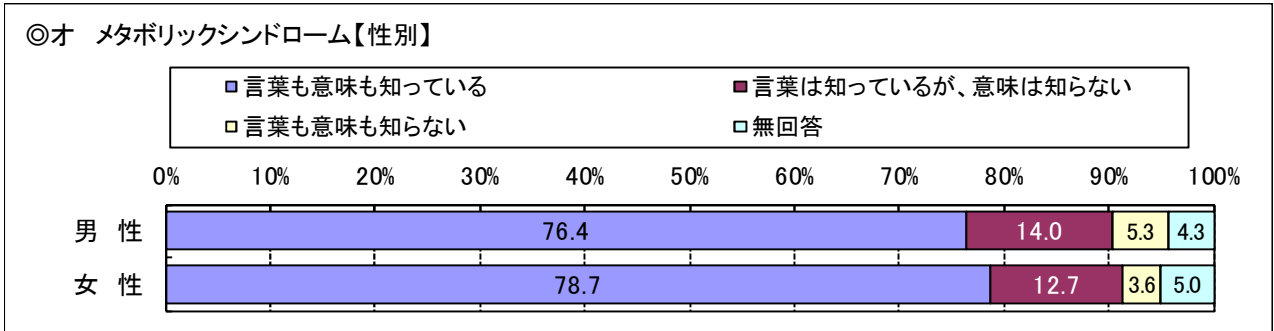




【性別、性・年代別】

●性別では、「言葉も意味も知っている」は、女性が高くなっている。

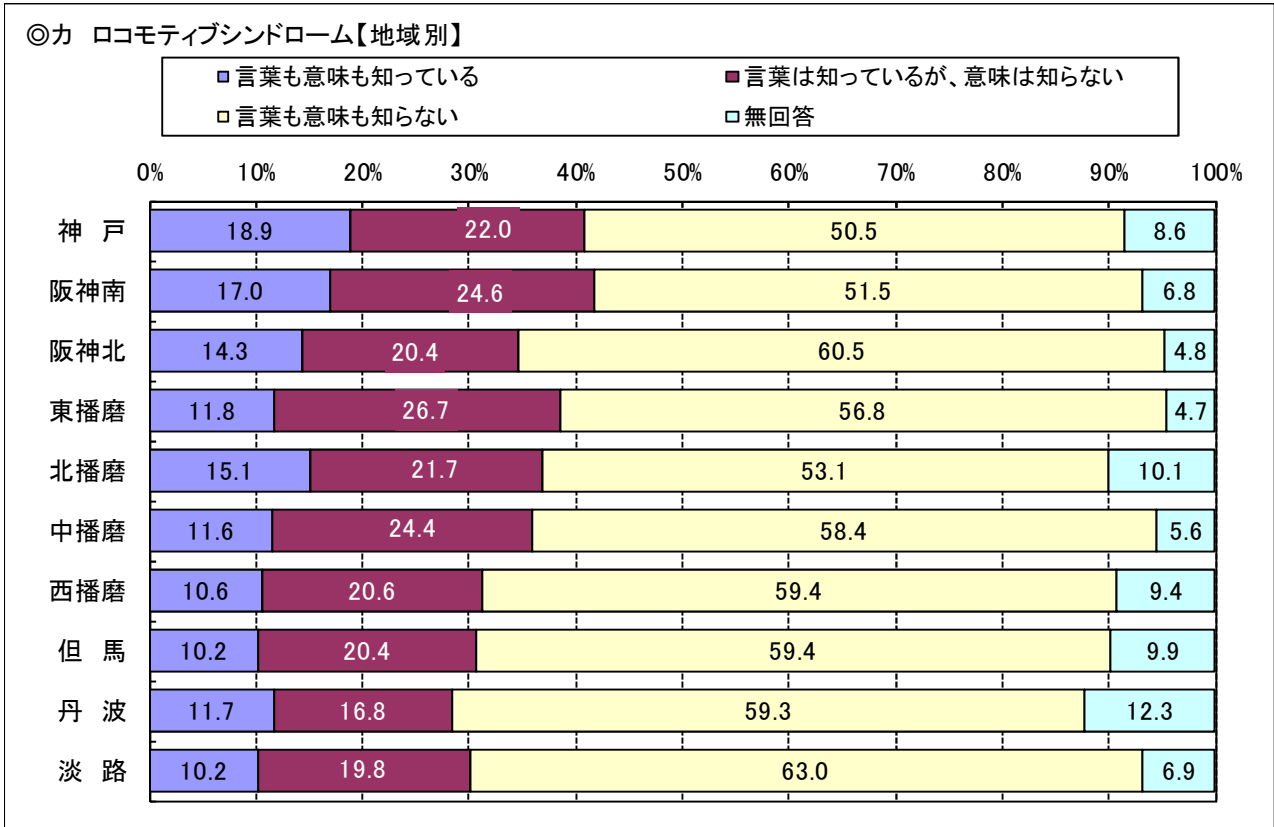
●性・年代別では、「言葉も意味も知っている」は、男性の20代から50代と、女性の20代から60代が、全県(77.2%)より高くなっている。



〔カ ロコモティブシンドローム〕

【地域別】

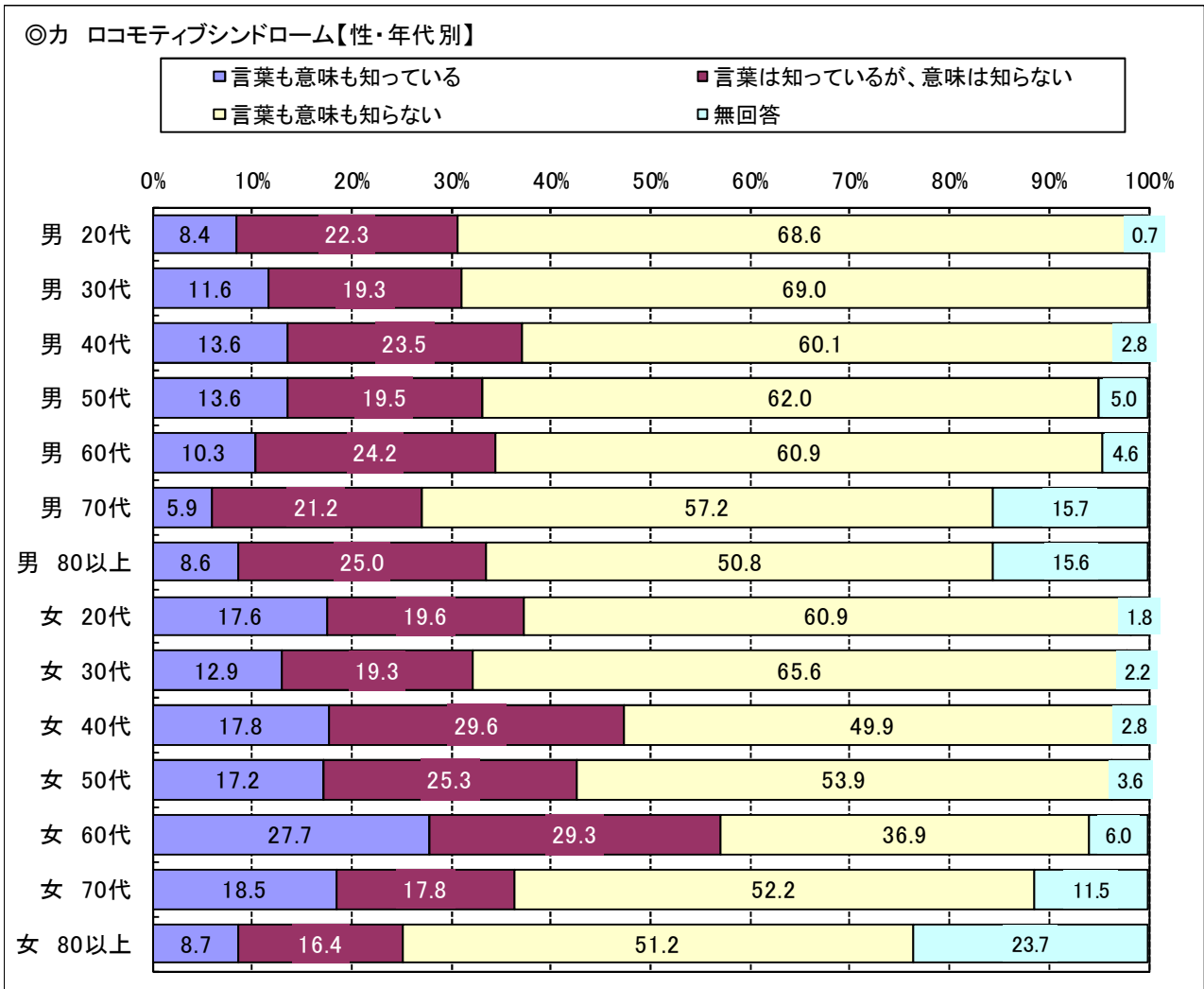
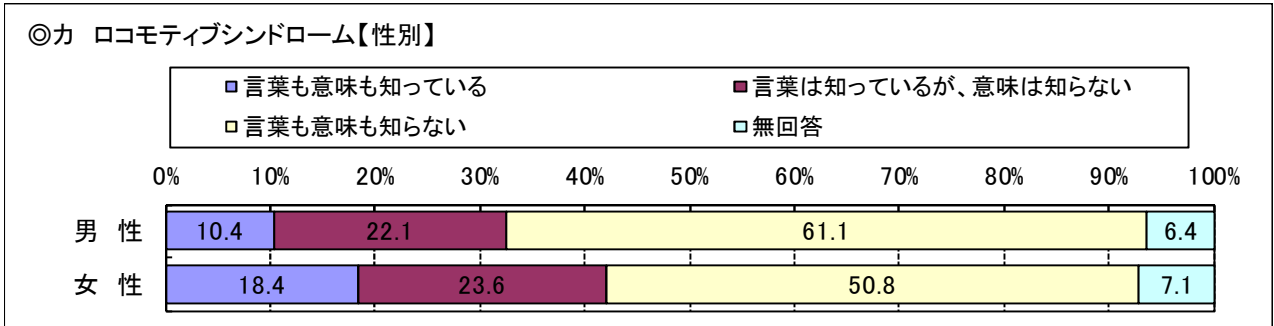
地域別では、「言葉も意味も知っている」は神戸、阪神南、北播磨が、全県(15.1%)より高くなっている。



【性別、性・年代別】

●性別では、「言葉も意味も知っている」は、女性が高くなっている。

●性・年代別では、「言葉も意味も知っている」は、女性の20代と40代から70代が、全県(15.1%)より高くなっている。

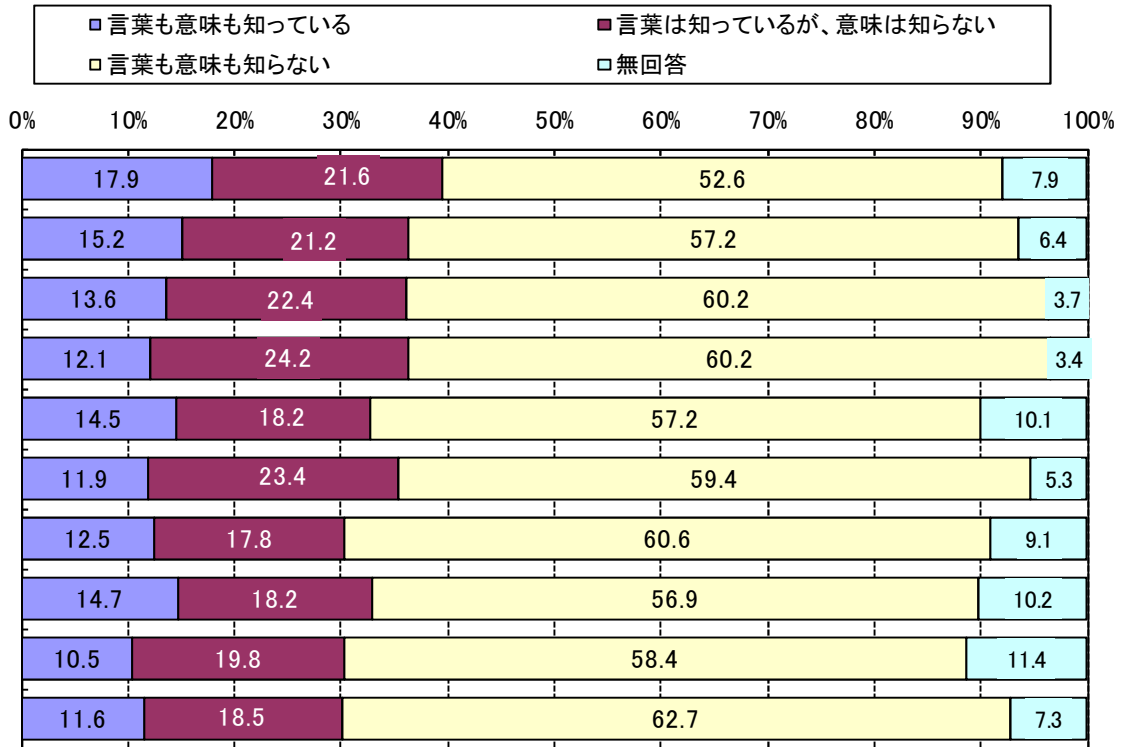


〔キ COPD（慢性閉塞性肺疾患）〕

【地域別】

地域別では、「言葉も意味も知っている」は神戸、阪神南、但馬が、全県(14.6%)より高くなっている。

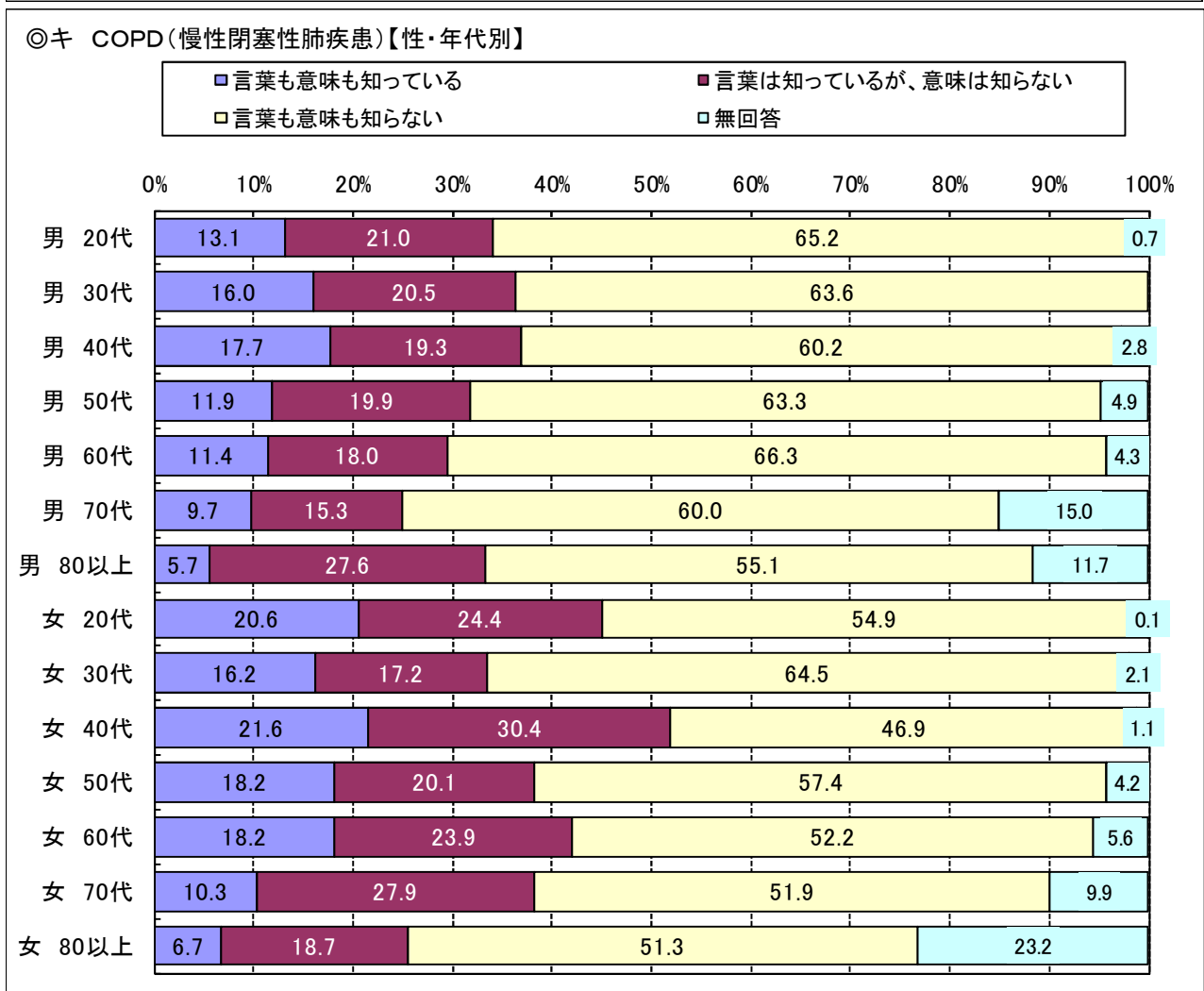
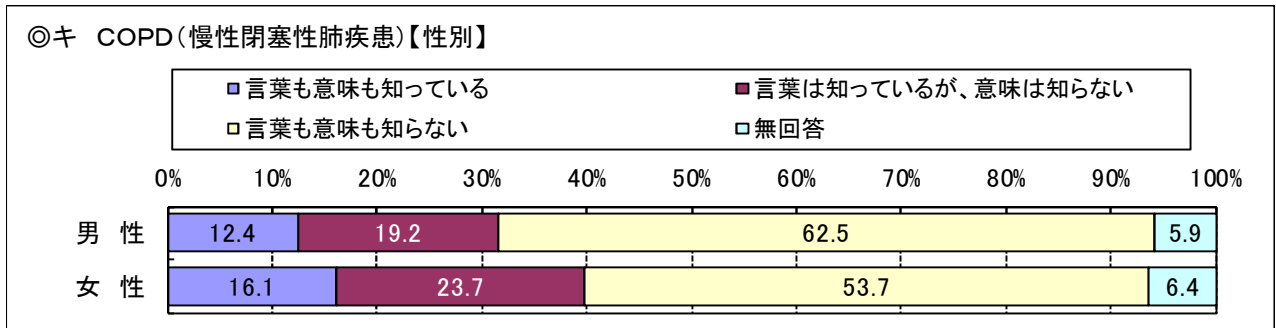
◎キ COPD(慢性閉塞性肺疾患)【地域別】



【性別、性・年代別】

●性別では、「言葉も意味も知っている」は、女性が高くなっている。

●性・年代別では、「言葉も意味も知っている」は、男性の30代、40代と女性の20代から60代が、全県(14.6%)より高くなっている。



## 2 『食育』に関することについて

### 問14 関心のある食育活動

#### 問14

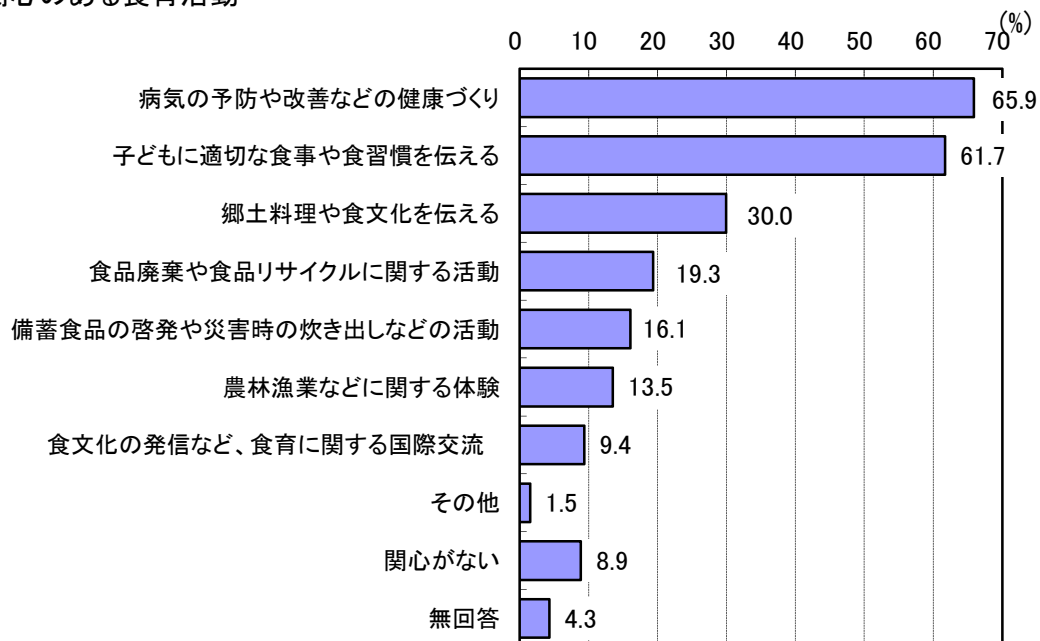
あなたは、次のどのような食育活動に関心がありますか。次の中からあてはまるものを全て選んで番号に○をつけてください。

- 1 子どもに適切な食事や食習慣を伝える
- 2 病気の予防や改善などの健康づくり
- 3 郷土料理や食文化を伝える
- 4 農林漁業などに関する体験
- 5 食品廃棄や食品リサイクルに関する活動
- 6 備蓄食品の啓発や災害時の炊き出しなどの活動
- 7 食文化の発信など、食育に関する国際交流
- 8 その他 ( )
- 9 関心がない

#### 【全 県】

- 「病気の予防や改善などの健康づくり」が65.9%で最も高く、「子どもに適切な食事や食習慣を伝える」の61.7%と上位となっている。

#### ○ 関心のある食育活動



【地域別】

どの地域も、全県と同様の傾向となっている。

	○ 関心のある食育活動【地域別】									
	子どもに適切な食事や食習慣を伝える	病気の予防や改善などの健康づくり	郷土料理や食文化を伝える	農林漁業などに関する体験	食品廃棄や食品リサイクルに関する活動	備蓄食品の啓発や災害時の炊き出しなどの活動	食文化の発信など、食育に関する国際交流	その他	関心がない	無回答
	最大値						最小値			(%)
全 県	61.7	65.9	30.0	13.5	19.3	16.1	9.4	1.5	8.9	4.3
地域別										
神 戸	63.9	64.3	34.7	16.5	20.6	14.4	11.0	1.7	7.6	5.5
阪神南	61.0	66.3	26.9	13.6	23.5	20.5	12.5	2.3	9.8	4.5
阪神北	63.3	69.0	29.3	11.9	17.3	17.3	8.5	1.4	7.8	1.7
東播磨	62.7	65.2	27.6	11.5	17.1	13.0	7.8	0.9	9.0	2.8
北播磨	59.4	69.5	29.6	12.3	17.3	17.6	6.3	1.6	9.1	5.0
中播磨	60.0	67.5	25.6	12.5	15.6	14.1	6.6	0.6	10.9	4.1
西播磨	58.1	62.5	25.9	9.4	19.1	15.3	5.9	1.6	10.3	5.0
但 馬	56.2	63.6	32.6	13.4	17.3	17.3	6.1	1.6	9.9	5.4
丹 波	59.0	66.2	34.7	12.0	21.0	14.1	9.0	1.5	8.7	5.1
淡 路	57.1	63.4	34.3	13.5	17.5	16.8	8.9	0.7	7.6	5.9
地域間の差	7.7	7.0	9.1	7.1	7.9	7.4	6.6	1.6	3.4	4.2

【性別、性・年代別】

●性別では、「関心がない」は、男性が高くなっている。

●性・年代別では、「関心がない」は、男性の30代以外と、女性の80歳以上が、全県(8.9%)より高くなっている。

○ 関心のある食育活動【性別】

	子どもに適切な食事や食習慣を伝える	病気の予防や改善などの健康づくり	郷土料理や食文化を伝える	農林漁業などに関する体験	食品廃棄や食中リサイクルに関する活動	備蓄食品の啓発や災害時の炊き出しなどの活動	食文化の発信など、食育に関する国際交流	その他	関心がない	無回答
全 県	61.7	65.9	30.0	13.5	19.3	16.1	9.4	1.5	8.9	4.3
性別										
男 性	52.7	57.0	25.5	14.1	17.4	14.4	9.2	1.4	14.6	4.0
女 性	68.5	72.8	33.4	13.4	21.1	17.2	9.3	1.6	4.8	4.1
性別間の差	15.8	15.8	7.9	0.7	3.7	2.8	0.1	0.2	9.8	0.1

○ 関心のある食育活動【性・年代別】

	最大値						最小値			(%)
	子どもに適切な食事や食習慣を伝える	病気の予防や改善などの健康づくり	郷土料理や食文化を伝える	農林漁業などに関する体験	食品廃棄や食中リサイクルに関する活動	備蓄食品の啓発や災害時の炊き出しなどの活動	食文化の発信など、食育に関する国際交流	その他	関心がない	無回答
全 県	61.7	65.9	30.0	13.5	19.3	16.1	9.4	1.5	8.9	4.3
性・年代別										
男 性										
20代	56.7	49.8	31.9	12.8	20.3	24.8	8.9	3.4	26.1	0.5
30代	73.0	60.9	34.5	21.1	27.4	14.8	11.4	0.0	8.1	0.0
40代	68.7	48.8	27.5	16.9	20.9	16.9	15.2	0.0	12.1	1.2
50代	53.2	52.3	22.4	13.8	13.1	10.2	9.5	1.9	14.8	5.8
60代	49.8	62.6	25.8	11.8	15.1	14.7	7.0	1.6	12.2	3.3
70代	38.3	59.6	21.5	13.6	16.6	11.8	7.4	1.3	16.1	6.1
80歳以上	26.3	61.2	16.1	8.0	8.7	11.8	4.7	3.0	20.7	13.4
年代間の差	46.7	13.8	18.4	13.1	18.7	14.6	10.5	3.4	18.0	13.4
女 性										
20代	63.0	76.1	43.6	12.4	14.6	14.9	23.0	0.0	3.7	0.0
30代	84.1	78.5	47.1	21.2	22.9	21.1	21.0	1.2	1.4	1.6
40代	81.1	73.5	36.7	19.7	25.3	19.2	7.2	1.8	3.5	0.2
50代	71.4	74.1	30.2	9.3	18.4	12.8	5.6	2.0	3.9	1.8
60代	68.8	74.3	30.4	10.5	22.5	17.7	7.7	3.1	4.7	4.6
70代	56.8	67.1	26.2	13.6	22.4	19.1	3.9	0.2	6.2	9.2
80歳以上	48.1	66.1	28.8	7.7	17.0	13.0	7.0	1.6	10.6	10.4
年代間の差	36.0	12.4	20.9	13.5	10.7	8.3	19.1	3.1	9.2	10.4



## 問 15 実践している食育活動

### 問 15

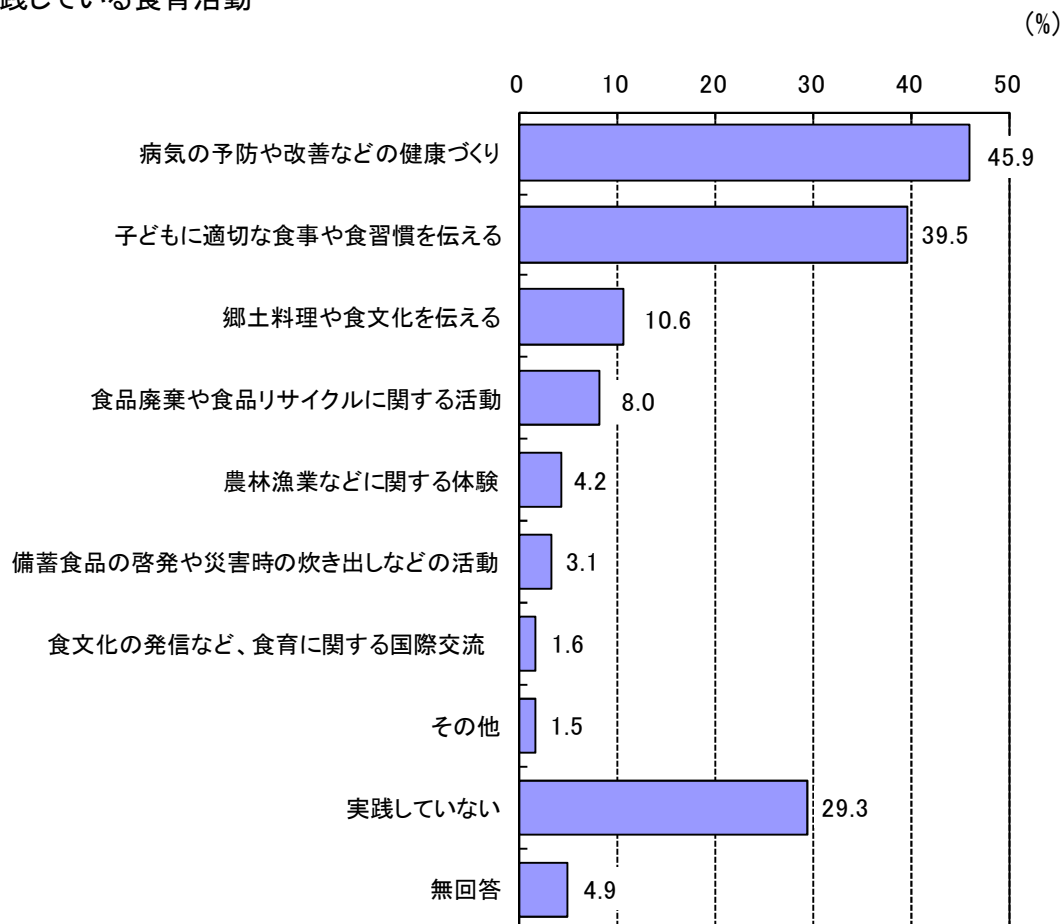
あなたは、次のどのような食育活動を実践していますか。次の中からあてはまるものを全て選んで番号に○をつけてください。

- 1 子どもに適切な食事や食習慣を伝える
- 2 病気の予防や改善などの健康づくり
- 3 郷土料理や食文化を伝える
- 4 農林漁業などに関する体験
- 5 食品廃棄や食品リサイクルに関する活動
- 6 備蓄食品の啓発や災害時の炊き出しなどの活動
- 7 食文化の発信など、食育に関する国際交流
- 8 その他 ( )
- 9 実践していない

### 【全 県】

- 「病気の予防や改善などの健康づくり」が45.9%で最も高く、「子どもに適切な食事や食習慣を伝える」の39.5%と上位となっており、関心がある食育活動と、ほぼ同じ順位となっている。  
 なお、上位3項目については、関心と実践の差が20%前後あり、関心があっても、実践できていないことがうかがえる。

### ○ 実践している食育活動



【地域別】

地域別では、「実践していない」は神戸、丹波以外は、全県(29.3%)より高くなっている。

○ 実践している食育活動【地域別】

						最大値		最小値		(%)
	子どもに適切な食事や食習慣を伝える	病気の予防や改善などの健康づくり	郷土料理や食文化を伝える	農林漁業などに関する体験	食品廃棄や食品リサイクルに関する活動	備蓄食品の啓発や災害時の炊き出しなどの活動	食文化の発信など、食育に関する国際交流	その他	実践していない	無回答
全 県	39.5	45.9	10.6	4.2	8.0	3.1	1.6	1.5	29.3	4.9
地域別										
神 戸	40.9	51.5	11.3	3.8	8.9	2.1	1.7	2.1	22.7	7.6
阪神南	41.3	47.3	11.0	4.2	8.7	3.4	2.3	2.7	29.5	2.7
阪神北	39.8	39.5	10.2	3.1	6.8	3.4	0.7	1.0	35.4	3.1
東播磨	37.0	46.0	8.7	3.1	6.8	2.8	1.2	0.0	33.9	3.4
北播磨	38.7	41.8	11.0	4.7	7.2	4.1	1.9	1.9	29.6	6.0
中播磨	41.3	42.2	8.1	5.9	5.6	3.1	1.9	0.9	32.2	4.1
西播磨	34.4	40.6	10.0	4.1	10.9	3.8	1.6	1.6	30.6	6.3
但 馬	35.8	43.5	14.7	6.4	9.6	5.1	1.9	0.6	30.7	5.1
丹 波	35.0	46.4	12.3	6.3	8.7	4.8	0.6	1.5	28.1	6.6
淡 路	36.0	42.9	13.9	7.9	7.9	5.3	2.3	0.3	30.0	6.3
地域間の差	6.9	12.1	6.6	4.9	5.3	3.2	1.7	2.7	12.7	4.9

【性別、性・年代別】

●性別では、「実践していない」は、男性が高くなっている。

●性・年代別では、「実践していない」は、男性の全ての世代と、女性の20代と80歳以上が、全県(29.3%)より高くなっている。

○ 実践している食育活動【性別】

	子どもに適切な食事や食習慣を伝える	病気の予防や改善などの健康づくり	郷土料理や食文化を伝える	農林漁業などに関する体験	食品廃棄や食中リサイクルに関する活動	備蓄食品の啓発や災害時の炊き出しなどの活動	食文化の発信など、食育に関する国際交流	その他	実践していない	無回答
全 県	39.5	45.9	10.6	4.2	8.0	3.1	1.6	1.5	29.3	4.9
性別										
男 性	29.8	37.6	8.4	4.7	7.4	2.9	1.6	1.4	39.0	5.6
女 性	46.7	52.0	12.0	4.0	8.6	3.3	1.6	1.5	22.4	4.5
性別間の差	16.9	14.4	3.6	0.7	1.2	0.4	0.0	0.1	16.6	1.1

○ 実践している食育活動【性・年代別】

	最大値							最小値		(%)
	子どもに適切な食事や食習慣を伝える	病気の予防や改善などの健康づくり	郷土料理や食文化を伝える	農林漁業などに関する体験	食品廃棄や食中リサイクルに関する活動	備蓄食品の啓発や災害時の炊き出しなどの活動	食文化の発信など、食育に関する国際交流	その他	実践していない	無回答
全 県	39.5	45.9	10.6	4.2	8.0	3.1	1.6	1.5	29.3	4.9
性・年代別										
男 性										
20代	15.6	23.0	4.6	0.3	5.4	2.0	1.2	0.0	65.6	0.7
30代	37.8	25.3	5.1	3.1	11.1	0.8	1.0	1.5	38.1	4.0
40代	50.2	30.8	9.9	5.5	7.0	1.4	2.0	0.0	33.3	2.0
50代	28.3	37.4	8.9	3.5	4.6	3.0	2.6	1.9	37.4	6.2
60代	25.8	40.0	8.8	5.5	6.2	3.0	0.8	0.6	40.7	5.0
70代	25.8	49.7	10.1	6.3	10.6	5.5	2.5	3.5	35.1	7.4
80歳以上	14.9	49.2	8.7	5.8	6.1	3.8	0.0	1.5	31.4	17.7
年代間の差	50.2	49.7	10.1	6.3	11.1	5.5	2.6	3.5	65.6	7.4
女 性										
20代	19.6	36.2	8.2	0.9	5.2	0.8	0.8	0.2	43.9	2.3
30代	57.8	47.7	15.1	8.4	7.5	1.8	2.1	2.4	18.0	1.6
40代	68.0	47.4	12.6	4.8	9.0	1.0	1.4	1.9	18.0	0.3
50代	56.6	51.8	13.1	5.5	8.1	2.2	1.1	1.1	18.5	3.0
60代	46.6	59.1	10.5	2.8	11.1	5.8	2.3	1.5	21.1	4.0
70代	33.7	63.1	13.0	2.7	7.8	5.6	0.8	1.0	16.0	8.8
80歳以上	25.6	44.1	10.8	2.3	8.6	3.3	1.8	2.1	37.4	12.1
年代間の差	48.4	26.9	6.9	7.5	5.9	5.0	1.5	2.2	27.9	11.8

## 問 1 6 郷土料理の認知度と実践状況

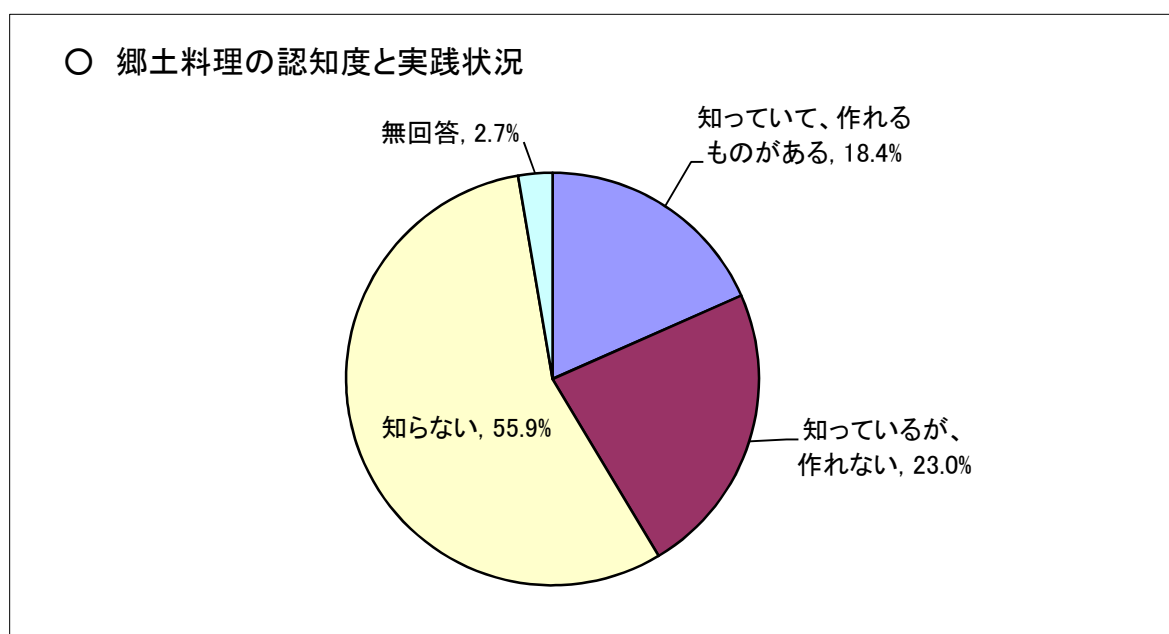
### 問 1 6

お住まいの地域の郷土料理（伝統料理）について、あなたにあてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

- 1 知っていて、作れるものがある      2 知っているが、作れない      3 知らない

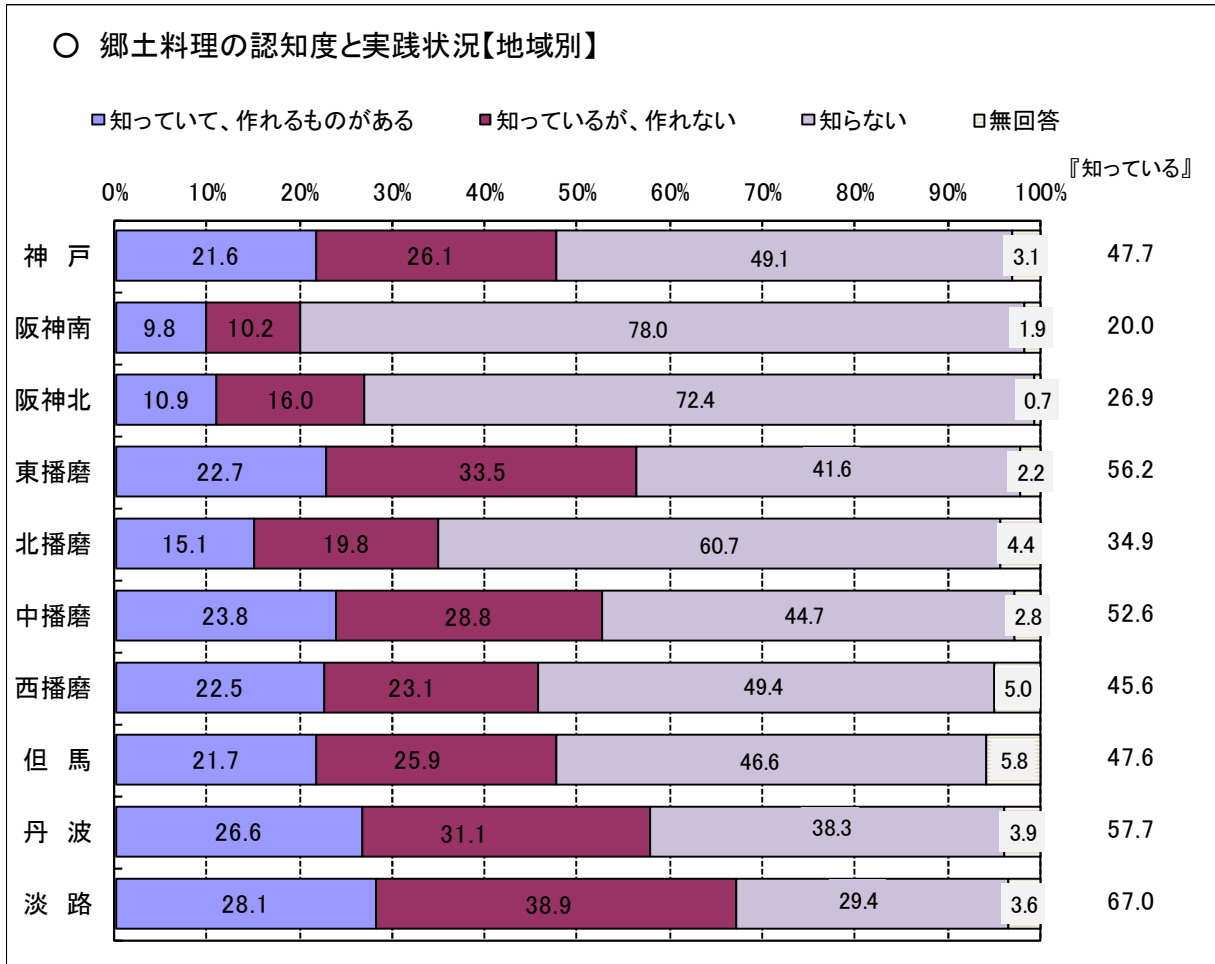
### 【全 県】

- 「知らない」が 55.9%で最も高く、次に「知っているが、作れない」が 23.0%となっており、続いて、「知っていて、作れるものがある」が 18.4%となっている。



【地域別】

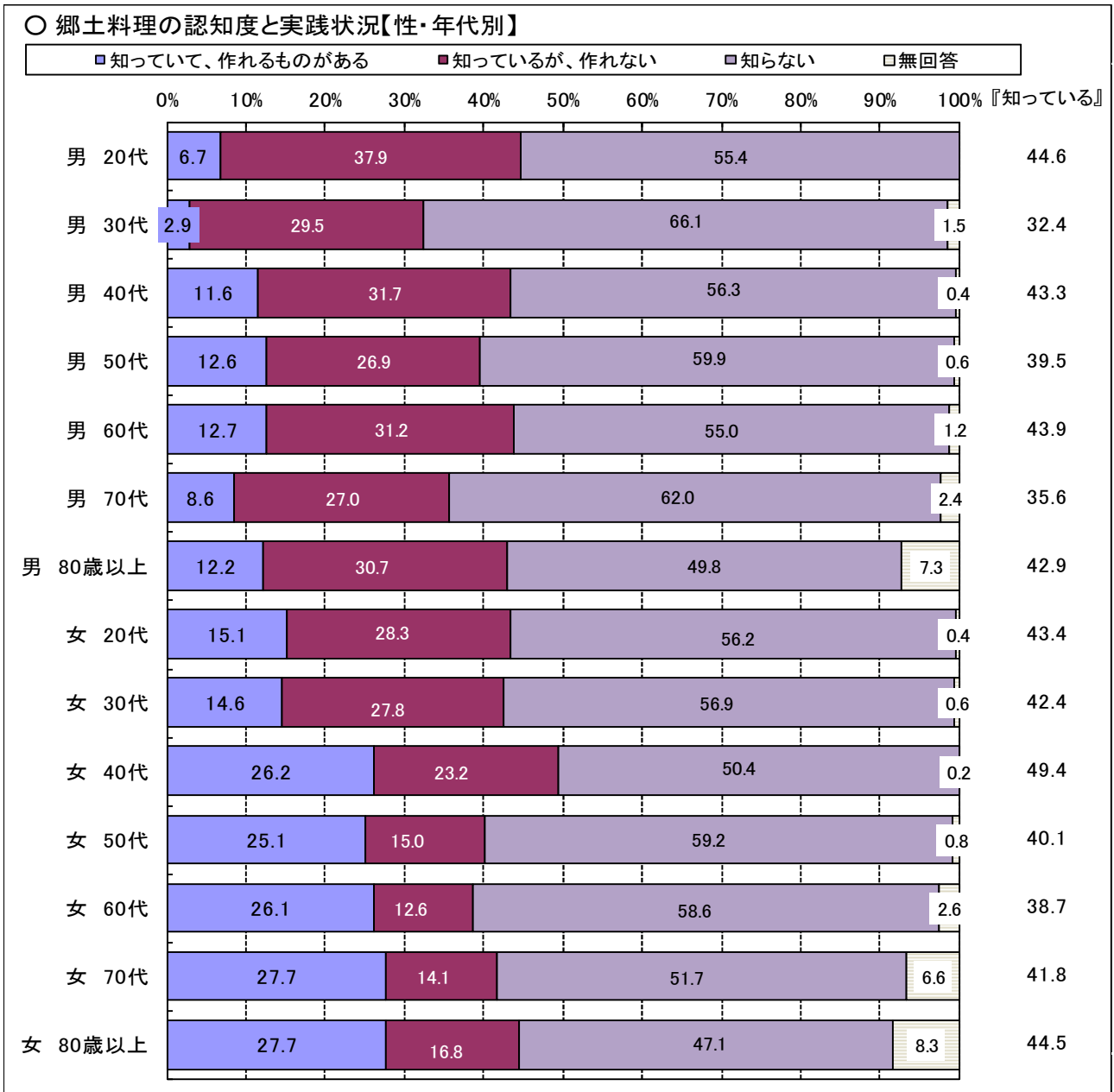
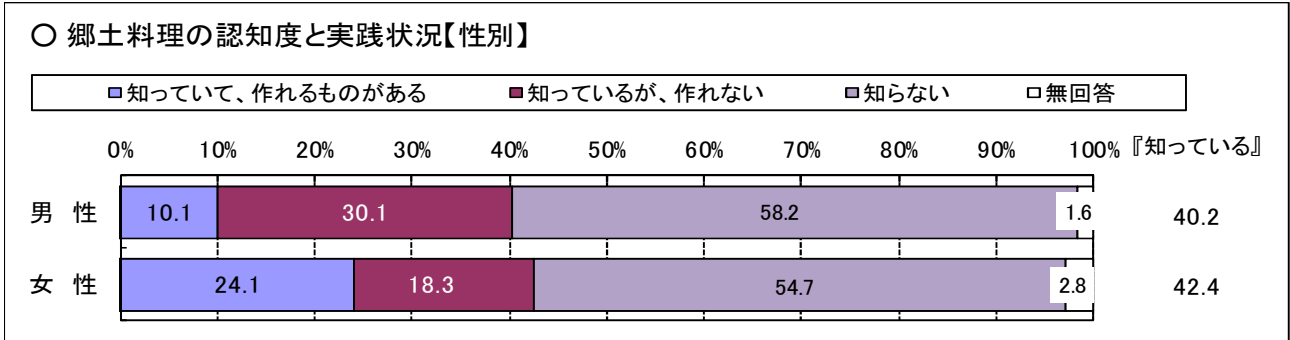
郷土料理を「知っていて、作れるものがある」と「知っているが、作れない」を合わせた『知っている』は、淡路が67.0%で最も高く、神戸、東播磨、中播磨、西播磨、但馬、丹波が全県（41.4%）を越えている。



【性別、性・年代別】

●性別では、『知っている』は、女性が高くなっている。

●性・年代別では、『知っている』は、男性の20代、40代、60代、80歳以上と、女性の20代から40代と70代、80歳以上が、全県(41.4%)より高くなっている。



## 問17 災害時の健康を保つために備えているもの

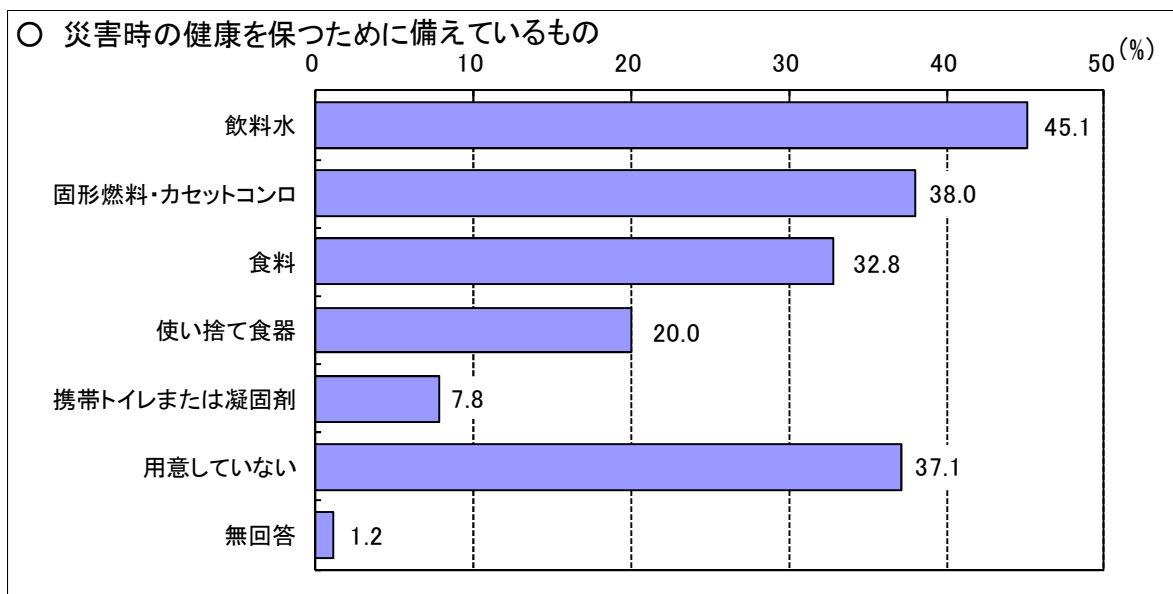
### 問17

災害時であっても健康を保つために、あなたの家では、災害等の非常時に食料・食器・熱源等を用意していますか。あてはまるもの全て選んで番号に○をつけてください。

- |                |               |           |
|----------------|---------------|-----------|
| 1 食料           | 2 飲料水         | 3 使い捨て食器  |
| 4 固形燃料・カセットコンロ | 5 携帯トイレまたは凝固剤 | 6 用意していない |

### 【全 県】

- 「飲料水」が45.1%で最も高く、次に「固形燃料・カセットコンロ」が38.0%となっており、続いて、「食料」が32.8%となっている。  
また、「用意していない」が37.1%と高くなっている。



【地域別】

地域別では、災害への食の備えを用意していないのは、北播磨が 47.5%で最も高く、東播磨、中播磨、西播磨、但馬、丹波、淡路で全県（37.1%）を越えている。

○ 災害時の健康を保つために備えているもの【地域別】								最大値	最小値	(%)
	食料	飲料水	使い捨て食器	固形燃料・カセットコンロ	携帯トイレまたは凝固剤	用意していない	無回答			
全 県	32.8	45.1	20.0	38.0	7.8	37.1	1.2			
地域別										
神 戸	35.1	46.4	24.4	40.2	7.6	33.7	1.0			
阪神南	39.0	53.0	18.9	36.7	12.1	32.6	0.4			
阪神北	35.7	45.9	19.7	44.6	9.9	35.4	0.0			
東播磨	28.9	45.0	18.6	37.9	7.5	38.5	1.2			
北播磨	24.2	39.0	18.9	33.6	5.3	47.5	2.8			
中播磨	26.6	43.1	17.2	36.6	4.7	41.6	1.9			
西播磨	25.3	30.9	14.4	31.9	2.8	45.6	3.8			
但 馬	30.4	32.3	17.3	31.0	4.8	41.5	2.9			
丹 波	25.1	33.8	16.2	30.8	3.0	45.2	3.0			
淡 路	32.0	39.6	19.1	32.3	6.3	41.9	1.7			
地域間の差	14.8	22.1	10.0	13.7	9.3	14.9	3.8			



【性別、性・年代別】

●性別では、災害への食の備えを用意していないのは、男性が高くなっている。

●性・年代別では、災害への食の備えを用意していないのは、男性の40代以外と女性の20代、30代が、全県(37.1%)より高くなっている。

○ 災害時の健康を保つために備えているもの【性別】

(%)

	食料	飲料水	使い捨て食器	固形燃料・カセットコンロ	携帯トイレまたは凝固剤	用意していない	無回答
全 県	32.8	45.1	20.0	38.0	7.8	37.1	1.2
性別							
男 性	30.4	42.8	17.7	37.3	6.2	40.3	1.0
女 性	34.7	47.3	22.2	38.7	9.2	34.8	1.3
性別間の差	4.3	4.5	4.5	1.4	3.0	5.5	0.3

○ 災害時の健康を保つために備えているもの【性・年代別】

(%)

	食料	飲料水	使い捨て食器	固形燃料・カセットコンロ	携帯トイレまたは凝固剤	用意していない	無回答
全 県	32.8	45.1	20.0	38.0	7.8	37.1	1.2
性・年代別							
男 性							
20代	27.8	40.1	14.7	25.2	6.9	44.3	0.0
30代	30.3	47.5	20.9	47.4	9.9	37.3	0.0
40代	34.6	45.3	19.4	44.0	5.6	36.3	0.4
50代	23.4	33.7	20.4	34.3	5.8	46.9	0.6
60代	34.4	48.3	15.3	36.3	5.0	37.3	0.2
70代	32.8	40.9	17.0	39.4	6.4	41.7	1.6
80歳以上	20.4	39.9	15.7	23.1	5.3	41.2	6.2
年代間の差	14.2	14.6	6.2	24.3	4.9	10.6	6.2
女 性							
20代	27.5	33.8	9.7	24.1	6.5	51.4	1.3
30代	28.9	42.0	14.4	32.7	8.9	38.1	0.0
40代	35.9	42.0	30.5	46.8	7.0	34.1	1.2
50代	31.1	46.5	21.4	44.6	9.9	35.1	0.4
60代	42.1	52.9	24.7	41.3	12.6	29.4	0.7
70代	32.0	51.4	26.5	39.1	6.5	32.8	2.4
80歳以上	38.6	55.0	16.7	29.7	10.8	33.1	4.1

## 問 18 災害への食の備えの認識

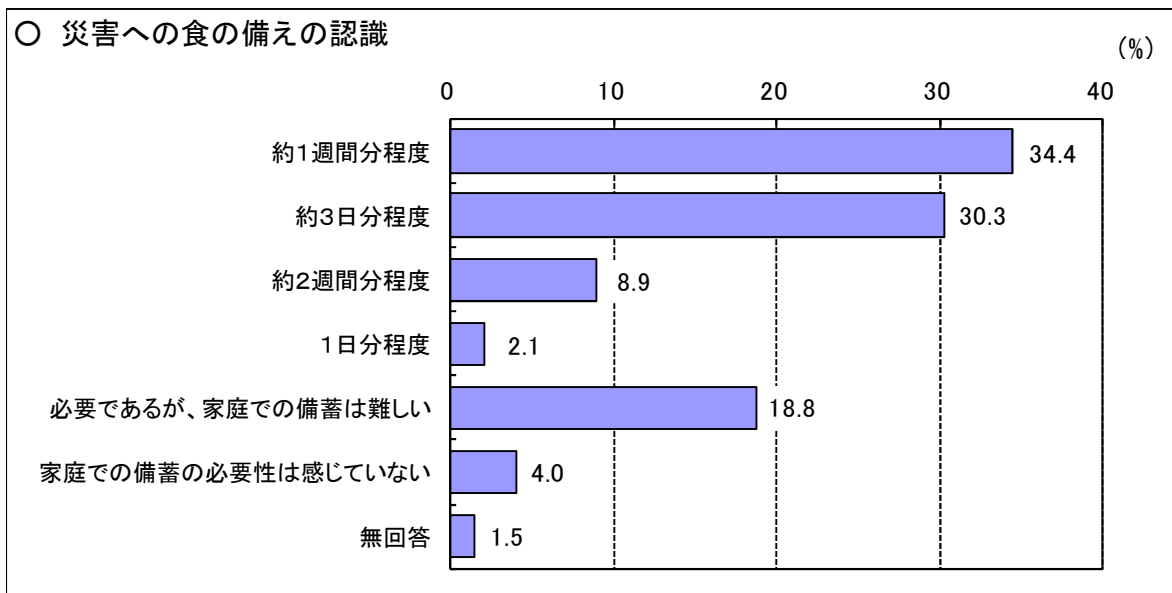
### 問 18

あなたは、家庭で災害等の非常用食料・飲料の備蓄をすることについて、どの程度必要だと考えていますか。あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

- 1 約2週間分程度                      2 約1週間分程度                      3 約3日分程度
- 4 1日分程度                              5 必要であるが、家庭での備蓄は難しい
- 6 家庭での備蓄の必要性は感じていない

### 【全 県】

- 「約1週間分程度」が34.4%で最も高く、次に「約3日分程度」が30.3%となっている。
- 「家庭での備蓄の必要性は感じていない」は4.0%と少数である。



【地域別】

地域別では、全県で最も高い「約1週間分程度」は、神戸、阪神南、阪神北、東播磨が、全県(34.4%)より、高くなっている。

○ 災害への食の備えの認識【地域別】

			最大値		最小値		(%)
	約2週間分程度	約1週間分程度	約3日分程度	1日分程度	い庭必要であるが、家庭での備蓄は難しい	い要家庭での備蓄の必要性は感じていない	無回答
全 県	8.9	34.4	30.3	2.1	18.8	4.0	1.5
地域別							
神 戸	9.6	35.1	32.0	2.7	15.5	3.8	1.4
阪神南	8.0	36.0	29.2	2.3	20.1	3.8	0.8
阪神北	6.8	35.7	32.0	1.7	20.4	2.4	1.0
東播磨	10.9	37.0	28.3	1.6	18.9	2.5	0.9
北播磨	8.2	31.1	26.1	1.3	24.2	5.7	3.5
中播磨	9.4	33.8	30.0	1.6	18.1	6.3	0.9
西播磨	9.4	32.2	26.6	1.9	20.9	5.0	4.1
但 馬	9.3	24.6	35.1	3.2	19.2	4.8	3.8
丹 波	7.5	28.1	27.8	2.4	24.0	6.3	3.9
淡 路	7.3	25.7	34.7	2.0	19.5	7.3	3.6
地域間の差	4.1	12.4	9.0	1.9	8.7	4.9	3.3

【性別、性・年代別】

●性別では、全県で最も高い「約1週間分程度」は、女性が高くなっている。

●性・年代別では、全県で最も高い「約1週間分程度」は、男性の40代と女性の30代から70代が、全県(34.4%)より高くなっている。

○災害への食の備えの認識【性別】

(%)

	約2週間分程度	約1週間分程度	約3日分程度	1日分程度	必要であるが、家庭での備蓄は難しい	必要であるが、家庭での備蓄の必要性は感じていない	無回答
全 県	8.9	34.4	30.3	2.1	18.8	4.0	1.5
性別							
男 性	8.8	32.3	31.4	2.4	18.6	5.7	0.8
女 性	9.0	35.8	30.2	2.0	18.7	2.5	1.7
性別間の差	0.2	3.5	1.2	0.4	0.1	3.2	0.9

○災害への食の備えの認識【性・年代別】

最大値

最小値

(%)

	約2週間分程度	約1週間分程度	約3日分程度	1日分程度	必要であるが、家庭での備蓄は難しい	必要であるが、家庭での備蓄の必要性は感じていない	無回答
全 県	8.9	34.4	30.3	2.1	18.8	4.0	1.5
性・年代別							
男 性							
20代	16.7	32.7	16.5	7.0	15.6	11.4	0.0
30代	12.0	30.9	31.7	1.5	22.4	1.6	0.0
40代	6.0	45.1	30.2	0.2	14.2	3.9	0.4
50代	13.8	31.1	25.7	5.9	18.0	4.8	0.7
60代	7.0	28.4	38.0	1.4	17.3	7.0	0.9
70代	3.6	31.3	35.7	1.8	20.7	6.1	0.9
80歳以上	9.3	24.3	29.3	0.8	25.6	7.4	3.2
年代間の差	13.1	20.8	21.5	6.8	11.4	9.8	3.2
女 性							
20代	22.8	34.0	19.3	2.6	19.7	1.1	0.5
30代	10.7	38.2	28.9	0.9	20.2	0.2	0.8
40代	8.4	38.8	32.2	2.4	17.0	0.3	0.8
50代	10.8	34.5	29.3	3.0	18.9	2.1	1.5
60代	8.0	37.5	31.4	1.3	16.6	4.3	0.9
70代	5.1	38.1	30.1	0.9	19.2	3.5	3.2
80歳以上	4.4	23.2	36.2	3.8	22.5	5.0	4.9
年代間の差	18.4	15.6	16.9	2.9	5.9	4.8	4.4

### 3 『行政等の取組への参加と期待』に関することについて

#### 問19 行政等が行う取組への参加状況

##### 問19

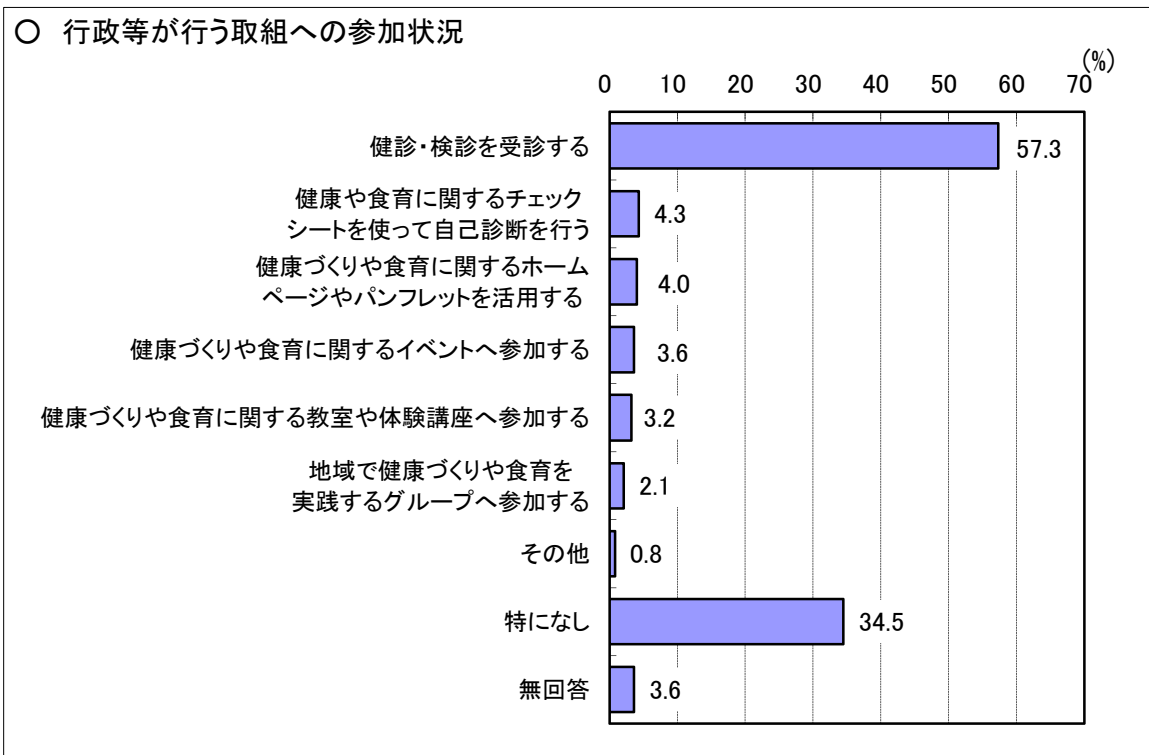
あなたは、おおむね過去1年間に、行政や民間団体・企業が行う健康づくりの取組について参加や実践したことがありますか。あてはまるもの全て選んで番号に○をつけてください。

- 1 健診・検診を受診する
- 2 健康や食育に関するチェックシートを使って自己診断を行う
- 3 健康づくりや食育に関するホームページやパンフレットを活用する
- 4 健康づくりや食育に関するイベントへ参加する
- 5 健康づくりや食育に関する教室や体験講座へ参加する
- 6 地域で健康づくりや食育を実践するグループへ参加する
- 7 その他 ( )
- 8 特になし

##### 【全 県】

- 「健診・検診を受診する」が57.3%で最も高く、他の取組への参加は5%未満となっている。また、「特になし」が34.5%となっている。

##### ○ 行政等が行う取組への参加状況



【地域別】

地域別では、全県で最も高い「健診・検診を受診する」は、神戸、阪神南以外は、全県(57.3%)より高くなっている。また、「特になし」は、阪神南と阪神北が、全県(34.5%)より高くなっている。

○ 行政等が行う取組への参加状況【地域別】

		最大値	最小値	(%)					
	健診・検診を受診する	健康や食育に関するチェックシートを使って自己診断を行う	健康づくりや食育に関するホームページやパンフレットを活用する	健康づくりや食育に関するイベントへ参加する	健康づくりや食育に関する教室や体験講座へ参加する	地域で健康づくりや食育を実践するグループへ参加する	その他	特になし	無回答
全 県	57.3	4.3	4.0	3.6	3.2	2.1	0.8	34.5	3.6
地域別									
神 戸	57.0	5.2	4.1	2.7	1.7	1.4	0.3	33.7	5.2
阪神南	51.9	4.5	4.2	3.4	3.4	1.9	1.1	39.4	4.2
阪神北	57.5	3.7	4.1	3.7	3.7	1.4	1.4	37.4	1.0
東播磨	58.7	2.8	3.7	3.7	1.6	1.9	0.6	34.2	2.2
北播磨	63.8	4.7	5.7	6.6	5.0	2.8	1.3	28.6	3.1
中播磨	59.1	4.7	3.8	3.1	3.8	2.2	0.9	34.4	2.5
西播磨	60.3	3.1	1.9	2.8	5.3	4.1	0.6	31.3	5.3
但 馬	62.9	3.2	5.4	7.0	8.0	5.8	1.6	24.0	4.2
丹 波	59.9	5.7	3.9	5.7	4.5	4.5	1.2	28.7	5.1
淡 路	58.4	5.3	2.0	4.3	5.6	5.9	0.7	32.3	4.6
地域間の差	11.9	2.9	3.8	4.3	6.4	4.6	1.3	15.4	4.3

【性別、性・年代別】

●性別では、全県で最も高い「健診・検診を受診する」は、男性が高くなっている。

●性・年代別では、全県で最も高い「健診・検診を受診する」は、男性の30代から50代と70代、女性は40代から70代が、全県(57.3%)より高くなっている。

○ 行政等が行う取組への参加状況【性別】

	健診・検診を受診する	健康や食育に関するチェックシートを使って自己診断を行う	健康づくりや食育に関するホームページやパンフレットを活用する	健康づくりや食育に関するイベントに参加する	健康づくりや食育に関するセミナーや体験講座へ参加する	健康づくりや食育に関する教室や体験講座へ参加する	地域や健康づくりや食育を实践するグループへ参加する	その他	特になし	無回答
全 県	57.3	4.3	4.0	3.6	3.2	2.1	0.8	34.5	3.6	
性別										
男 性	58.4	3.9	4.1	1.4	1.4	0.8	0.9	35.0	3.4	
女 性	57.2	4.8	4.0	5.0	4.4	2.7	0.8	34.1	3.5	
性別間の差	1.2	0.9	0.1	3.6	3.0	1.9	0.1	0.9	0.1	

○ 行政等が行う取組への参加状況【性・年代別】

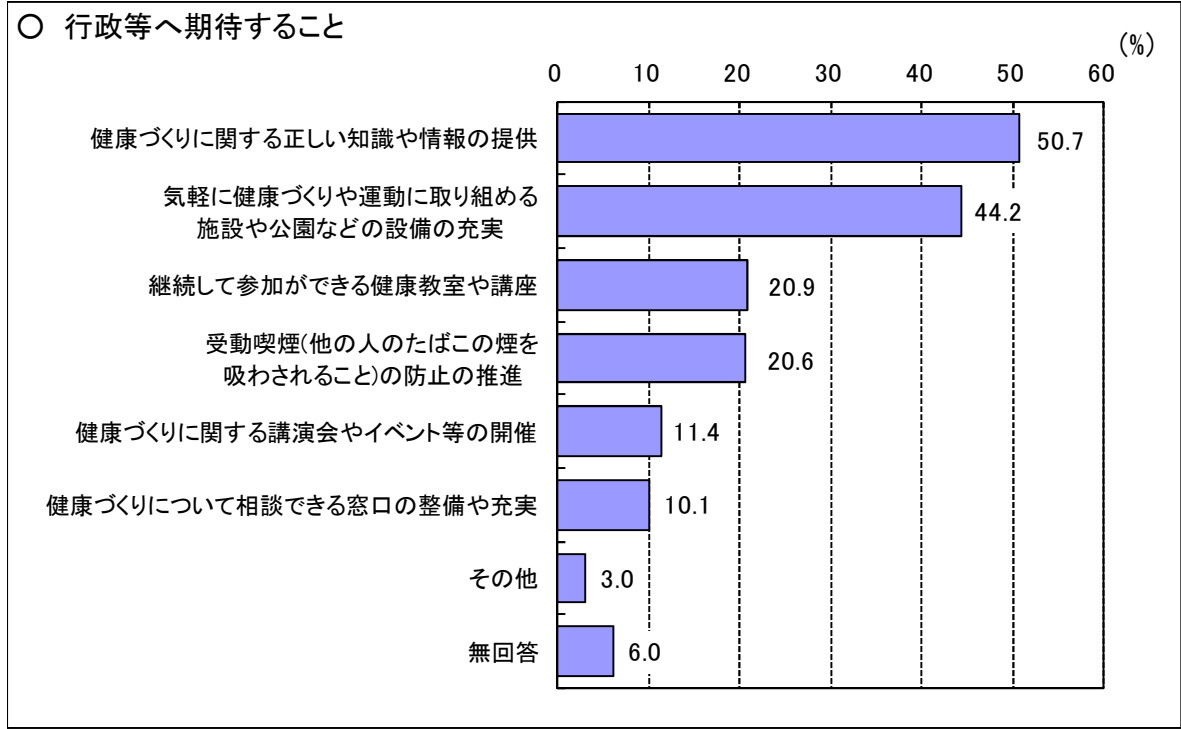
	健診・検診を受診する	健康や食育に関するチェックシートを使って自己診断を行う	健康づくりや食育に関するホームページやパンフレットを活用する	健康づくりや食育に関するイベントに参加する	健康づくりや食育に関するセミナーや体験講座へ参加する	健康づくりや食育に関する教室や体験講座へ参加する	地域や健康づくりや食育を实践するグループへ参加する	その他	特になし	無回答
全 県	57.3	4.3	4.0	3.6	3.2	2.1	0.8	34.5	3.6	
性・年代別										
男 性										
20代	50.0	4.6	1.9	0.3	0.0	0.3	0.0	47.4	2.3	
30代	60.3	6.4	1.5	1.7	0.2	0.3	0.0	33.1	3.6	
40代	64.6	4.3	4.4	1.8	0.7	0.1	0.0	30.8	2.9	
50代	62.8	2.9	1.2	0.8	1.7	0.2	0.0	30.2	2.6	
60代	55.5	1.0	5.7	1.2	1.1	0.6	0.7	39.9	1.6	
70代	63.4	6.6	6.2	1.9	3.1	1.9	2.7	29.3	2.1	
80歳以上	38.3	2.6	6.0	2.4	1.6	3.0	3.7	42.3	16.0	
年代間の差	26.3	5.6	5.0	2.1	3.1	2.9	3.7	18.1	14.4	
女 性										
20代	48.5	7.0	1.2	3.3	0.8	0.8	0.0	46.6	0.0	
30代	49.5	0.6	4.3	3.4	5.1	0.0	0.6	42.4	2.4	
40代	58.7	2.3	2.4	1.4	1.0	0.8	0.9	36.4	2.9	
50代	61.7	4.9	2.6	5.3	5.5	1.5	0.2	34.2	0.4	
60代	58.5	5.1	3.4	3.9	3.8	2.4	1.3	34.5	1.7	
70代	65.7	10.2	7.8	9.7	8.1	7.2	1.1	20.9	6.1	
80歳以上	48.9	2.8	5.9	8.6	5.7	5.3	0.8	32.3	10.2	
年代間の差	17.2	9.6	6.6	8.3	7.3	7.2	1.3	25.7	10.2	

問20 行政等へ期待すること

**問20**  
 あなたが、健康づくりを実践するために、行政や民間団体・企業にどのようなことを求めますか。  
 あてはまるものを2つ選んで番号に○をつけてください。

- 1 健康づくりに関する正しい知識や情報の提供
- 2 健康づくりに関する講演会やイベント等の開催
- 3 継続して参加ができる健康教室や講座
- 4 気軽に健康づくりや運動に取り組める施設や公園などの設備の充実
- 5 健康づくりについて相談できる窓口の整備や充実
- 6 受動喫煙(他の人のたばこの煙を吸わされること)の防止の推進
- 7 その他 ( )

【全 県】  
 ● 「健康づくりに関する正しい知識や情報の提供」が50.7%で最も高く、次に「気軽に健康づくりや運動に取り組める施設や公園などの設備の充実」が44.2%となっており上位を占めている。





【地域別】

地域別では、全県と同様に、全ての地域で、「健康づくりに関する正しい知識や情報の提供」が最も高く、次に「気軽に健康づくりや運動に取り組める施設や公園などの設備の充実」が続く。

○ 行政等へ期待すること【地域別】	最大値	最小値	(%)					
	健康づくりに関する正しい知識や情報の提供	健康づくりに関する講演会やイベント等の開催	継続して参加ができる健康教室や講座	気軽に健康づくりや運動に取り組める施設や公園などの設備の充実	健康づくりに関して相談できる窓口の整備や充実	受動喫煙（他の人のたばこの煙を吸わされること）の防止の推進	その他	無回答
全 県	50.7	11.4	20.9	44.2	10.1	20.6	3.0	6.0
地域別								
神 戸	51.9	11.0	16.8	45.4	9.6	22.3	4.5	5.8
阪神南	49.6	11.7	18.6	47.0	9.5	25.0	1.9	5.3
阪神北	50.3	13.6	26.5	42.9	10.9	18.4	2.4	5.1
東播磨	53.4	10.6	22.7	45.0	11.5	20.8	1.6	4.3
北播磨	48.4	11.3	22.6	43.4	12.3	14.8	3.1	7.2
中播磨	52.2	8.4	23.8	41.9	9.1	20.6	2.5	6.9
西播磨	45.0	10.6	21.3	44.1	8.8	15.9	5.9	7.5
但 馬	50.5	12.8	25.2	33.2	10.2	17.3	2.6	9.9
丹 波	43.1	16.2	23.1	41.9	9.6	12.6	3.9	8.7
淡 路	48.2	15.8	21.5	40.9	10.9	11.6	2.6	8.9
地域間の差	10.3	7.7	9.7	13.7	3.5	13.4	4.4	5.6

【性別、性・年代別】

●性別では、「継続して参加できる健康教室や講座」が、性別間の差が最も大きく、女性が高くなっている。

●性・年代別では、男性は「気軽に健康づくりや運動に取り組める施設や公園などの設備の充実」が、女性は「受動喫煙の防止の推進」が、年代間の格差が最も大きくなっている。

○行政等へ期待すること【性別】

	健康づくりに関する正しい知識や情報の提供	健康づくりに関する講演会やイベント等の開催	継続して参加ができる健康教室や講座	気軽に健康づくりや運動に取り組める施設や公園などの設備の充実	健康づくりに関して相談できる窓口の整備や充実	受動喫煙(他の人のたばこの煙を吸わされること)の防止の推進	その他	無回答
全 県	50.7	11.4	20.9	44.2	10.1	20.6	3.0	6.0
性別								
男 性	53.7	11.5	14.2	43.3	9.8	20.5	3.6	5.4
女 性	48.6	11.3	26.0	45.7	10.1	20.9	2.7	6.2
性別間の差	5.1	0.2	11.8	2.4	0.3	0.4	0.9	0.8

○行政等へ期待すること【性・年代別】

	健康づくりに関する正しい知識や情報の提供	健康づくりに関する講演会やイベント等の開催	継続して参加ができる健康教室や講座	気軽に健康づくりや運動に取り組める施設や公園などの設備の充実	健康づくりに関して相談できる窓口の整備や充実	受動喫煙(他の人のたばこの煙を吸わされること)の防止の推進	その他	無回答
全 県	50.7	11.4	20.9	44.2	10.1	20.6	3.0	6.0
性・年代別								
男 性								
20代	44.8	11.3	14.5	45.3	11.2	22.9	7.5	0.3
30代	43.9	8.8	11.3	55.7	8.4	27.0	3.9	3.4
40代	46.8	9.9	16.0	47.8	12.6	26.2	3.9	5.3
50代	61.3	11.5	14.3	34.1	9.7	25.2	2.1	2.8
60代	54.3	12.3	19.3	46.9	9.4	14.9	2.8	5.7
70代	59.9	11.6	10.6	41.8	10.8	15.2	3.4	6.8
80歳以上	60.5	16.3	7.2	23.8	3.6	16.4	4.5	15.8
年代間の差	17.4	7.5	12.1	31.9	9.0	12.1	5.4	15.5
女 性								
20代	46.9	10.6	22.0	36.6	8.5	35.7	3.0	2.3
30代	54.0	9.2	26.4	57.0	10.6	24.3	2.4	0.1
40代	51.6	8.8	32.0	49.2	5.7	21.9	2.7	2.1
50代	53.0	9.8	27.4	41.3	8.3	28.8	0.7	5.0
60代	46.2	12.9	26.6	50.2	11.7	18.7	3.5	5.8
70代	44.7	14.4	21.0	41.9	15.0	13.8	2.4	8.9
80歳以上	44.5	11.9	23.0	35.9	9.2	9.9	4.1	19.7
年代間の差	9.5	5.6	11.0	21.1	9.3	25.8	3.4	19.6

## 4 毎年調査項目

### 問 2 1 今の生活全般での満足度

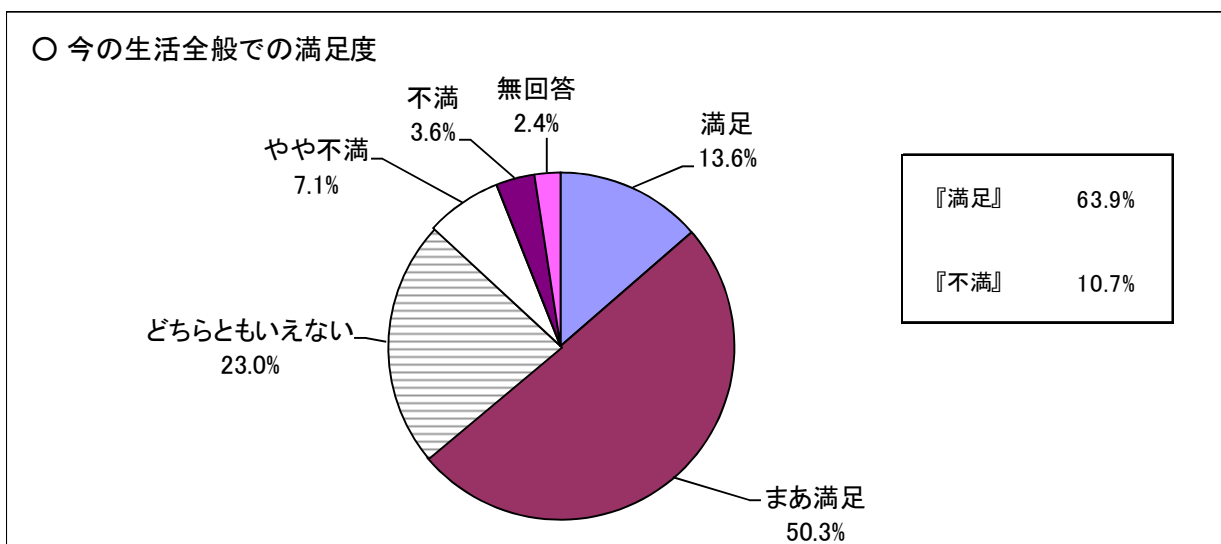
#### 問 2 1

あなたは、全体として、今の生活にどの程度満足していますか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

- 1 満足                      2 まあ満足                      3 どちらともいえない  
4 やや不満                      5 不満

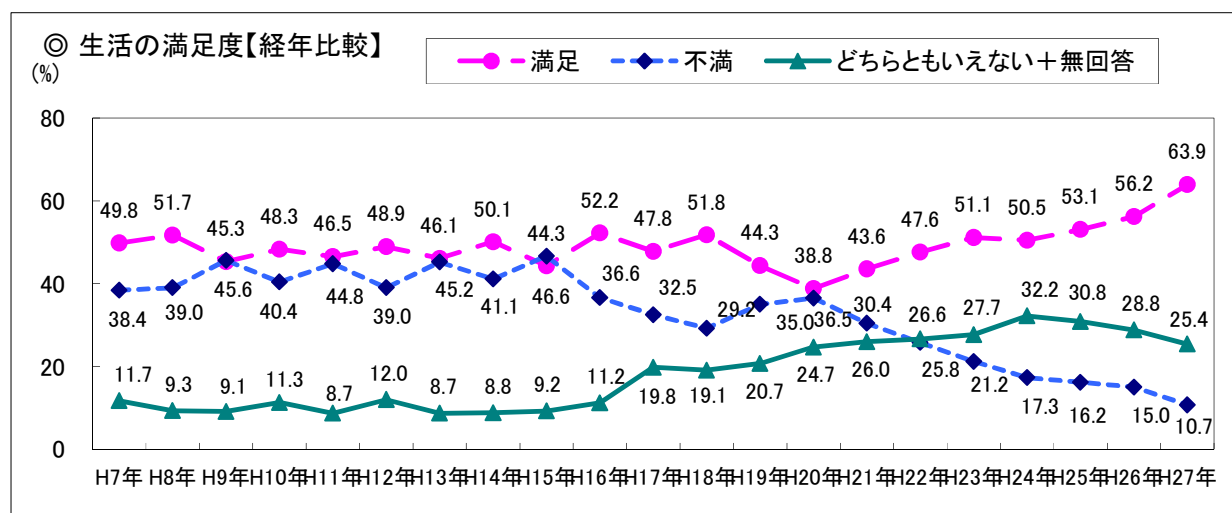
#### 【全 県】

- 「満足」と「まあ満足」を合わせた『満足』(63.9%)が、「不満」と「やや不満」を合わせた『不満』(10.7%)を53.2ポイント上回っている。



#### 【経年比較】

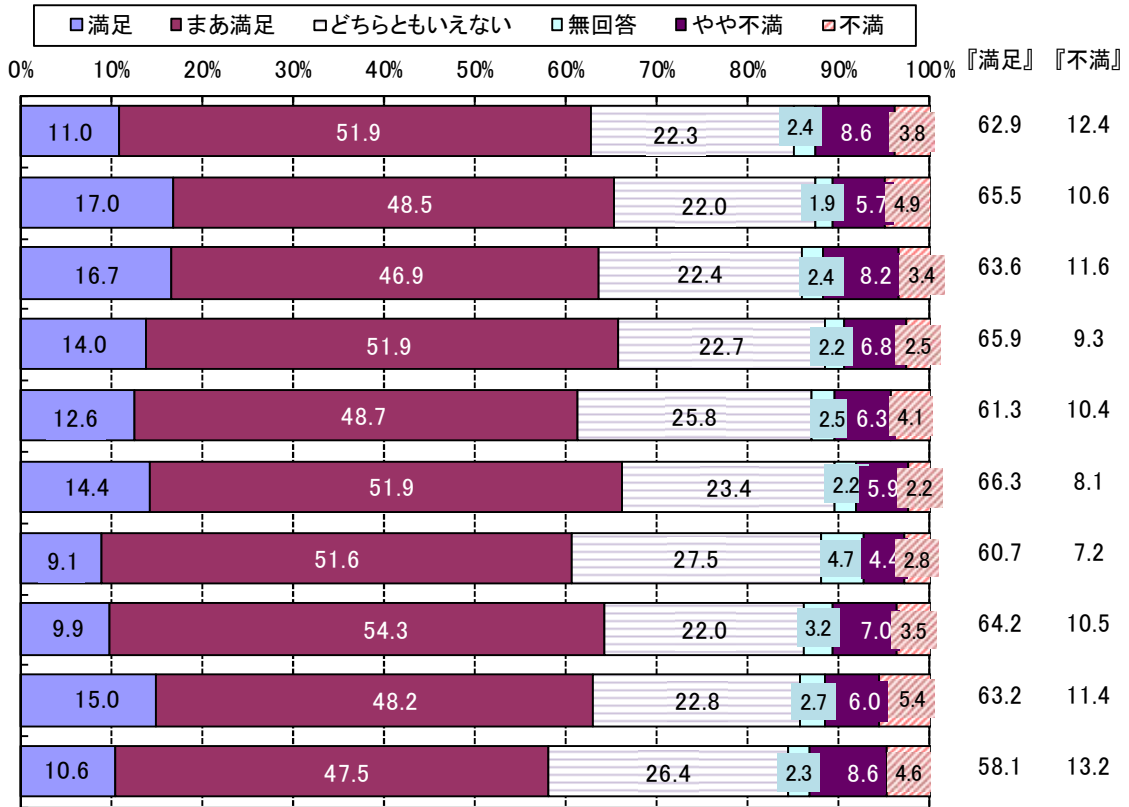
- 『満足』は、今年度7.7ポイント増加し、初めて60%を越え過去最高を更新している。『不満』は前年より4.3ポイント減少し、過去最低を更新している。



【地域別】

- 地域別では、中播磨の満足度が最も高くなっており、東播磨、阪神南、但馬が全県の満足度（63.9%）を上回っている。

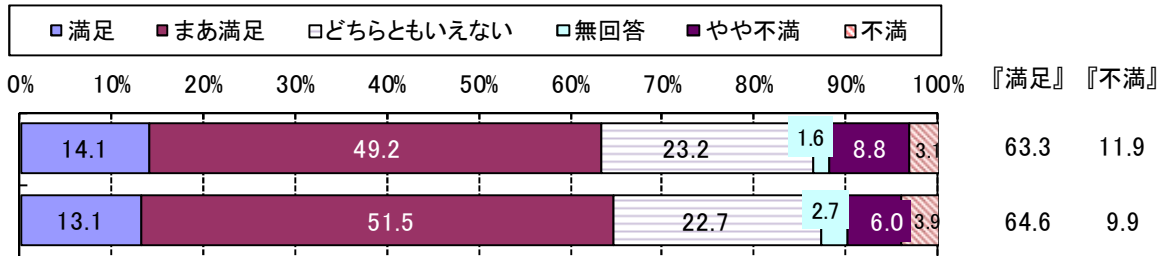
○ 今の生活全般での満足度【地域別】



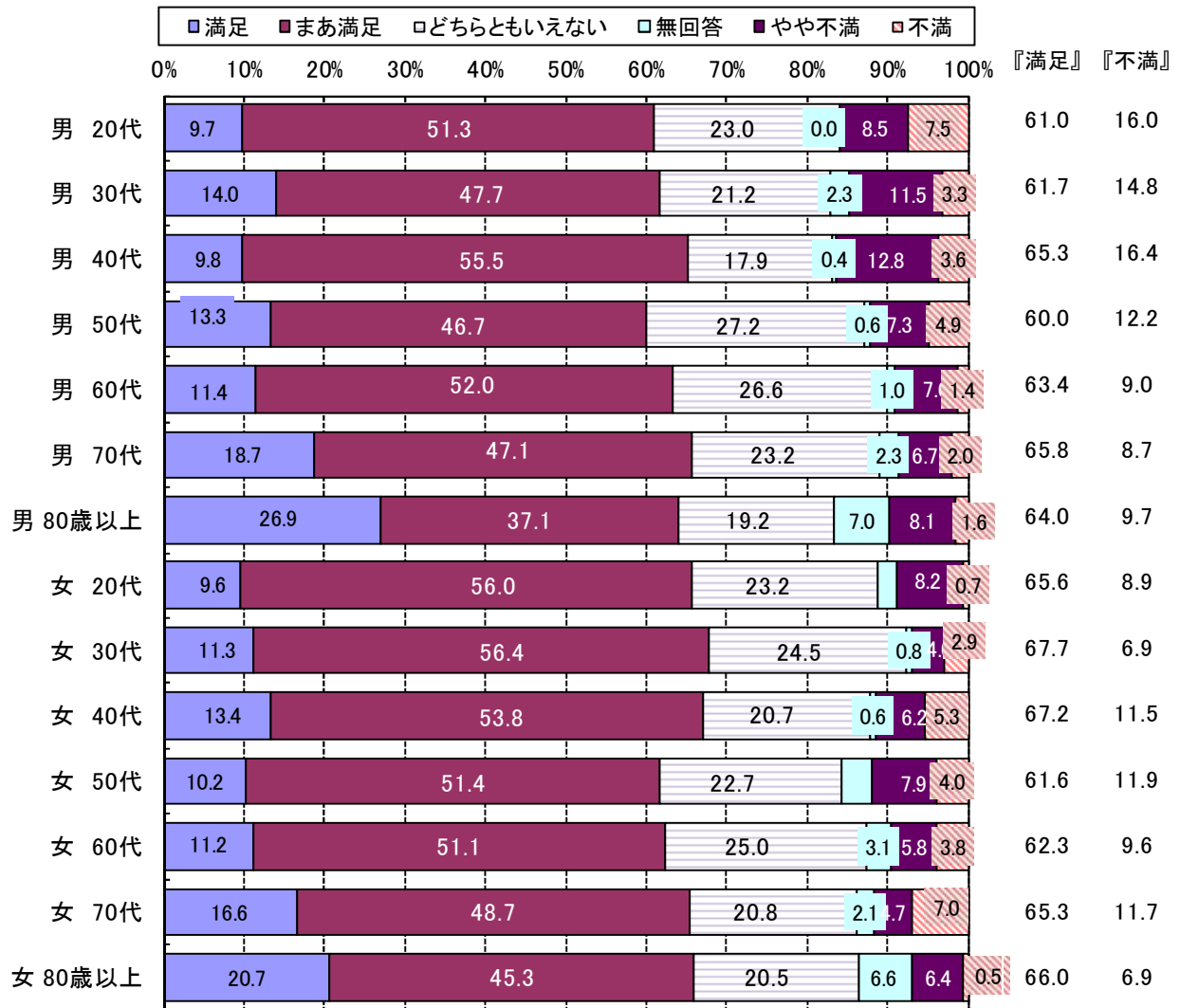
【性別、性・年代別】

- 性別では、女性の満足度が高くなっている。
- 性・年代別では、男女ともに、全ての年代で『満足』が『不満』を上回っており、最も『満足』の割合が高いのは、男性は70代、女性は30代となっている。

○ 今の生活全般での満足度【性別】

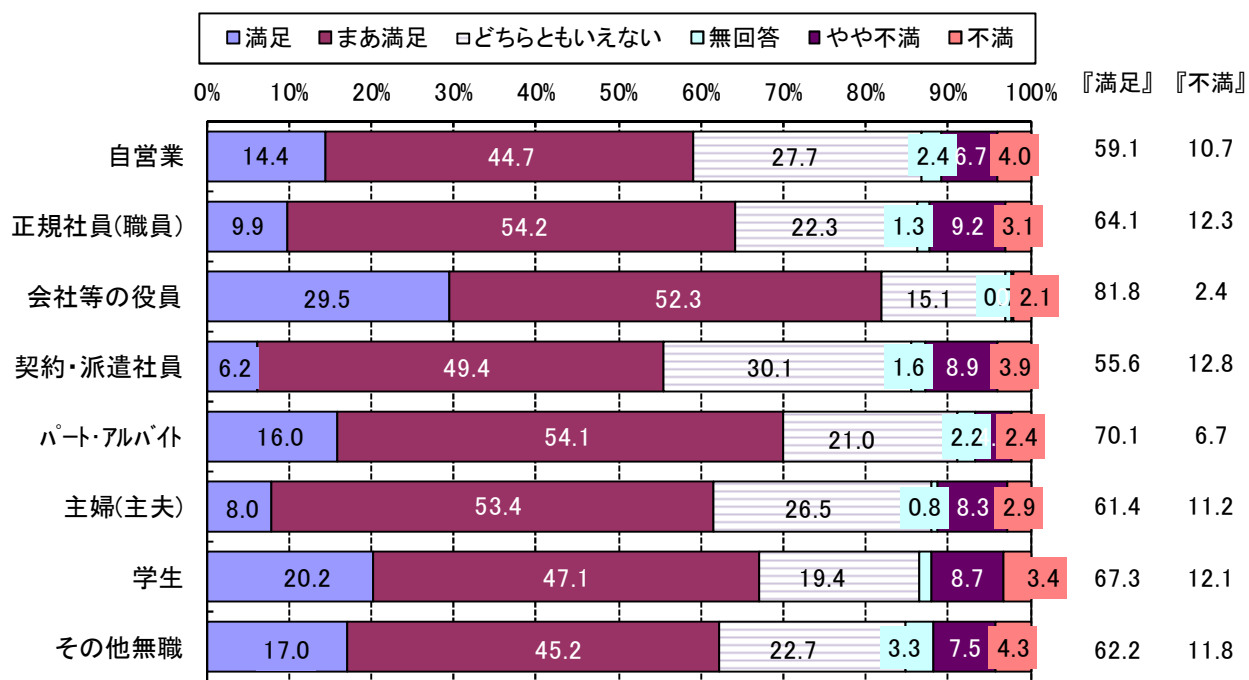


○ 今の生活全般での満足度【性・年代別】



【職業別】

○ 今の生活全般での満足度【職業別】



問22 今の生活の個別側面での満足度

問22

あなたは、今の生活の次のような面ではそれぞれどの程度満足していますか。次のア～スについて、それぞれの項目ごとに1つ選んで番号に○をつけてください。

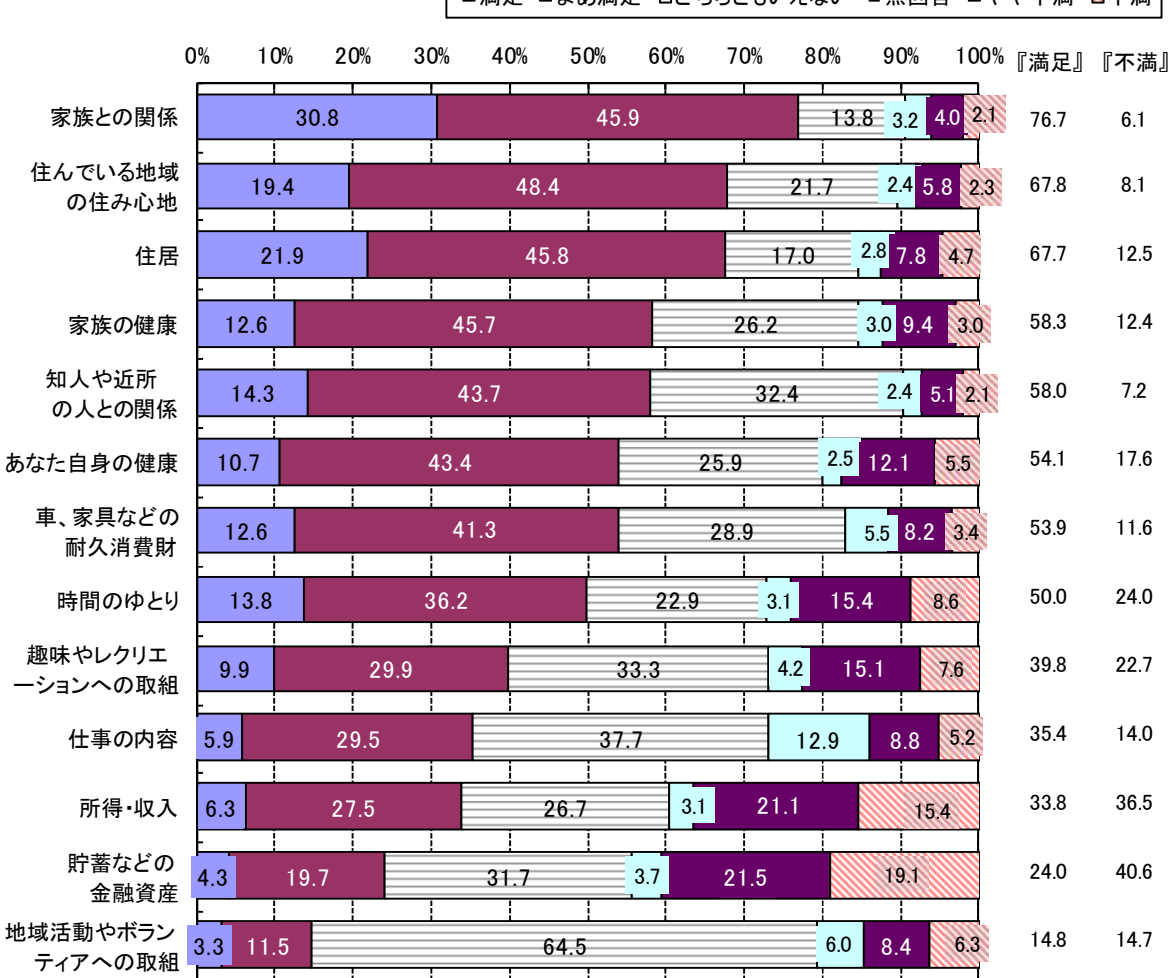
- |                   |                |
|-------------------|----------------|
| ア 所得・収入           | ク 仕事の内容        |
| イ 貯蓄などの金融資産       | ケ 家族との関係       |
| ウ 住居              | コ 知人や近所の人との関係  |
| エ 車、家具などの耐久消費財    | サ 住んでいる地域の住み心地 |
| オ 時間のゆとり          | シ あなた自身の健康     |
| カ 趣味やレクリエーションへの取組 | ス 家族の健康        |
| キ 地域活動やボランティアへの取組 |                |

- 1 満足    2 まあ満足    3 どちらともいえない    4 やや不満    5 不満

【全 県】

- 「満足」と「まあ満足」を合わせた『満足』では、〔家族との関係〕が7割を超え最も高く、〔住んでいる地域の住み心地〕、〔住居〕、〔家族の健康〕の順で続いており、13項目中8項目で『満足』が5割以上となっている。
- 「不満」と「やや不満」を合わせた『不満』では、〔貯蓄などの金融資産〕が40.6%、〔所得・収入〕が36.5%で、いずれも『満足』を上回っている。

○ 今の生活の個別側面での満足度

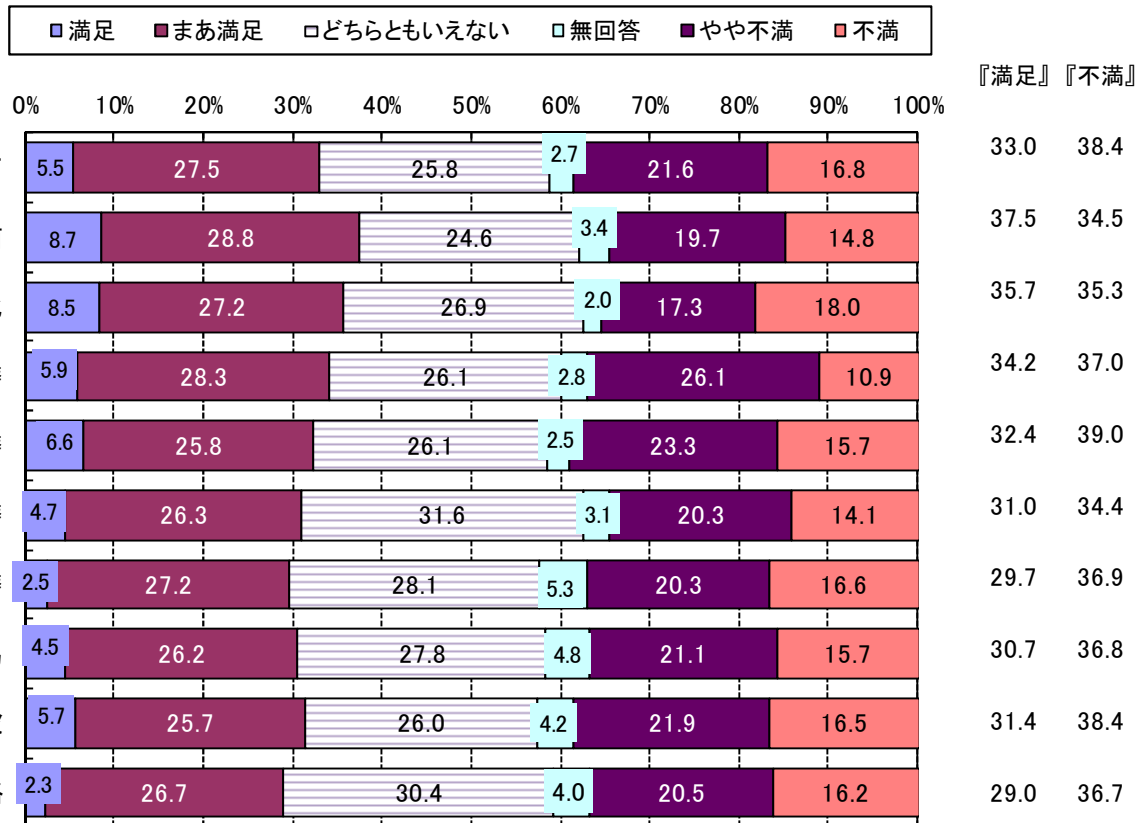


〔所得・収入〕

【地域別】

- 地域別では、阪神南の満足度が最も高くなっており、阪神北、東播磨が全県の満足度（33.8%）を上回っている。

○ア 所得・収入【地域別】

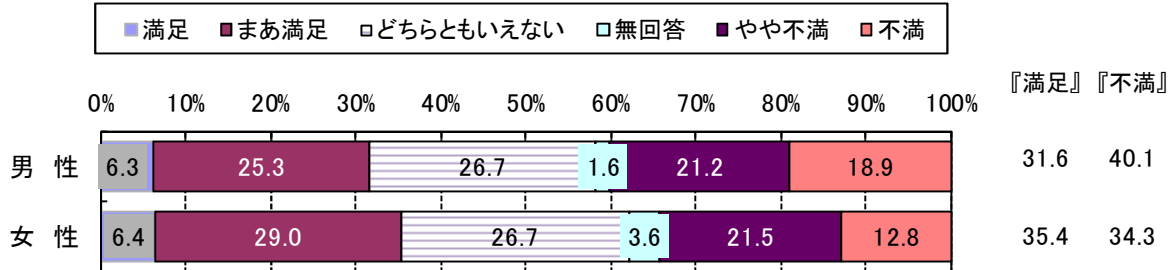




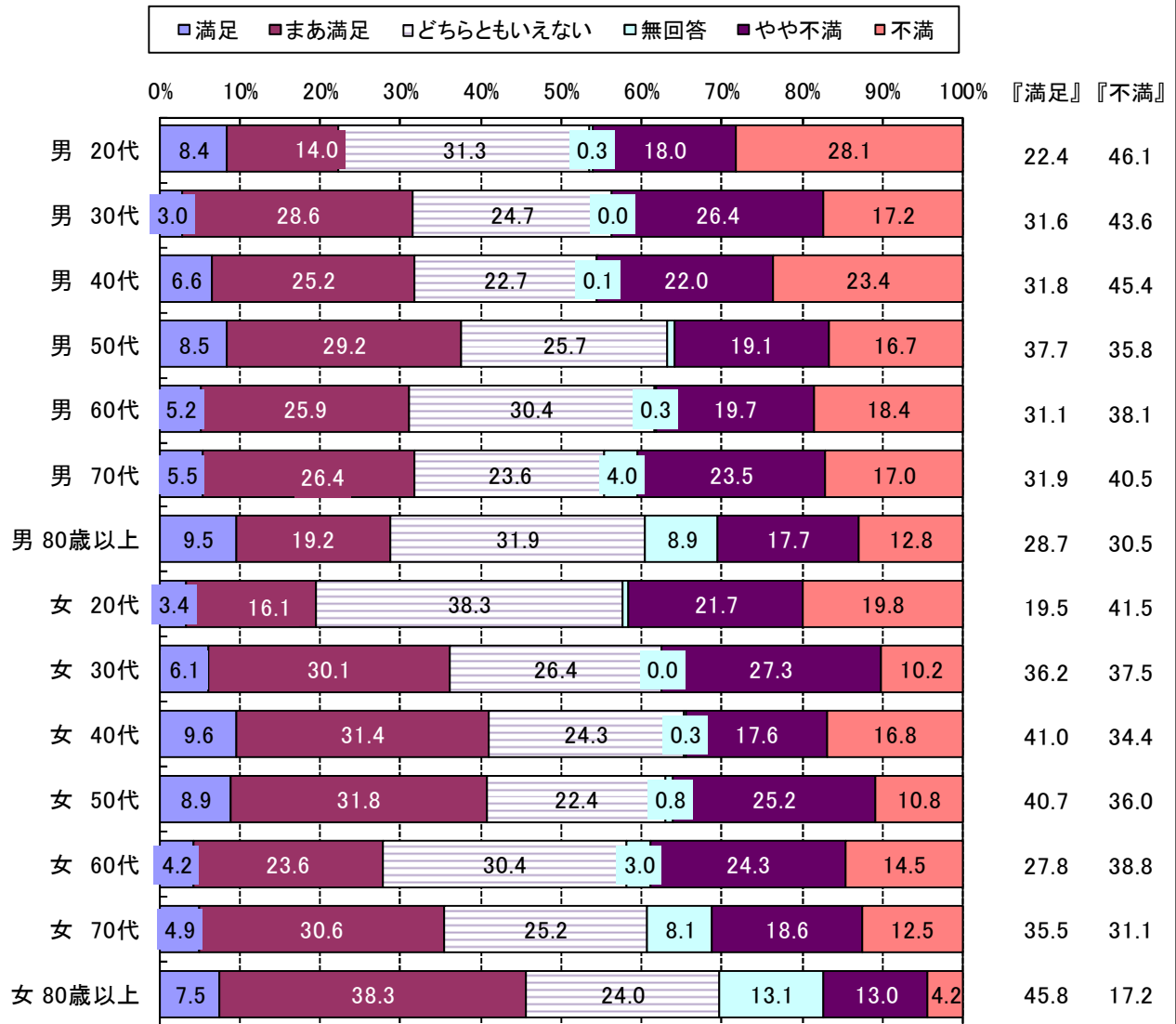
【性別、性・年代別】

- 性別では、女性の方が男性より3.8ポイント満足度が高くなっている。
- 性・年代別では、男女とも20代の不満度が最も高くなっている。

○ア 所得・収入【性別】

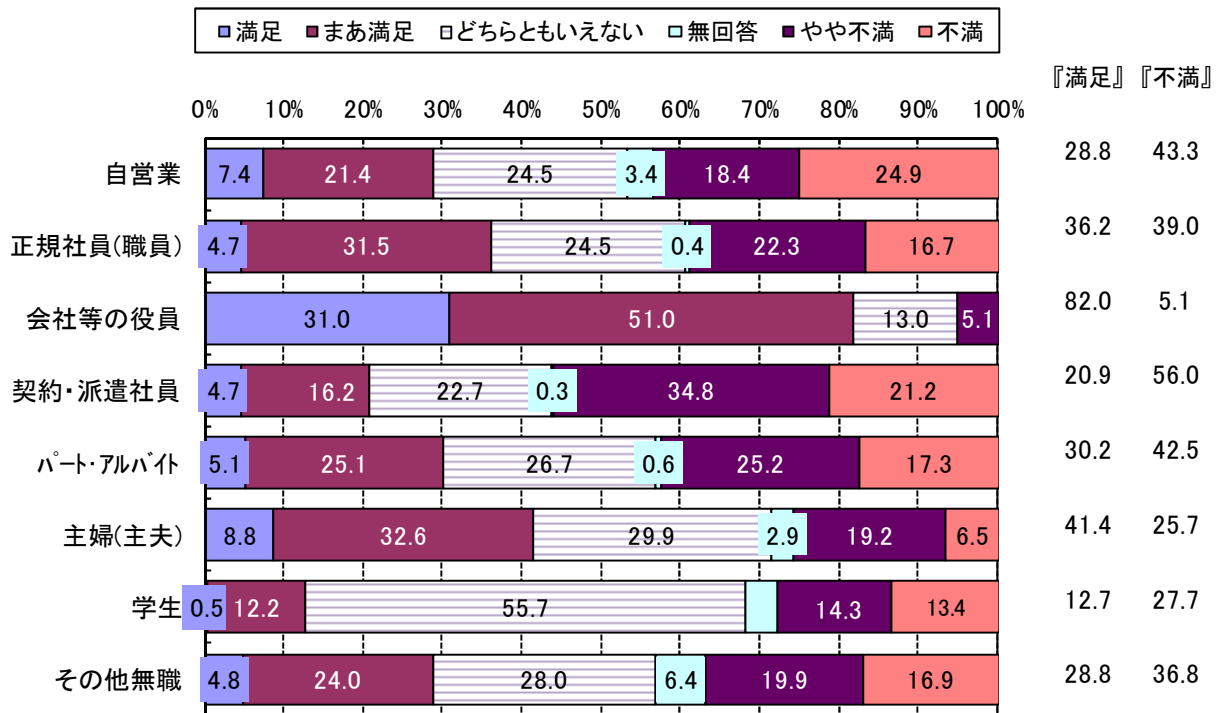


○ア 所得・収入【性・年代別】



【職業別】

○ア 所得・収入【職業別】

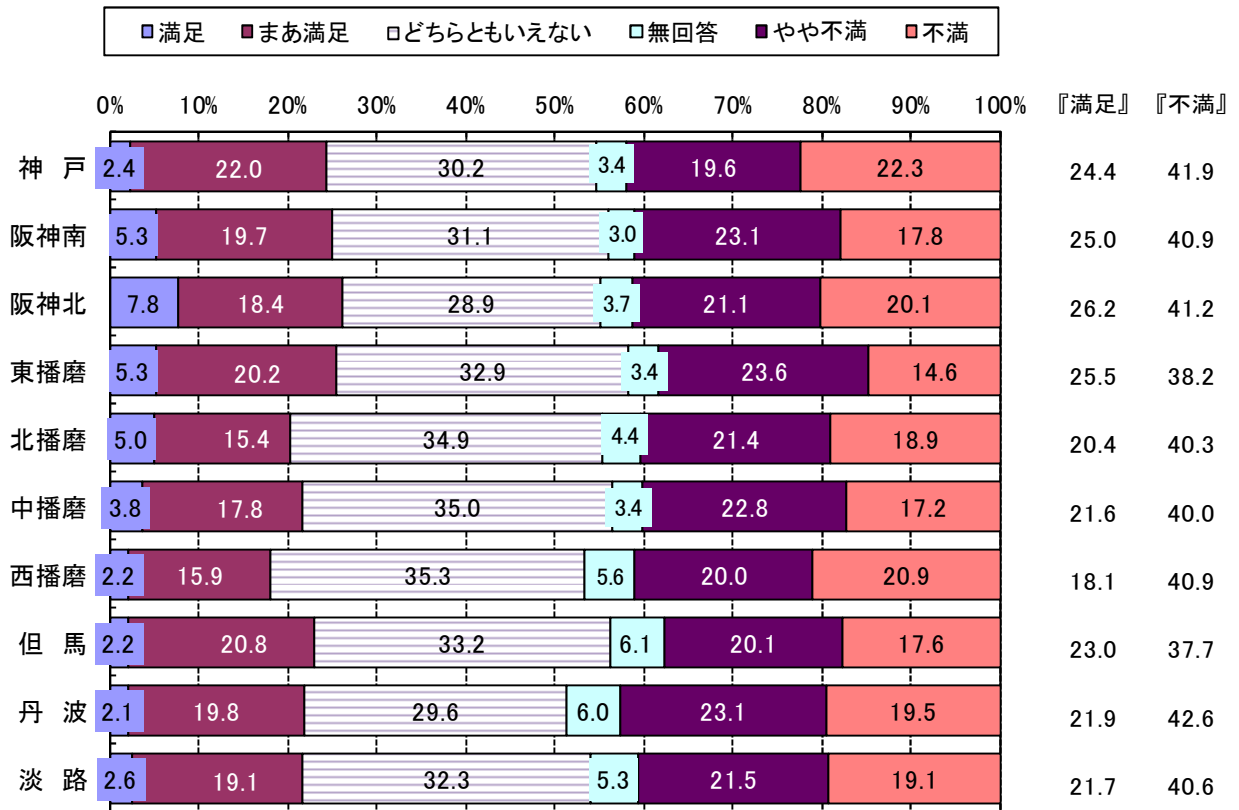


〔貯蓄などの金融資産〕

【地域別】

- 地域別では、いずれの地域も『満足』より『不満』が高く、神戸、阪神南、阪神北、西播磨、丹波、淡路は全県の不満度の40.6%以上となっている。

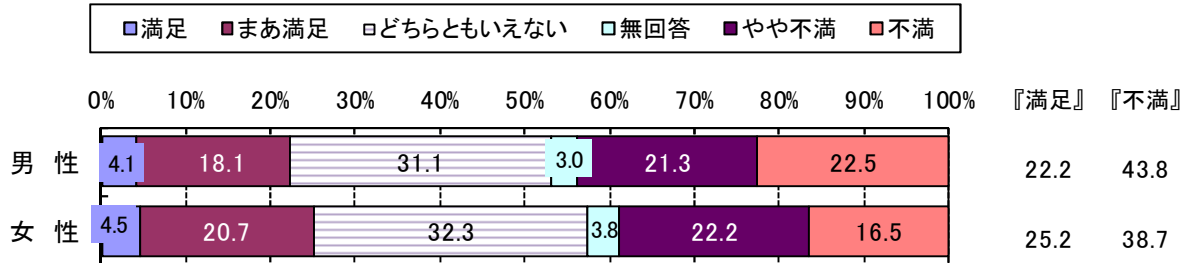
○ イ 貯蓄などの金融資産【地域別】



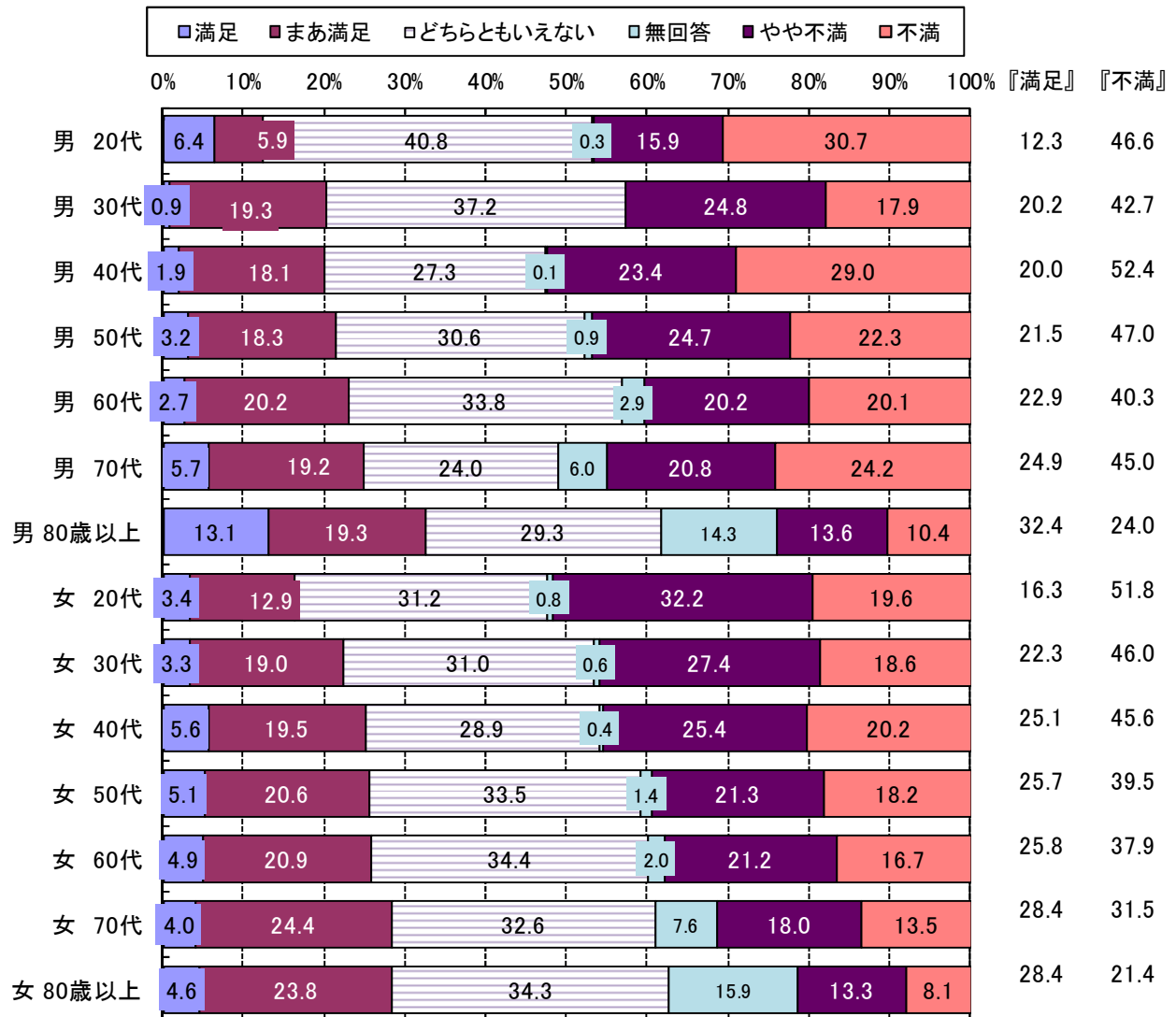
【性別、性・年代別】

- 性別では、男性の方が女性より不満度が5.1ポイント高くなっている。
- 性・年代別では、男性は40代、女性は20代の不満度が高くなっている。

○ イ貯蓄などの金融資産【性別】

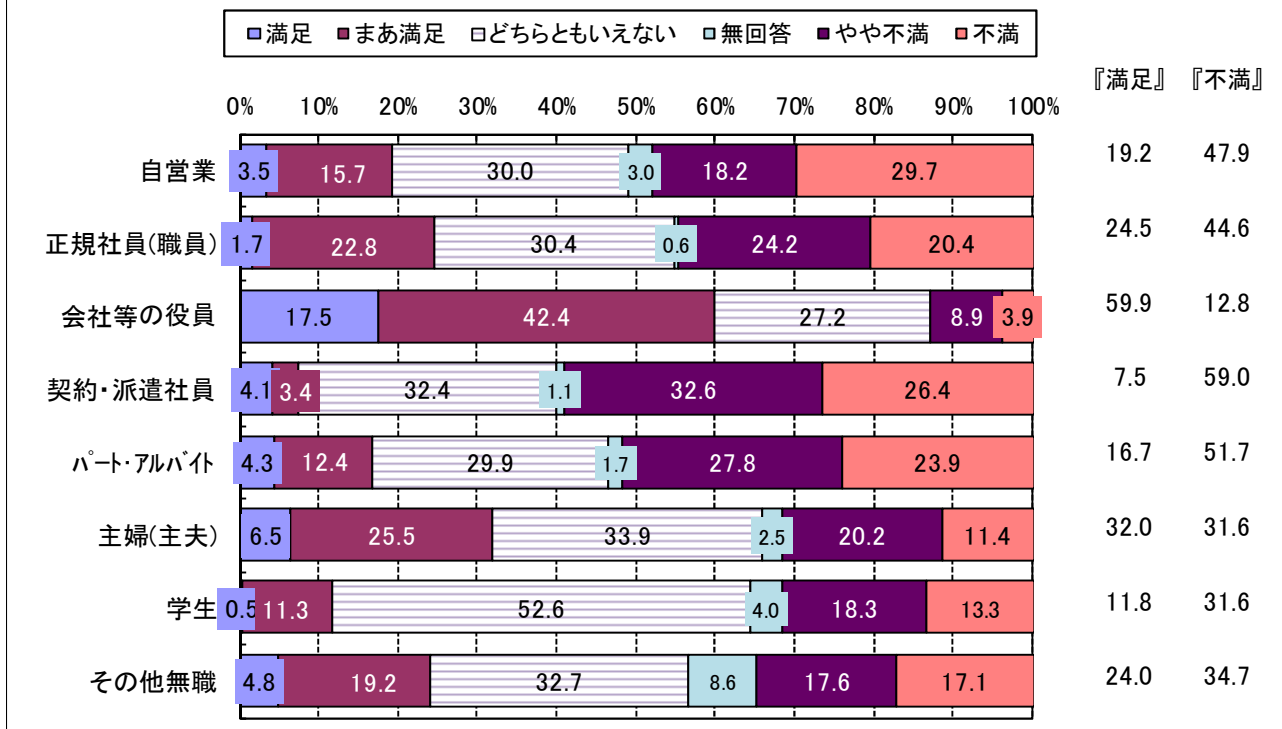


○ イ貯蓄などの金融資産【性・年代別】



【職業別】

○ イ 貯蓄などの金融資産【職業別】

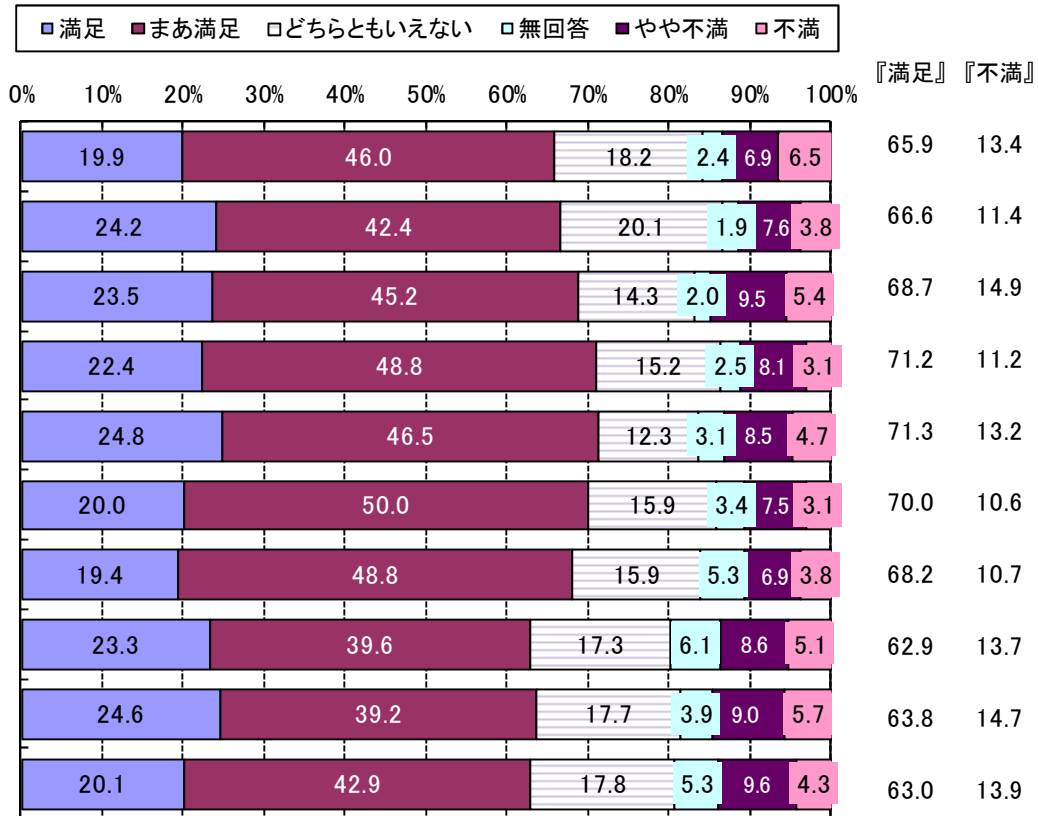


〔住居〕

【地域別】

- 地域別では、北播磨の満足度が最も高くなっており、阪神北、東播磨、中播磨、西播磨が全県（67.7%）を上回っている。

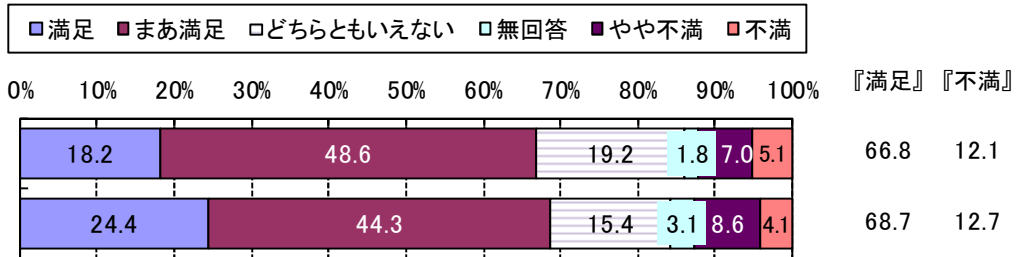
○ウ住居【地域別】



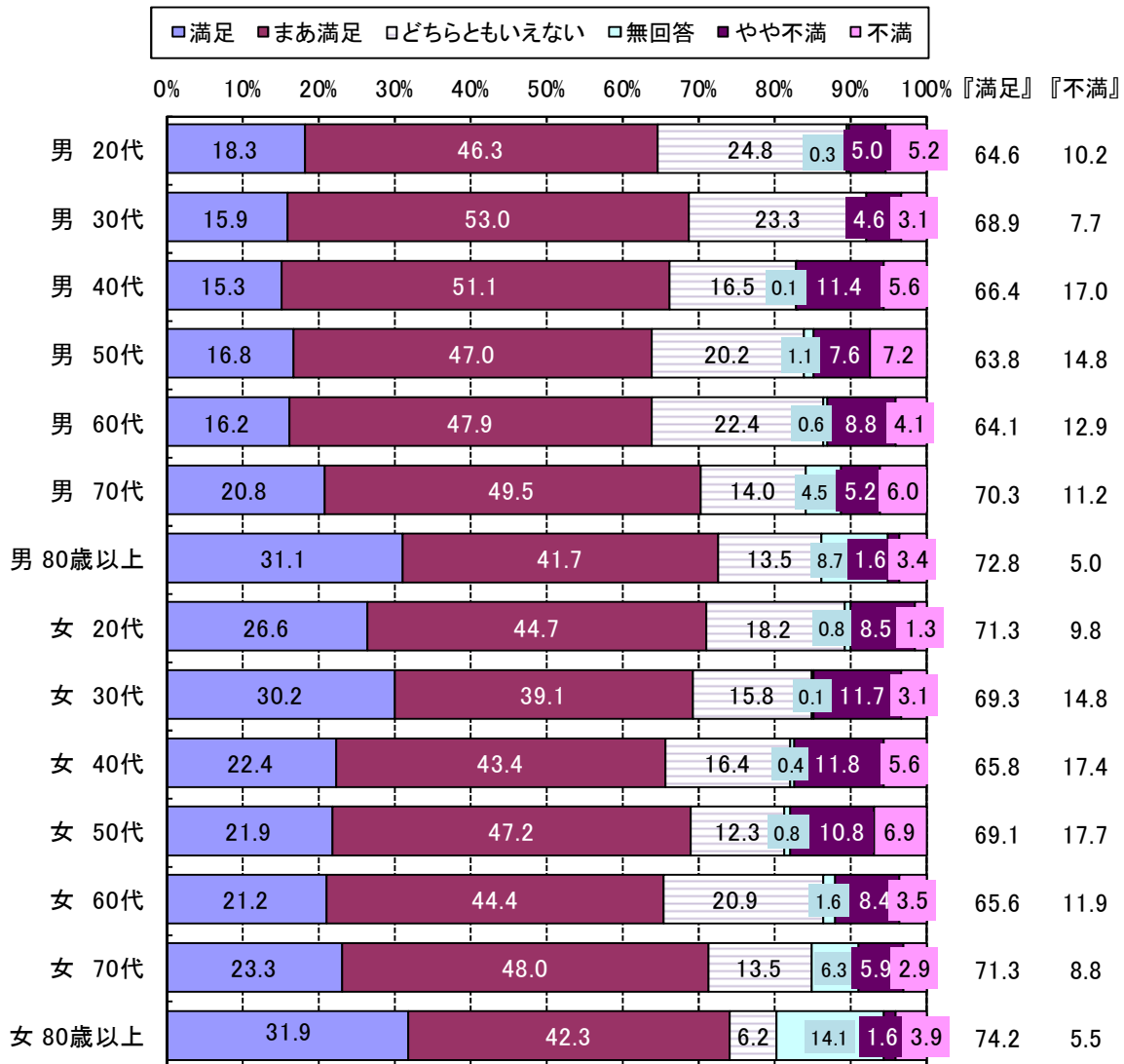
【性別、性・年代別】

- 性別では、女性の方が男性より1.9ポイント満足度が高くなっている。
- 性・年代別では、男性は30代、70代以上が、女性は20代、30代、50代、70代以上が、全県の満足度（67.7%）を上回っている。

○ウ住居【性別】

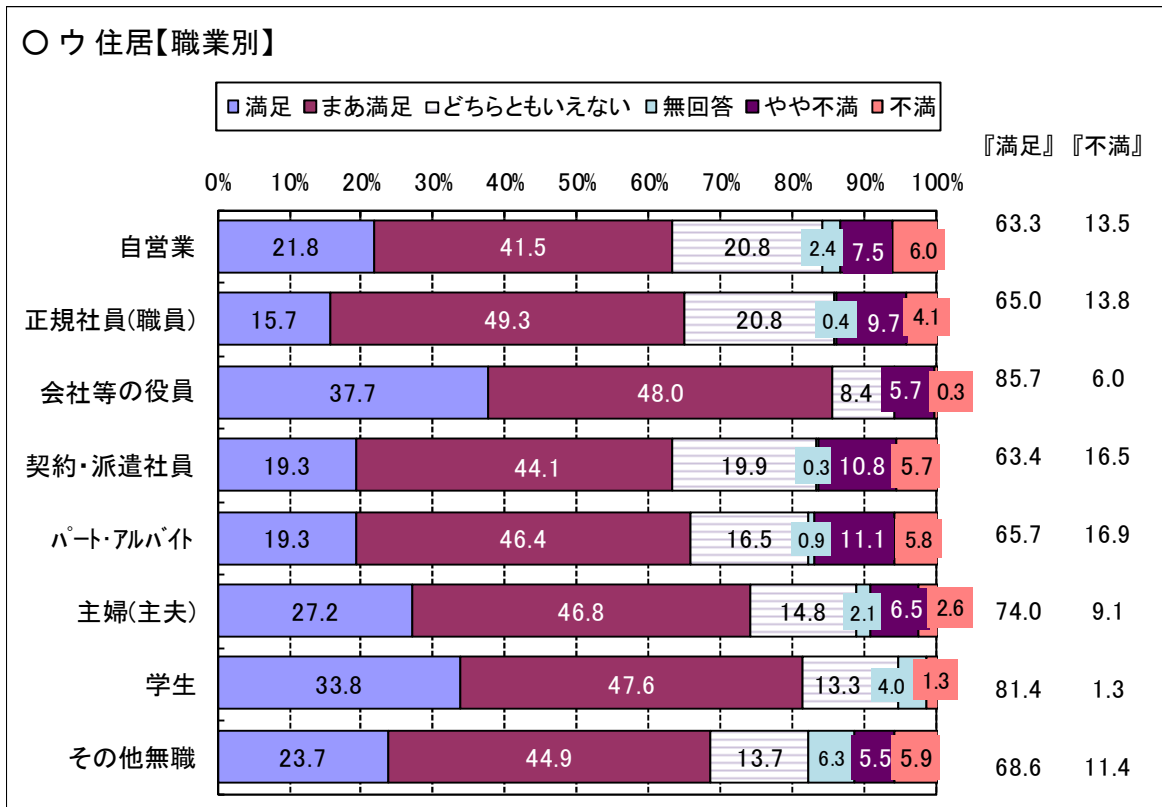


○ウ住居【性・年代別】



【職業別】

○ウ住居【職業別】



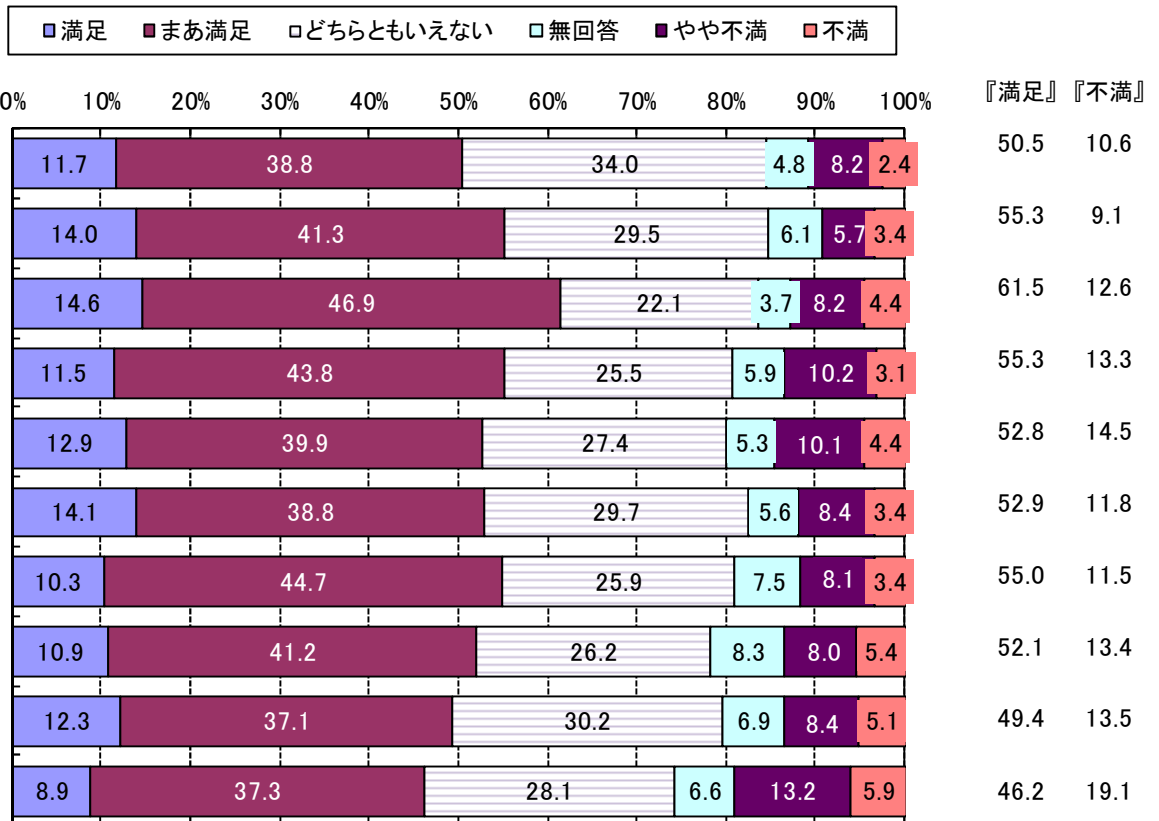


〔車、家具などの耐久消費財〕

【地域別】

- 地域別では、阪神北の満足度が最も高くなっており、阪神南、東播磨、西播磨が全県の満足度（53.9%）を上回っている。

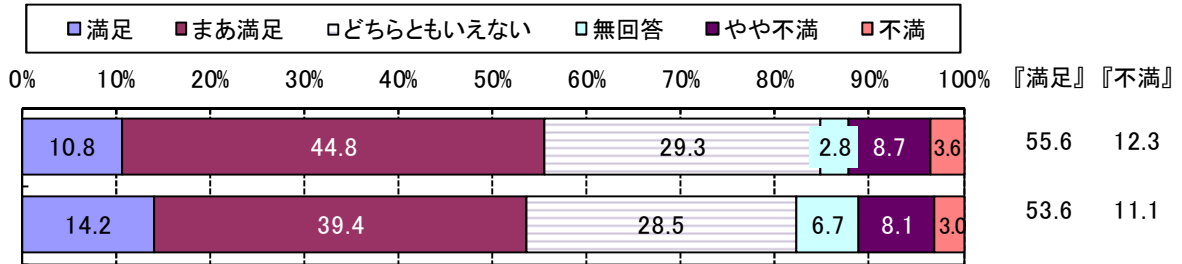
○ エ 車、家具などの耐久消費財【地域別】



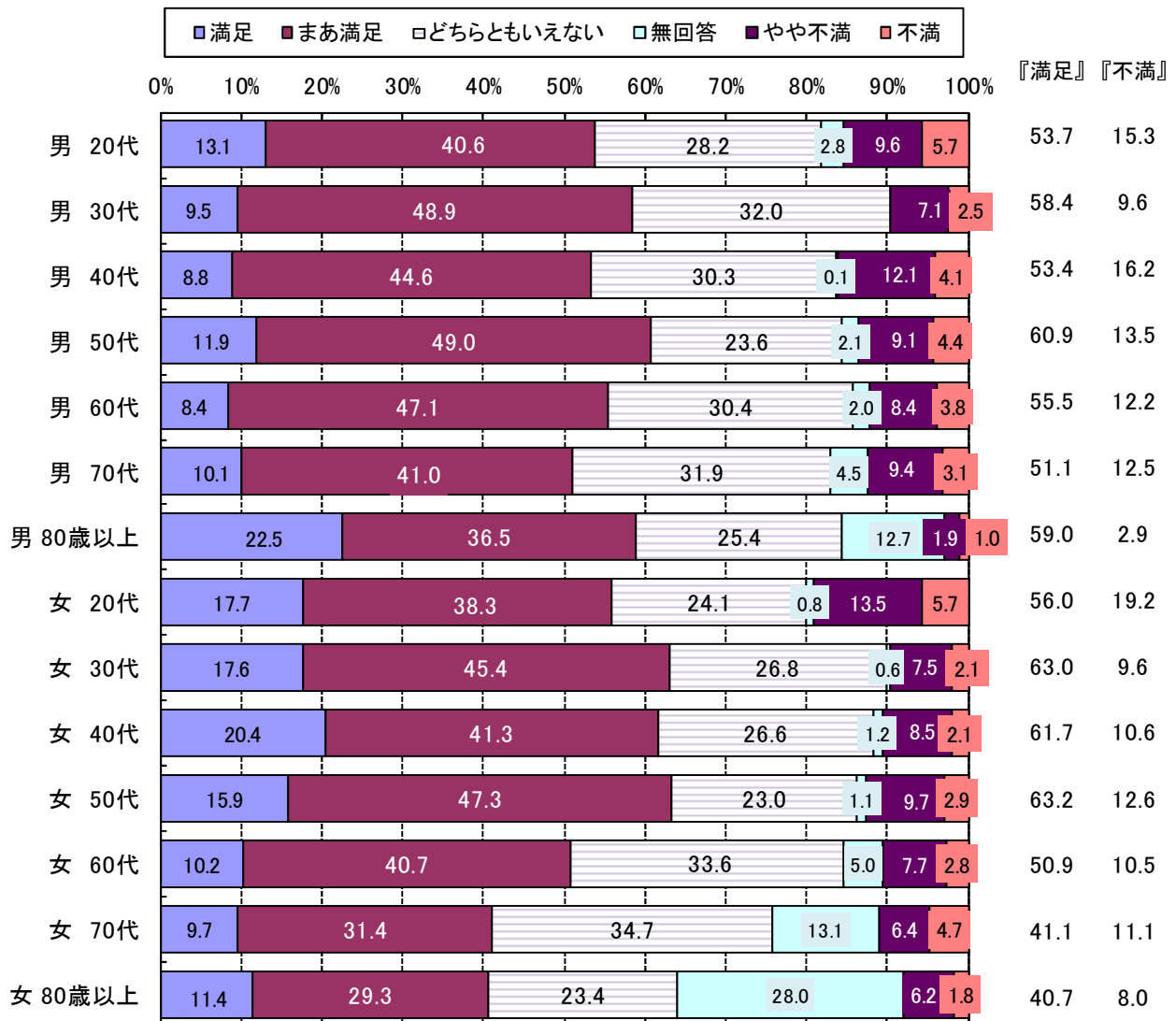
【性別、性・年代別】

- 性別では、男性の方が女性の満足度より2.0ポイント高くなっている。
- 性・年代別では、男性は30代、50代、60代、80歳以上が、女性は20代から50代が全体の満足度(53.9%)を上回っている。

○エ車、家具などの耐久消費財【性別】



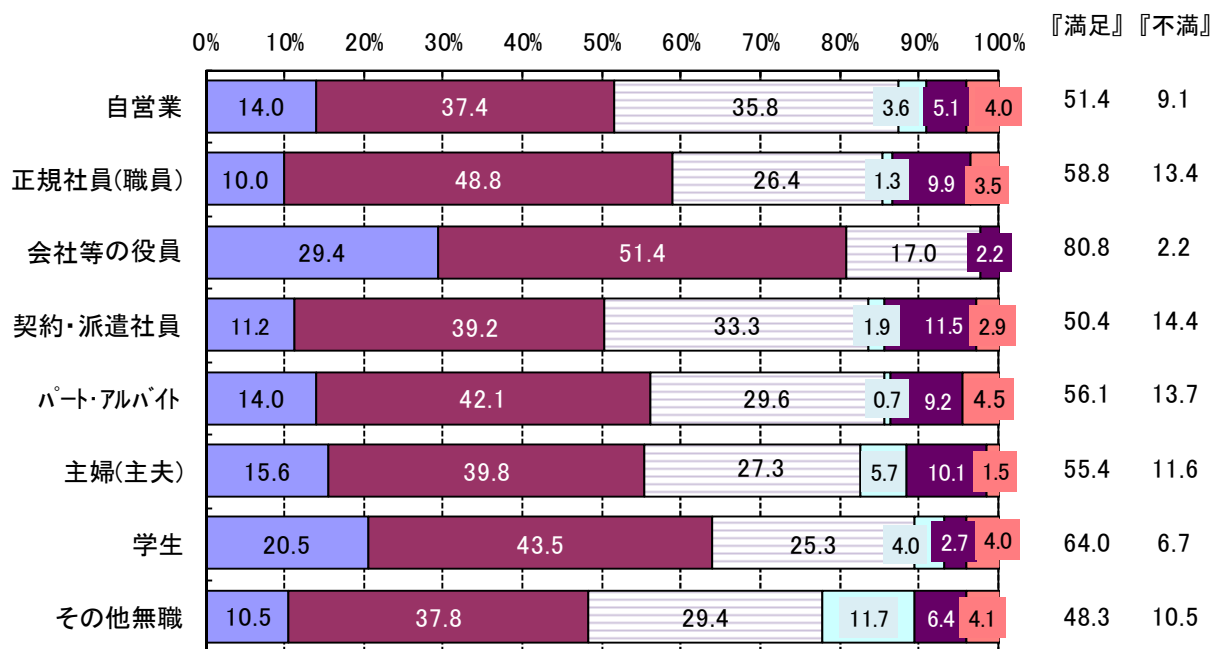
○エ車、家具などの耐久消費財【性・年代別】



【職業別】

○ エ 車、家具などの耐久消費財【職業別】

■満足 ■まあ満足 □どちらともいえない □無回答 ■やや不満 ■不満

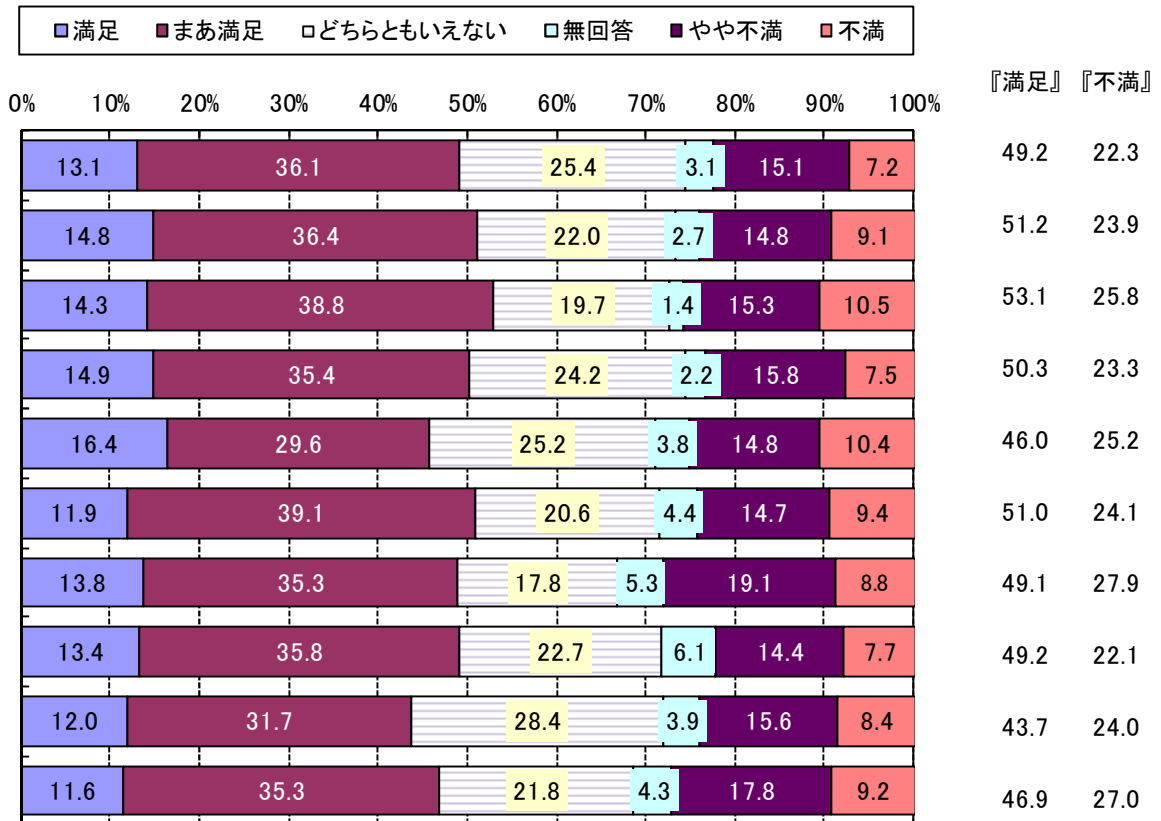


〔時間のゆとり〕

【地域別】

- 地域別では、阪神北の満足度が最も高くなっており、阪神南、東播磨、中播磨が全県の満足度（50.0%）を上回っている。

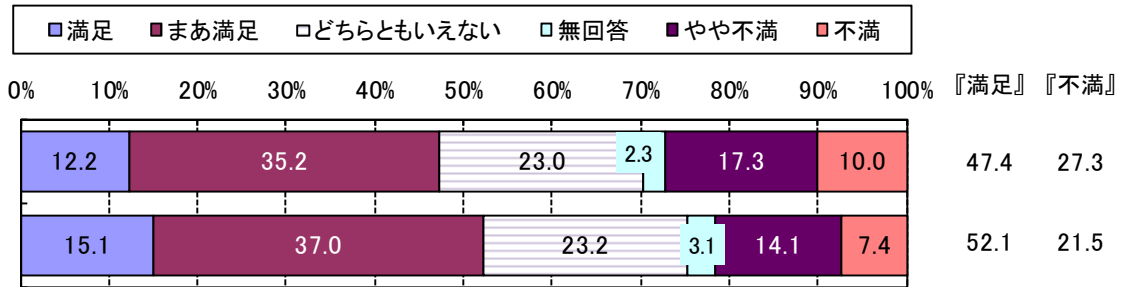
○ オ 時間のゆとり【地域別】



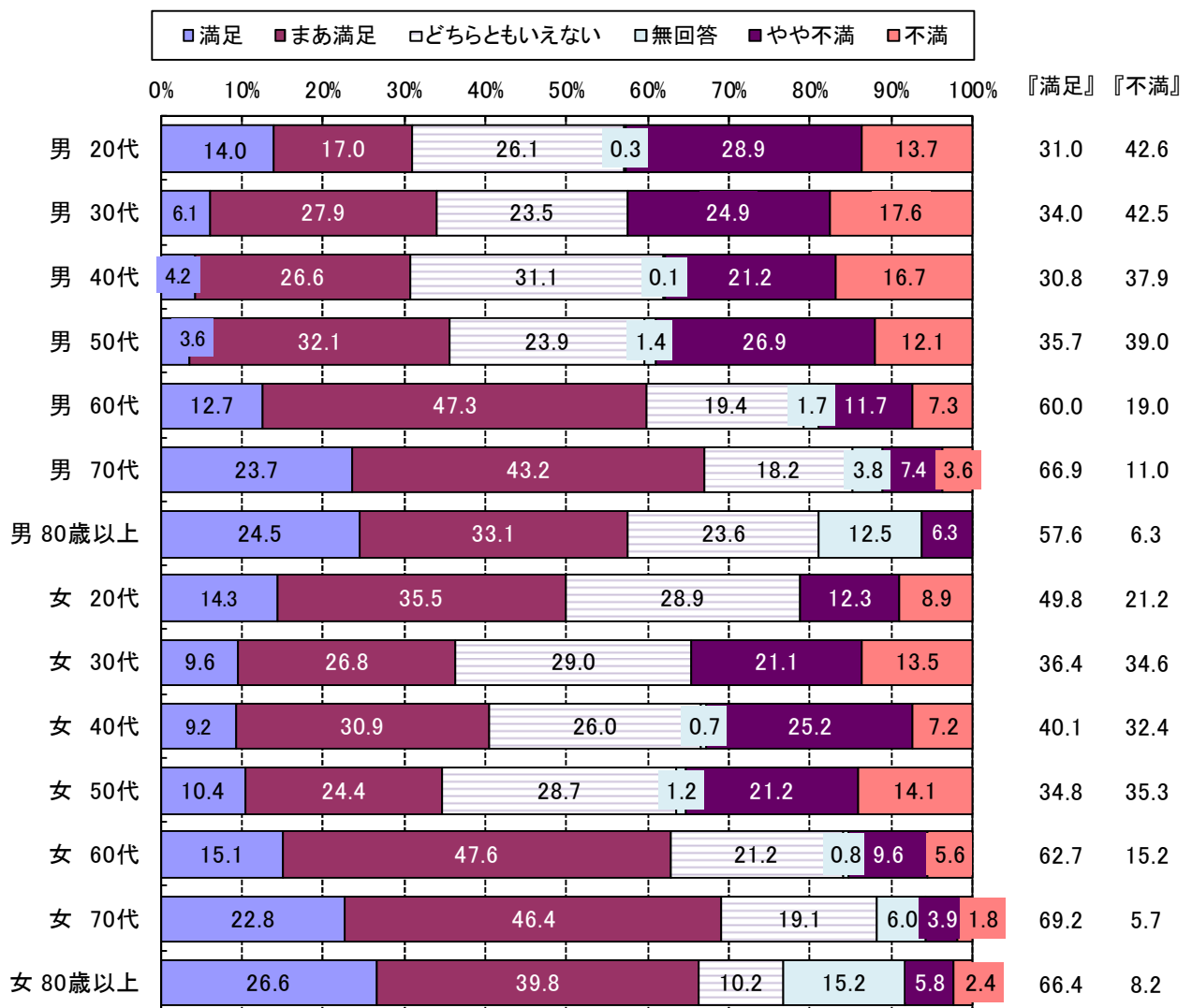
【性別、性・年代別】

- 性別では、女性の方が男性の満足度より4.7ポイント高くなっている。
- 性・年代別で見ると、男女ともに60代以上の満足度が高く、全県の満足度(50.0%)を上回っている。

○オ時間のゆとり【性別】



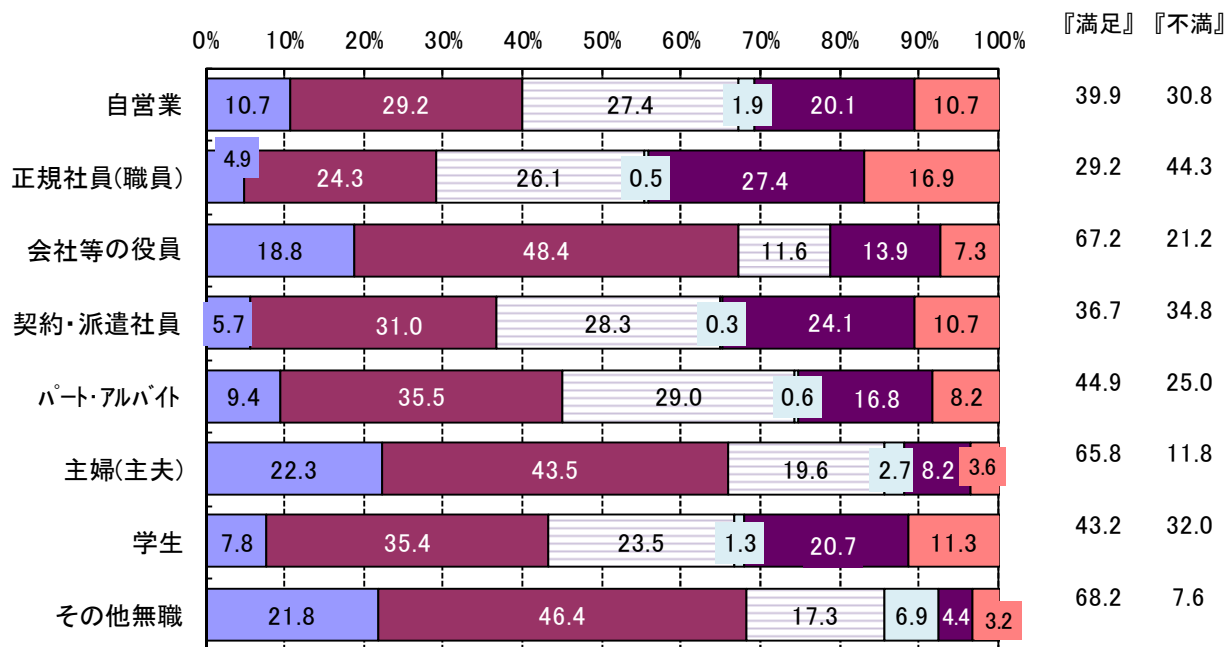
○オ時間のゆとり【性・年代別】



【職業別】

○オ 時間のゆとり【職業別】

■満足 ■まあ満足 □どちらともいえない □無回答 ■やや不満 ■不満

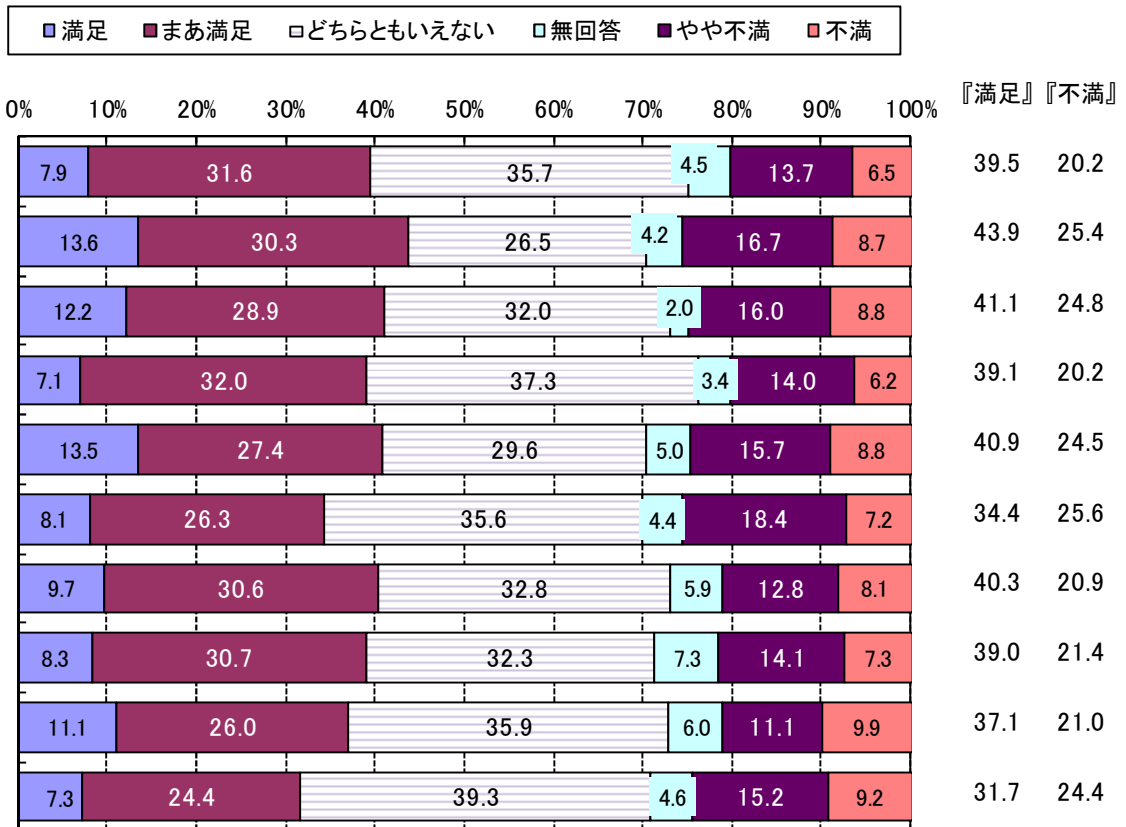


〔趣味やレクリエーションへの取組〕

【地域別】

- 地域別では、阪神南の満足度が最も高くなっており、阪神北、北播磨、西播磨が全県の満足度(39.8%)を上回っている。

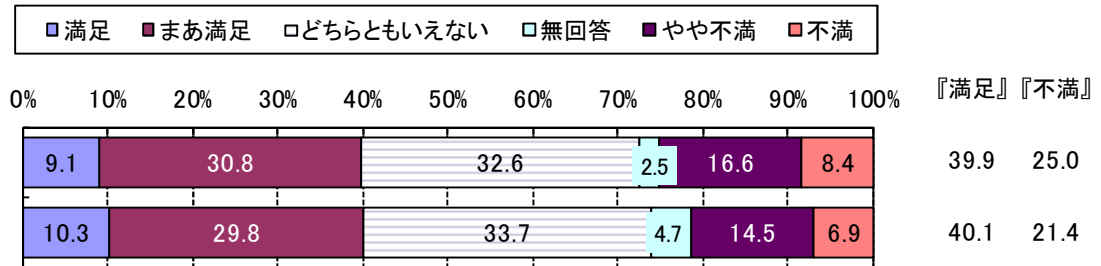
○カ 趣味やレクリエーションへの取組【地域別】



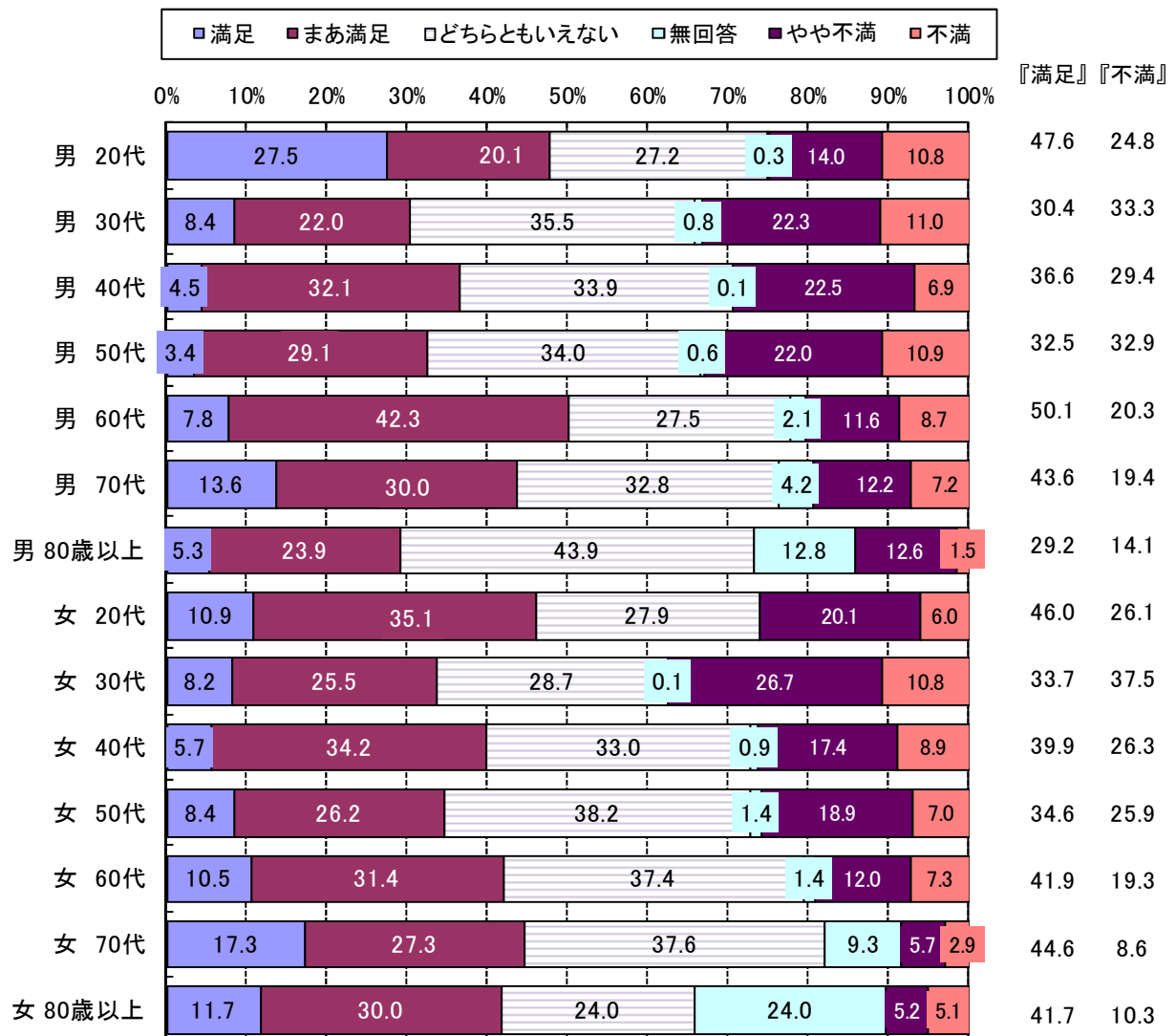
【性別、性・年代別】

- 性別では、男性の方が女性より不満度が3.6ポイント高くなっている。
- 性・年代別では、男性は20代と60代、70代が、女性は30代と50代以外は、全県の満足度(39.8%)を上回っている。

○カ 趣味やレクリエーションへの取組【性別】



○カ 趣味やレクリエーションへの取組【性・年代別】

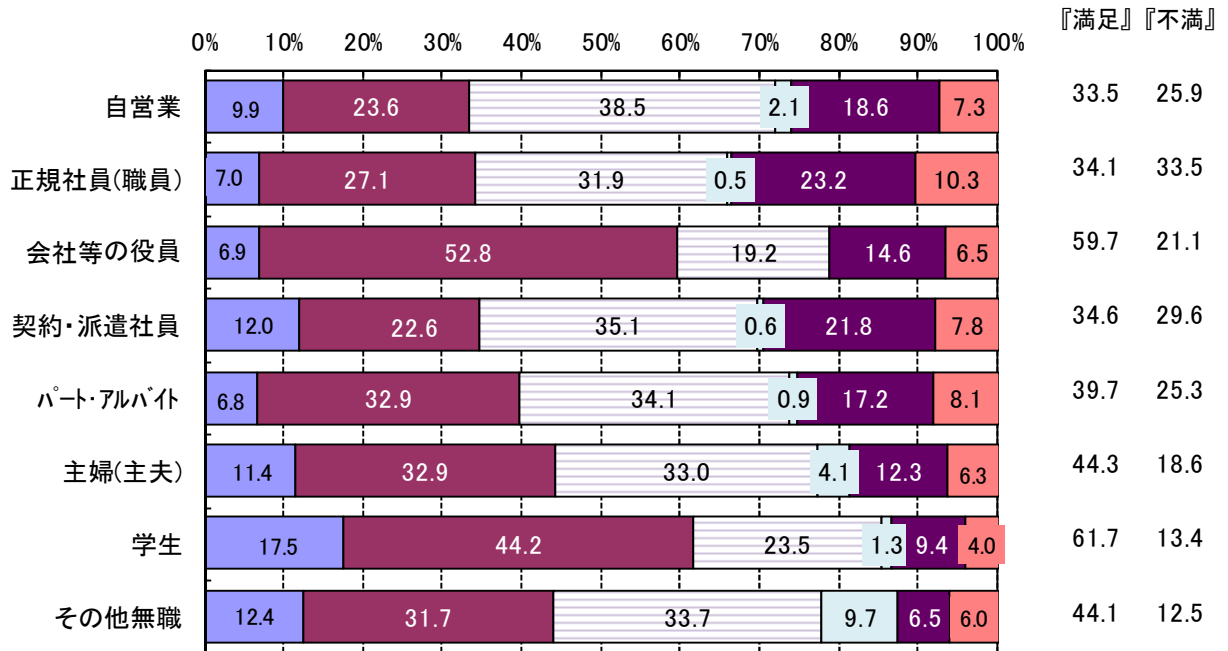




【職業別】

○カ 趣味やレクリエーションへの取組【職業別】

□満足 ■まあ満足 □どちらともいえない □無回答 ■やや不満 □不満

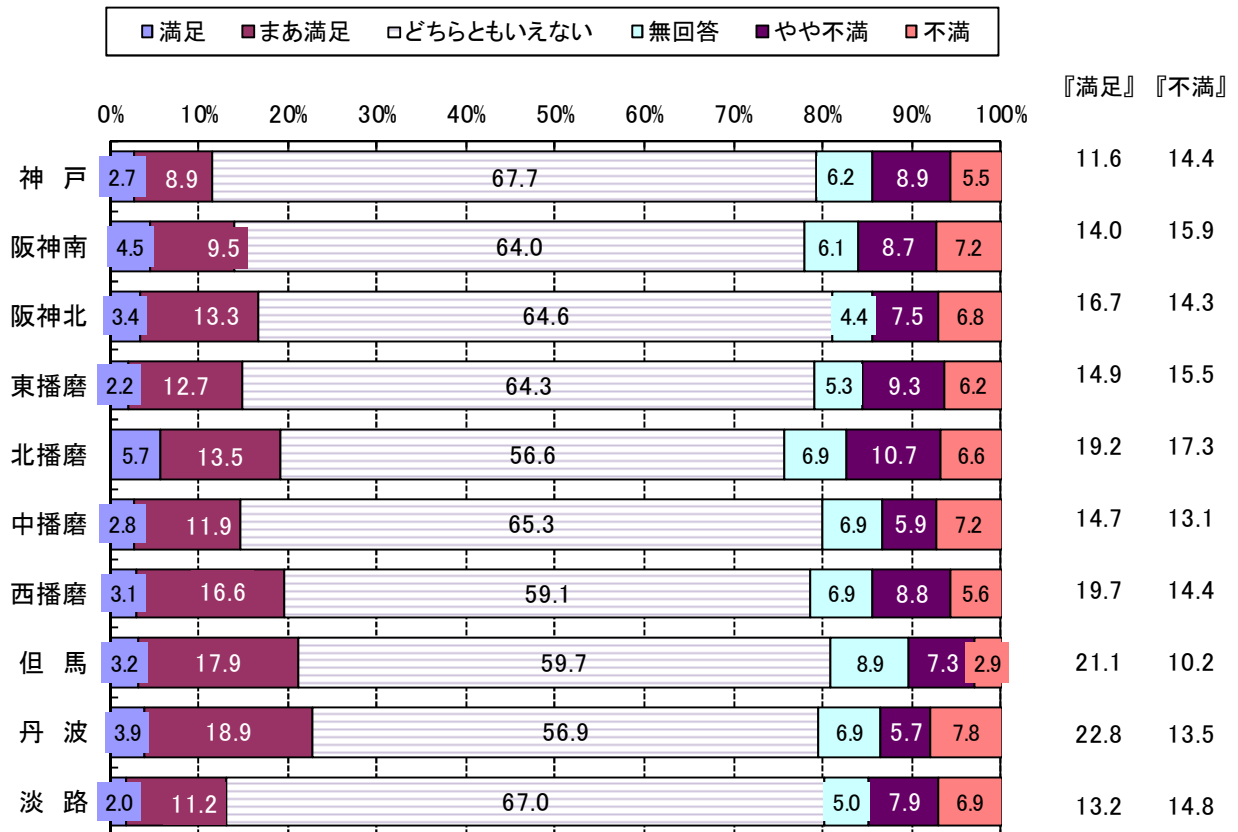


〔地域活動やボランティアへの取組〕

【地域別】

- 地域別では、丹波の満足度が最も高くなっており、阪神北、東播磨、北播磨、西播磨、但馬が全県の満足度(14.8%)を上回っている。

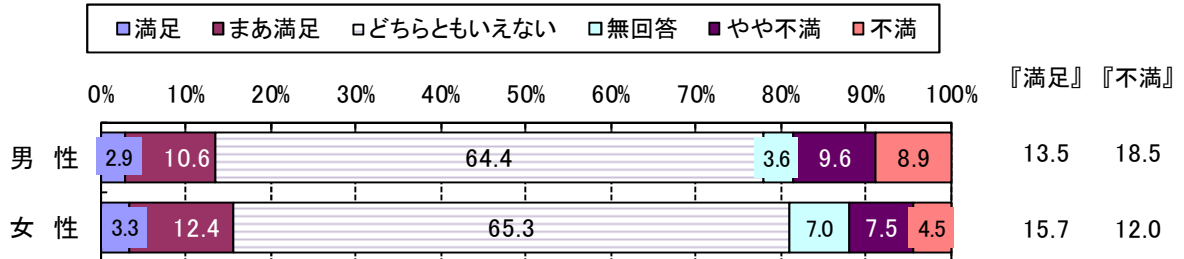
○ キ 地域活動やボランティアへの取組【地域別】



【性別、性・年代別】

- 性別では、女性の方が男性より2.2ポイント満足度が高くなっている。
- 性・年代別では、男女ともに70代、80歳以上の満足度が高くなっている。

○ キ 地域活動やボランティアへの取組【性別】

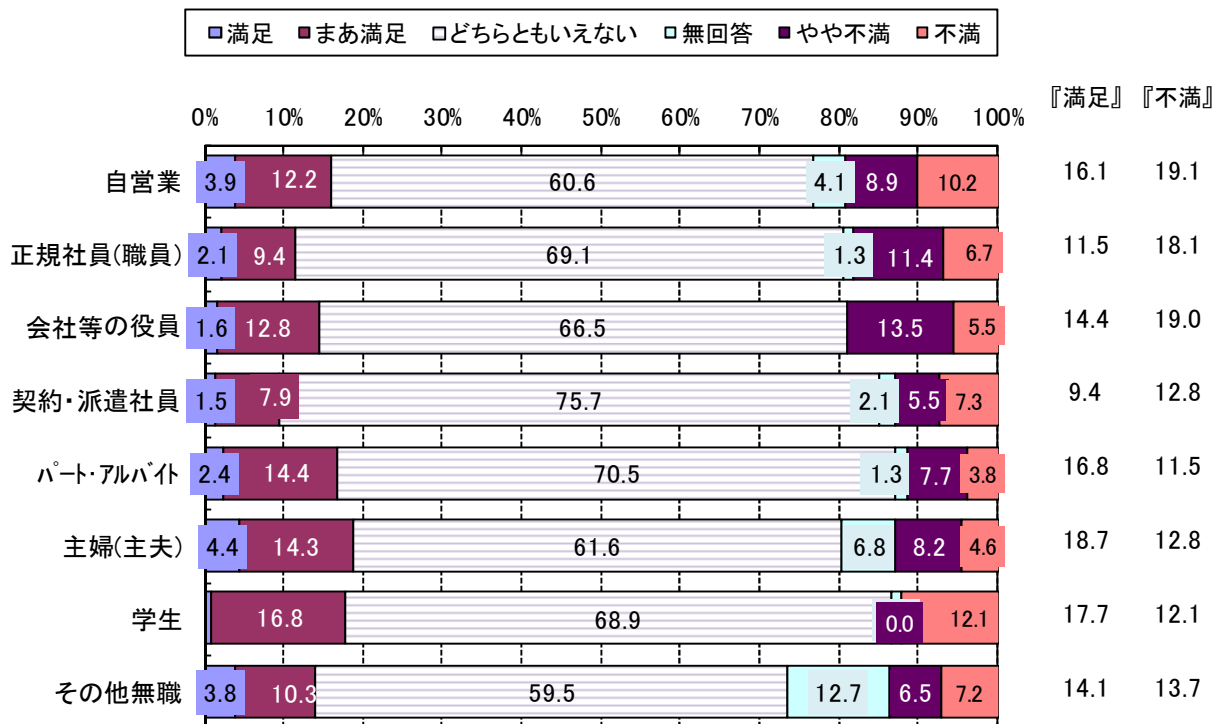


○ キ 地域活動やボランティアへの取組【性・年代別】



【職業別】

○ キ 地域活動やボランティアへの取組【職業別】

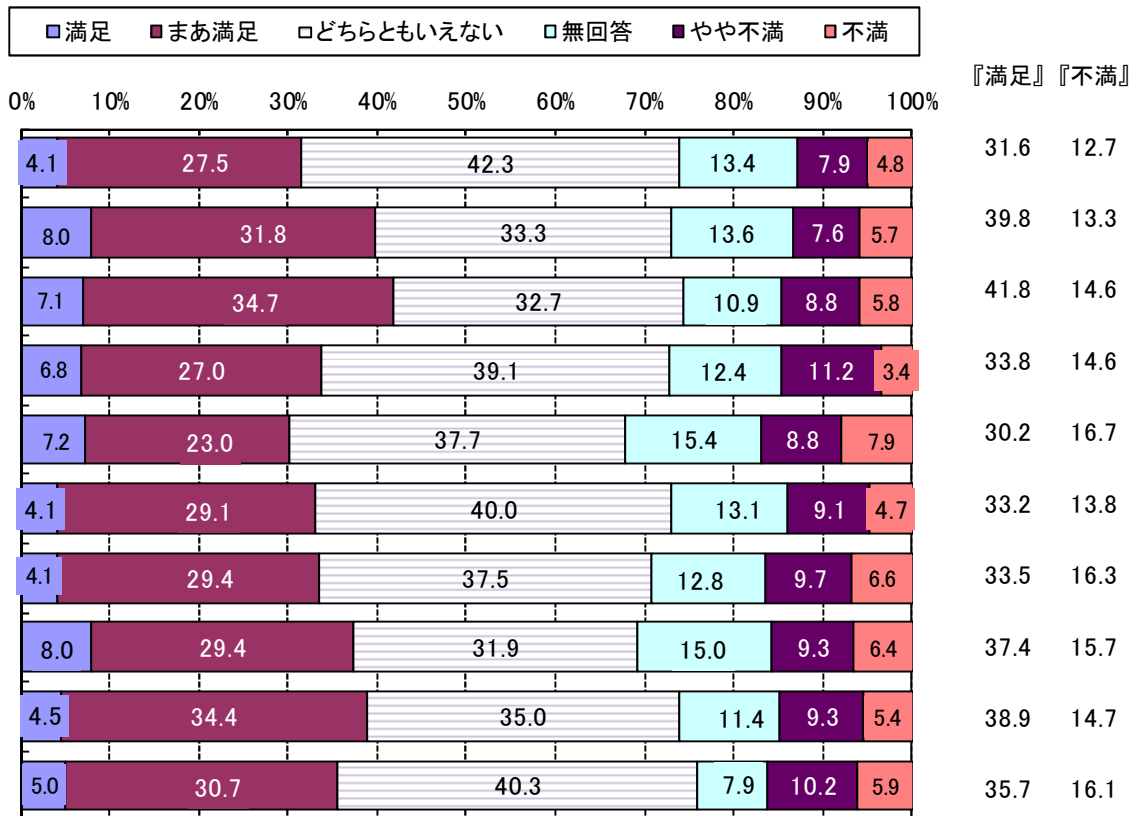


〔仕事の内容〕

【地域別】

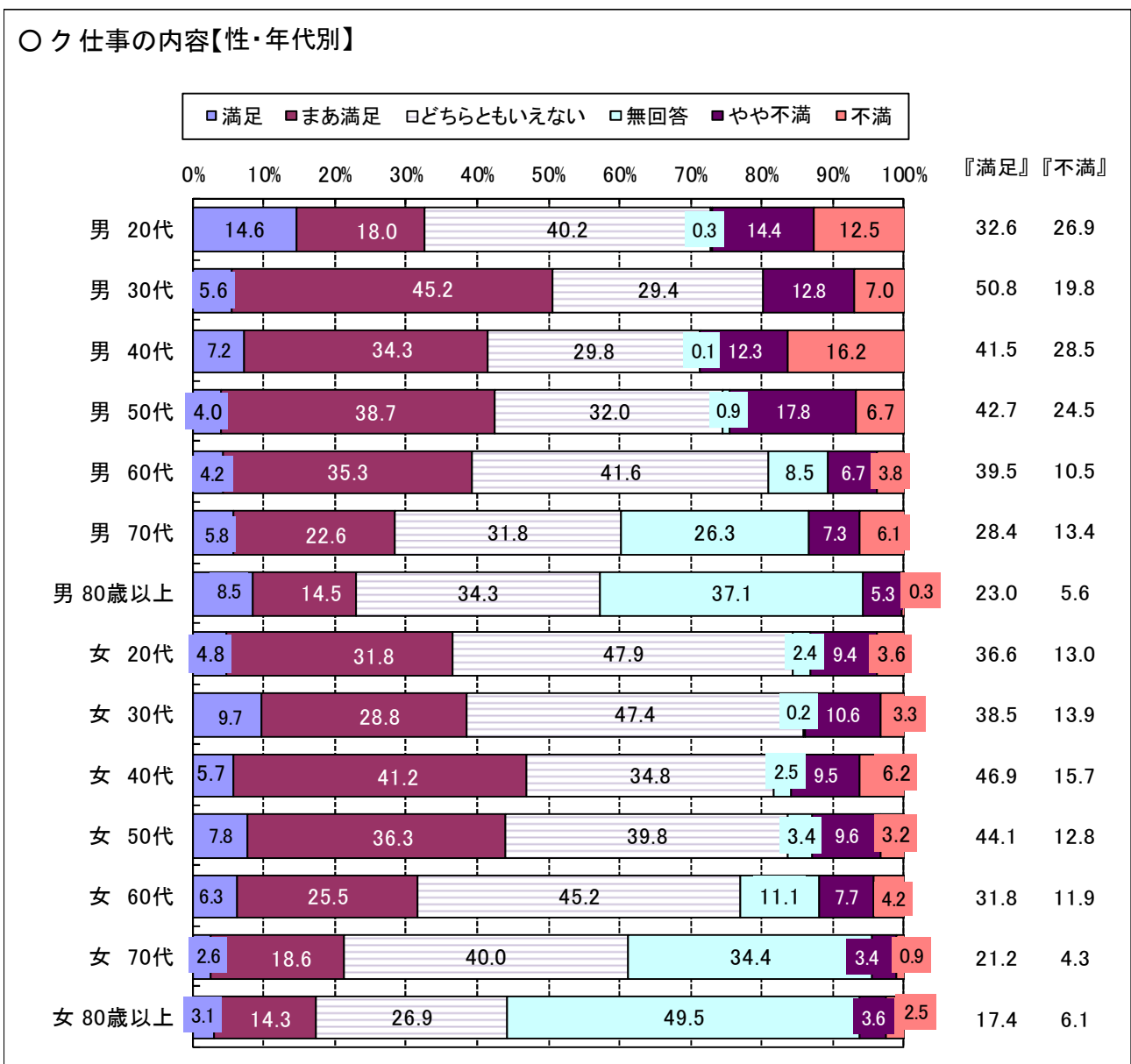
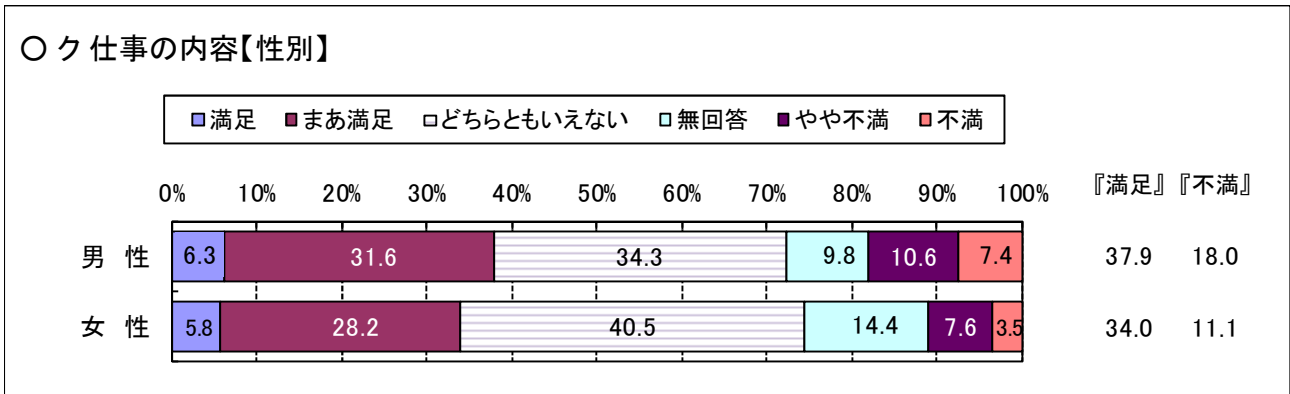
- 地域別では、阪神北の満足度が最も高くなっており、阪神南、但馬、丹波、淡路は全県の満足度（35.4%）を上回っている。

○ク仕事の内容【地域別】



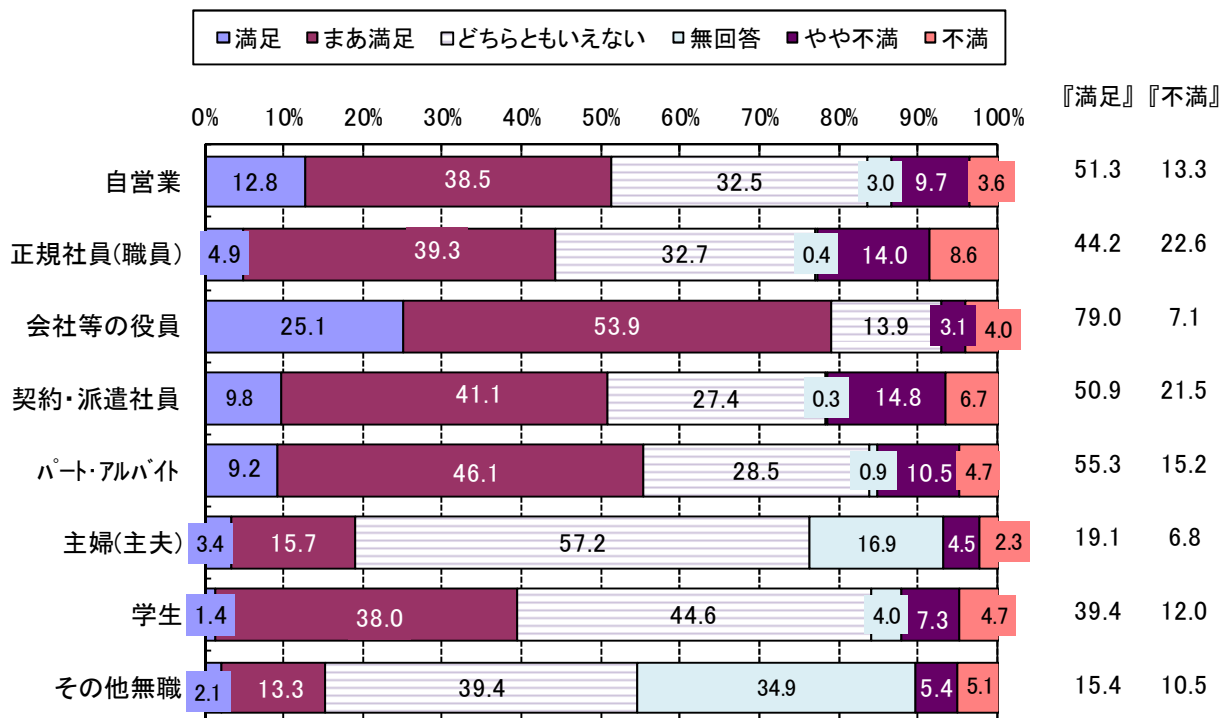
【性別、性・年代別】

- 性別では、男性の方が女性の満足度より3.9ポイント高くなっている。
- 性・年代別でみると、『満足』は男性で30代、女性は40代が最も高くなっている。



【職業別】

○ク 仕事の内容【職業別】

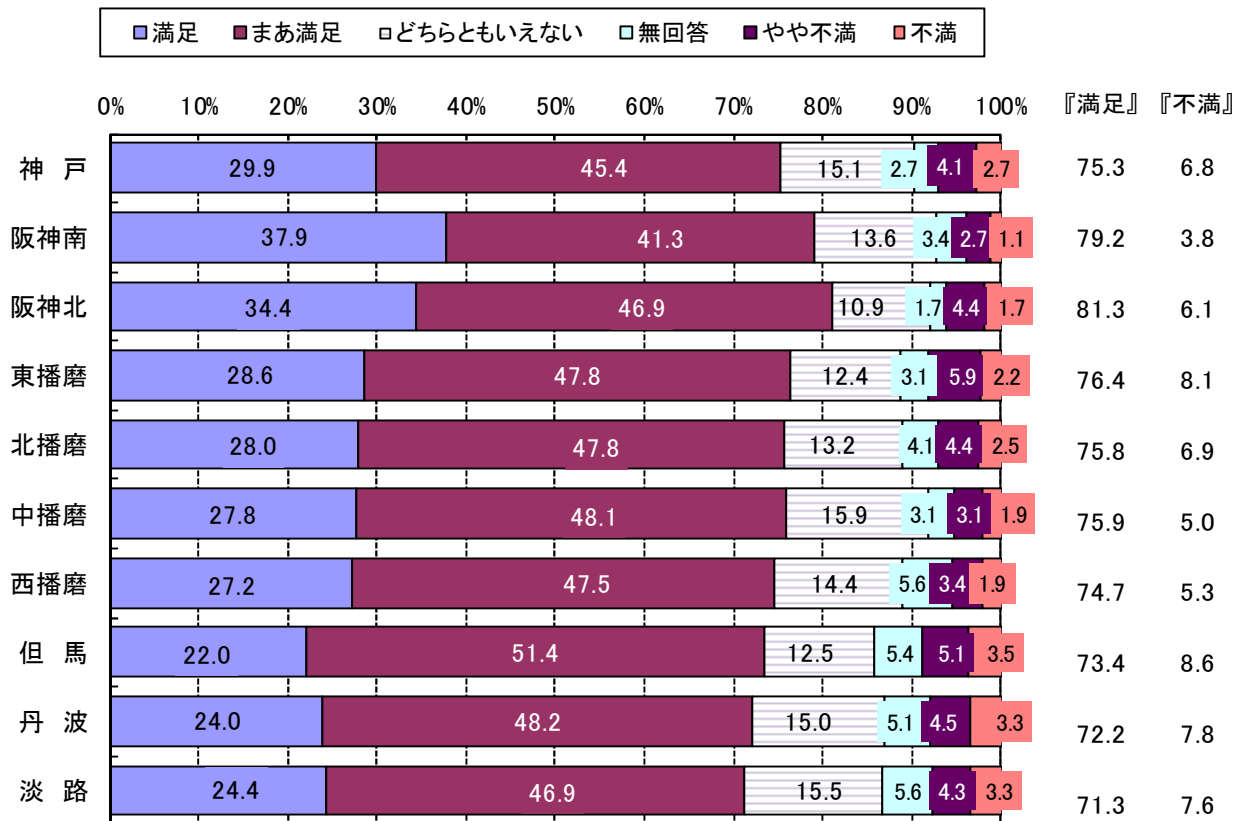


〔家族との関係〕

【地域別】

- 地域別では、阪神北の満足度が最も高くなっており、阪神南とともに全県（76.7%）を上回っている。

○ ケ 家族との関係【地域別】

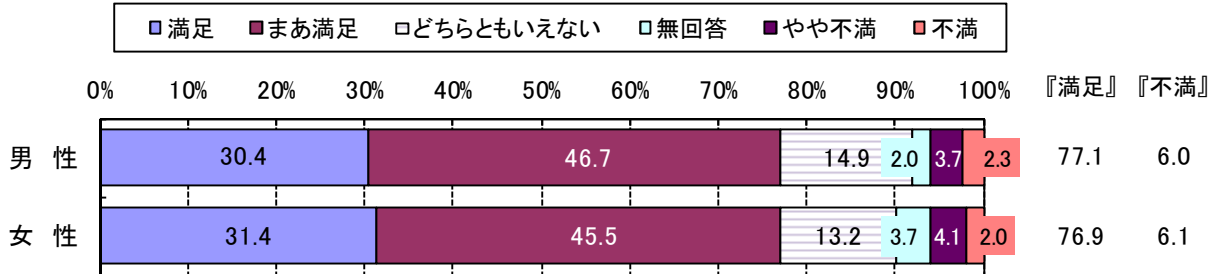




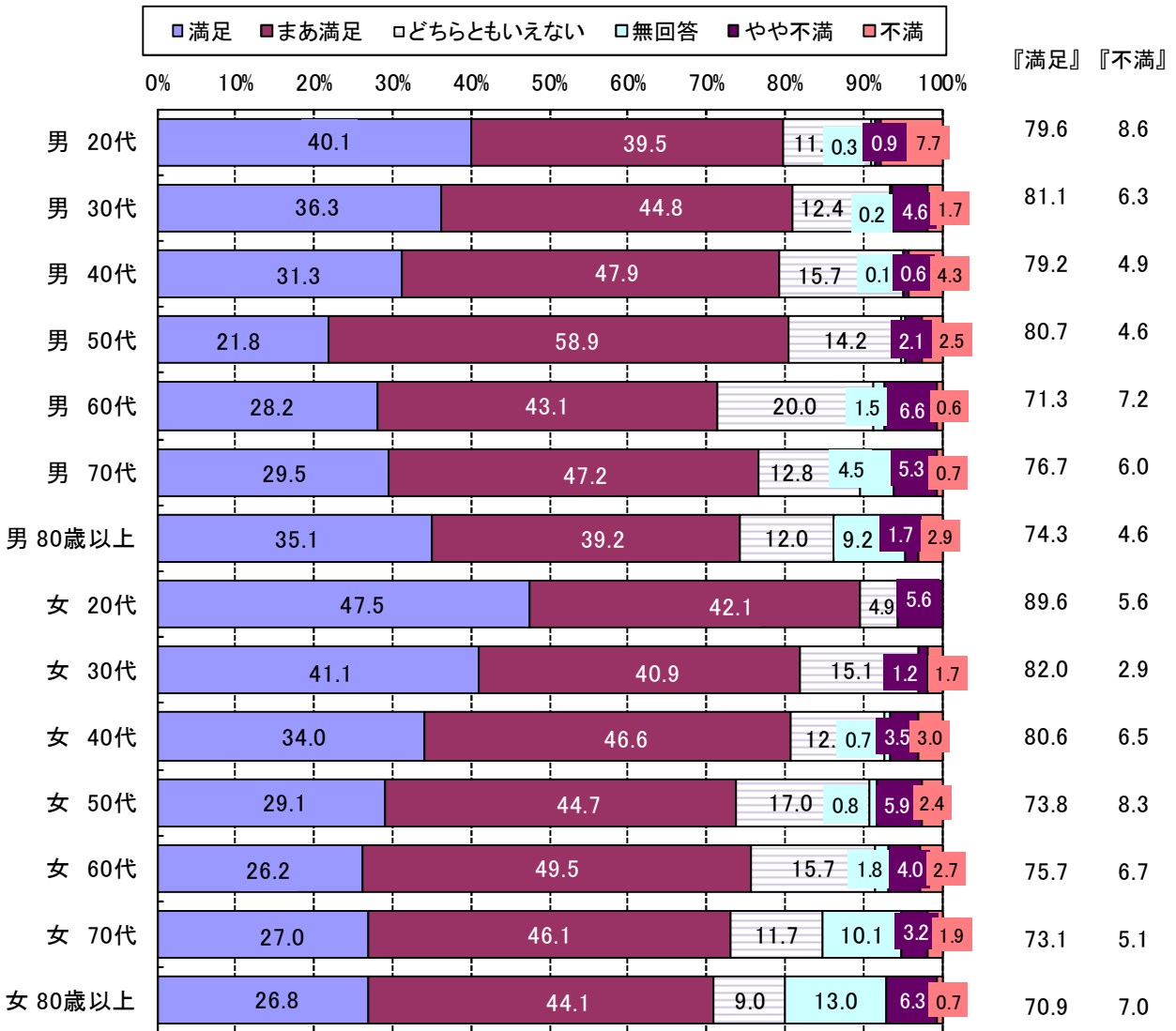
【性別、性・年代別】

- 性別では、男性の方が女性より満足度がわずかに高くなっているが、大きな差は見られない。
- 性・年代別では、男性は30代、女性は20代の満足度が高くなっている。

○ ケ 家族との関係【性別】



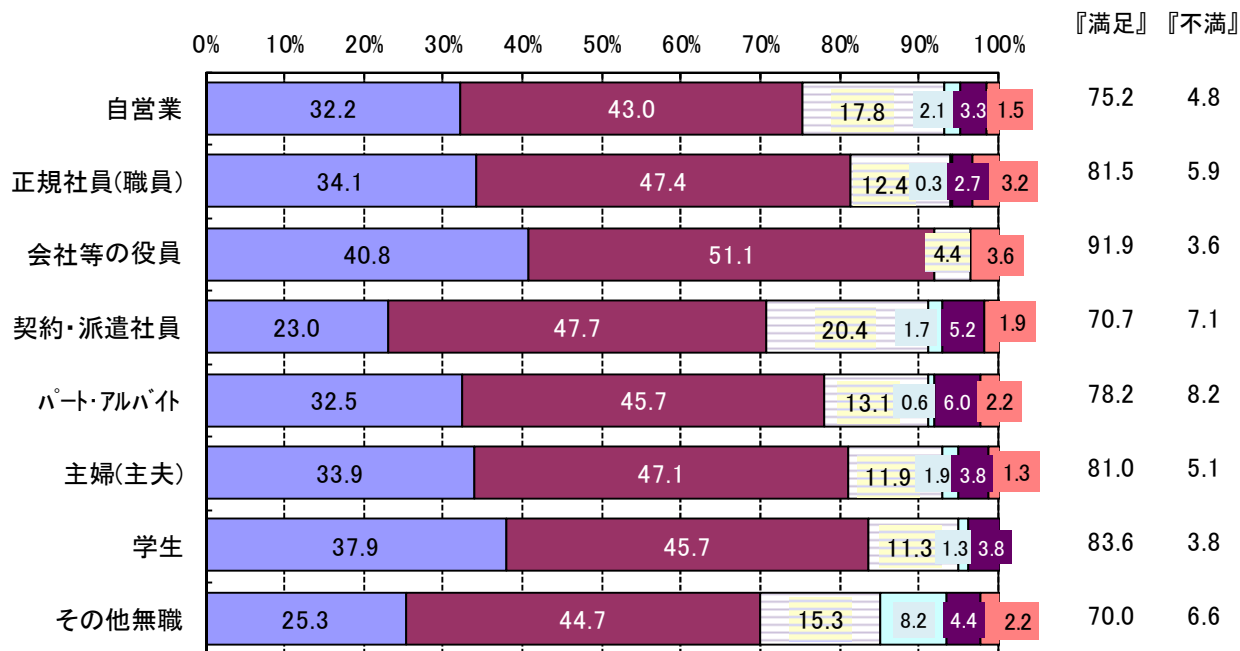
○ ケ 家族との関係【性・年代別】



【職業別】

○ ケ 家族との関係【職業別】

■満足 ■まあ満足 □どちらともいえない □無回答 ■やや不満 ■不満

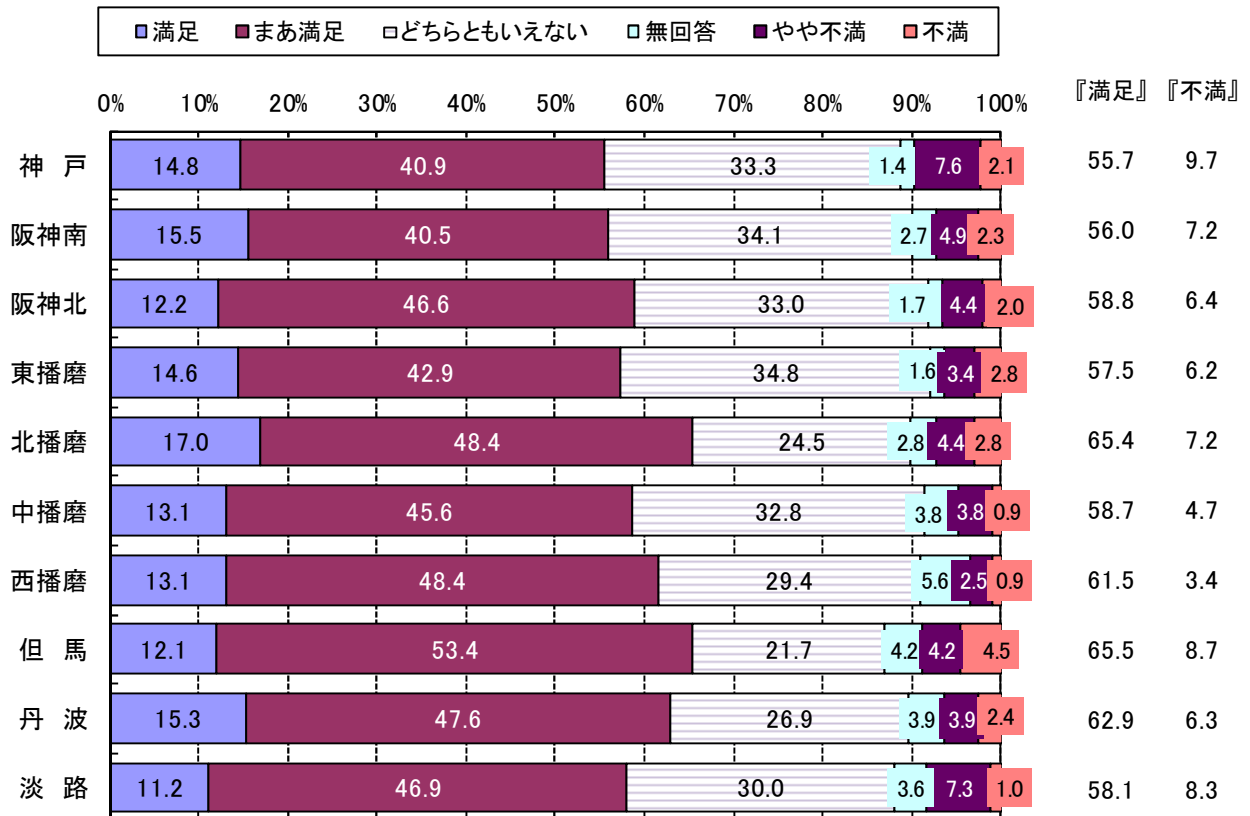


〔知人や近所の人との関係〕

【地域別】

- 地域別では、但馬の満足度が最も高くなっており、阪神北、北播磨、中播磨、西播磨、丹波、淡路が全県の満足度（58.0%）を上回っている。

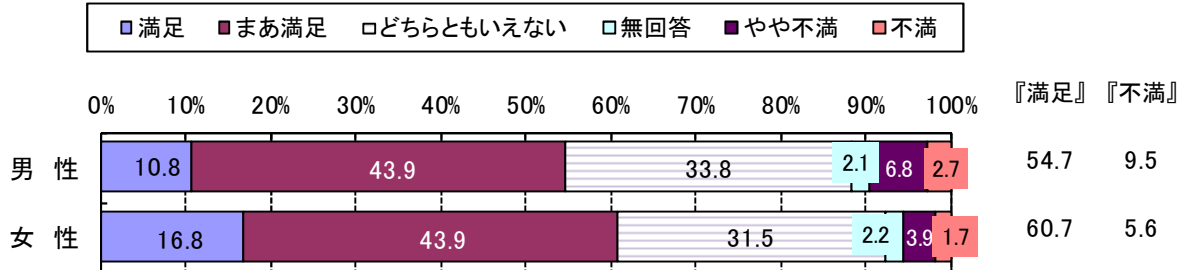
○ コ 知人や近所の人との関係【地域別】



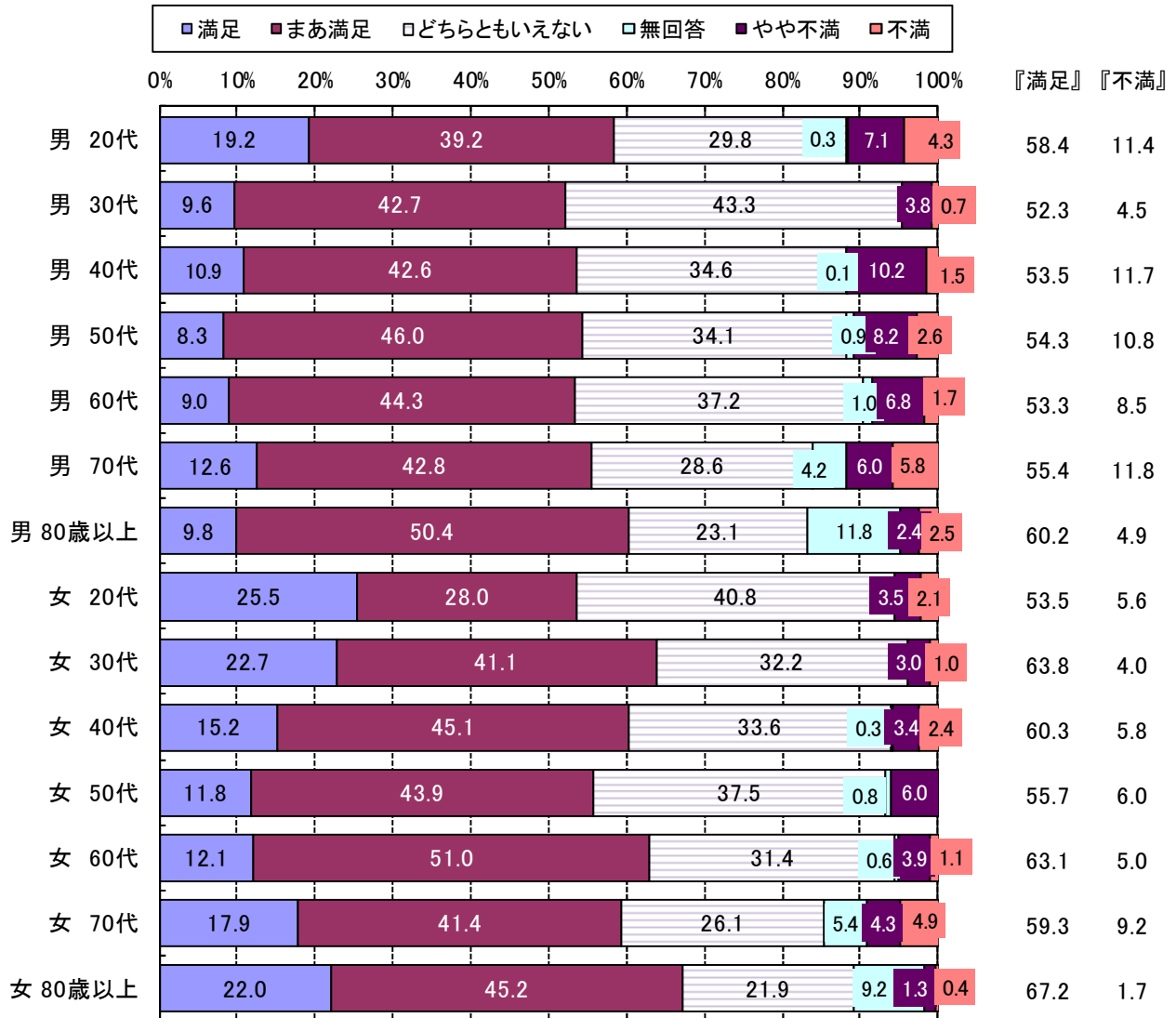
【性別、性・年代別】

- 性別では、女性の方が男性の満足度より6.0ポイント高くなっている。
- 性・年代別では、男女とも80歳以上が高くなっている。

○ コ 知人や近所の人との関係【性別】



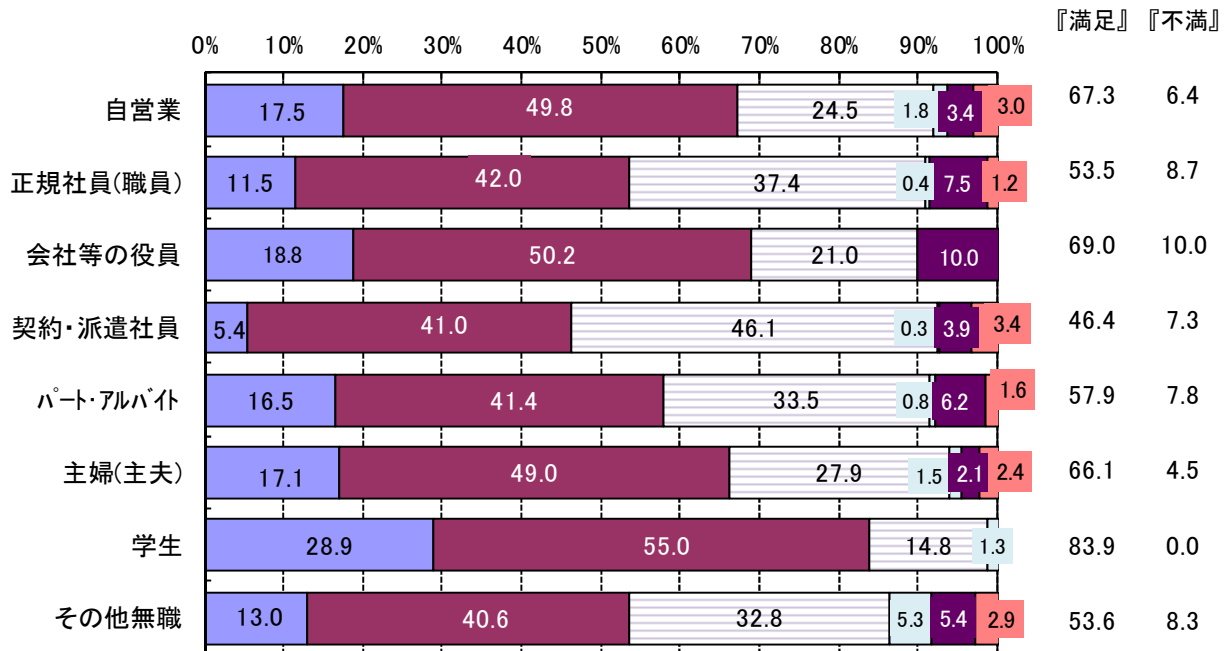
○ コ 知人や近所の人との関係【性・年代別】



【職業別】

〇 コ 知人や近所の人との関係【職業別】

□ 満足 ■ まあ満足 □ どちらともいえない □ 無回答 ■ やや不満 □ 不満

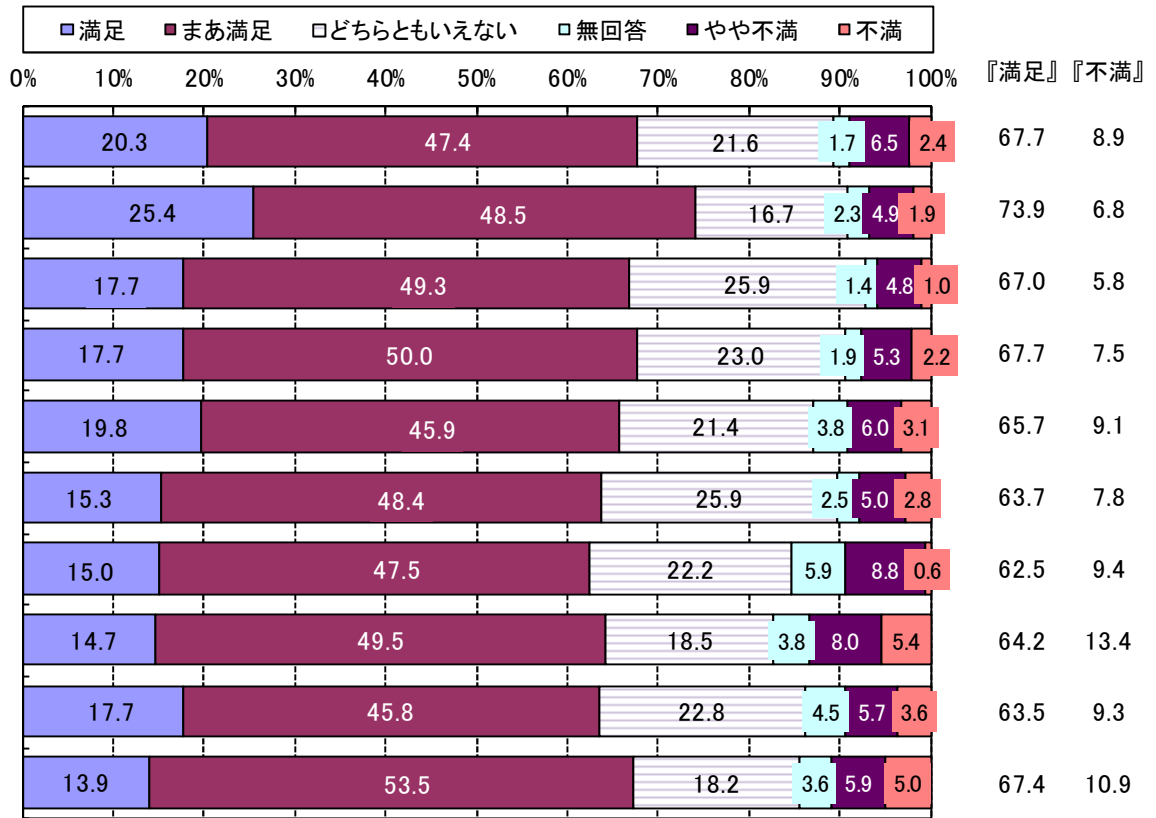


〔住んでいる地域の住み心地〕

【地域別】

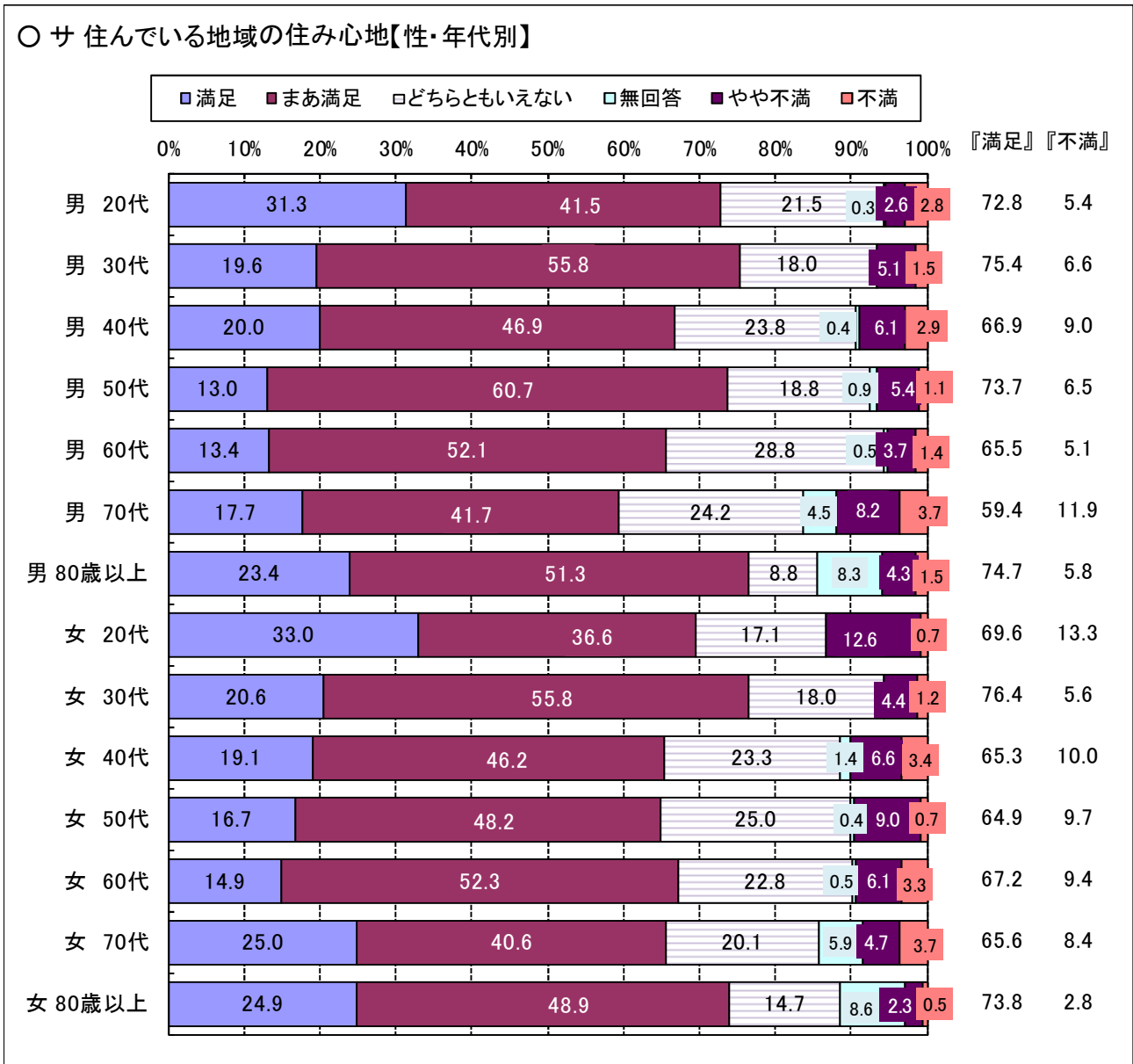
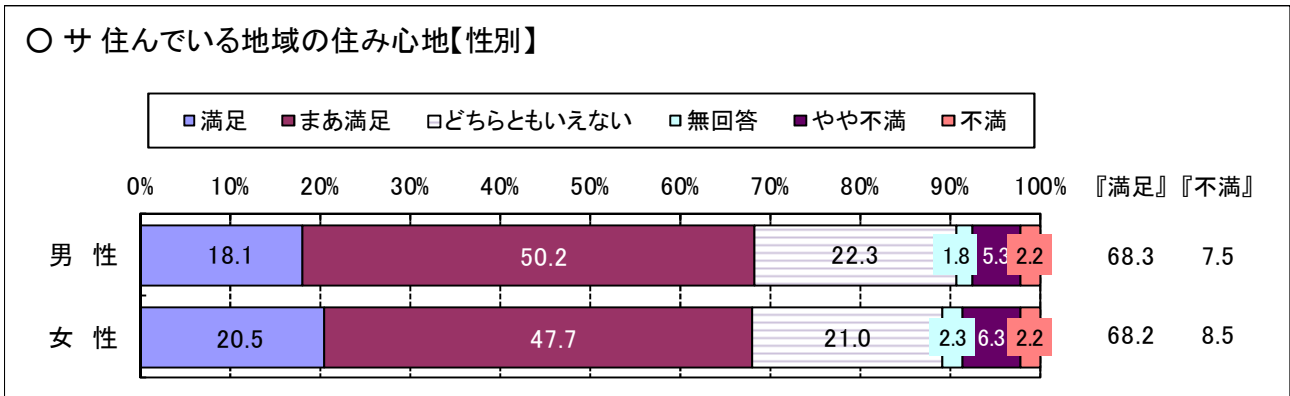
- 地域別では、阪神南のみ全県（67.8%）を上回っている。

○ サ 住んでいる地域の住み心地【地域別】



【性別、性・年代別】

- 性別では、男性の方が女性よりわずかに高くなっているが、大きな差は見られない。
- 性・年代別では、男女とも30代が高くなっている。



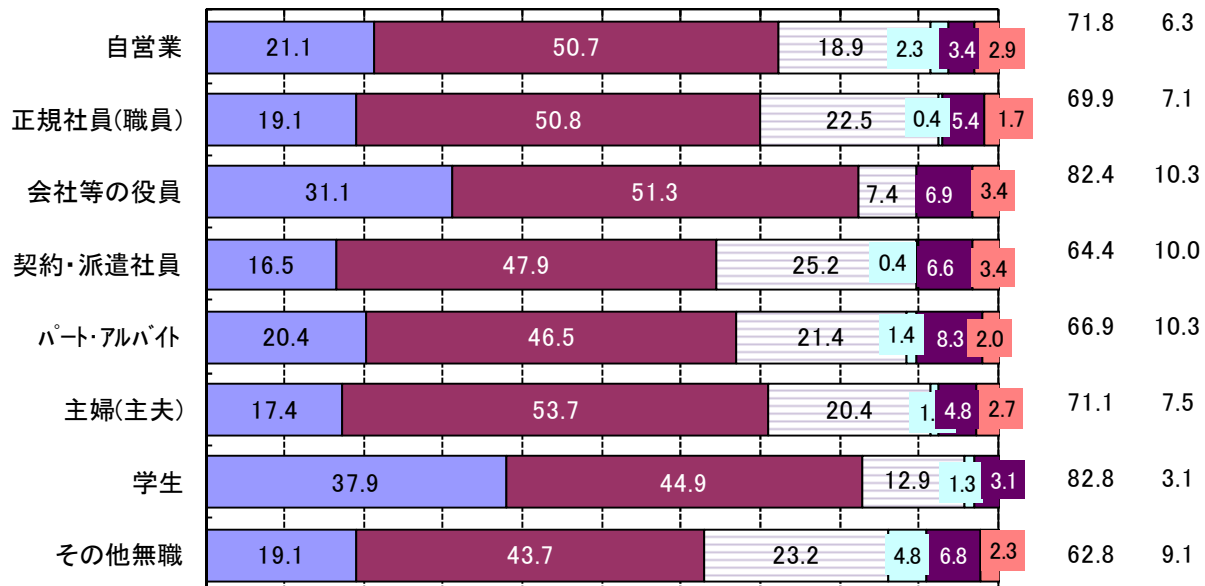
【職業別】

○ サ 住んでいる地域の住み心地【職業別】

■満足 ■まあ満足 □どちらともいえない □無回答 ■やや不満 ■不満

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

『満足』 『不満』



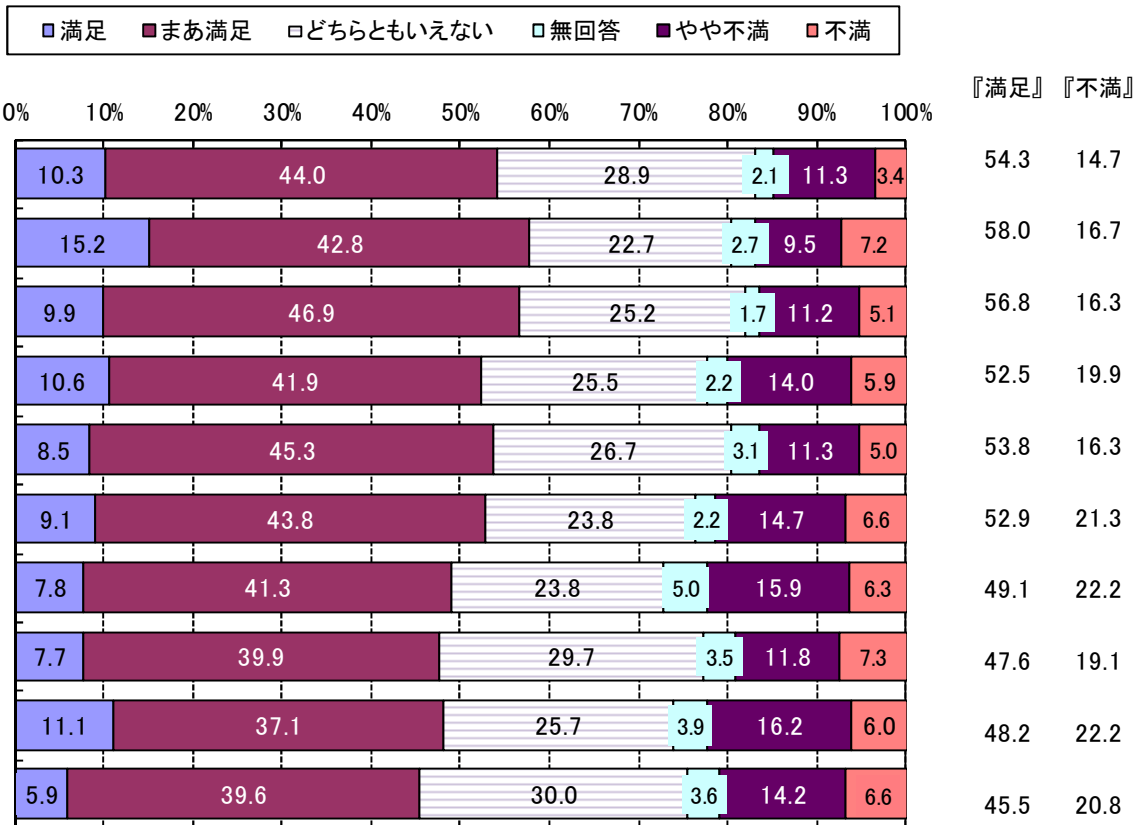


〔あなた自身の健康〕

【地域別】

- 地域別では、阪神南の満足度が最も高くなっており、神戸、阪神北が全県の満足度（54.1%）を上回っている。

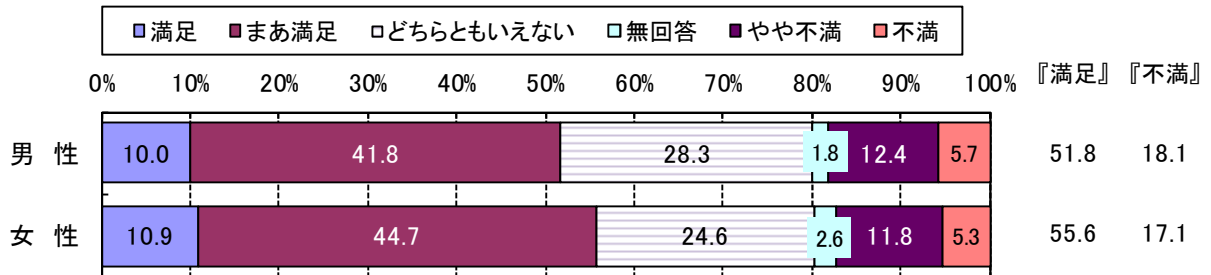
○ シ あなた自身の健康【地域別】



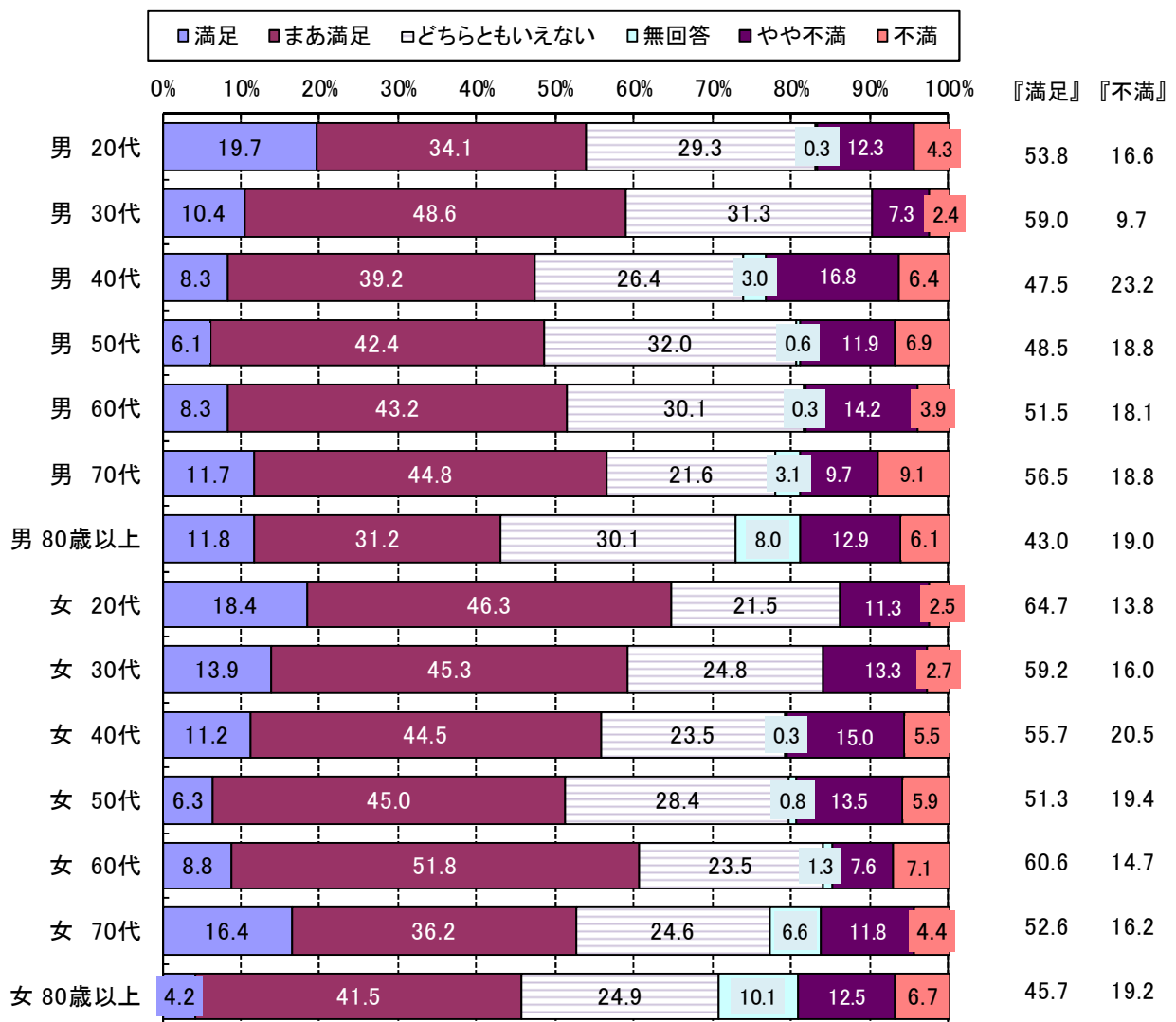
【性別、性・年代別】

- 性別では、女性の方が男性の満足度より3.8ポイント高くなっている。
- 性・年代別では、若年層の満足度が高い傾向がみられ、男性は30代、女性は20代が高くなっている。

○ シ あなた自身の健康【性別】



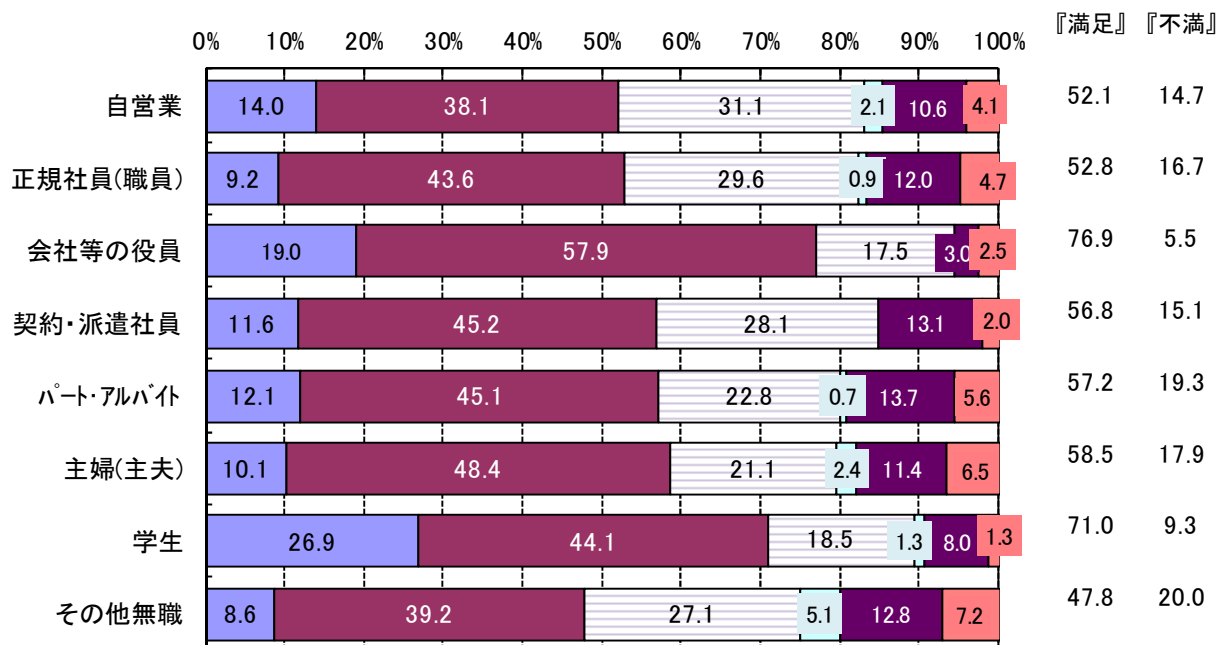
○ シ あなた自身の健康【性・年代別】



【職業別】

○シ あなた自身の健康【職業別】

□満足 □まあ満足 □どちらともいえない □無回答 □やや不満 □不満

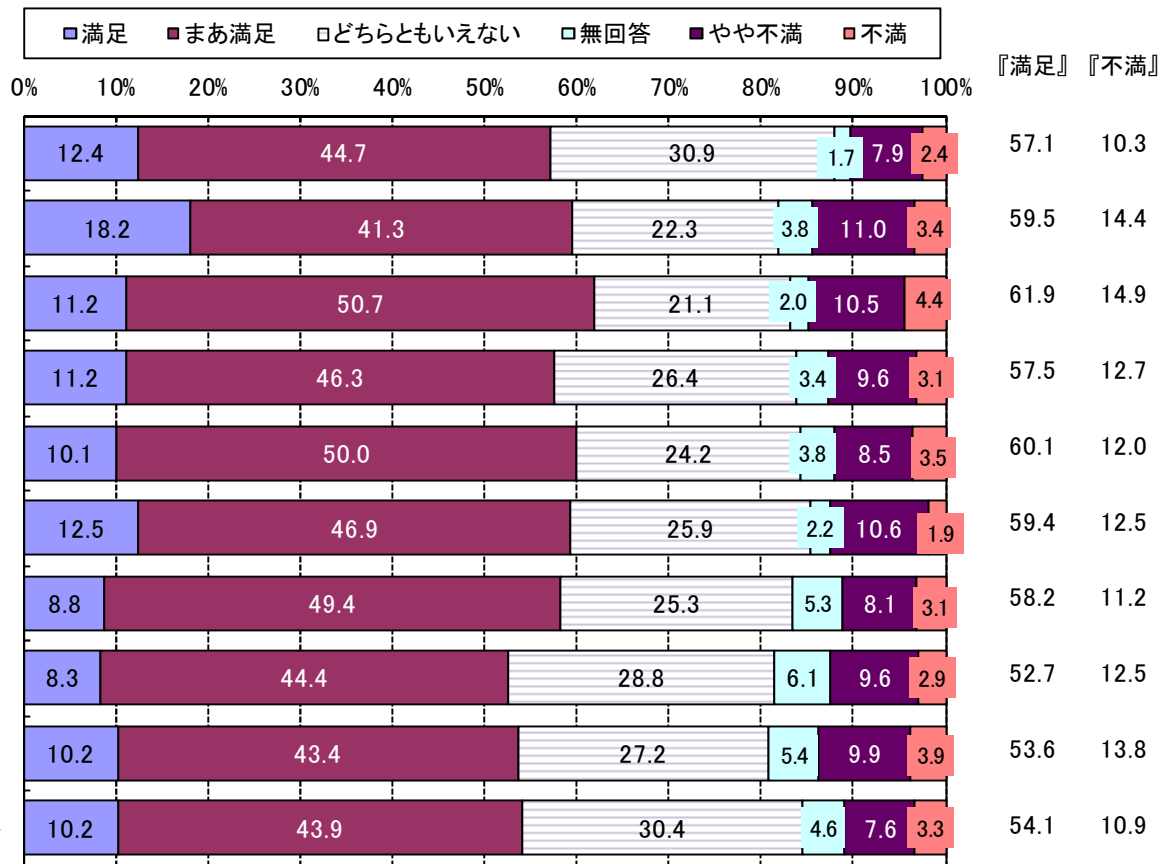


〔家族の健康〕

【地域別】

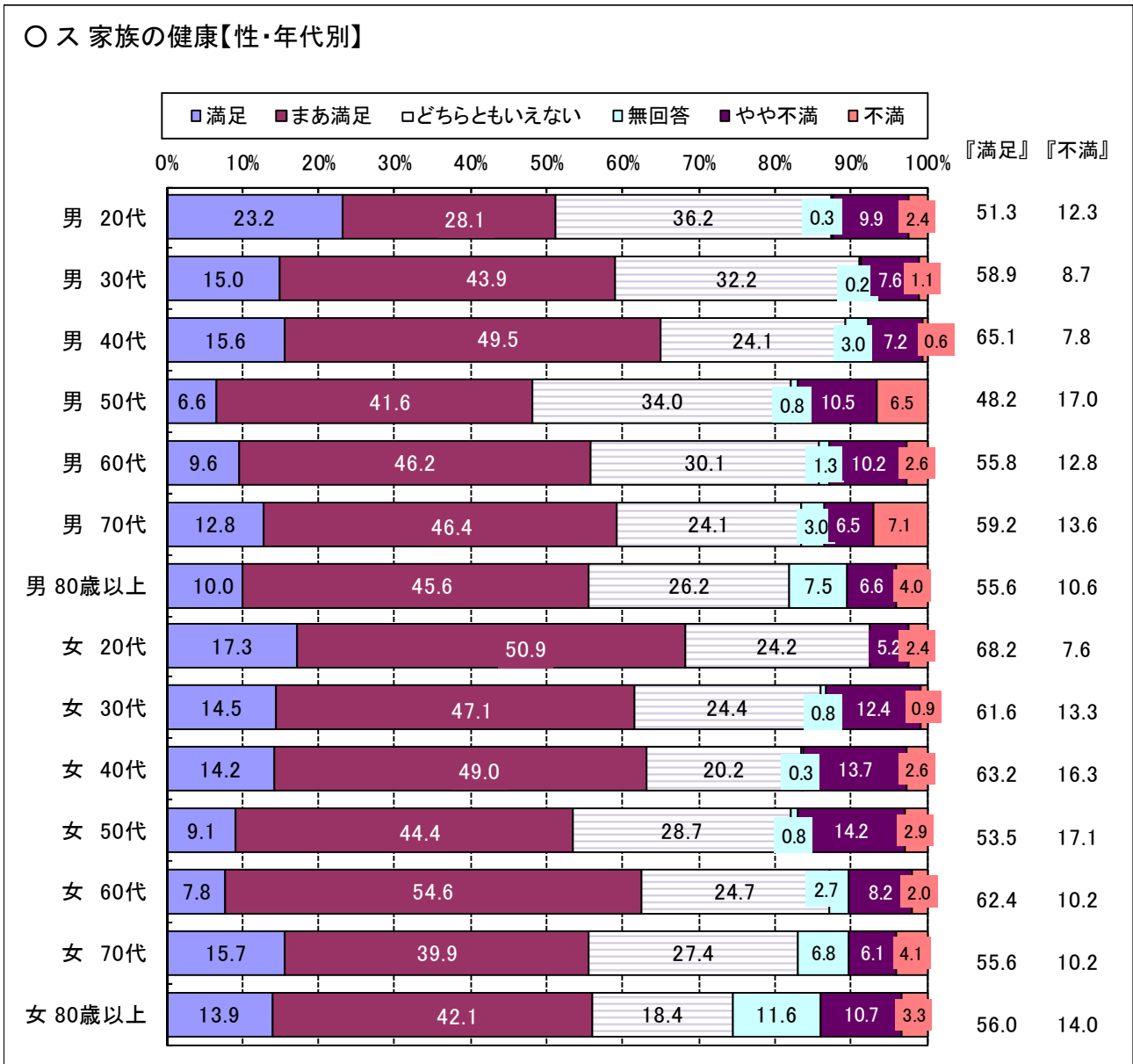
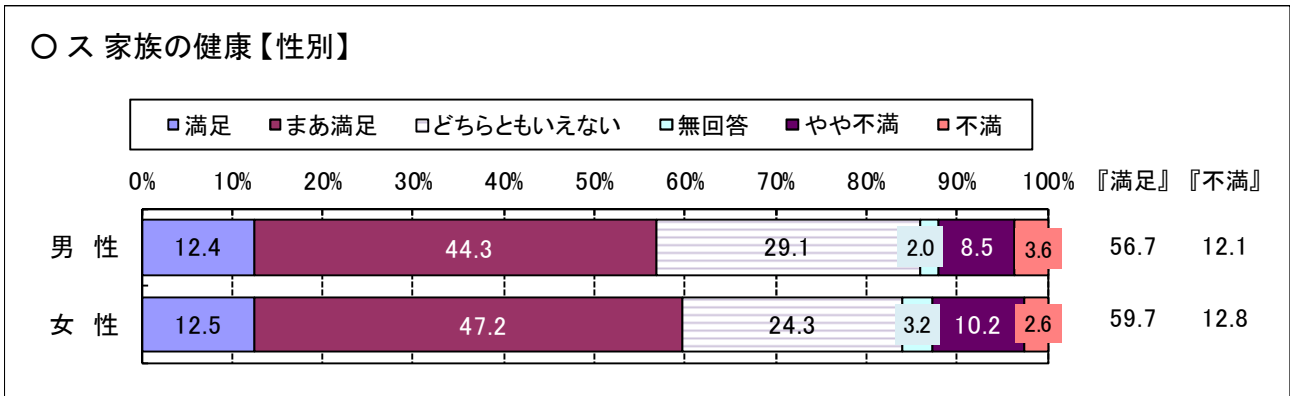
- 地域別では、阪神北の満足度が最も高くなっており、阪神南、北播磨、中播磨が全県の満足度（58.3%）を上回っている。

○ ス 家族の健康【地域別】



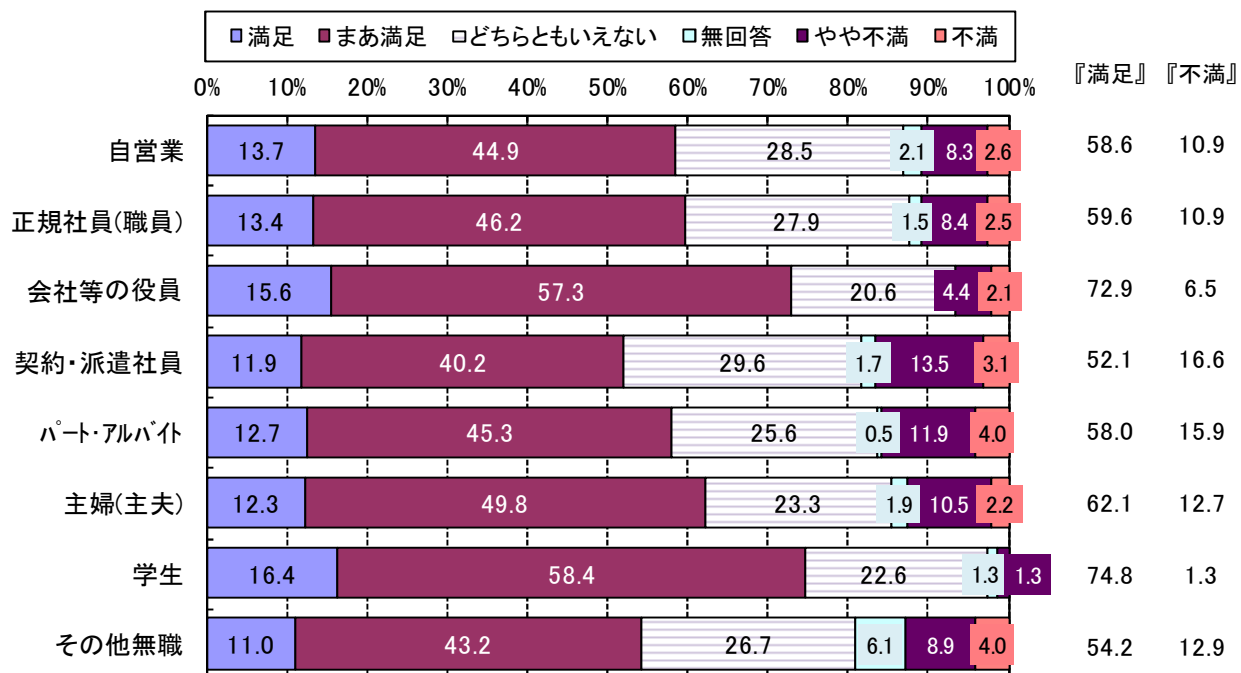
【性別、性・年代別】

- 性別では、女性の方が男性より3.0ポイント満足度が高くなっている。
- 性・年代別では、男性は40代、女性は20代が高くなっている。



【職業別】

○ ス 家族の健康【職業別】



## 問23 去年と比べた生活の向上感

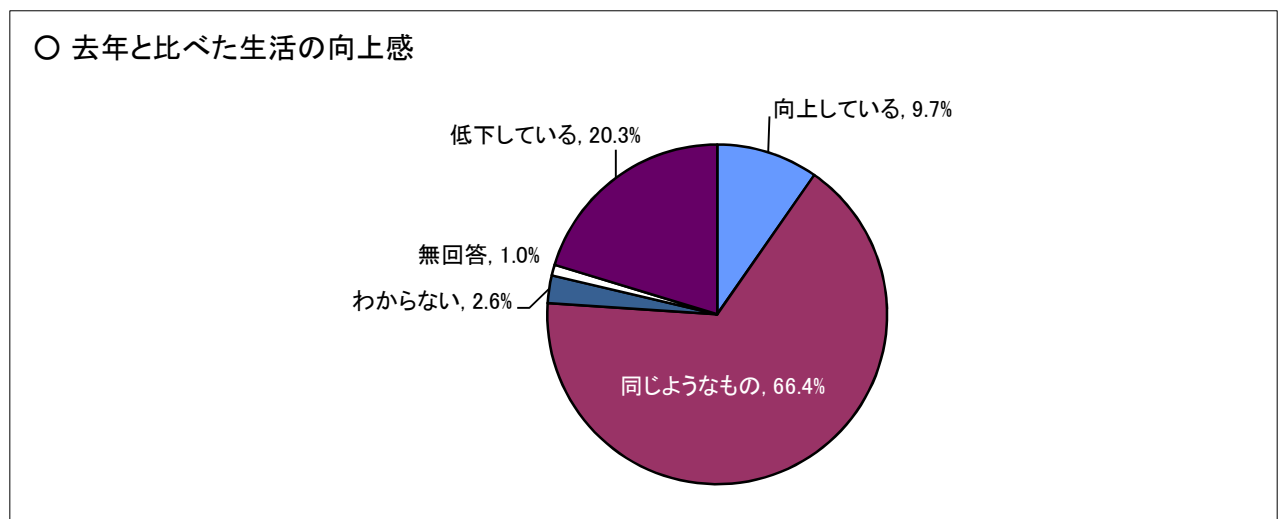
### 問23

あなたが、今の生活をどう思っておられるかお聞きします。あなたの生活は、去年の今頃と比べてどうでしょうか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

- |          |           |
|----------|-----------|
| 1 向上している | 2 同じようなもの |
| 3 低下している | 4 わからない   |

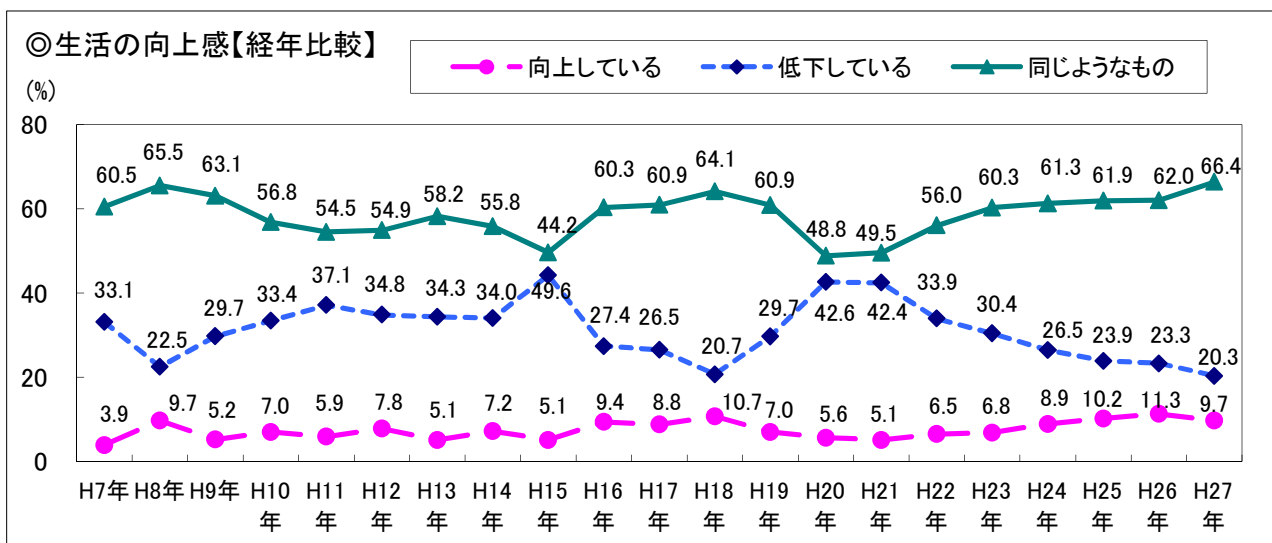
### 【全 県】

- 「同じようなもの」が66.4%で最も高く、「低下している」は20.3%、「向上している」は9.7%となっている。

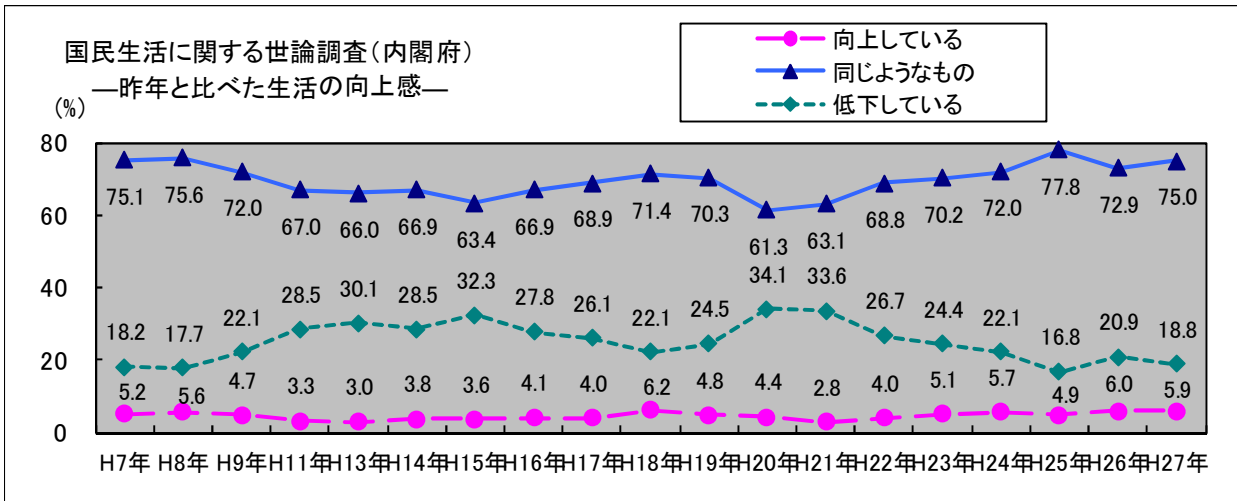


### 【経年比較】

- 経年比較では、H21年以降「低下している」は減少傾向、「向上している」は増加傾向が続いていたが、今年度、「向上している」は1.6ポイントの減少に転じた。



(参考)

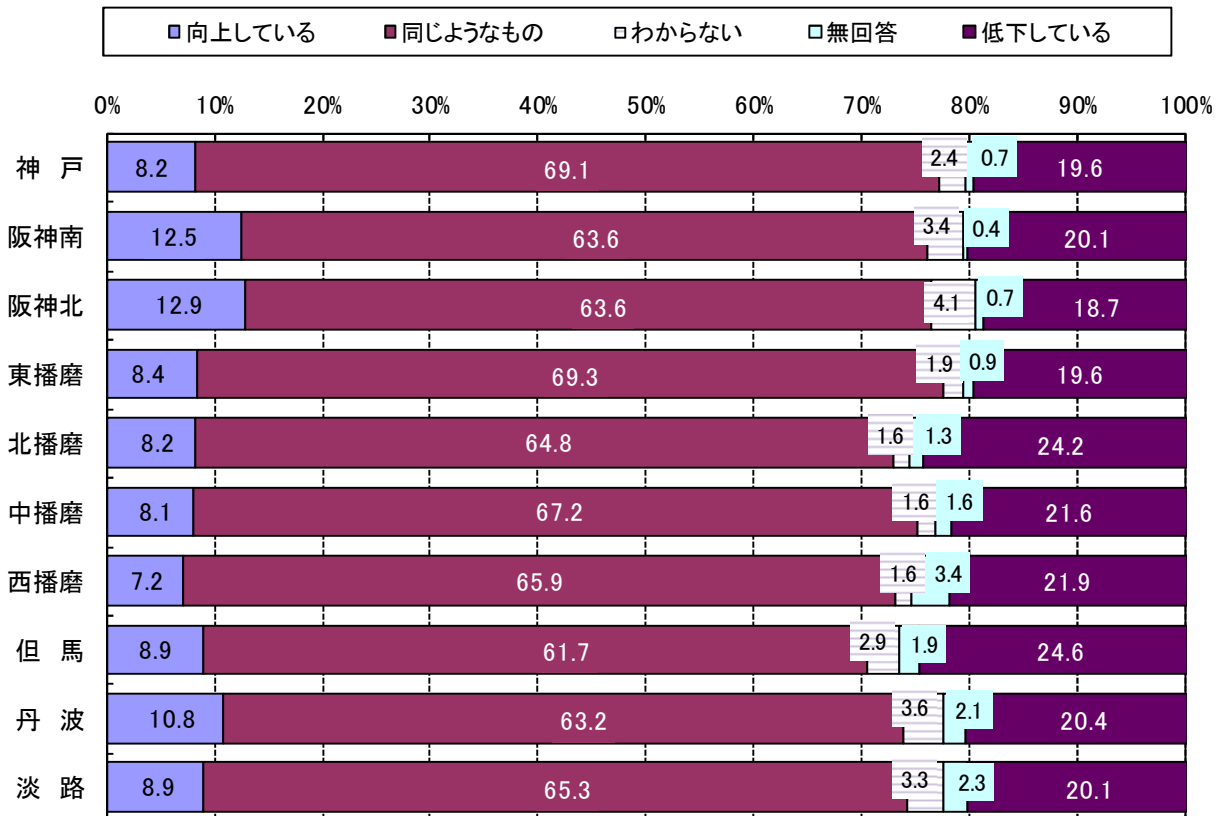


【地域別】

「向上している」は、阪神北が最も高く、阪神南、丹波が全県（9.7%）を上回っている。

「低下している」は、但馬が最も高く、北播磨、中播磨、西播磨、丹波が全県（20.3%）を上回っている。

○ 去年と比べた生活の向上感【地域別】

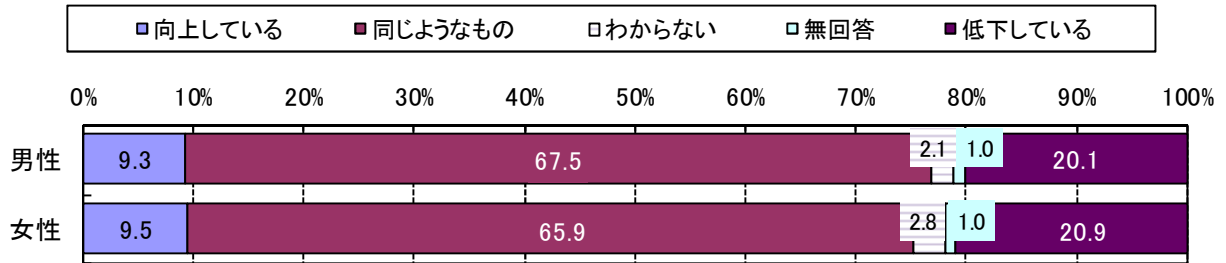




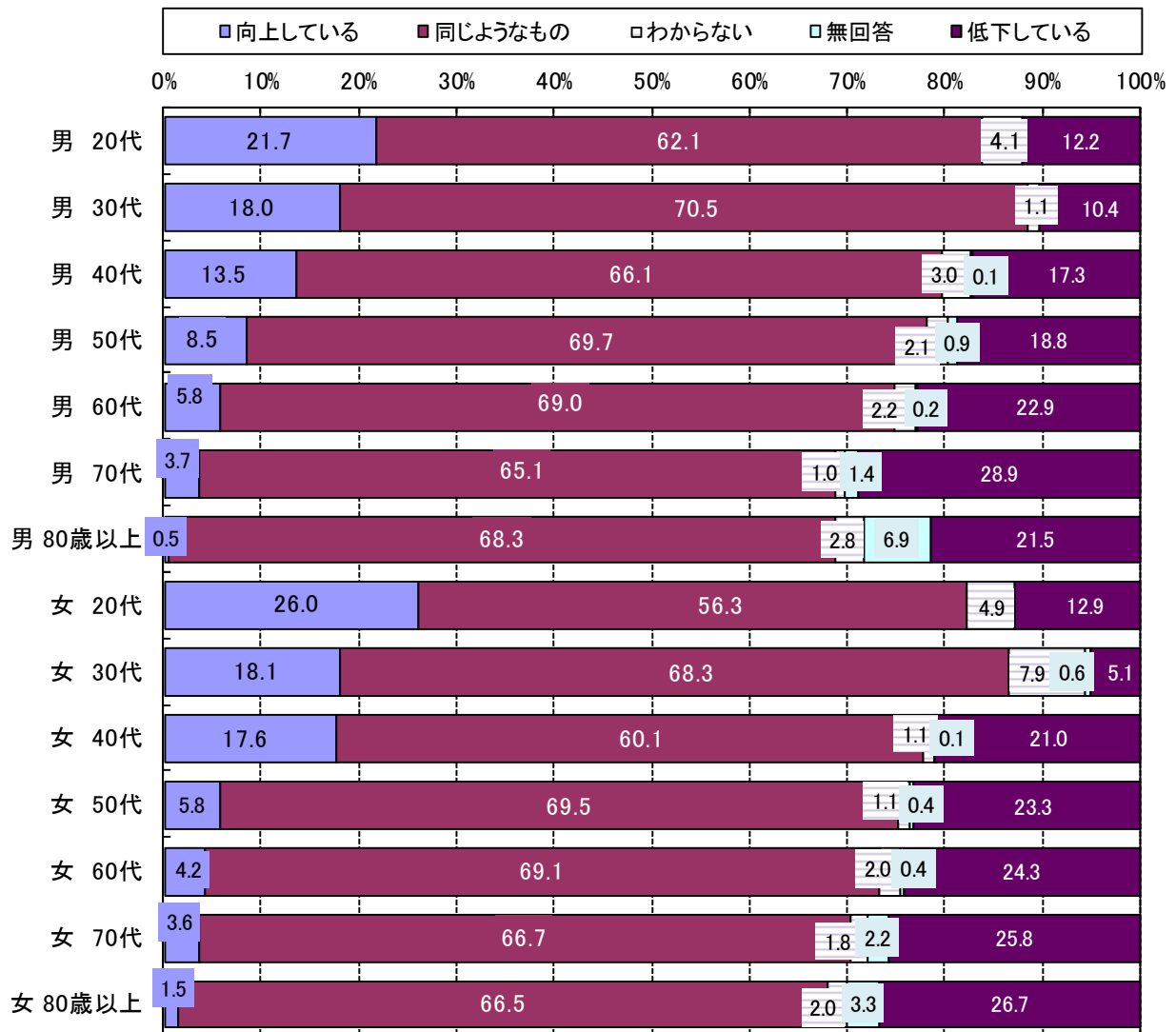
【性別、性・年代別】

- 性別では、女性の方が男性より「低下している」が高くなっている。
- 性・年代別では、男女とも高齢者ほど「向上している」が低くなる傾向にある。

○ 去年と比べた生活の向上感【性別】

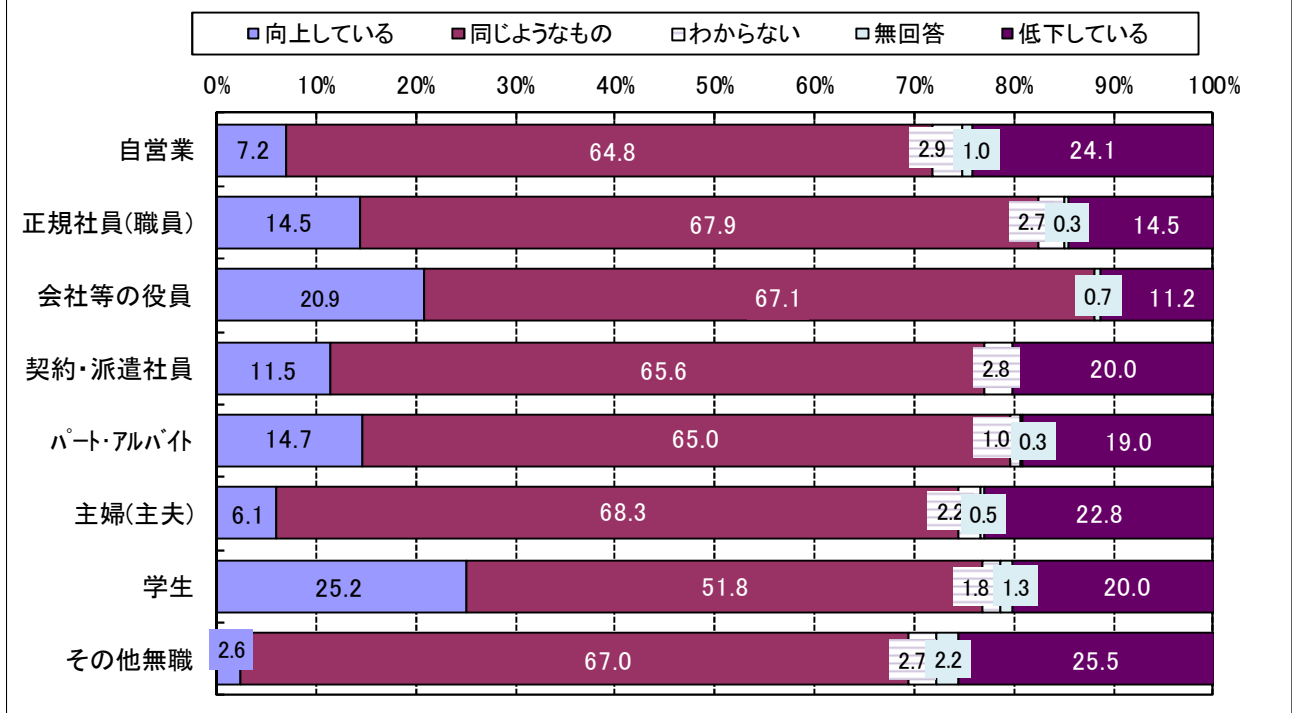


○ 去年と比べた生活の向上感【性・年代別】



【職業別】

○ 去年と比べて生活の向上感【職業別】



問24 大地震発生の可能性

問24

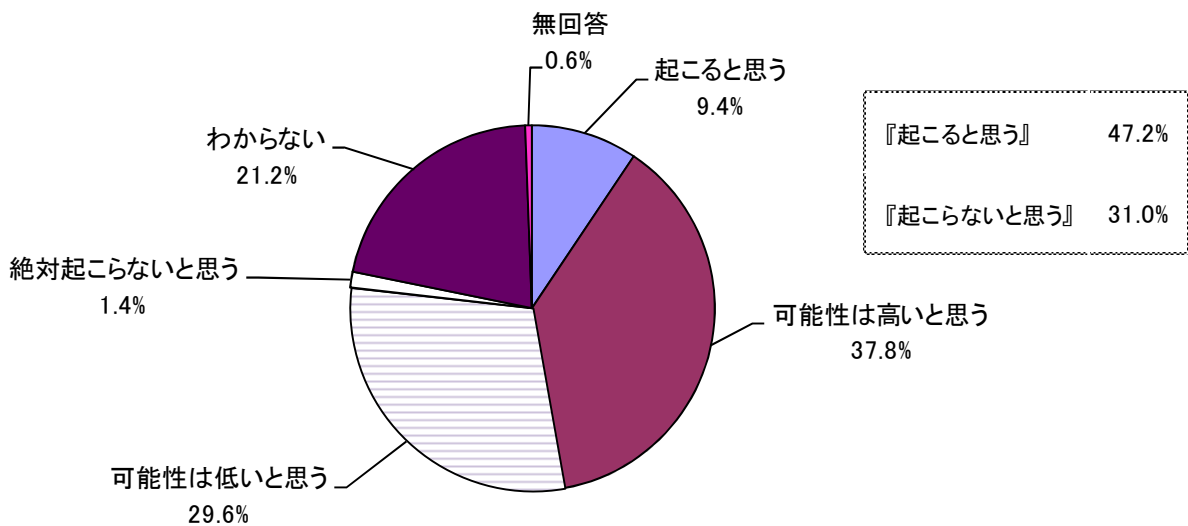
あなたの住んでいる地域で、今後10年くらいの間に大地震が起こると思いますか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

- 1 起こると思う
- 2 可能性は高いと思う
- 3 可能性は低いと思う
- 4 絶対起こらないと思う
- 5 わからない

【全 県】

- 「起こると思う」、「可能性は高いと思う」を合わせた『起こると思う』は47.2%で、「絶対起こらないと思う」、「可能性は低いと思う」を合わせた『起こらないと思う』は31.0%となっている。

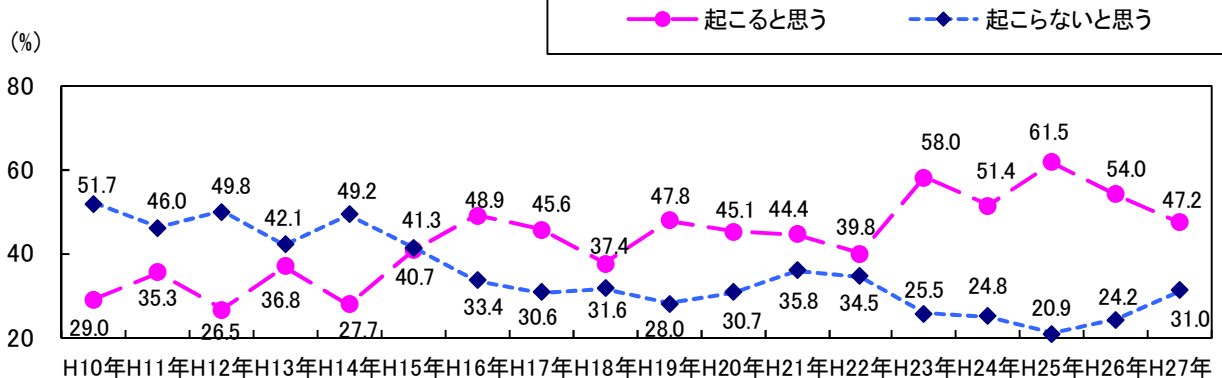
○ 大地震発生の可能性



【経年比較】

- 25年度は年度当初に淡路島を震源とする地震の発生もあり増加したが、今年度は『起こると思う』が6.8ポイント減少し、47.2%と半数を割っている。
- 一方で、『起こらないと思う』は、前年より6.8ポイント増加している。

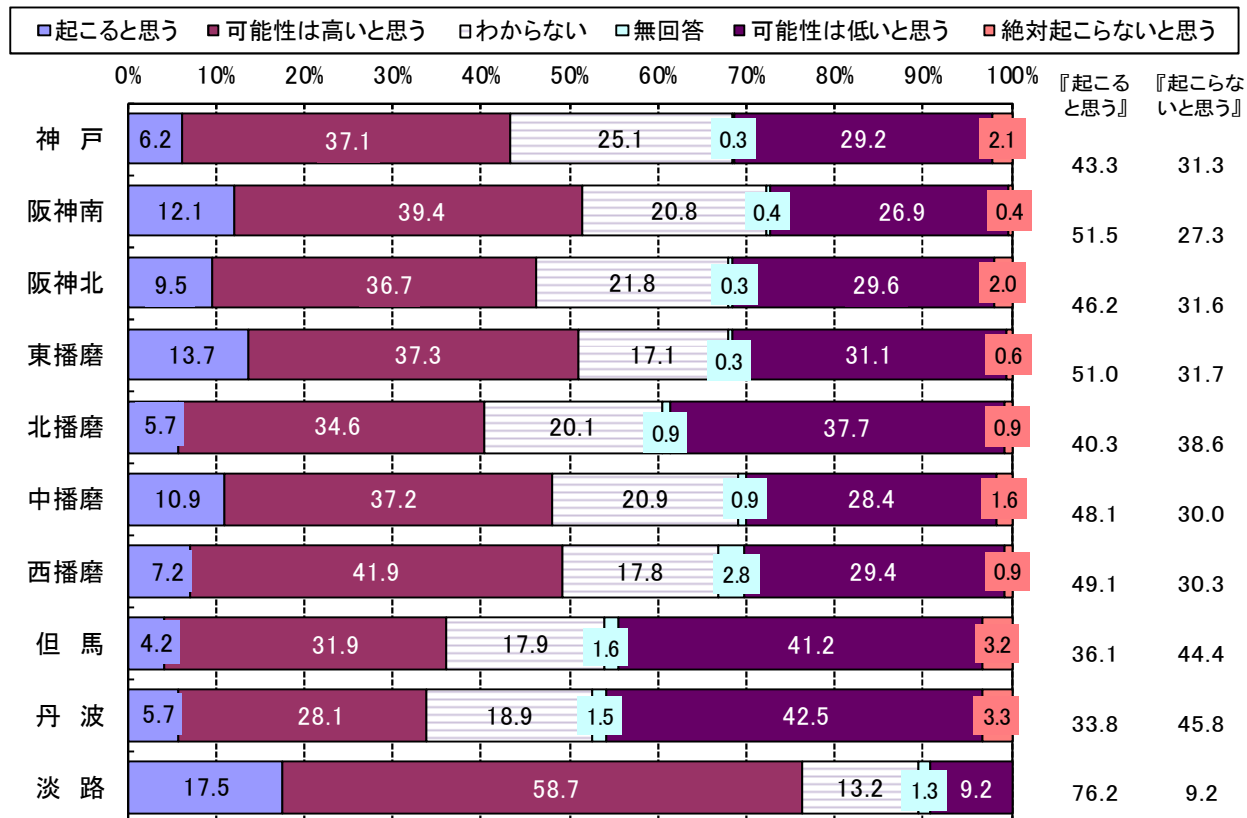
○ 大地震発生の可能性【経年比較】



【地域別】

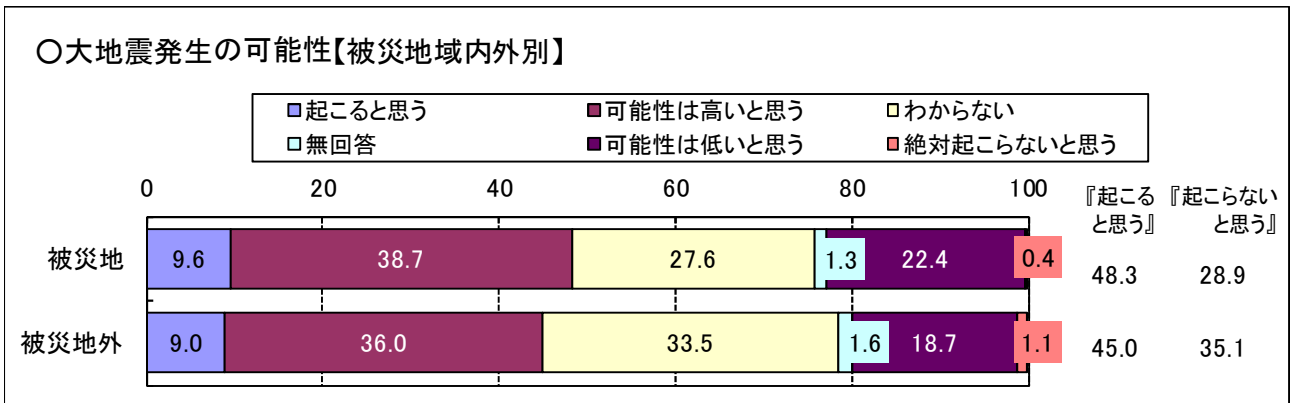
『起こると思う』は、淡路が76.2%で最も高い一方、但馬、丹波は、3割台と低くなっている。

○ 大地震発生の可能性【地域別】



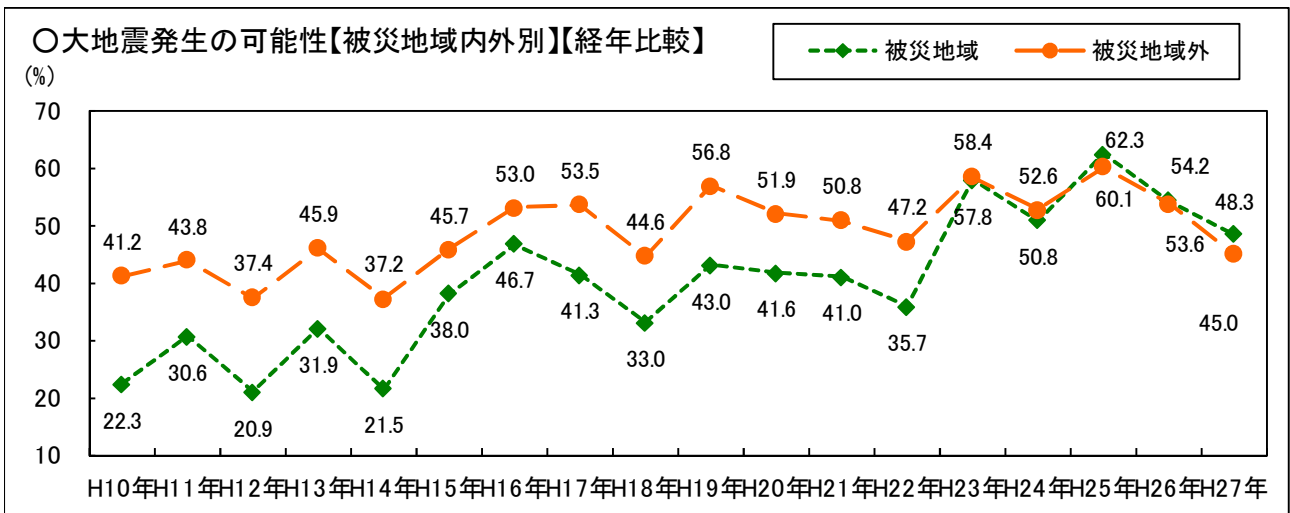
【被災地域内外別】

被災地内外の違いをみると、被災地外よりも被災地内の方が『起こると思う』の割合が3.3ポイント高くなっている。



【被災地域内外別『起こると思う』(経年比較)】

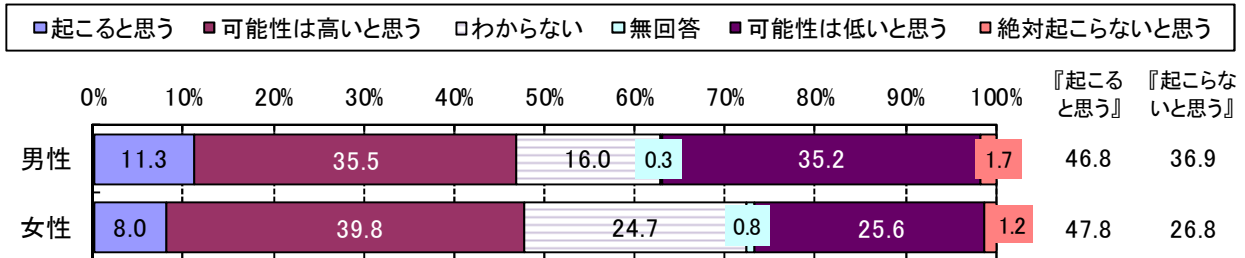
東日本大震災以後初めて、被災地内外ともに5割を切り低くなっている。



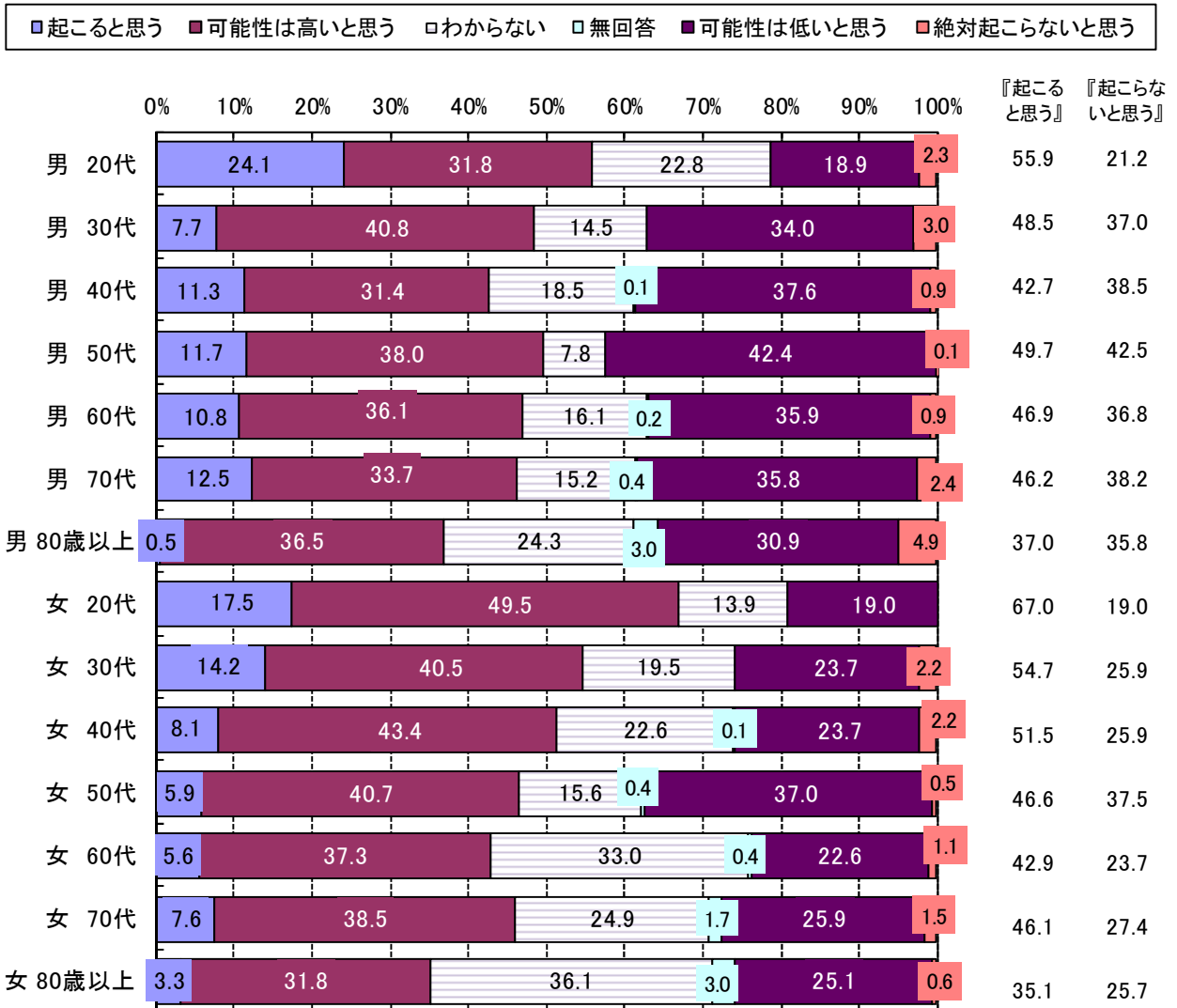
【性別、性・年代別】

- 性別で見ると、男性が女性より『起こると思う』割合が低くなっている。
- 性・年代別では、男女とも、『起こると思う』は高齢層の方が低い傾向となっている。

○ 大地震発生の可能性【性別】

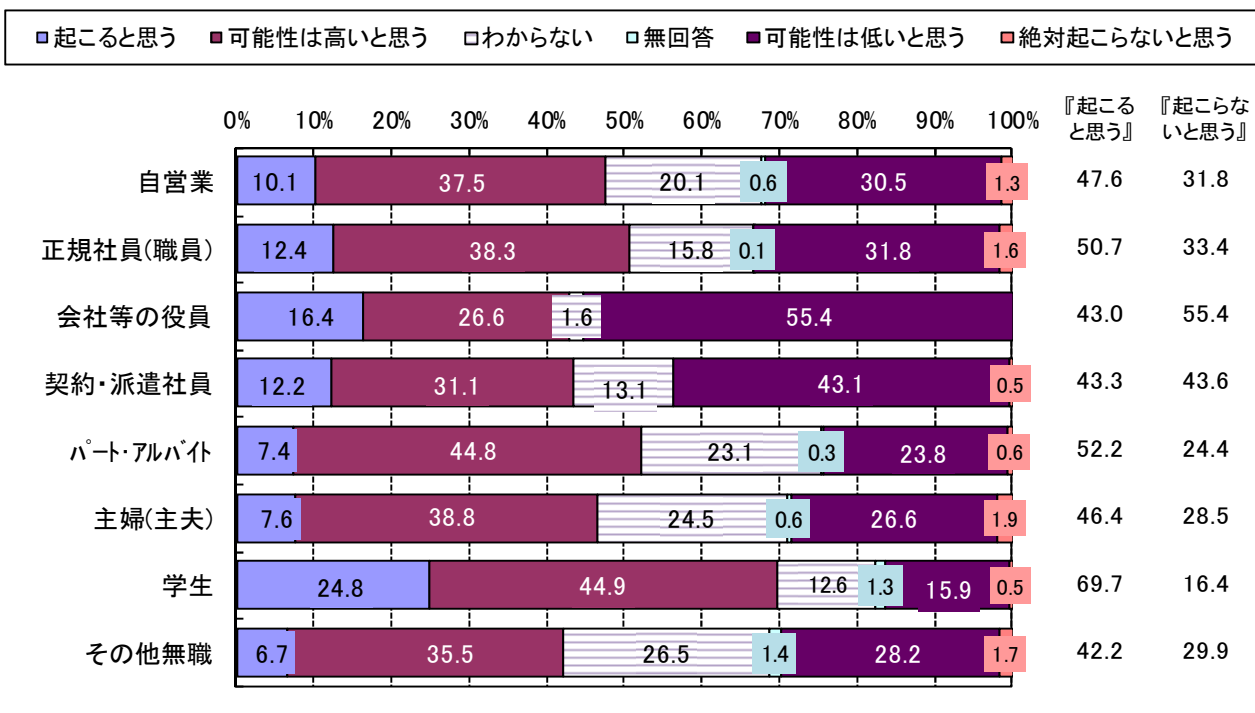


○ 大地震発生の可能性【性・年代別】



【職業別】

○大地震発生の可能性【職業別】



## 問 2 5 地域活動への参加状況

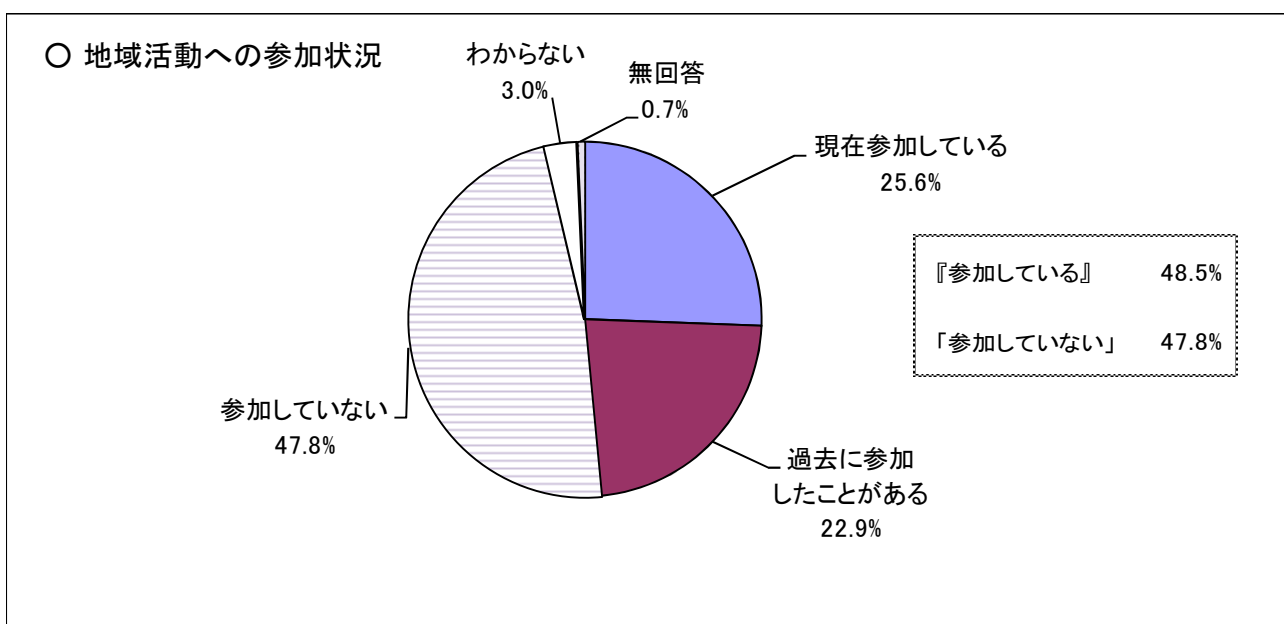
### 問 2 5

あなたは、お住まいの地域の自治会や婦人会をはじめ、コミュニティ組織などによる地域活動に参加されていますか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

- |            |                |
|------------|----------------|
| 1 現在参加している | 2 過去に参加したことがある |
| 3 参加していない  | 4 わからない        |

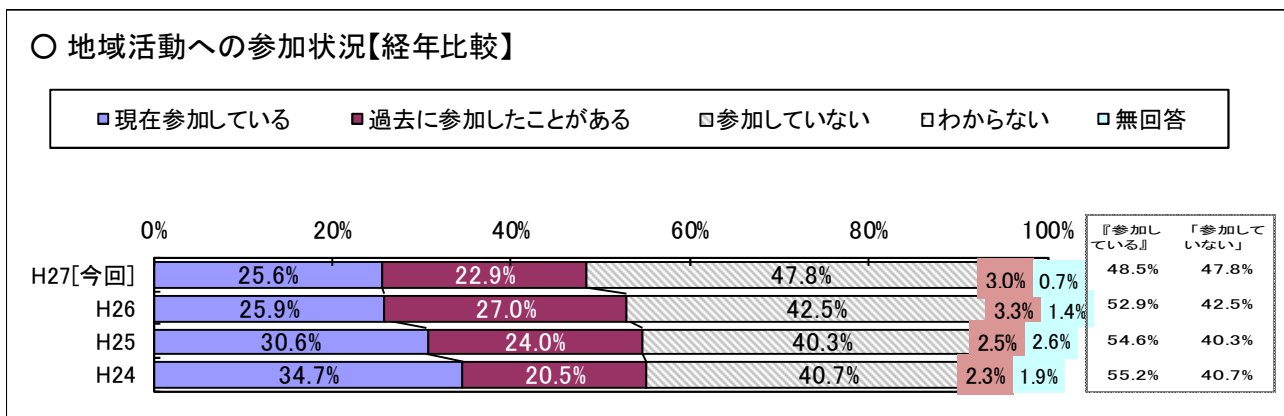
### 【全 県】

- 「現在参加している」と「過去に参加したことがある」を合わせた『参加している』が48.5%となっており、約半数の人が何らかの地域活動に参加した経験を持っている。



### 【経年比較】

『参加している』は前年より4.4ポイント減少し、「参加していない」は5.3ポイント増加した。

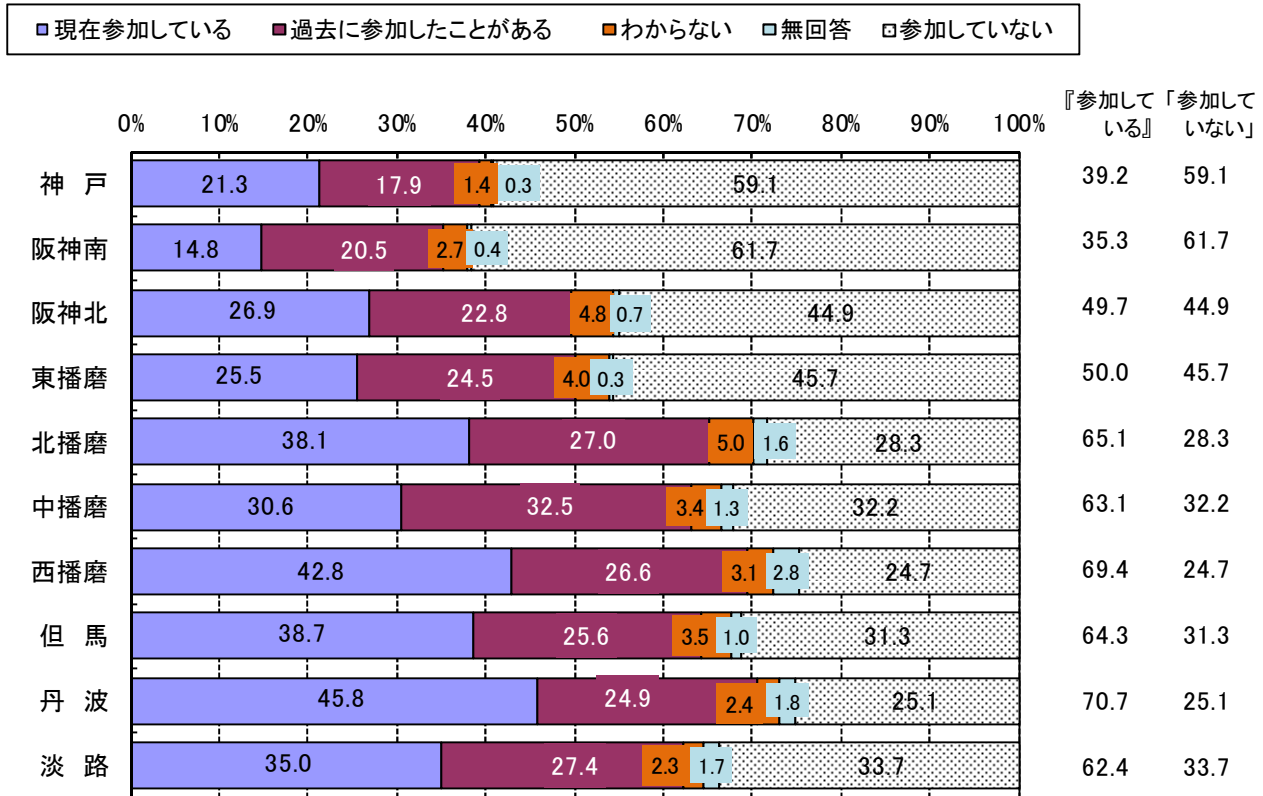




【地域別】

- 『参加している』が最も多いのは丹波で、神戸と阪神南以外は全県（48.5%）を上回っている。
- 阪神間は参加状況が低い傾向にある。

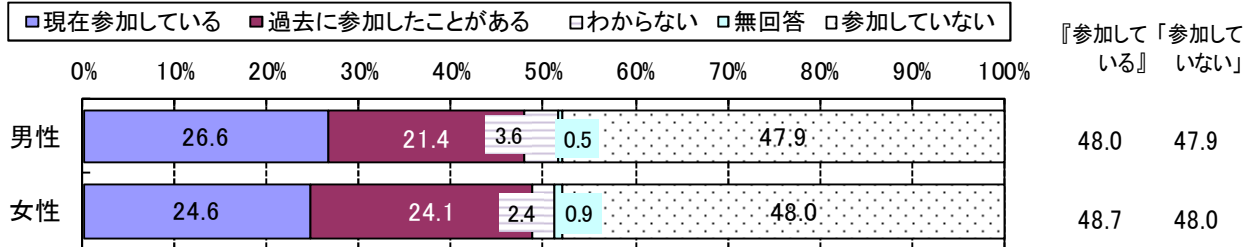
○ 地域活動への参加状況【地域別】



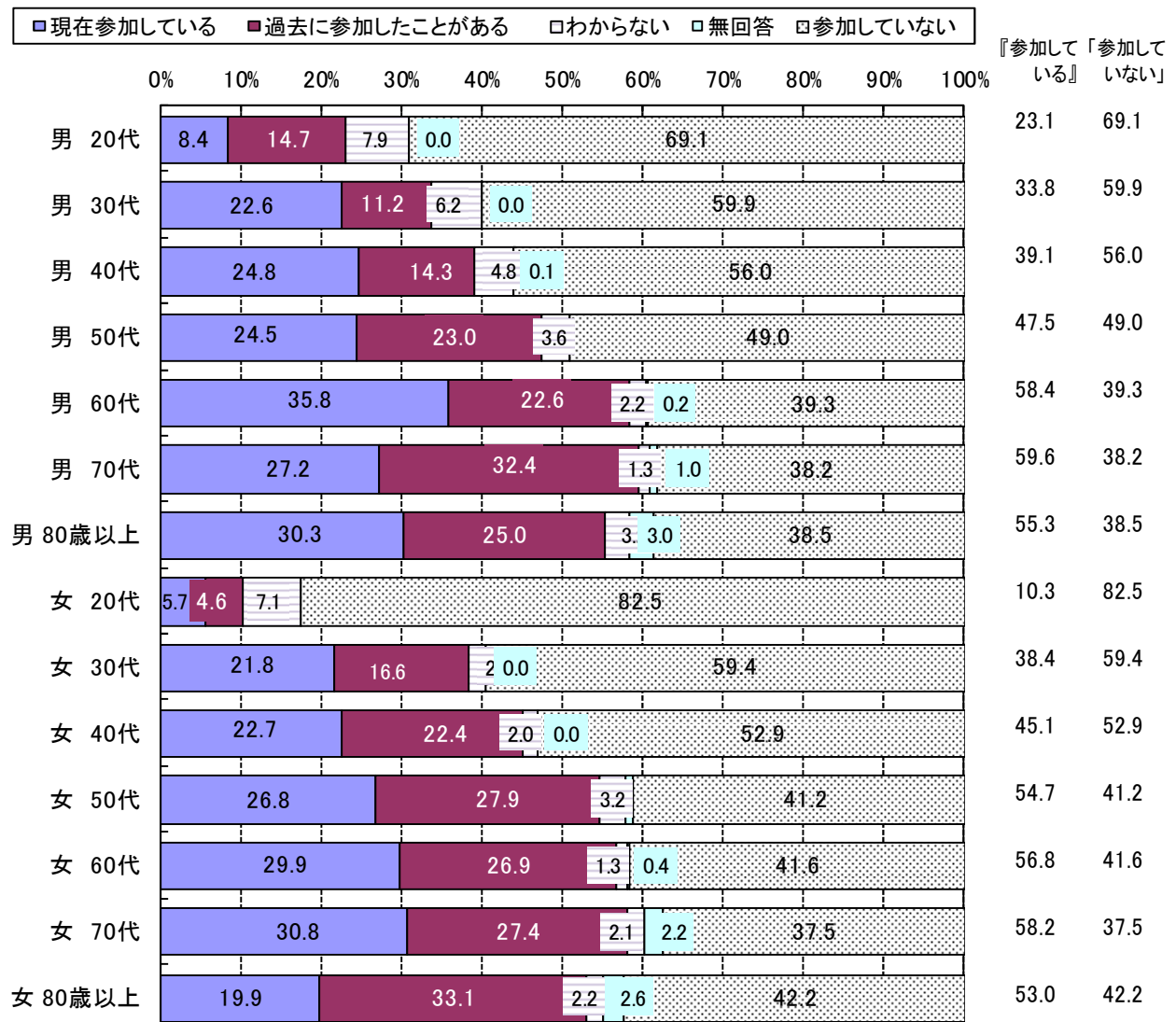
【性別、性・年代別】

- 性別では、女性の『参加している』割合がわずかに男性を上回っているが、大きな差は見られない。
- 性・年代別では、男女ともに高齢層の『参加している』の割合が高くなっている。一方、男女とも20代が1～2割台と低くなっている。

○ 地域活動への参加状況【性別】

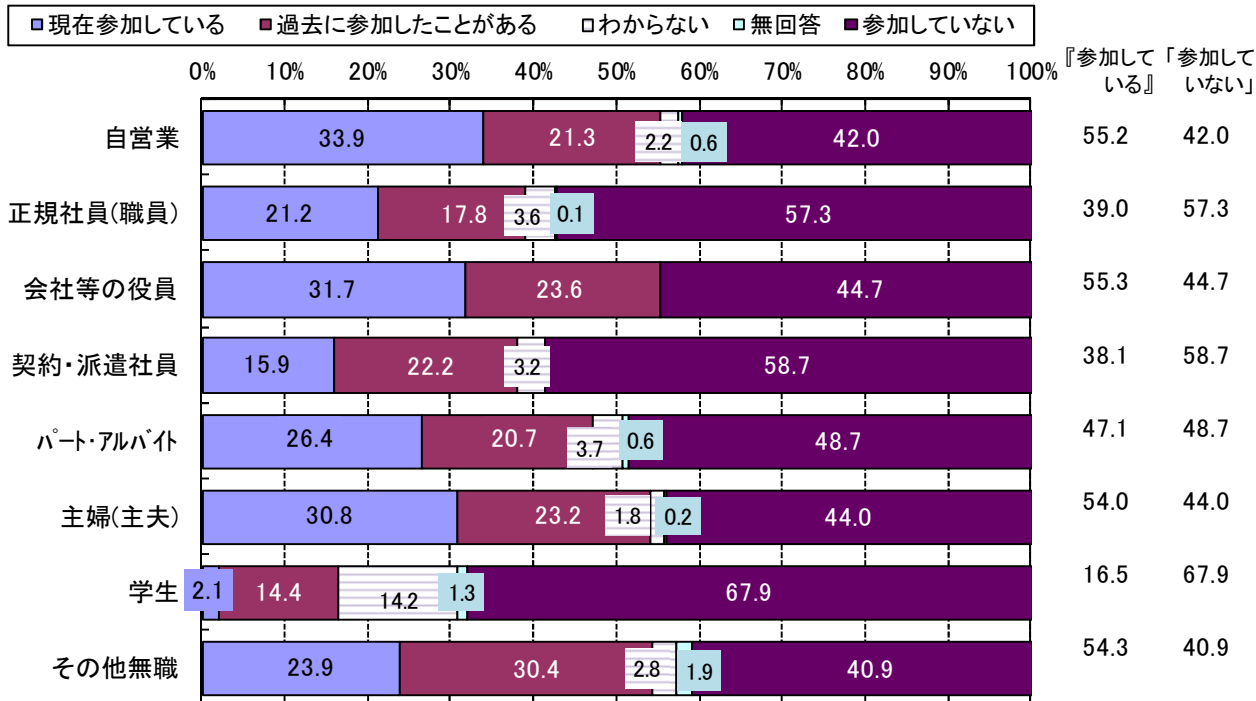


○ 地域活動への参加状況【性・年代別】



【職業別】

○ 地域活動への参加状況【職業別】



問26 県政への関心

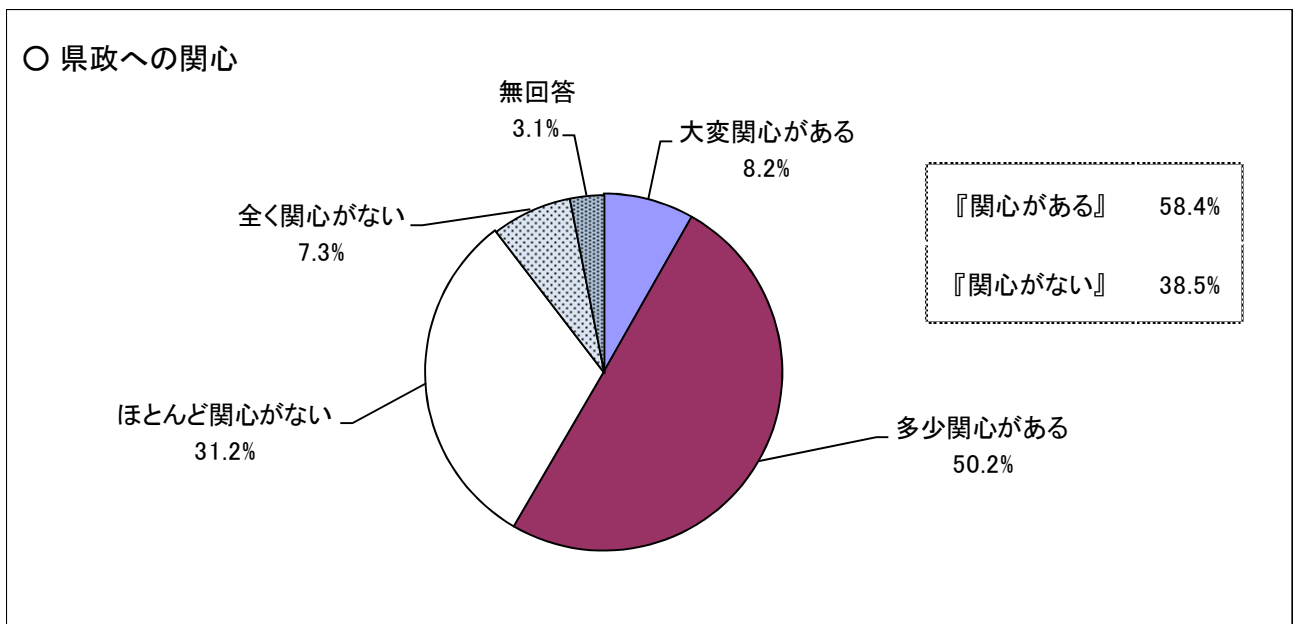
問26

あなたは県政に関心がありますか。次の中から、あなたのお考えに近いものを1つ選んで番号に○をつけてください。

- 1 大変関心がある
- 2 多少関心がある
- 3 ほとんど関心がない
- 4 全く関心がない

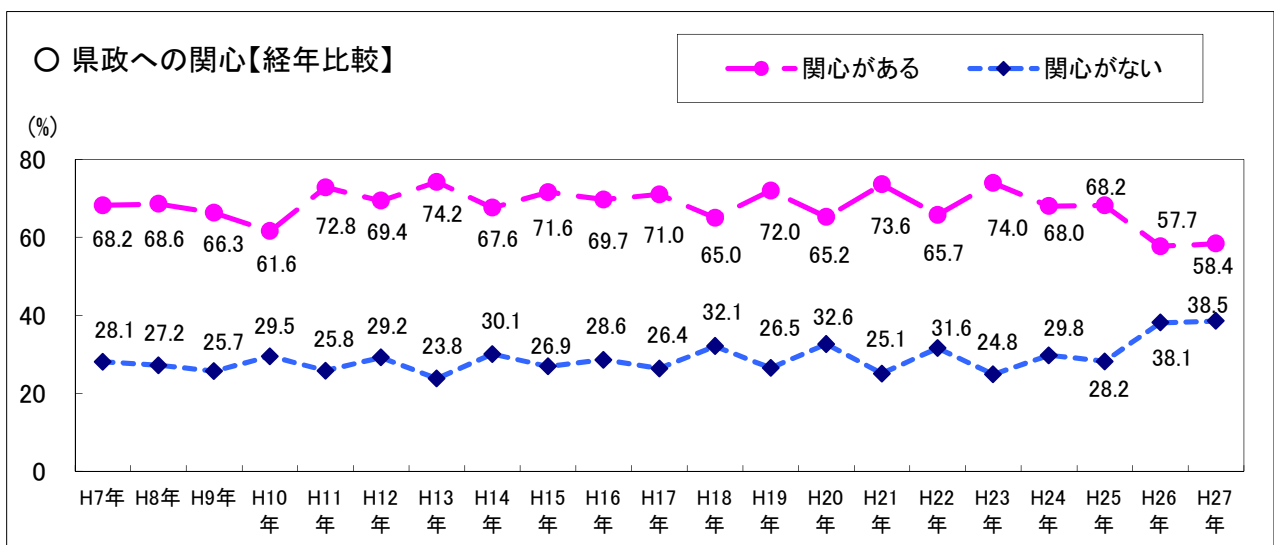
【全 県】

- 「大変関心がある」と「多少関心がある」を合わせた『関心がある』が58.4%となっている。



【経年比較】

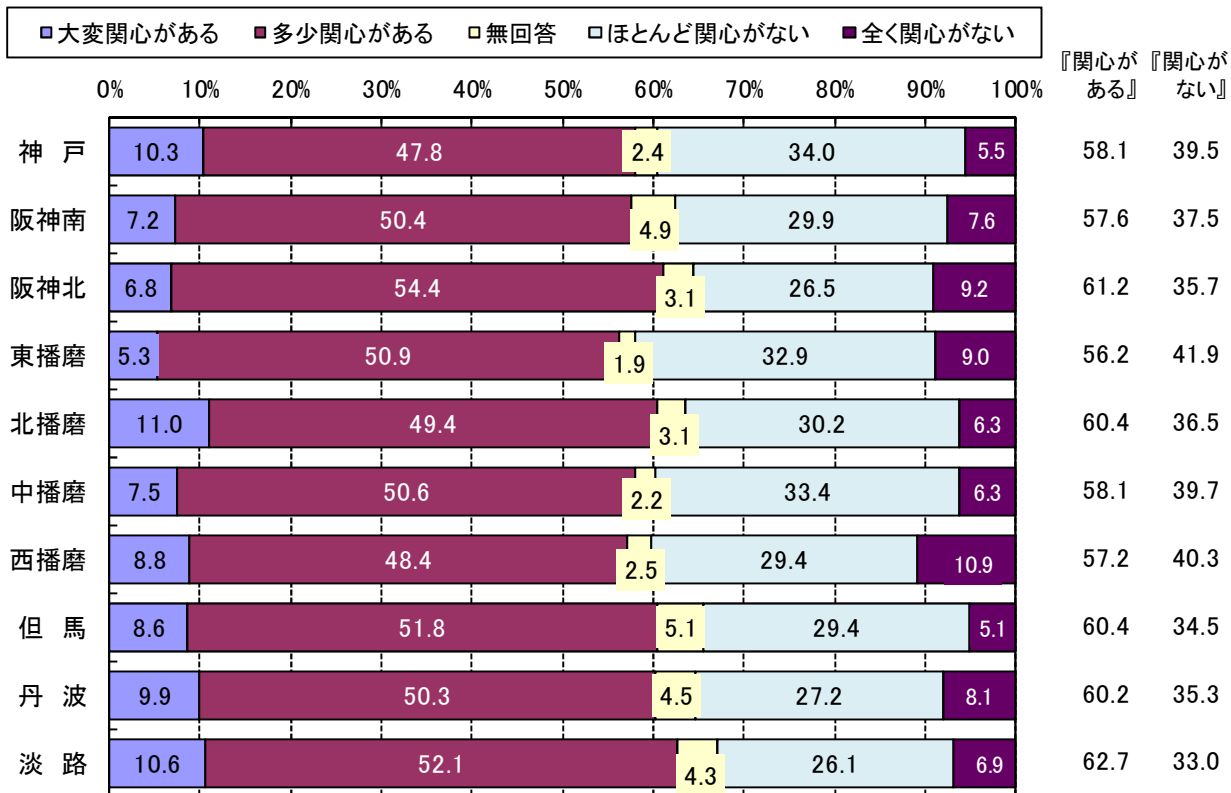
- 『関心がある』は前年より0.7ポイント増加した。また、「全く関心がない」と「ほとんど関心がない」を合わせた『関心がない』は前年より0.4ポイント増加し過去最高となっている。



【地域別】

淡路が最も県政への関心が高く、阪神北、北播磨、但馬、丹波も全県の関心度（58.4%）を上回っている。

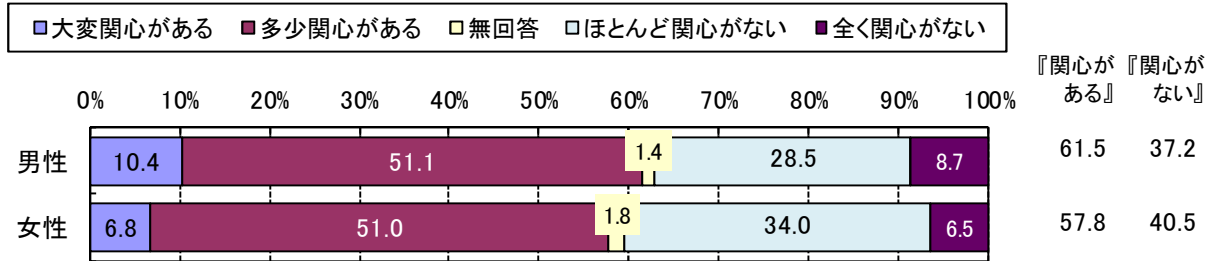
○ 県政への関心【地域別】



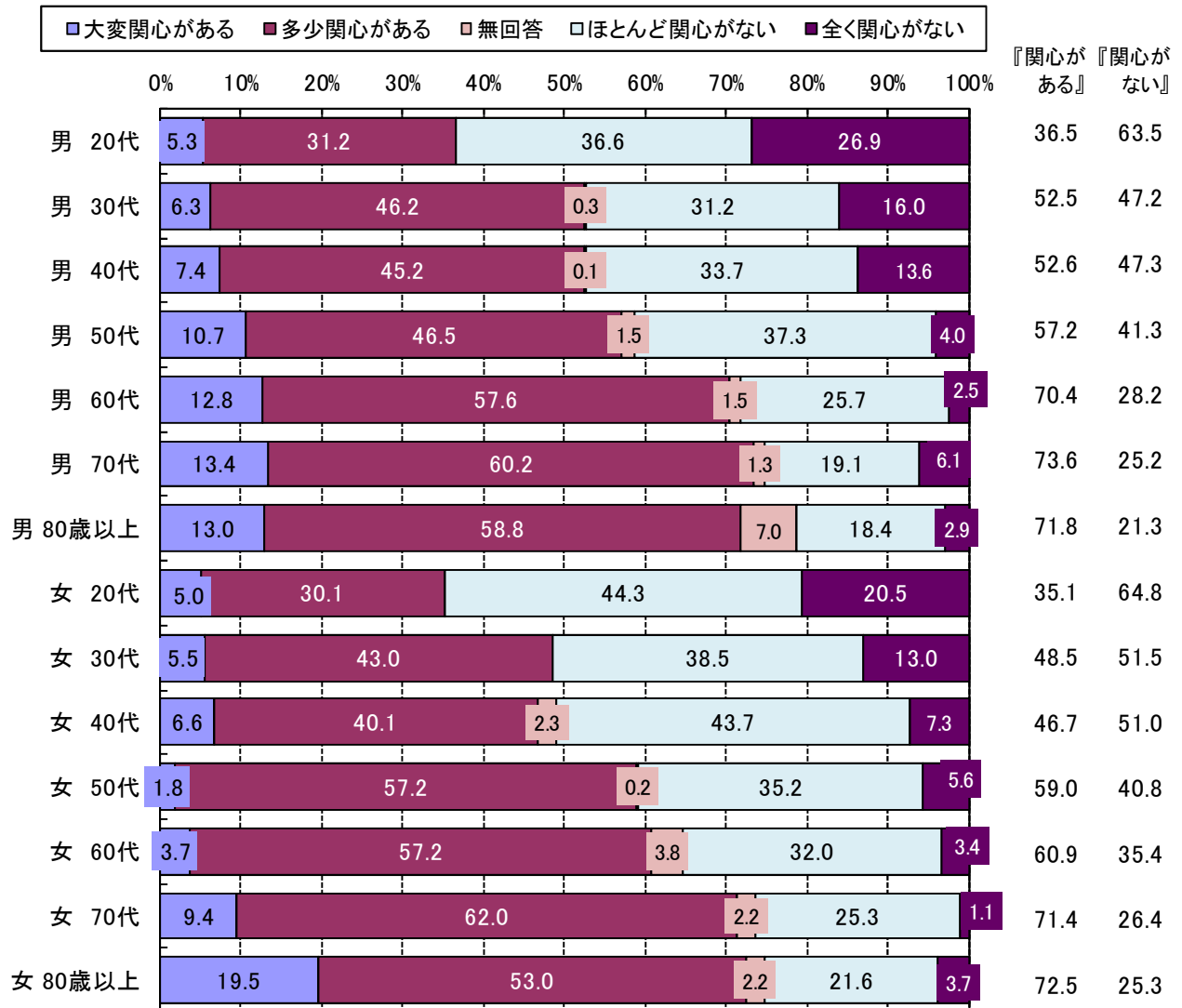
【性別、性・年代別】

- 性別では、男性の方が女性より県政に関心があり、3.7ポイント高くなっている。
- 性・年代別では、男女ともに、年代が高くなるに連れて関心が高くなる傾向がみられる。

○ 県政への関心【性別】



○ 県政への関心【性・年代別】



## 問 27 県政への評価

### 問 27

県の行っている仕事をあげています。次のア～ツについて、あなたのお考えに近いものをそれぞれの項目ごとに1つ選んで番号に○をつけてください。

- ア 国際的な交流や協力
- イ 県政の広報・広聴活動
- ウ 県政の合理的運営（行政改革）への努力
- エ 防災対策の充実
- オ 生涯学習活動への支援
- カ 芸術文化の振興
- キ 環境の保全と創造
- ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策
- ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実
- コ 県内中小企業の育成
- サ 雇用の安定と職業能力の開発
- シ 観光の振興
- ス 農林水産業の活性化対策
- セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備
- ソ 良質な住宅の供給
- タ 学校教育の充実
- チ 交通安全・防犯対策
- ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策

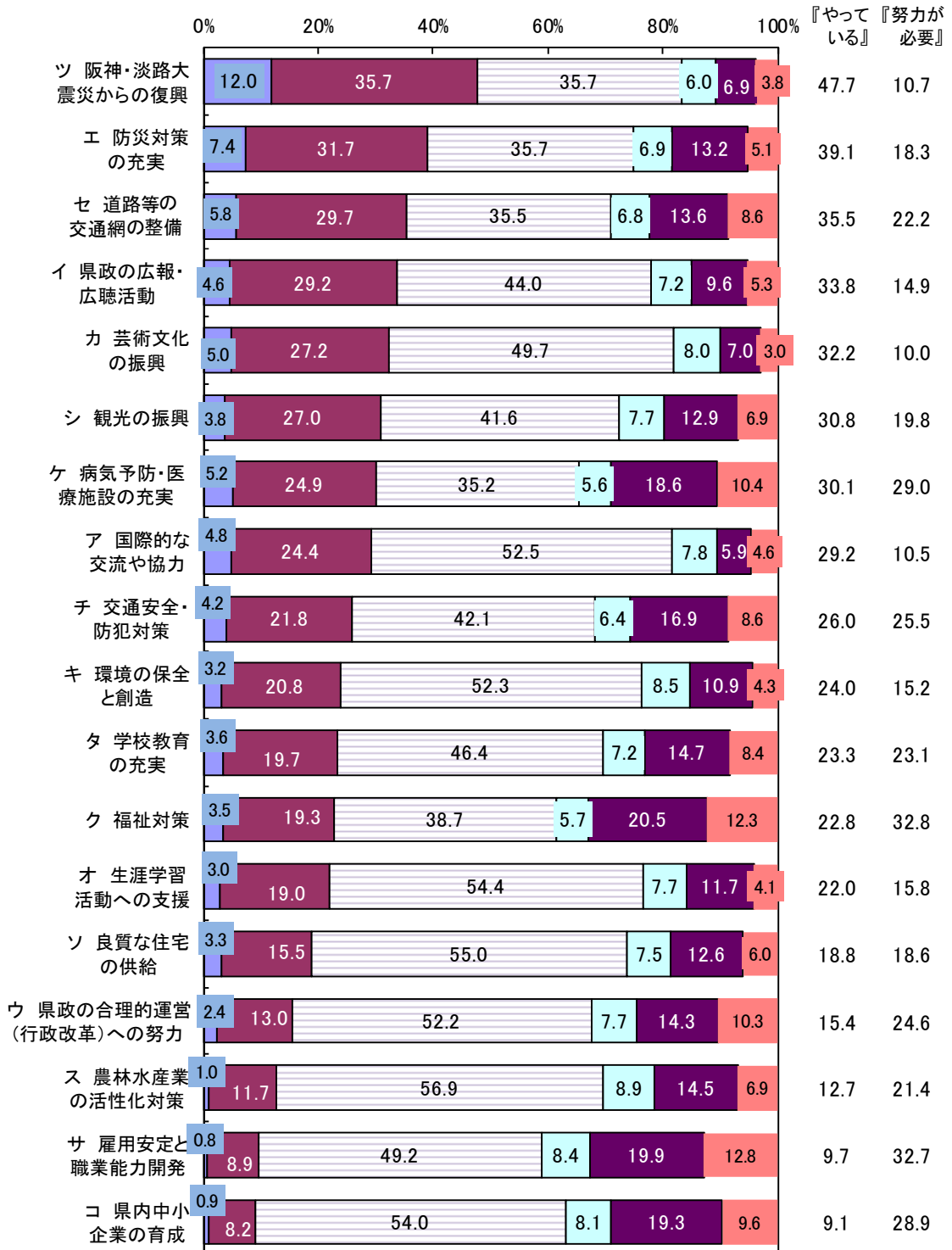
- |             |             |             |
|-------------|-------------|-------------|
| 1 よくやっている   | 2 まあまあやっている | 3 どちらともいえない |
| 4 もう少し努力が必要 | 5 もっと努力が必要  |             |

### 【全 県】

- 「よくやっている」と「まあまあやっている」を合わせた『やっている』は〔阪神・淡路大震災からの復興対策〕が最も多く、〔防災対策の充実〕、〔道路、鉄道、空港などの交通網の整備〕、〔県政の広報・広聴活動〕と続いている。
- 「もう少し努力が必要」と「もっと努力が必要」を合わせた『努力が必要』は、〔福祉対策〕が最も多く、〔雇用の安定と職業能力の開発〕〔病気の予防や病院などの医療施設の充実〕、〔県内中小企業の育成〕〔交通安全・防犯対策〕と続いている。
- 18項目中、7割を超える13項目で『やっている』が『努力が必要』を上回っている。

○ 県政への評価

■ よくやっている   
 ■ まあまあやっている   
 □ どちらともいえない   
 □ 無回答   
 ■ もう少し努力が必要   
 ■ もっと努力が必要





【前年度比較】

- 『やっている』では、〔防災対策の充実〕(5.2ポイント増)、〔県政の広報・広聴活動〕(4.8ポイント増)、〔県政の合理的運営(行政改革)への努力〕(2.7ポイント増)など、17項目で増加している。
- 一方、『努力が必要』は全ての項目で減少している。

◎県政への評価【前年度比較】

※よくやっている+まあまあやっている (%)

『やっている』	増減
エ 防災対策の充実	5.2
イ 県政の広報・広聴活動	4.8
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	2.7
ス 農林水産業の活性化対策	2.4
カ 芸術文化の振興	2.2
コ 県内中小企業の育成	1.8
シ 観光の振興	1.3
ソ 良質な住宅の供給	1.0
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	0.9
チ 交通安全・防犯対策	0.9
キ 環境の保全と創造	0.8
ク お年寄り等が安心して暮らせる福祉対策	0.7
タ 学校教育の充実	0.6
サ 雇用の安定と職業能力の開発	0.6
ケ 病気予防や医療施設の充実	0.4
オ 生涯学習活動への支援	0.2
ア 国際的な交流や協力	0.1
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	-0.3

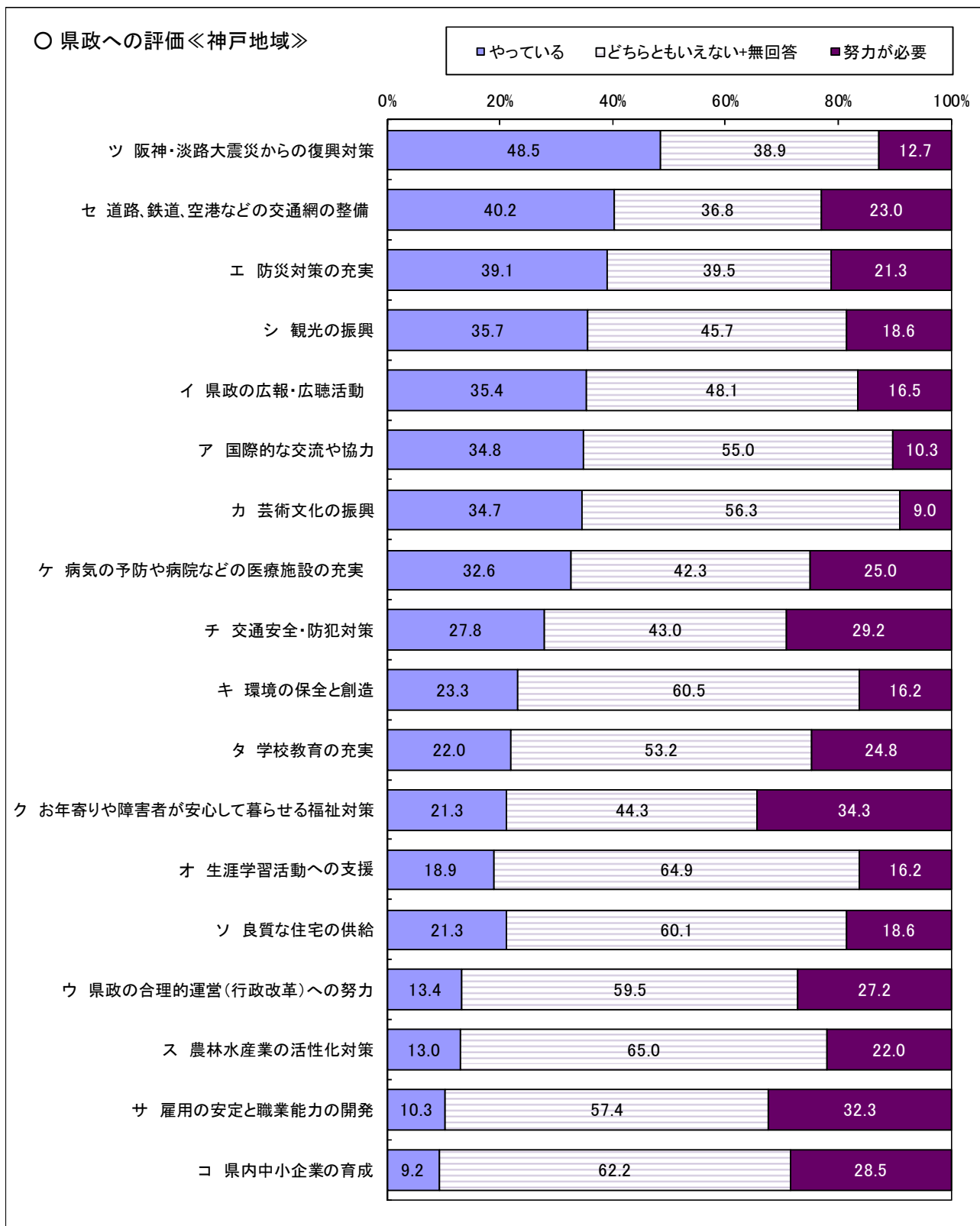
◎県政への評価【前年度比較】

※もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

『努力が必要』	増減
オ 生涯学習活動への支援	-0.7
ア 国際的な交流や協力	-1.0
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	-1.2
ソ 良質な住宅の供給	-1.2
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	-1.8
コ 県内中小企業の育成	-2.4
カ 芸術文化の振興	-2.5
チ 交通安全・防犯対策	-3.0
タ 学校教育の充実	-3.3
ク お年寄り等が安心して暮らせる福祉対策	-3.3
ス 農林水産業の活性化対策	-3.3
シ 観光の振興	-3.5
イ 県政の広報・広聴活動	-3.9
キ 環境の保全と創造	-3.9
ケ 病気予防や医療施設の充実	-4.0
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	-5.2
サ 雇用の安定と職業能力の開発	-5.7
エ 防災対策の充実	-5.7

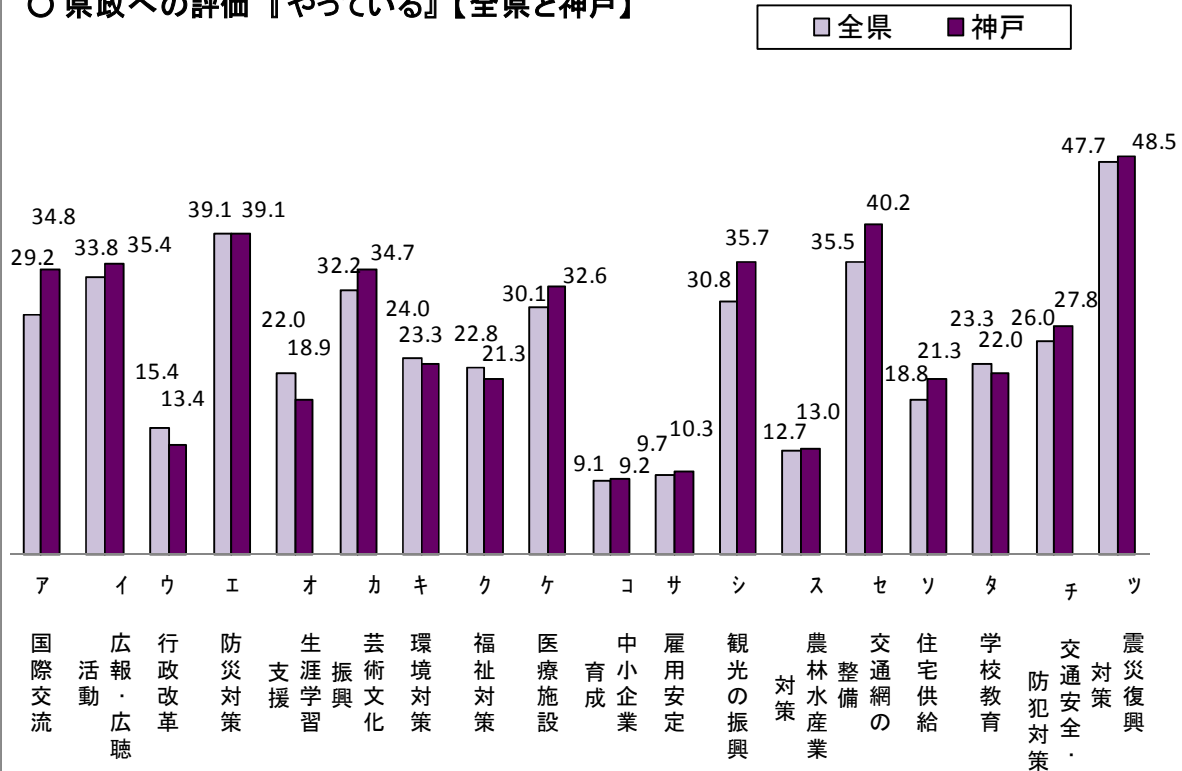
《神戸地域》

〔阪神・淡路大震災からの復興対策〕〔道路、鉄道、空港などの交通網の整備〕などで評価が高い。



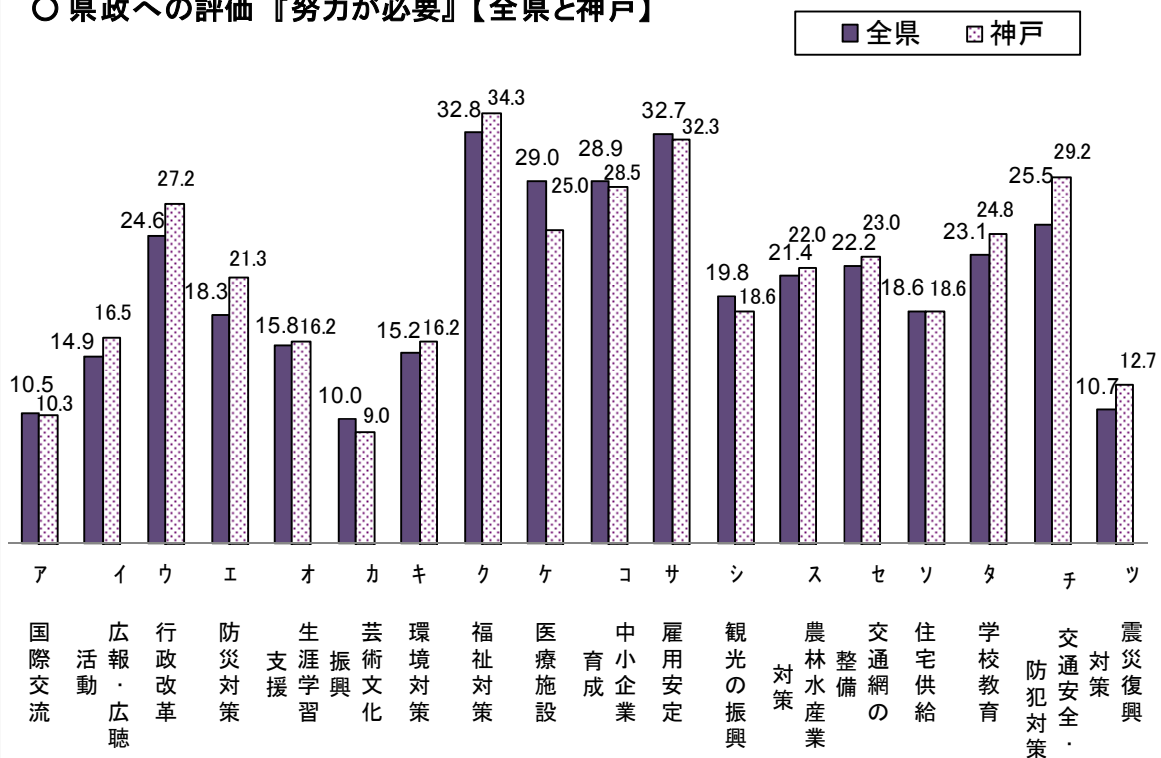
○ 県政への評価『やっている』【全県と神戸】

(%)



○ 県政への評価『努力が必要』【全県と神戸】

(%)



◎県政への評価【全県結果との比較】

※よくやっている+まあまあやっている (%)

『やっている』	比率の差
ア 国際的な交流や協力	5.6
シ 観光の振興	4.9
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	4.7
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	2.5
カ 芸術文化の振興	2.5
ソ 良質な住宅の供給	2.5
チ 交通安全・防犯対策	1.8
イ 県政の広報・広聴活動	1.6
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	0.8
サ 雇用の安定と職業能力の開発	0.6
ス 農林水産業の活性化対策	0.3
コ 県内中小企業の育成	0.1
エ 防災対策の充実	0.0
キ 環境の保全と創造	-0.7
タ 学校教育の充実	-1.3
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	-1.5
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	-2.0
オ 生涯学習活動への支援	-3.1

◎県政への評価【全県結果との比較】

※もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

『努力が必要』	比率の差
チ 交通安全・防犯対策	3.7
エ 防災対策の充実	3.0
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	2.6
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	2.0
タ 学校教育の充実	1.7
イ 県政の広報・広聴活動	1.6
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	1.5
キ 環境の保全と創造	1.0
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	0.8
ス 農林水産業の活性化対策	0.6
オ 生涯学習活動への支援	0.4
ソ 良質な住宅の供給	0.0
ア 国際的な交流や協力	-0.2
コ 県内中小企業の育成	-0.4
サ 雇用の安定と職業能力の開発	-0.4
カ 芸術文化の振興	-1.0
シ 観光の振興	-1.2
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	-4.0

◎県政への評価【前年結果との比較】

※よくやっている+まあまあやっている (%)

『やっている』	増減
エ 防災対策の充実	8.1
イ 県政の広報・広聴活動	6.6
チ 交通安全・防犯対策	5.7
カ 芸術文化の振興	4.8
ソ 良質な住宅の供給	4.7
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	4.0
ス 農林水産業の活性化対策	3.4
コ 県内中小企業の育成	3.3
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	3.1
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	2.7
シ 観光の振興	2.5
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	2.1
ア 国際的な交流や協力	1.6
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	1.3
サ 雇用の安定と職業能力の開発	1.1
タ 学校教育の充実	0.9
キ 環境の保全と創造	0.8
オ 生涯学習活動への支援	0.1

◎県政への評価【前年結果との比較】

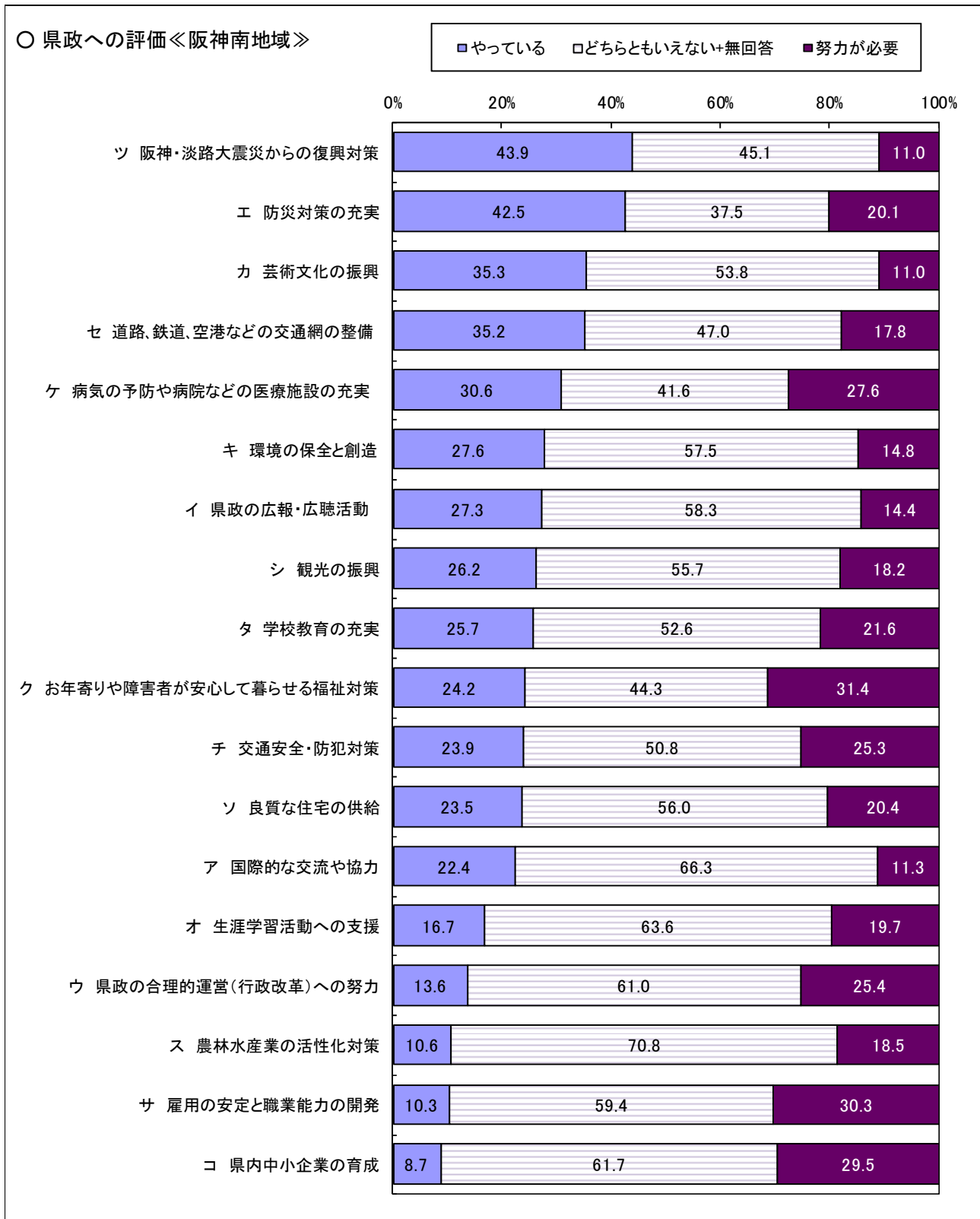
※もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

『努力が必要』	増減
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	2.0
ア 国際的な交流や協力	0.0
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	-0.6
ソ 良質な住宅の供給	-1.4
オ 生涯学習活動への支援	-1.5
ス 農林水産業の活性化対策	-2.0
コ 県内中小企業の育成	-2.5
チ 交通安全・防犯対策	-2.9
タ 学校教育の充実	-3.2
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	-3.3
イ 県政の広報・広聴活動	-3.8
カ 芸術文化の振興	-3.9
シ 観光の振興	-4.3
エ 防災対策の充実	-4.5
キ 環境の保全と創造	-6.3
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	-6.4
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	-8.6
サ 雇用の安定と職業能力の開発	-8.6

- 全県との比較では、〔国際的な交流や協力〕等の評価が高く、〔交通安全・防犯対策〕等で努力が求められている。
- 前年との比較では、〔防災対策の充実〕等の評価が高く、〔道路、鉄道、空港などの交通網の整備〕等で努力が求められている。

《阪神南地域》

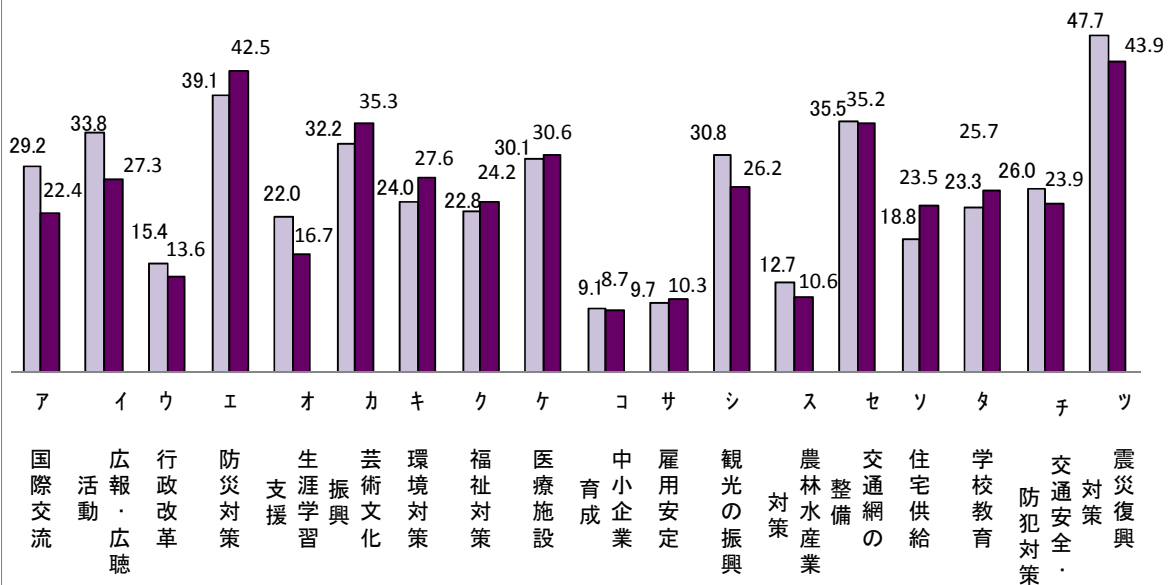
〔阪神・淡路大震災からの復興対策〕〔防災対策の充実〕などで評価が高い。



○ 県政への評価『やっている』【全県と阪神南】

■ 全県 ■ 阪神南

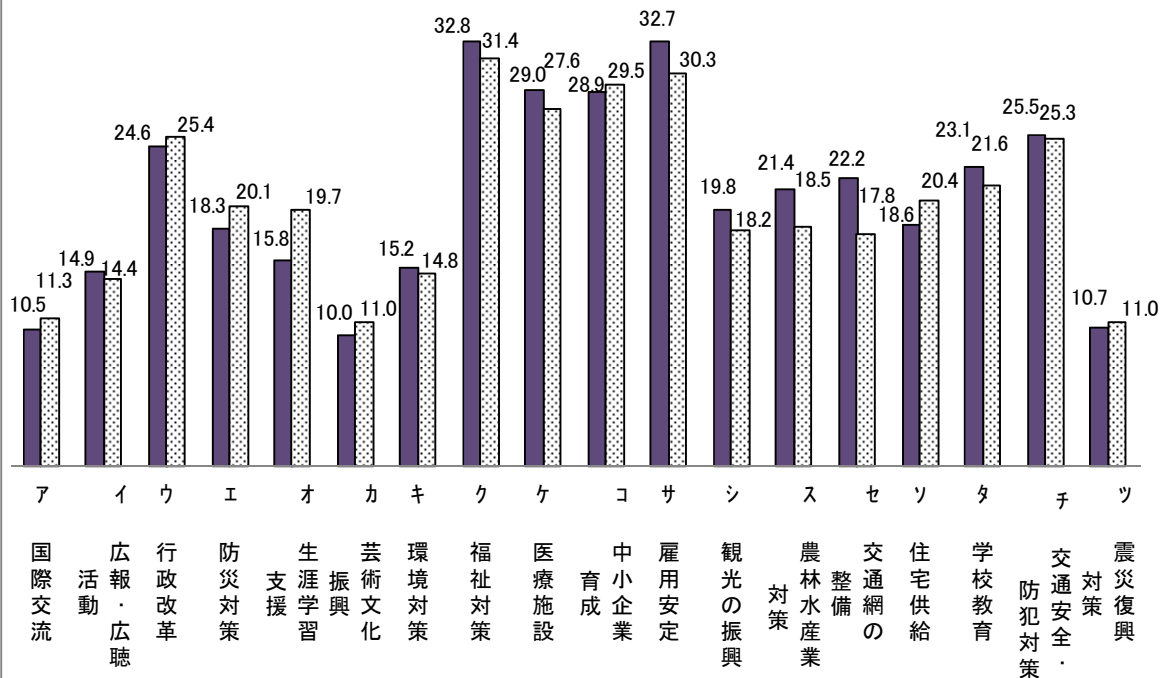
(%)



○ 県政への評価『努力が必要』【全県と阪神南】

■ 全県 ■ 阪神南

(%)



◎県政への評価【全県結果との比較】

※よくやっている+まあまあやっている (%)

『やっている』	比率の差
ソ 良質な住宅の供給	4.7
キ 環境の保全と創造	3.6
エ 防災対策の充実	3.4
カ 芸術文化の振興	3.1
タ 学校教育の充実	2.4
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	1.4
サ 雇用の安定と職業能力の開発	0.6
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	0.5
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	-0.3
コ 県内中小企業の育成	-0.4
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	-1.8
チ 交通安全・防犯対策	-2.1
ス 農林水産業の活性化対策	-2.1
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	-3.8
シ 観光の振興	-4.6
オ 生涯学習活動への支援	-5.3
イ 県政の広報・広聴活動	-6.5
ア 国際的な交流や協力	-6.8

◎県政への評価【全県結果との比較】

※もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

『努力が必要』	比率の差
オ 生涯学習活動への支援	3.9
エ 防災対策の充実	1.8
ソ 良質な住宅の供給	1.8
カ 芸術文化の振興	1.0
ア 国際的な交流や協力	0.8
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	0.8
コ 県内中小企業の育成	0.6
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	0.3
チ 交通安全・防犯対策	-0.2
キ 環境の保全と創造	-0.4
イ 県政の広報・広聴活動	-0.5
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	-1.4
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	-1.4
タ 学校教育の充実	-1.5
シ 観光の振興	-1.6
サ 雇用の安定と職業能力の開発	-2.4
ス 農林水産業の活性化対策	-2.9
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	-4.4

◎県政への評価【前年結果との比較】

※よくやっている+まあまあやっている (%)

『やっている』	増減
エ 防災対策の充実	9.0
カ 芸術文化の振興	7.0
シ 観光の振興	3.6
キ 環境の保全と創造	2.7
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	2.4
タ 学校教育の充実	2.3
ス 農林水産業の活性化対策	2.0
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	1.1
イ 県政の広報・広聴活動	0.1
コ 県内中小企業の育成	-0.6
サ 雇用の安定と職業能力の開発	-0.9
ア 国際的な交流や協力	-1.0
チ 交通安全・防犯対策	-1.0
オ 生涯学習活動への支援	-1.5
ソ 良質な住宅の供給	-1.7
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	-2.5
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	-3.7
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	-6.5

◎県政への評価【前年結果との比較】

※もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

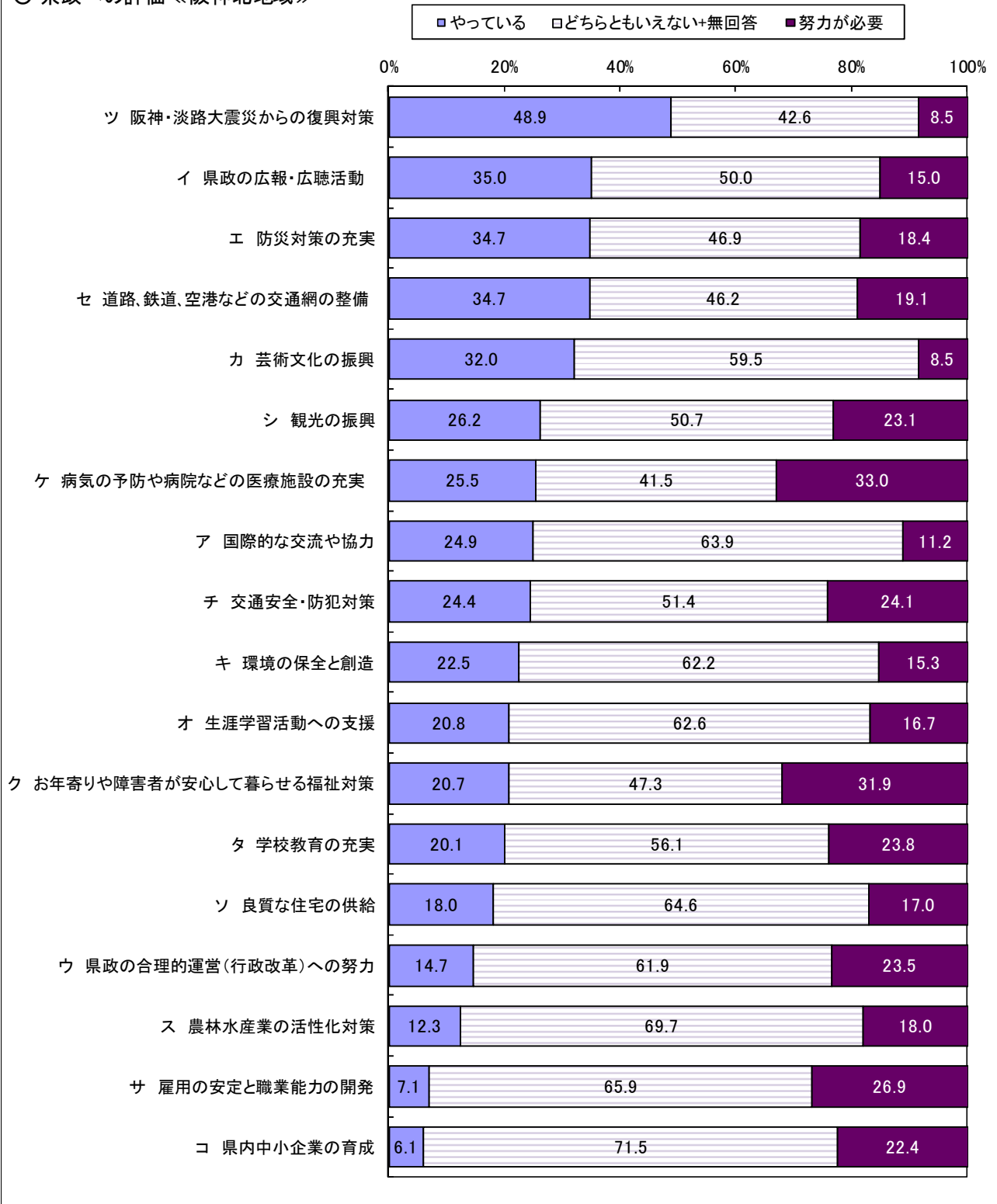
『努力が必要』	増減
コ 県内中小企業の育成	0.2
ア 国際的な交流や協力	-1.4
オ 生涯学習活動への支援	-1.5
ソ 良質な住宅の供給	-1.9
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	-3.5
カ 芸術文化の振興	-4.2
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	-4.3
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	-5.1
ス 農林水産業の活性化対策	-5.3
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	-6.1
エ 防災対策の充実	-6.3
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	-6.7
キ 環境の保全と創造	-7.1
イ 県政の広報・広聴活動	-7.2
タ 学校教育の充実	-8.5
サ 雇用の安定と職業能力の開発	-9.1
シ 観光の振興	-9.3
チ 交通安全・防犯対策	-10.4

- 全県との比較では、〔良質な住宅の供給〕等の評価が高く、〔生涯学習活動への支援〕等で努力が求められている。
- 前年との比較では、〔防災対策の充実〕等の評価が高く、〔県内中小企業の育成〕等で努力が求められている。

《阪神北地域》

〔阪神・淡路大震災からの復興対策〕〔県政の広報・広聴活動〕などで評価が高い。

○ 県政への評価《阪神北地域》

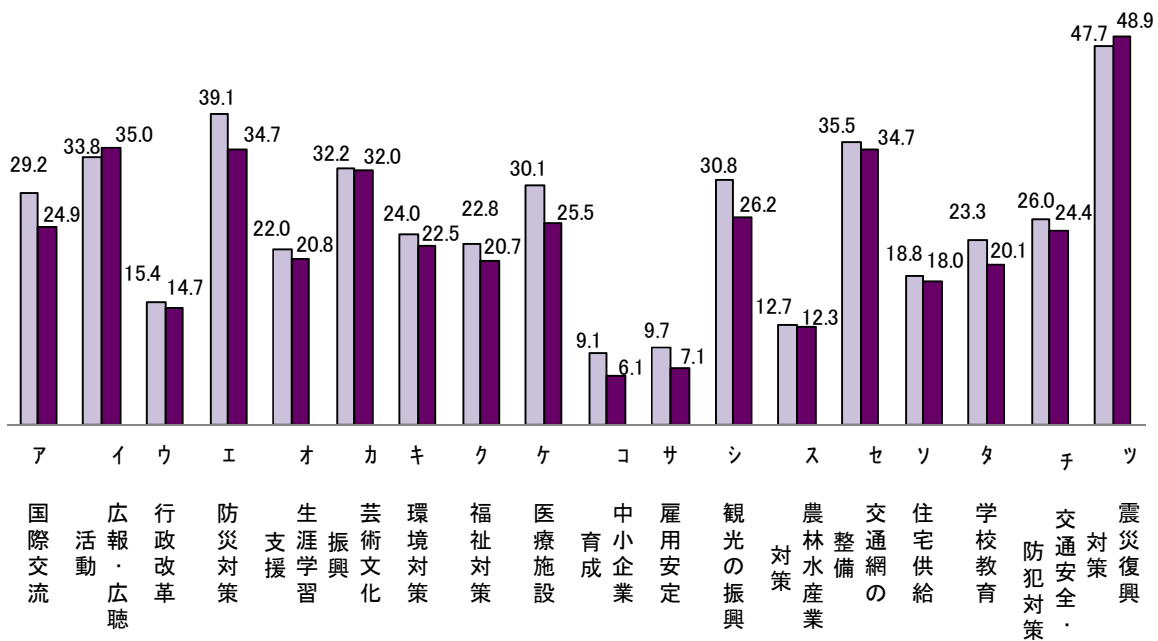




○ 県政への評価『やっている』【全県と阪神北】

□ 全県 ■ 阪神北

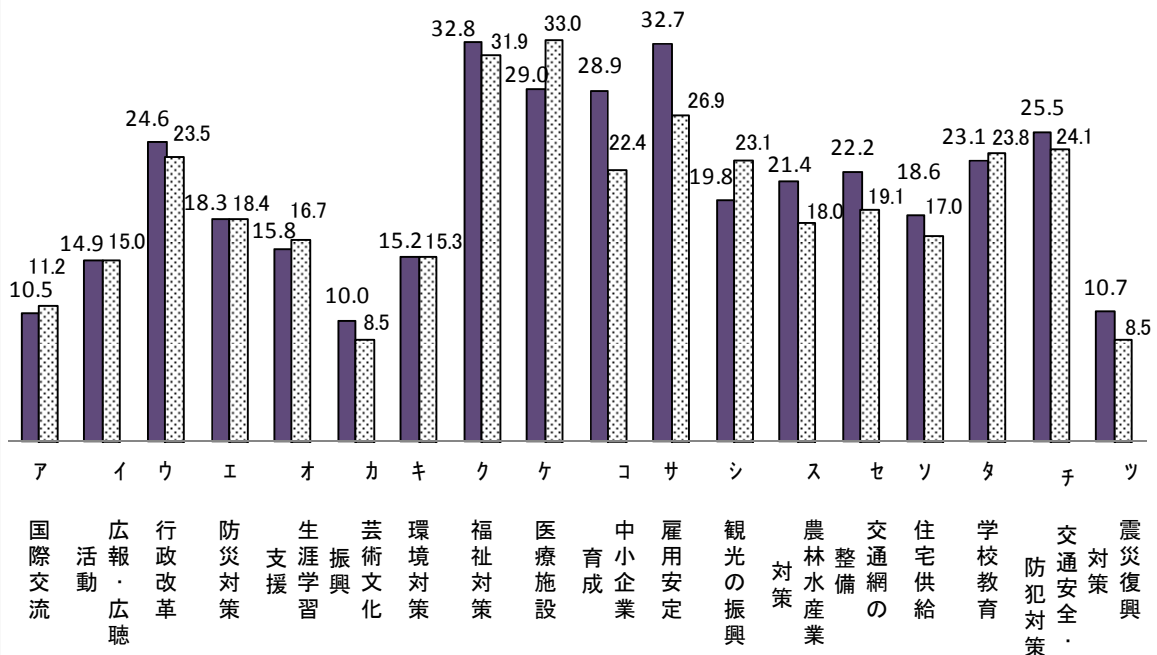
(%)



○ 県政への評価『努力が必要』【全県と阪神北】

■ 全県 □ 阪神北

(%)



◎県政への評価【全県結果との比較】

※よくやっている+まあまあやっている (%)

『やっている』	比率の差
イ 県政の広報・広聴活動	1.2
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	1.2
カ 芸術文化の振興	-0.2
ス 農林水産業の活性化対策	-0.4
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	-0.7
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	-0.8
ソ 良質な住宅の供給	-0.8
オ 生涯学習活動への支援	-1.2
キ 環境の保全と創造	-1.5
チ 交通安全・防犯対策	-1.6
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	-2.1
サ 雇用の安定と職業能力の開発	-2.6
コ 県内中小企業の育成	-3.0
タ 学校教育の充実	-3.2
ア 国際的な交流や協力	-4.3
エ 防災対策の充実	-4.4
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	-4.6
シ 観光の振興	-4.6

◎県政への評価【全県結果との比較】

※もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

『努力が必要』	比率の差
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	4.0
シ 観光の振興	3.3
オ 生涯学習活動への支援	0.9
ア 国際的な交流や協力	0.7
タ 学校教育の充実	0.7
イ 県政の広報・広聴活動	0.1
エ 防災対策の充実	0.1
キ 環境の保全と創造	0.1
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	-0.9
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	-1.1
チ 交通安全・防犯対策	-1.4
カ 芸術文化の振興	-1.5
ソ 良質な住宅の供給	-1.6
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	-2.2
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	-3.1
ス 農林水産業の活性化対策	-3.4
サ 雇用の安定と職業能力の開発	-5.8
コ 県内中小企業の育成	-6.5

◎県政への評価【前年結果との比較】

※よくやっている+まあまあやっている (%)

『やっている』	増減
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	7.3
イ 県政の広報・広聴活動	2.7
ス 農林水産業の活性化対策	2.6
サ 雇用の安定と職業能力の開発	1.0
エ 防災対策の充実	0.7
ソ 良質な住宅の供給	0.1
チ 交通安全・防犯対策	0.0
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	-0.3
オ 生涯学習活動への支援	-0.3
コ 県内中小企業の育成	-0.4
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	-1.1
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	-1.5
キ 環境の保全と創造	-2.2
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	-2.2
タ 学校教育の充実	-3.2
シ 観光の振興	-3.5
カ 芸術文化の振興	-5.6
ア 国際的な交流や協力	-7.7

◎県政への評価【前年結果との比較】

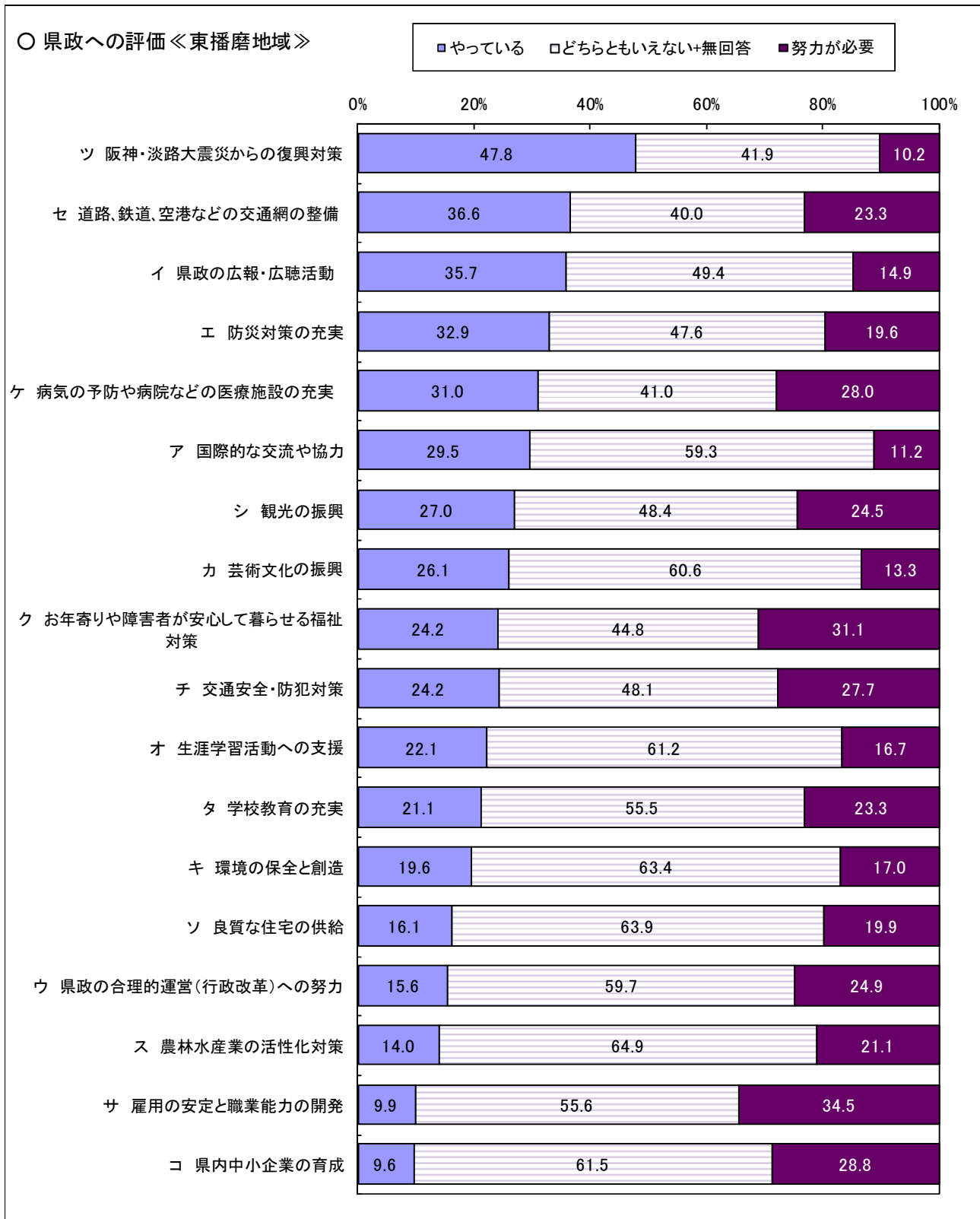
※もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

『努力が必要』	増減
シ 観光の振興	1.9
オ 生涯学習活動への支援	0.5
キ 環境の保全と創造	0.2
ア 国際的な交流や協力	-1.0
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	-1.4
チ 交通安全・防犯対策	-2.4
タ 学校教育の充実	-3.1
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	-3.2
カ 芸術文化の振興	-3.4
ソ 良質な住宅の供給	-3.5
イ 県政の広報・広聴活動	-4.0
ス 農林水産業の活性化対策	-5.3
エ 防災対策の充実	-5.3
コ 県内中小企業の育成	-5.9
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	-6.2
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	-6.3
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	-7.0
サ 雇用の安定と職業能力の開発	-7.2

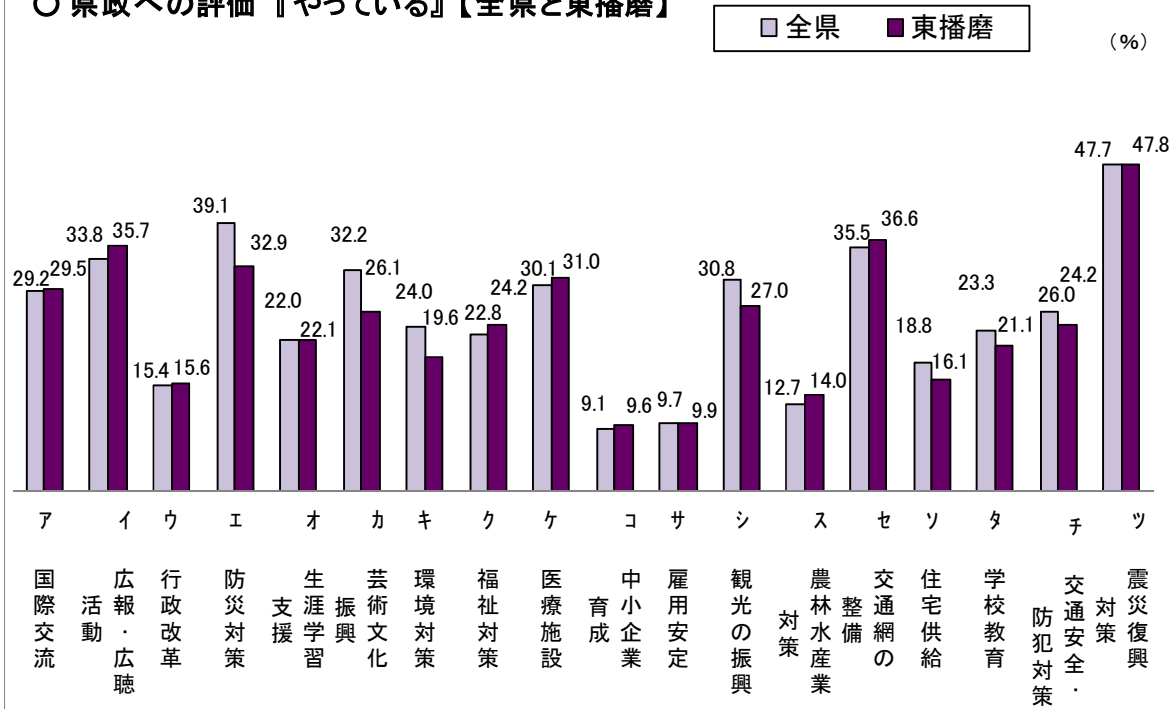
- 全県との比較では、〔県政の広報・広聴活動〕等で評価が高く、〔病気の予防や病院などの医療施設の充実〕等で努力が求められている。
- 前年との比較では、〔阪神・淡路大震災からの復興対策〕等で評価が高く、〔観光の振興〕等で努力が求められている。

《東播磨地域》

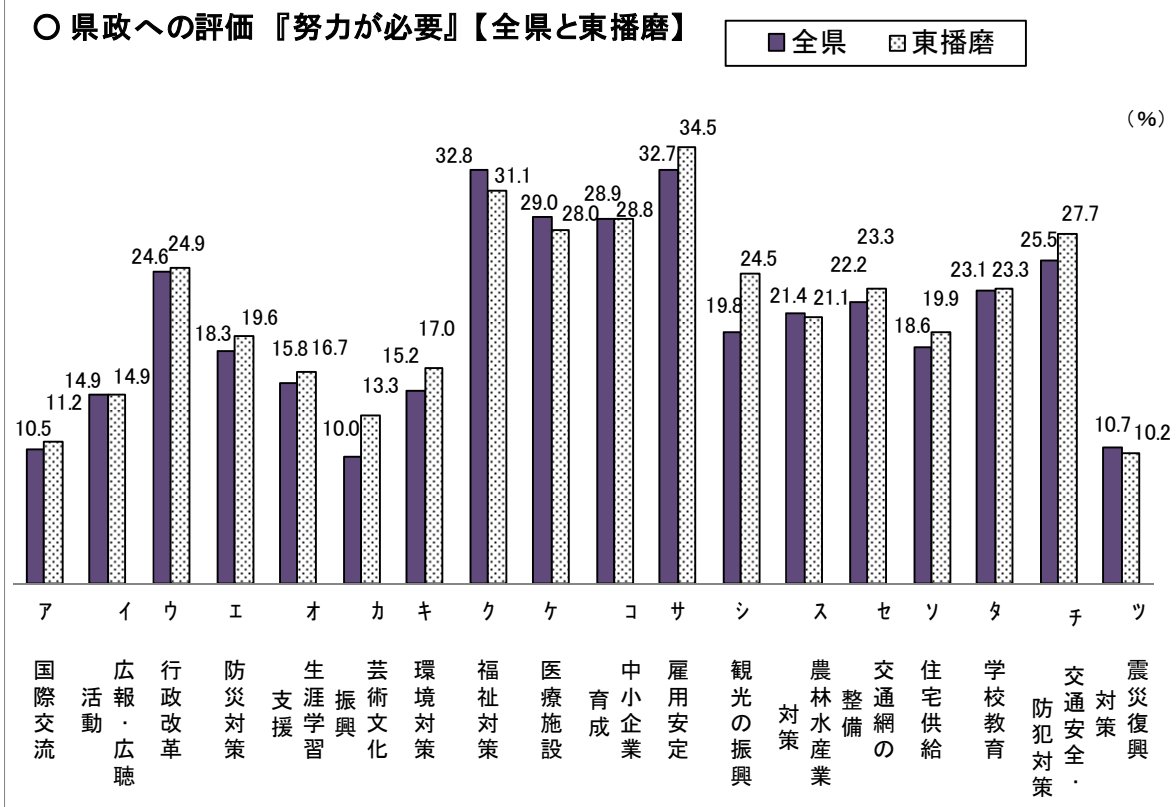
〔阪神・淡路大震災からの復興対策〕〔道路、鉄道、空港などの交通網の整備〕などで評価が高い。



○ 県政への評価 『やっている』【全県と東播磨】



○ 県政への評価 『努力が必要』【全県と東播磨】



◎県政への評価【全県結果との比較】

※よくやっている+まあまあやっている (%)

『やっている』	比率の差
イ 県政の広報・広聴活動	1.9
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	1.4
ス 農林水産業の活性化対策	1.3
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	1.1
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	0.9
コ 県内中小企業の育成	0.5
ア 国際的な交流や協力	0.3
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	0.2
サ 雇用の安定と職業能力の開発	0.2
オ 生涯学習活動への支援	0.1
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	0.1
チ 交通安全・防犯対策	-1.8
タ 学校教育の充実	-2.2
ソ 良質な住宅の供給	-2.7
シ 観光の振興	-3.8
キ 環境の保全と創造	-4.4
カ 芸術文化の振興	-6.1
エ 防災対策の充実	-6.2

◎県政への評価【全県結果との比較】

※もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

『努力が必要』	比率の差
シ 観光の振興	4.7
カ 芸術文化の振興	3.3
チ 交通安全・防犯対策	2.2
キ 環境の保全と創造	1.8
サ 雇用の安定と職業能力の開発	1.8
エ 防災対策の充実	1.3
ソ 良質な住宅の供給	1.3
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	1.1
オ 生涯学習活動への支援	0.9
ア 国際的な交流や協力	0.7
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	0.3
タ 学校教育の充実	0.2
イ 県政の広報・広聴活動	0.0
コ 県内中小企業の育成	-0.1
ス 農林水産業の活性化対策	-0.3
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	-0.5
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	-1.0
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	-1.7

◎県政への評価【前年結果との比較】

※よくやっている+まあまあやっている (%)

『やっている』	増減
イ 県政の広報・広聴活動	7.5
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	6.9
ス 農林水産業の活性化対策	4.5
コ 県内中小企業の育成	4.5
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	4.0
ア 国際的な交流や協力	2.7
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	2.5
サ 雇用の安定と職業能力の開発	1.8
エ 防災対策の充実	1.6
キ 環境の保全と創造	1.6
カ 芸術文化の振興	1.0
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	0.9
オ 生涯学習活動への支援	0.0
シ 観光の振興	-0.2
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	-0.2
ソ 良質な住宅の供給	-0.6
チ 交通安全・防犯対策	-1.0
タ 学校教育の充実	-1.3

◎県政への評価【前年結果との比較】

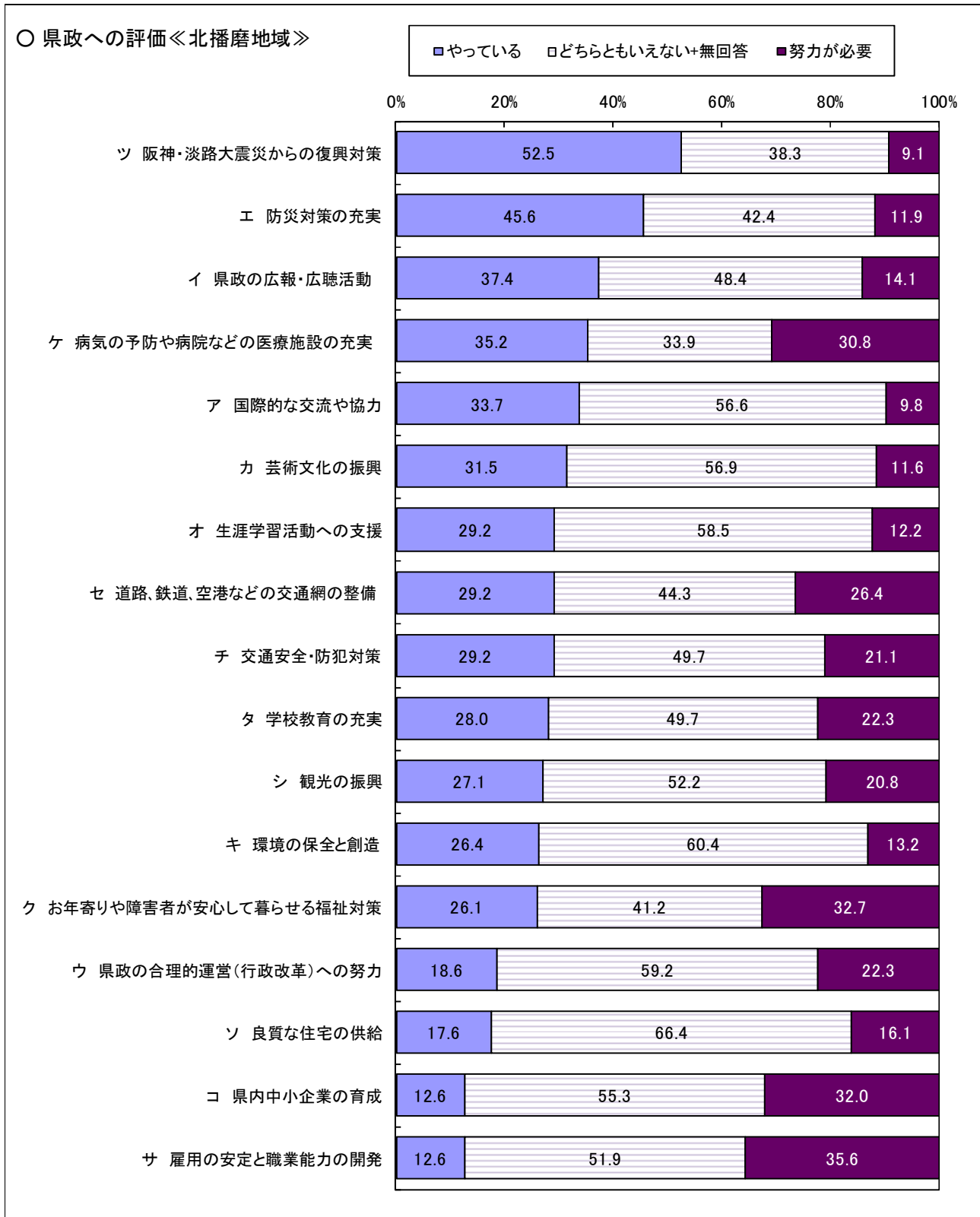
※もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

『努力が必要』	増減
チ 交通安全・防犯対策	3.9
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	3.6
ソ 良質な住宅の供給	3.6
タ 学校教育の充実	3.2
カ 芸術文化の振興	3.1
キ 環境の保全と創造	2.4
オ 生涯学習活動への支援	1.4
シ 観光の振興	1.4
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	1.0
サ 雇用の安定と職業能力の開発	-0.5
ス 農林水産業の活性化対策	-0.6
ア 国際的な交流や協力	-0.7
エ 防災対策の充実	-1.8
イ 県政の広報・広聴活動	-2.1
コ 県内中小企業の育成	-2.5
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	-2.6
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	-3.3
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	-5.3

- 全県との比較では、〔県政の広報・広聴活動〕の評価が高く、〔観光の振興〕等で努力が求められている。
- 前年との比較では、〔県政の広報・広聴活動〕等の評価が高く、〔交通安全・防犯対策〕等で努力が求められている。

《北播磨地域》

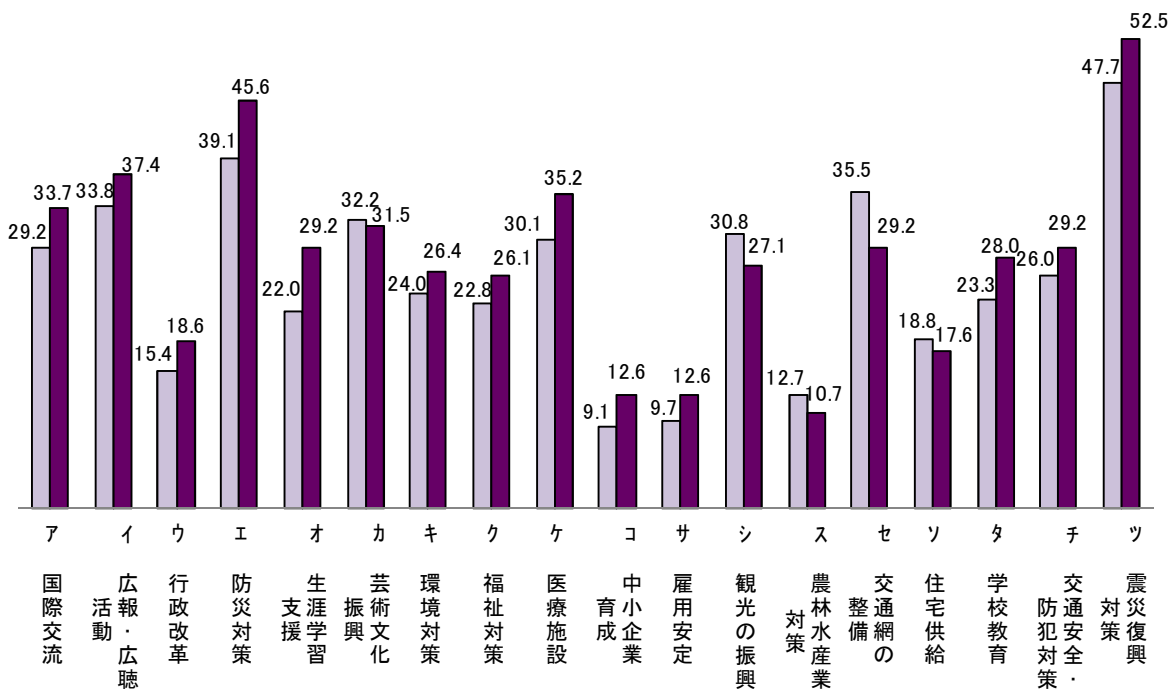
〔阪神・淡路大震災からの復興対策〕〔防災対策の充実〕などで評価が高い。



○ 県政への評価『やっている』【全県と北播磨】

■ 全県 ■ 北播磨

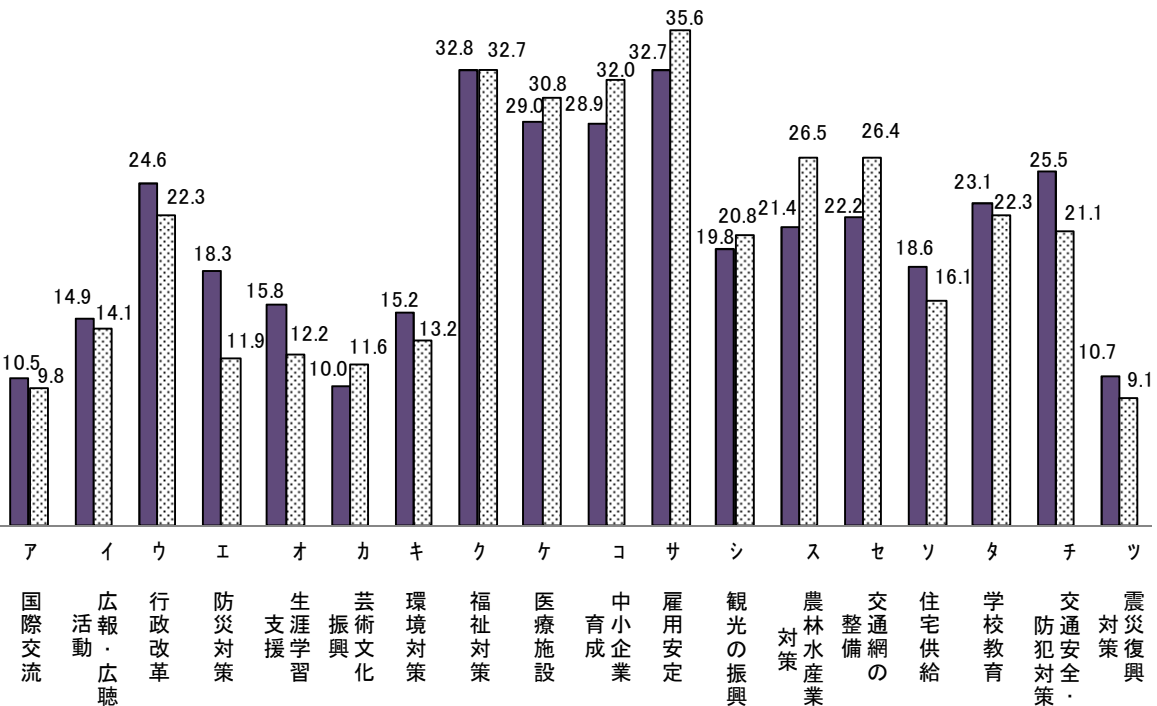
(%)



○ 県政への評価『努力が必要』【全県と北播磨】

■ 全県 ■ 北播磨

(%)



◎県政への評価【全県結果との比較】

※よくやっている+まあまあやっている (%)

『やっている』	比率の差
オ 生涯学習活動への支援	7.2
エ 防災対策の充実	6.5
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	5.1
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	4.8
タ 学校教育の充実	4.7
ア 国際的な交流や協力	4.5
イ 県政の広報・広聴活動	3.6
コ 県内中小企業の育成	3.5
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	3.3
チ 交通安全・防犯対策	3.2
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	3.2
サ 雇用の安定と職業能力の開発	2.9
キ 環境の保全と創造	2.4
カ 芸術文化の振興	-0.7
ソ 良質な住宅の供給	-1.2
ス 農林水産業の活性化対策	-2.0
シ 観光の振興	-3.7
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	-6.3

◎県政への評価【全県結果との比較】

※もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

『努力が必要』	比率の差
ス 農林水産業の活性化対策	5.1
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	4.2
コ 県内中小企業の育成	3.1
サ 雇用の安定と職業能力の開発	2.9
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	1.8
カ 芸術文化の振興	1.6
シ 観光の振興	1.0
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	-0.1
ア 国際的な交流や協力	-0.7
イ 県政の広報・広聴活動	-0.8
タ 学校教育の充実	-0.8
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	-1.6
キ 環境の保全と創造	-2.0
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	-2.3
ソ 良質な住宅の供給	-2.5
オ 生涯学習活動への支援	-3.6
チ 交通安全・防犯対策	-4.4
エ 防災対策の充実	-6.4

◎県政への評価【前年結果との比較】

※よくやっている+まあまあやっている (%)

『やっている』	増減
イ 県政の広報・広聴活動	9.6
ア 国際的な交流や協力	7.3
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	5.8
タ 学校教育の充実	4.7
エ 防災対策の充実	4.2
ソ 良質な住宅の供給	4.1
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	3.6
サ 雇用の安定と職業能力の開発	3.2
コ 県内中小企業の育成	2.9
シ 観光の振興	2.4
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	2.1
キ 環境の保全と創造	2.0
カ 芸術文化の振興	1.9
チ 交通安全・防犯対策	0.3
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	-1.0
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	-1.1
オ 生涯学習活動への支援	-1.5
ス 農林水産業の活性化対策	-2.5

◎県政への評価【前年結果との比較】

※もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

『努力が必要』	増減
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	2.2
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	0.0
カ 芸術文化の振興	-0.6
ス 農林水産業の活性化対策	-0.7
オ 生涯学習活動への支援	-1.0
ア 国際的な交流や協力	-2.4
サ 雇用の安定と職業能力の開発	-2.7
イ 県政の広報・広聴活動	-3.3
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	-3.5
コ 県内中小企業の育成	-3.8
タ 学校教育の充実	-4.1
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	-4.1
ソ 良質な住宅の供給	-5.1
シ 観光の振興	-5.7
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	-6.6
チ 交通安全・防犯対策	-7.2
キ 環境の保全と創造	-7.4
エ 防災対策の充実	-10.0

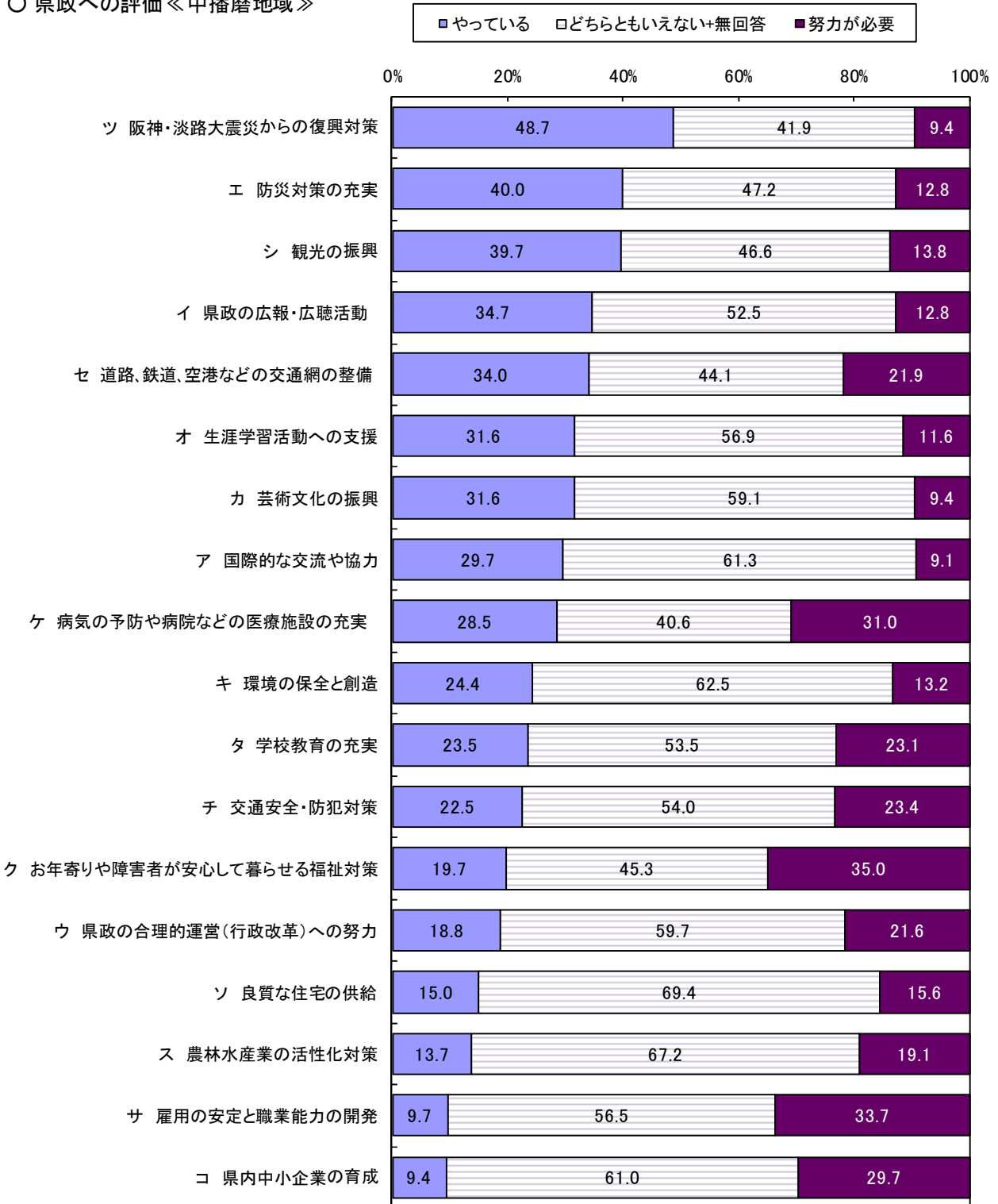
- 全県との比較では、〔生涯学習活動への支援〕等の評価が高く、〔農林水産業の活性化対策〕等で努力が求められている。
- 前年との比較では、〔県政の広報・広聴活動〕等の評価が高く、〔病気の予防や病院などの医療施設の充実〕等で努力が求められている。



《中播磨地域》

〔阪神・淡路大震災からの復興対策〕〔防災対策の充実〕などで評価が高い。

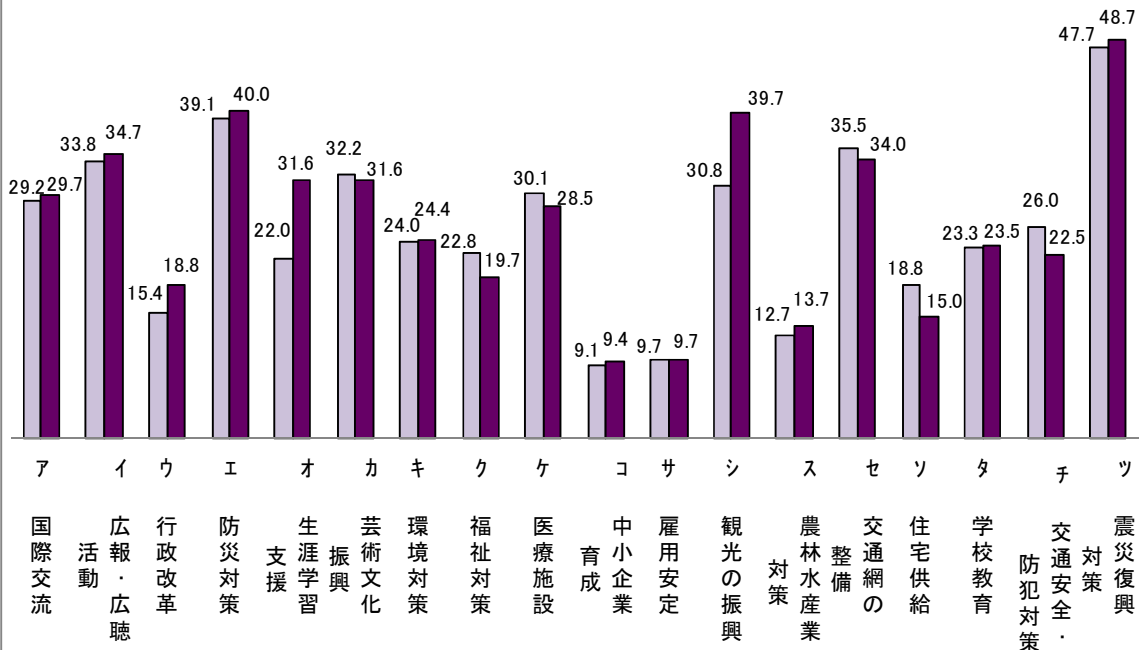
○ 県政への評価《中播磨地域》



○ 県政への評価 『やっている』【全県と中播磨】

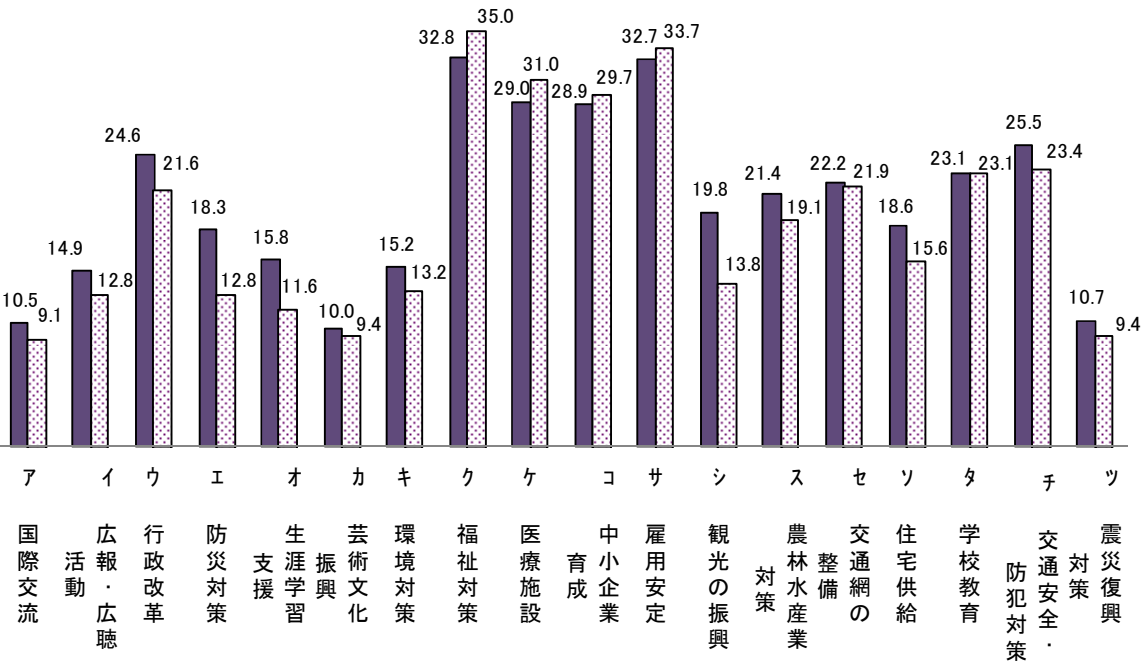
■ 全県 ■ 中播磨

(%)



○ 県政への評価 『努力が必要』【全県と中播磨】

■ 全県 □ 中播磨



◎県政への評価【全県結果との比較】

※よくやっている+まあまあやっている (%)

『やっている』	比率の差
オ 生涯学習活動への支援	9.6
シ 観光の振興	8.9
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	3.4
ス 農林水産業の活性化対策	1.0
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	1.0
イ 県政の広報・広聴活動	0.9
エ 防災対策の充実	0.9
ア 国際的な交流や協力	0.5
キ 環境の保全と創造	0.4
コ 県内中小企業の育成	0.3
タ 学校教育の充実	0.2
サ 雇用の安定と職業能力の開発	0.0
カ 芸術文化の振興	-0.6
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	-1.5
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	-1.6
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	-3.1
チ 交通安全・防犯対策	-3.5
ソ 良質な住宅の供給	-3.8

◎県政への評価【全県結果との比較】

※もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

『努力が必要』	比率の差
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	2.2
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	2.0
サ 雇用の安定と職業能力の開発	1.0
コ 県内中小企業の育成	0.8
タ 学校教育の充実	0.0
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	-0.3
カ 芸術文化の振興	-0.6
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	-1.3
ア 国際的な交流や協力	-1.4
キ 環境の保全と創造	-2.0
イ 県政の広報・広聴活動	-2.1
チ 交通安全・防犯対策	-2.1
ス 農林水産業の活性化対策	-2.3
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	-3.0
ソ 良質な住宅の供給	-3.0
オ 生涯学習活動への支援	-4.2
エ 防災対策の充実	-5.5
シ 観光の振興	-6.0

◎県政への評価【前年結果との比較】

※よくやっている+まあまあやっている (%)

『やっている』	増減
イ 県政の広報・広聴活動	8.1
エ 防災対策の充実	7.0
オ 生涯学習活動への支援	4.5
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	4.0
キ 環境の保全と創造	3.3
カ 芸術文化の振興	2.7
シ 観光の振興	2.3
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	1.6
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	1.1
ア 国際的な交流や協力	0.8
ス 農林水産業の活性化対策	-0.1
コ 県内中小企業の育成	-1.0
ソ 良質な住宅の供給	-1.0
タ 学校教育の充実	-1.3
サ 雇用の安定と職業能力の開発	-2.2
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	-2.7
チ 交通安全・防犯対策	-2.7
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	-5.1

◎県政への評価【前年結果との比較】

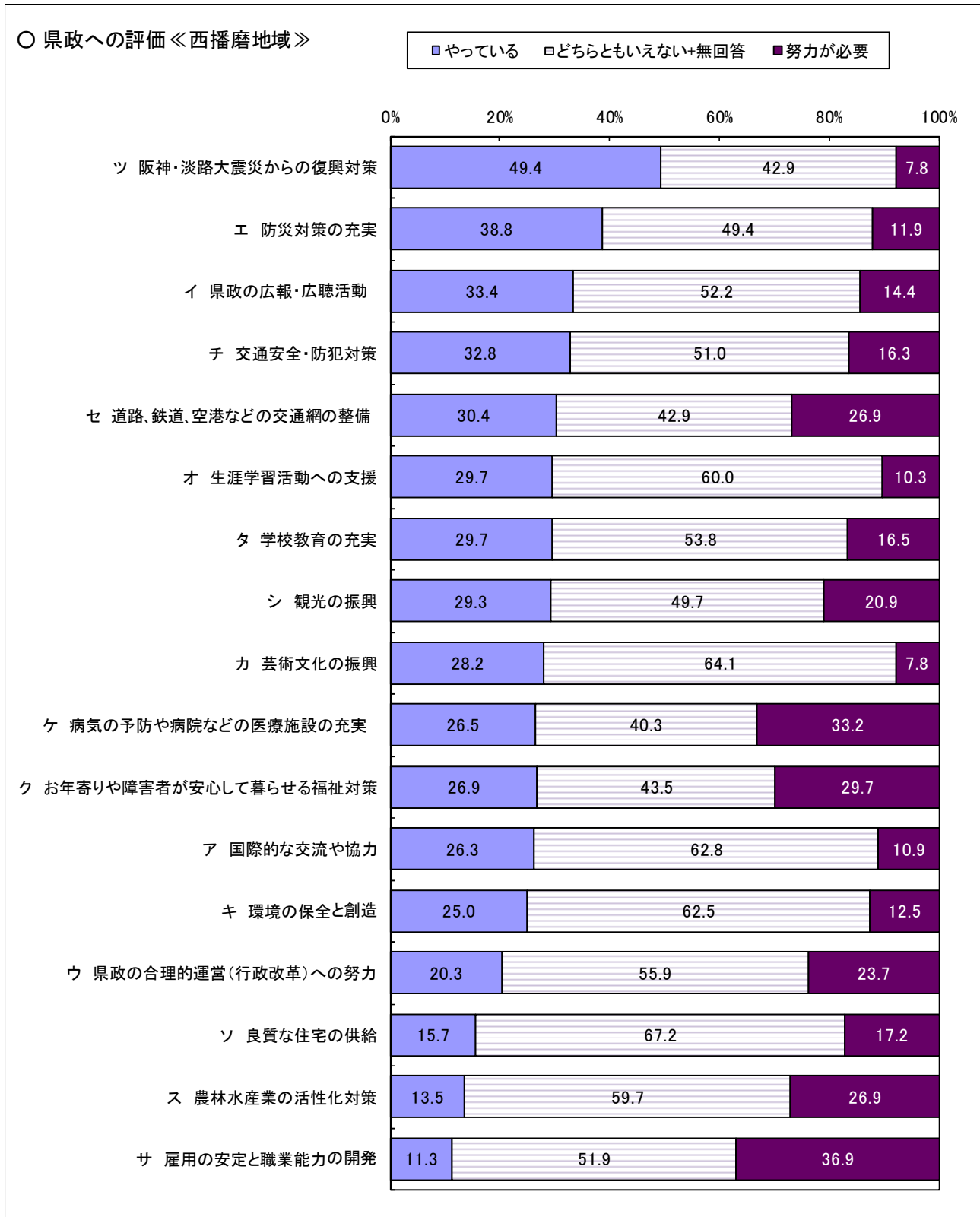
※もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

『努力が必要』	増減
チ 交通安全・防犯対策	0.1
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	-0.1
オ 生涯学習活動への支援	-0.6
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	-0.6
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	-0.7
コ 県内中小企業の育成	-1.1
タ 学校教育の充実	-1.4
カ 芸術文化の振興	-2.4
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	-2.5
サ 雇用の安定と職業能力の開発	-3.0
ア 国際的な交流や協力	-3.5
イ 県政の広報・広聴活動	-3.5
シ 観光の振興	-3.9
キ 環境の保全と創造	-4.2
ソ 良質な住宅の供給	-4.4
ス 農林水産業の活性化対策	-5.7
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	-5.9
エ 防災対策の充実	-10.9

- 全県との比較では、〔生涯学習活動への支援〕等の評価が高く、〔お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策〕等で努力が求められている。
- 前年との比較では、〔県政の広報・広聴活動〕等の評価が高く、〔交通安全・防犯対策〕等で努力が求められている。

《西播磨地域》

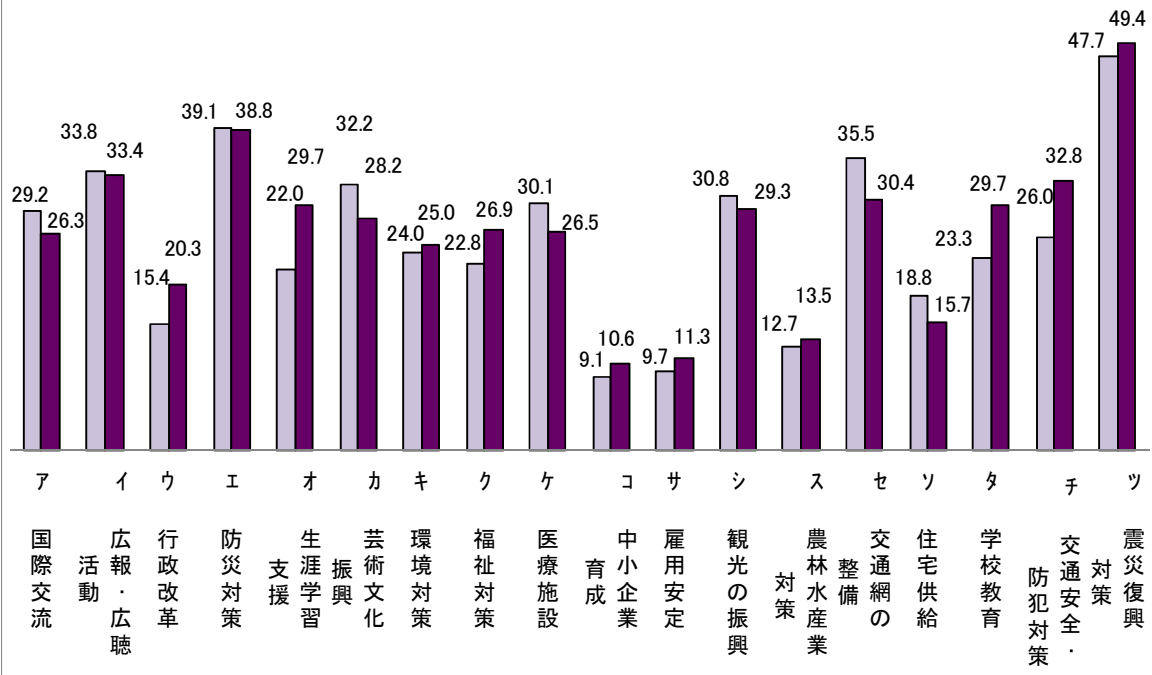
〔阪神・淡路大震災からの復興対策〕〔防災対策の充実〕などで評価が高い。



○ 県政への評価 『やっている』【全県と西播磨】

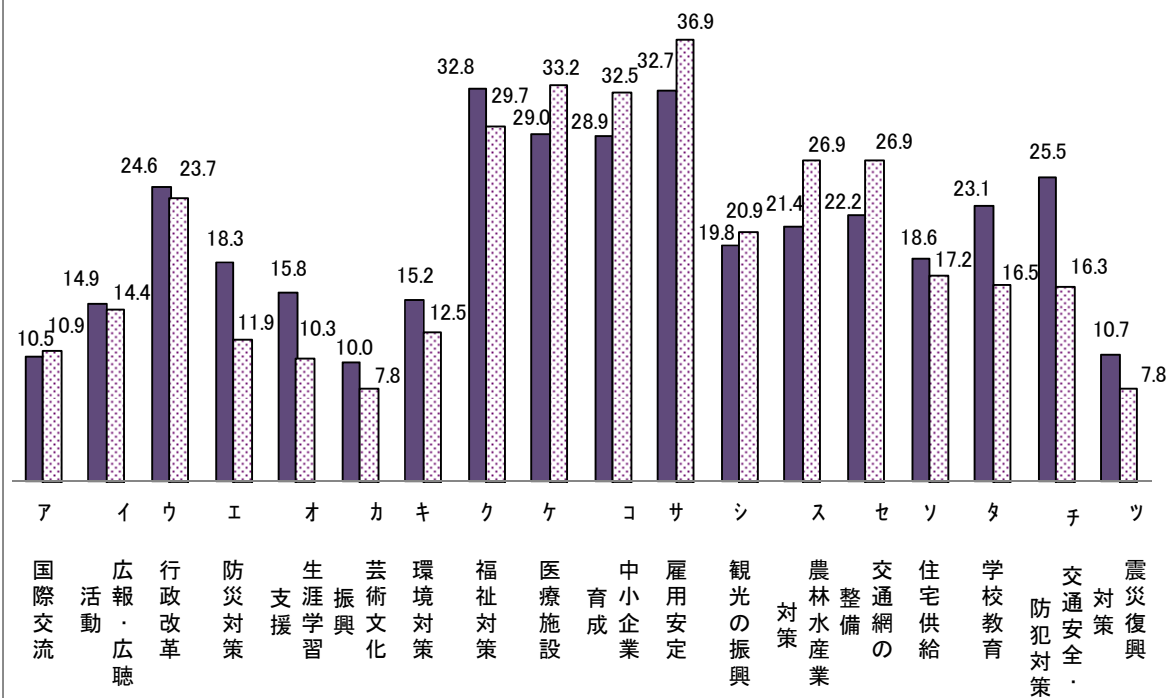
■ 全県 ■ 西播磨

(%)



○ 県政への評価 『努力が必要』【全県と西播磨】

■ 全県 □ 西播磨



◎県政への評価【全県結果との比較】

※よくやっている+まあまあやっている (%)

『やっている』	比率の差
オ 生涯学習活動への支援	7.7
チ 交通安全・防犯対策	6.8
タ 学校教育の充実	6.4
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	4.9
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	4.1
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	1.7
サ 雇用の安定と職業能力の開発	1.6
コ 県内中小企業の育成	1.5
キ 環境の保全と創造	1.0
ス 農林水産業の活性化対策	0.8
エ 防災対策の充実	-0.3
イ 県政の広報・広聴活動	-0.4
シ 観光の振興	-1.5
ア 国際的な交流や協力	-2.9
ソ 良質な住宅の供給	-3.1
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	-3.6
カ 芸術文化の振興	-4.0
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	-5.1

◎県政への評価【全県結果との比較】

※もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

『努力が必要』	比率の差
ス 農林水産業の活性化対策	5.5
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	4.7
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	4.2
サ 雇用の安定と職業能力の開発	4.2
コ 県内中小企業の育成	3.6
シ 観光の振興	1.1
ア 国際的な交流や協力	0.4
イ 県政の広報・広聴活動	-0.5
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	-0.9
ソ 良質な住宅の供給	-1.4
カ 芸術文化の振興	-2.2
キ 環境の保全と創造	-2.7
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	-2.9
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	-3.1
オ 生涯学習活動への支援	-5.5
エ 防災対策の充実	-6.4
タ 学校教育の充実	-6.6
チ 交通安全・防犯対策	-9.2

◎県政への評価【前年結果との比較】

※よくやっている+まあまあやっている (%)

『やっている』	増減
タ 学校教育の充実	6.3
サ 雇用の安定と職業能力の開発	4.1
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	3.7
コ 県内中小企業の育成	3.4
ス 農林水産業の活性化対策	2.5
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	2.0
ソ 良質な住宅の供給	1.0
チ 交通安全・防犯対策	0.9
オ 生涯学習活動への支援	0.6
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	-0.1
イ 県政の広報・広聴活動	-0.7
シ 観光の振興	-1.9
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	-2.5
キ 環境の保全と創造	-2.8
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	-3.2
ア 国際的な交流や協力	-3.4
エ 防災対策の充実	-4.3
カ 芸術文化の振興	-6.2

◎県政への評価【前年結果との比較】

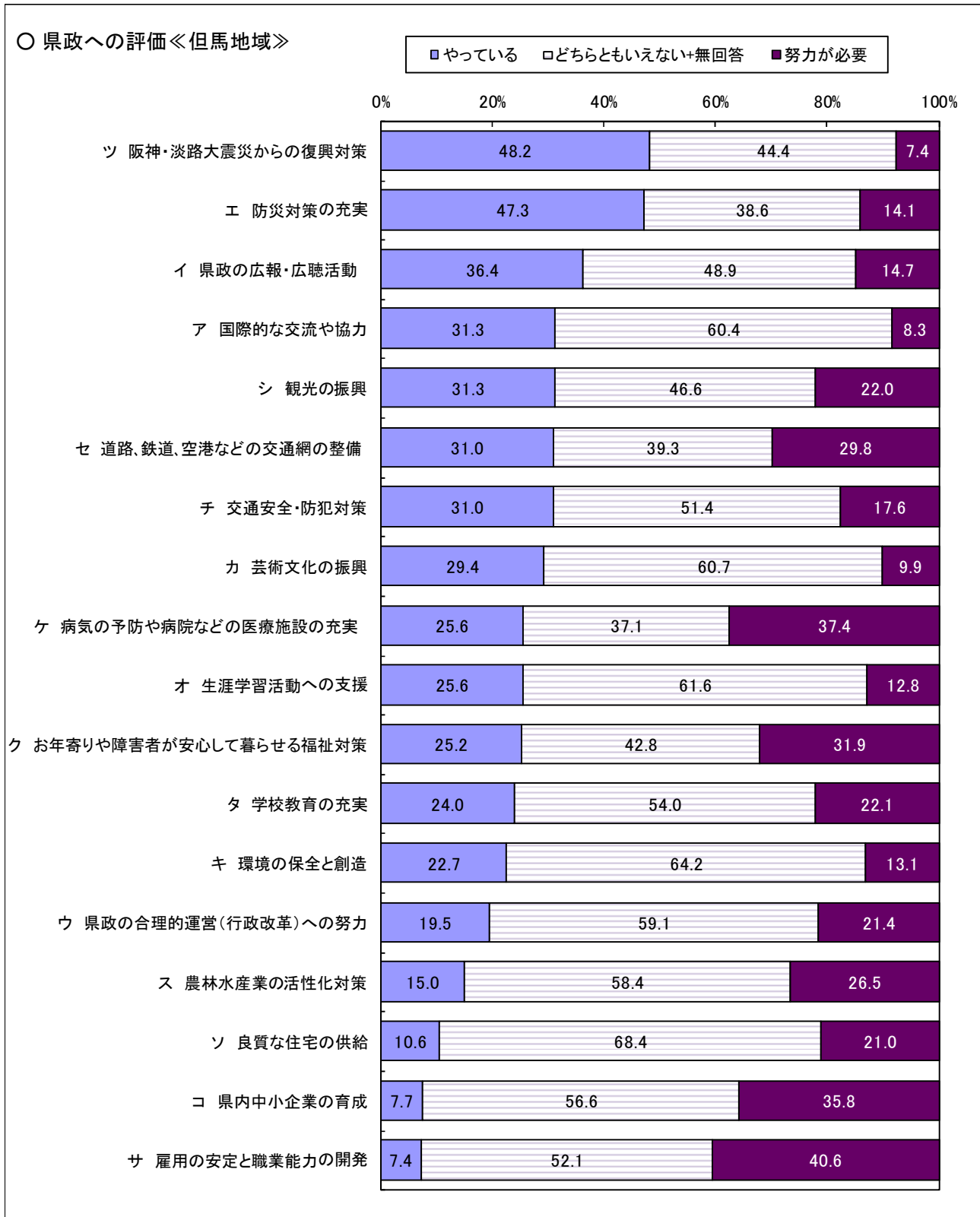
※もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

『努力が必要』	増減
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	2.2
ソ 良質な住宅の供給	1.6
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	0.4
ア 国際的な交流や協力	0.2
ス 農林水産業の活性化対策	-0.6
イ 県政の広報・広聴活動	-1.3
オ 生涯学習活動への支援	-1.3
シ 観光の振興	-1.3
コ 県内中小企業の育成	-2.2
カ 芸術文化の振興	-2.6
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	-2.6
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	-3.1
サ 雇用の安定と職業能力の開発	-3.1
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	-3.5
キ 環境の保全と創造	-4.7
チ 交通安全・防犯対策	-5.6
タ 学校教育の充実	-6.7
エ 防災対策の充実	-8.8

- 全県との比較では、〔生涯学習活動への支援〕等の評価が高く、〔農林水産業の活性化対策〕等で努力が求められている。
- 前年との比較では、〔学校教育の充実〕等の評価が高く、〔お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策〕等で努力が求められている。

《但馬地域》

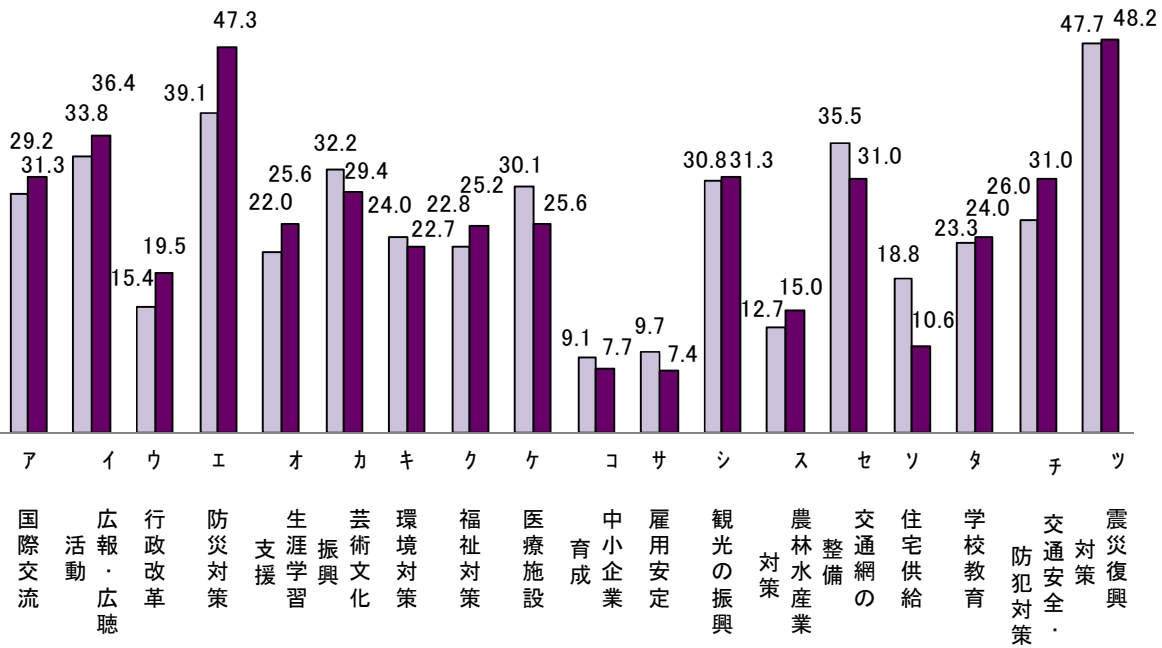
〔阪神・淡路大震災からの復興対策〕〔防災対策の充実〕など評価が高い。



○ 県政への評価『やっている』【全県と但馬】

□ 全県 ■ 但馬

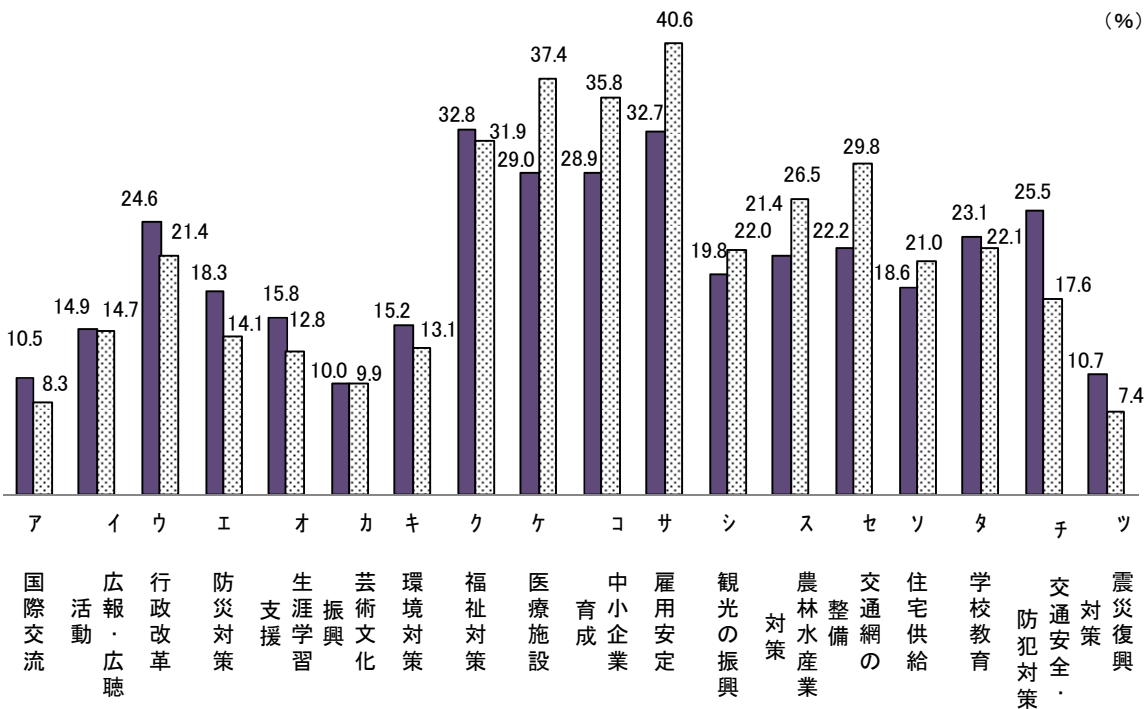
(%)



○ 県政への評価『努力が必要』【全県と但馬】

■ 全県 □ 但馬

(%)





◎県政への評価【全県結果との比較】

※よくやっている+まあまあやっている (%)

『やっている』	比率の差
エ 防災対策の充実	8.2
チ 交通安全・防犯対策	5.0
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	4.1
オ 生涯学習活動への支援	3.6
イ 県政の広報・広聴活動	2.6
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	2.4
ス 農林水産業の活性化対策	2.3
ア 国際的な交流や協力	2.1
タ 学校教育の充実	0.7
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	0.5
シ 観光の振興	0.5
キ 環境の保全と創造	-1.3
コ 県内中小企業の育成	-1.4
サ 雇用の安定と職業能力の開発	-2.3
カ 芸術文化の振興	-2.8
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	-4.5
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	-4.5
ソ 良質な住宅の供給	-8.2

◎県政への評価【全県結果との比較】

※もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

『努力が必要』	比率の差
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	8.4
サ 雇用の安定と職業能力の開発	7.9
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	7.6
コ 県内中小企業の育成	6.9
ス 農林水産業の活性化対策	5.1
ソ 良質な住宅の供給	2.4
シ 観光の振興	2.2
カ 芸術文化の振興	-0.1
イ 県政の広報・広聴活動	-0.2
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	-0.9
タ 学校教育の充実	-1.0
キ 環境の保全と創造	-2.1
ア 国際的な交流や協力	-2.2
オ 生涯学習活動への支援	-3.0
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	-3.2
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	-3.3
エ 防災対策の充実	-4.2
チ 交通安全・防犯対策	-7.9

◎県政への評価【前年結果との比較】

※よくやっている+まあまあやっている (%)

『やっている』	増減
エ 防災対策の充実	6.4
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	6.0
シ 観光の振興	5.6
イ 県政の広報・広聴活動	4.7
カ 芸術文化の振興	4.1
タ 学校教育の充実	3.1
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	2.6
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	2.6
ス 農林水産業の活性化対策	2.5
ア 国際的な交流や協力	2.3
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	1.6
チ 交通安全・防犯対策	1.3
コ 県内中小企業の育成	0.9
サ 雇用の安定と職業能力の開発	0.7
オ 生涯学習活動への支援	-0.7
ソ 良質な住宅の供給	-1.2
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	-2.5
キ 環境の保全と創造	-5.0

◎県政への評価【前年結果との比較】

※もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

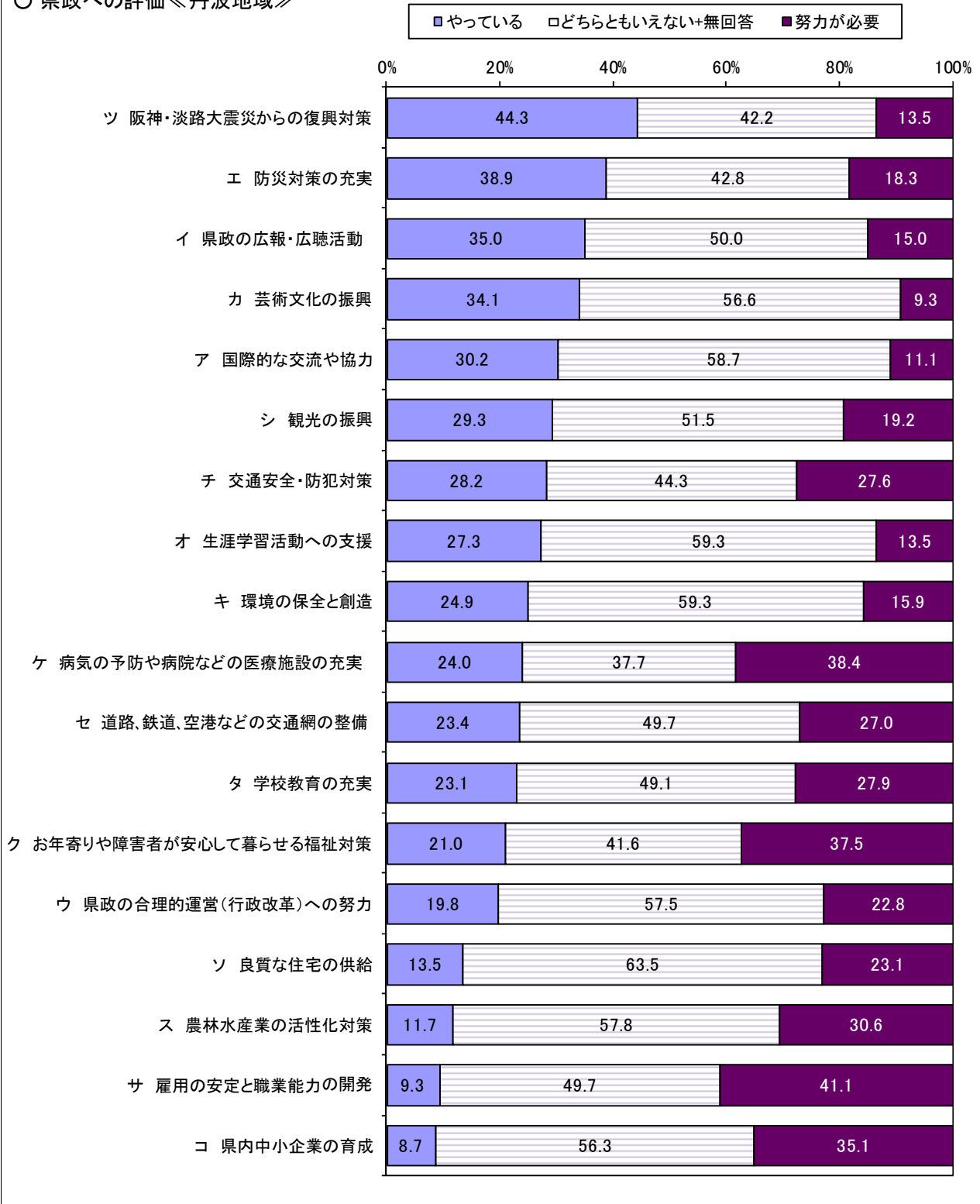
『努力が必要』	増減
カ 芸術文化の振興	-0.3
イ 県政の広報・広聴活動	-0.5
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	-0.5
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	-1.6
ソ 良質な住宅の供給	-1.6
ア 国際的な交流や協力	-1.8
チ 交通安全・防犯対策	-2.3
オ 生涯学習活動への支援	-2.4
タ 学校教育の充実	-2.9
サ 雇用の安定と職業能力の開発	-3.3
キ 環境の保全と創造	-3.8
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	-3.9
コ 県内中小企業の育成	-4.0
シ 観光の振興	-4.0
エ 防災対策の充実	-4.2
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	-5.1
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	-5.2
ス 農林水産業の活性化対策	-7.3

- 全県との比較では、[防災対策の充実]等の評価が高く、[病気の予防や病院などの医療施設の充実]等で努力が求められている。
- 前年との比較では、[防災対策の充実]等の評価が高く、[芸術文化の振興]等で努力が求められている。

《丹波地域》

〔阪神・淡路大震災からの復興対策〕〔防災対策の充実〕などで評価が高い。

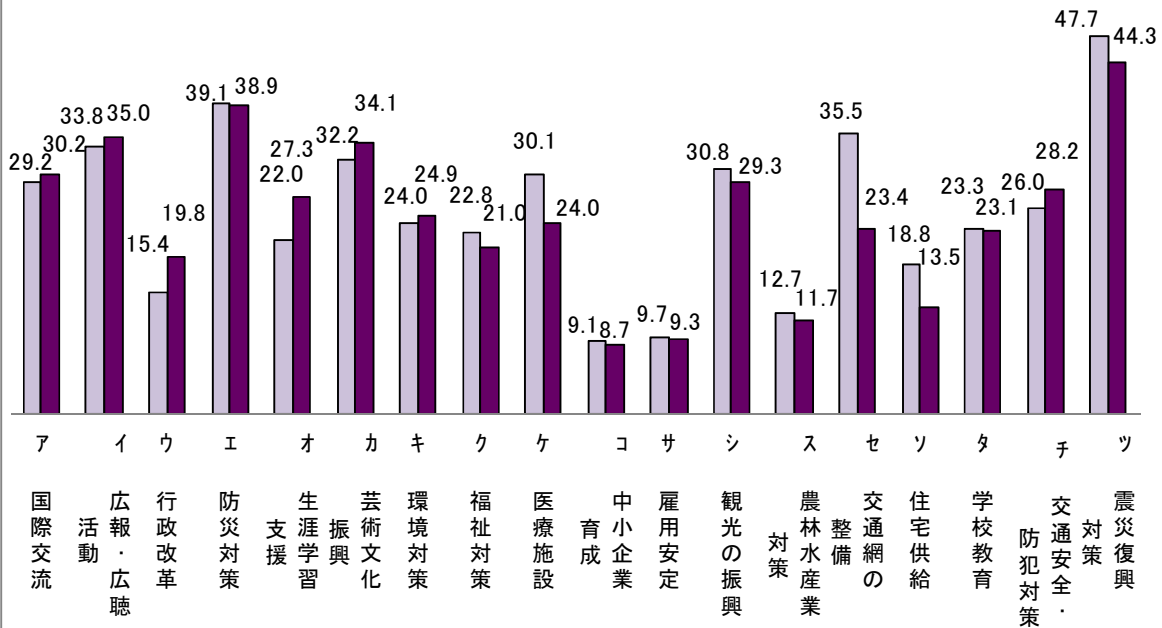
○ 県政への評価《丹波地域》



○ 県政への評価 『やっている』【全県と丹波】

■ 全県 ■ 丹波

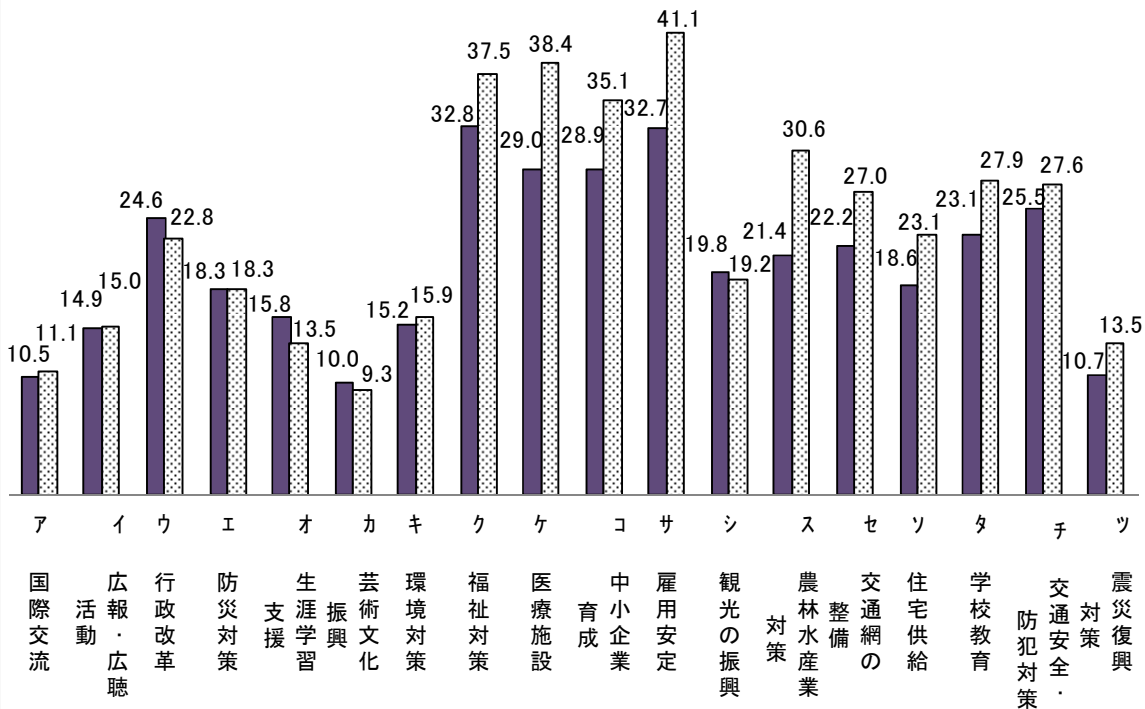
(%)



○ 県政への評価 『努力が必要』【全県と丹波】

■ 全県 ■ 丹波

(%)



◎県政への評価【全県結果との比較】

※よくやっている+まあまあやっている (%)

『やっている』	比率の差
オ 生涯学習活動への支援	5.3
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	4.4
チ 交通安全・防犯対策	2.2
カ 芸術文化の振興	1.9
イ 県政の広報・広聴活動	1.2
ア 国際的な交流や協力	1.0
キ 環境の保全と創造	0.9
タ 学校教育の充実	-0.2
エ 防災対策の充実	-0.2
コ 県内中小企業の育成	-0.4
サ 雇用の安定と職業能力の開発	-0.4
ス 農林水産業の活性化対策	-1.0
シ 観光の振興	-1.5
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	-1.8
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	-3.4
ソ 良質な住宅の供給	-5.3
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	-6.1
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	-12.1

◎県政への評価【全県結果との比較】

※もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

『努力が必要』	比率の差
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	9.4
ス 農林水産業の活性化対策	9.2
サ 雇用の安定と職業能力の開発	8.4
コ 県内中小企業の育成	6.2
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	4.8
タ 学校教育の充実	4.8
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	4.7
ソ 良質な住宅の供給	4.5
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	2.8
チ 交通安全・防犯対策	2.1
キ 環境の保全と創造	0.7
ア 国際的な交流や協力	0.6
イ 県政の広報・広聴活動	0.1
エ 防災対策の充実	0.0
シ 観光の振興	-0.6
カ 芸術文化の振興	-0.7
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	-1.8
オ 生涯学習活動への支援	-2.3

◎県政への評価【前年結果との比較】

※よくやっている+まあまあやっている (%)

『やっている』	増減
エ 防災対策の充実	3.7
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	3.2
カ 芸術文化の振興	3.1
タ 学校教育の充実	1.9
イ 県政の広報・広聴活動	1.8
コ 県内中小企業の育成	1.6
シ 観光の振興	1.3
ス 農林水産業の活性化対策	1.2
ソ 良質な住宅の供給	1.1
チ 交通安全・防犯対策	0.5
サ 雇用の安定と職業能力の開発	0.5
ア 国際的な交流や協力	0.2
オ 生涯学習活動への支援	-0.7
キ 環境の保全と創造	-0.9
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	-3.3
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	-3.9
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	-4.0
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	-5.1

◎県政への評価【前年結果との比較】

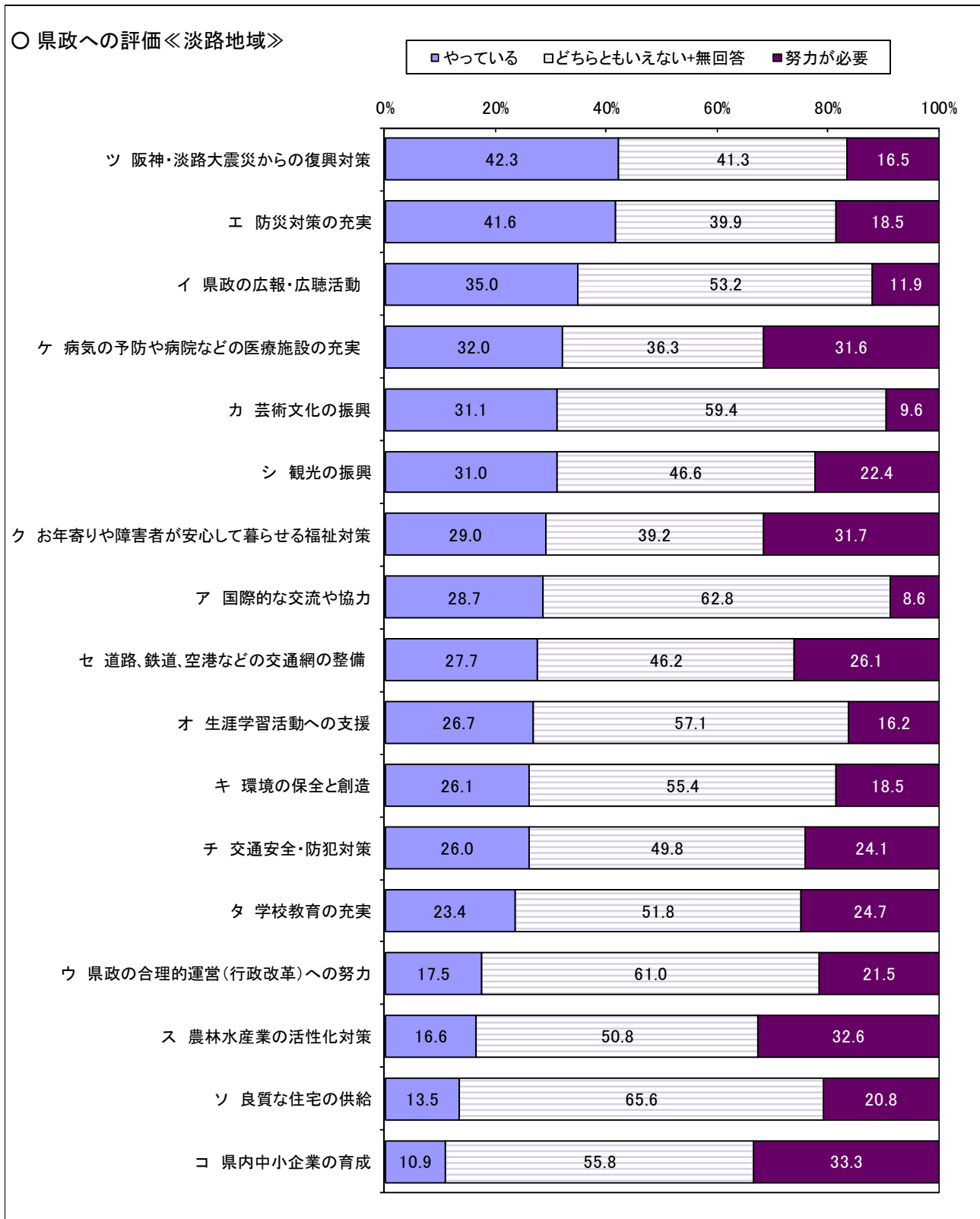
※もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

『努力が必要』	増減
チ 交通安全・防犯対策	4.8
ソ 良質な住宅の供給	4.8
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	2.8
サ 雇用の安定と職業能力の開発	2.7
イ 県政の広報・広聴活動	2.3
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	2.0
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	1.2
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	0.6
タ 学校教育の充実	0.2
ア 国際的な交流や協力	0.1
コ 県内中小企業の育成	-0.1
ス 農林水産業の活性化対策	-2.0
シ 観光の振興	-2.0
カ 芸術文化の振興	-2.4
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	-2.9
キ 環境の保全と創造	-3.0
オ 生涯学習活動への支援	-5.7
エ 防災対策の充実	-7.1

- 全県との比較では、〔生涯学習活動への支援〕等の評価が高く、〔病気の予防や病院などの医療施設の充実〕等で努力が求められている。
- 前年との比較では、〔防災対策の充実〕等の評価が高く、〔交通安全・防犯対策〕等で努力が求められている。

《淡路地域》

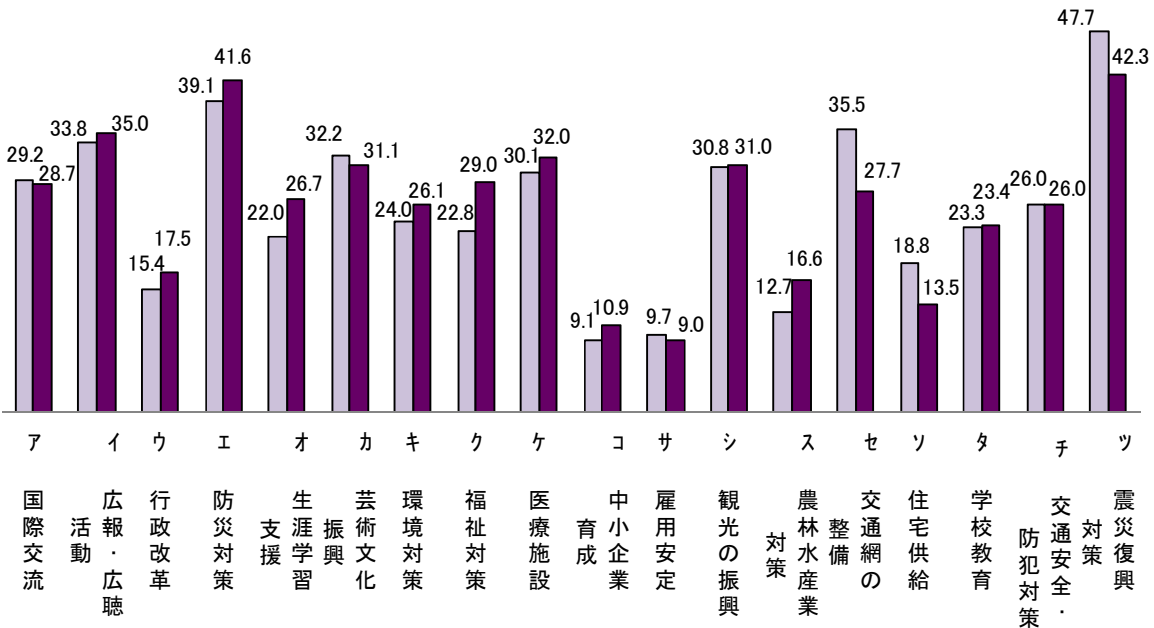
〔阪神・淡路大震災からの復興対策〕〔防災対策の充実〕などで評価が高い。



○ 県政への評価 『やっている』【全県と淡路】

□ 全県 ■ 淡路

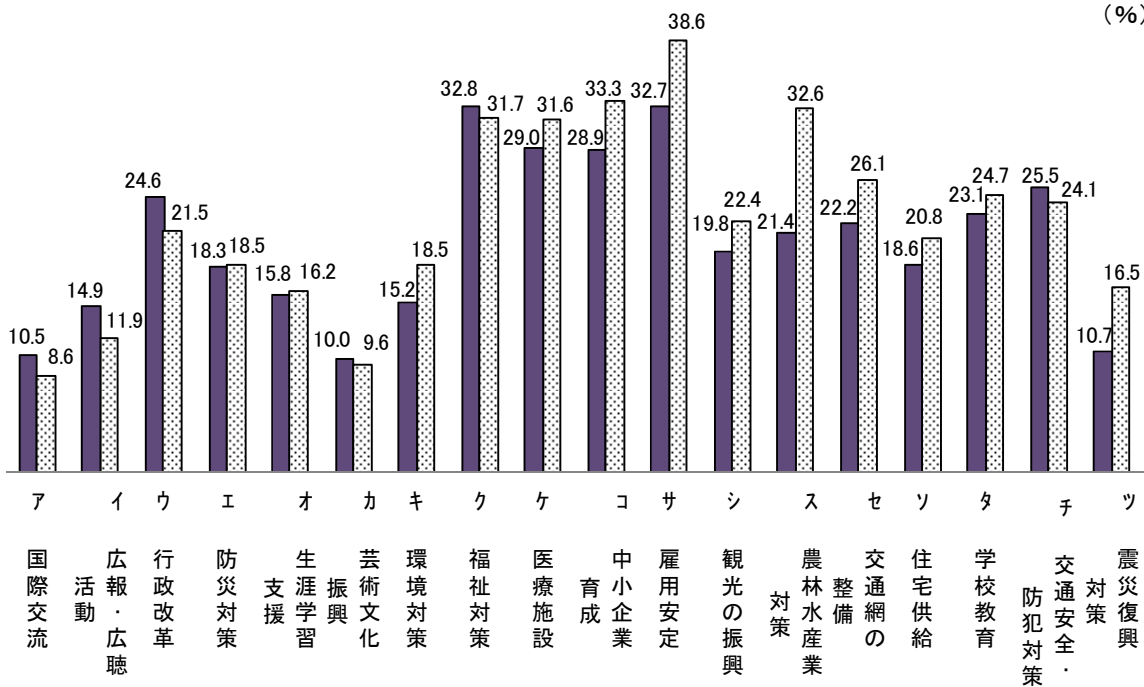
(%)



○ 県政への評価 『努力が必要』【全県と淡路】

■ 全県 □ 淡路

(%)



◎県政への評価【全県結果との比較】

※よくやっている+まあまあやっている (%)

『やっている』	比率の差
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	6.2
オ 生涯学習活動への支援	4.7
ス 農林水産業の活性化対策	3.9
エ 防災対策の充実	2.5
キ 環境の保全と創造	2.1
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	2.1
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	1.9
コ 県内中小企業の育成	1.8
イ 県政の広報・広聴活動	1.2
シ 観光の振興	0.2
タ 学校教育の充実	0.1
チ 交通安全・防犯対策	0.0
ア 国際的な交流や協力	-0.5
サ 雇用の安定と職業能力の開発	-0.7
カ 芸術文化の振興	-1.1
ソ 良質な住宅の供給	-5.3
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	-5.4
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	-7.8

◎県政への評価【全県結果との比較】

※もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

『努力が必要』	比率の差
ス 農林水産業の活性化対策	11.2
サ 雇用の安定と職業能力の開発	5.9
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	5.8
コ 県内中小企業の育成	4.4
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	3.9
キ 環境の保全と創造	3.3
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	2.6
シ 観光の振興	2.6
ソ 良質な住宅の供給	2.2
タ 学校教育の充実	1.6
オ 生涯学習活動への支援	0.4
エ 防災対策の充実	0.2
カ 芸術文化の振興	-0.4
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	-1.1
チ 交通安全・防犯対策	-1.4
ア 国際的な交流や協力	-1.9
イ 県政の広報・広聴活動	-3.0
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	-3.1

◎県政への評価【前年結果との比較】

※よくやっている+まあまあやっている (%)

『やっている』	増減
イ 県政の広報・広聴活動	6.2
オ 生涯学習活動への支援	5.7
シ 観光の振興	4.6
コ 県内中小企業の育成	4.1
ア 国際的な交流や協力	3.1
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	1.4
ス 農林水産業の活性化対策	1.3
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	0.9
サ 雇用の安定と職業能力の開発	0.8
カ 芸術文化の振興	0.5
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	0.4
キ 環境の保全と創造	0.4
タ 学校教育の充実	-0.1
ソ 良質な住宅の供給	-1.1
エ 防災対策の充実	-1.4
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	-4.3
チ 交通安全・防犯対策	-5.0
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	-7.9

◎県政への評価【前年結果との比較】

※もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

『努力が必要』	増減
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	6.5
オ 生涯学習活動への支援	4.4
キ 環境の保全と創造	4.3
チ 交通安全・防犯対策	4.2
ソ 良質な住宅の供給	3.1
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	2.8
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	2.6
タ 学校教育の充実	0.9
ス 農林水産業の活性化対策	-0.2
ア 国際的な交流や協力	-0.3
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	-0.7
エ 防災対策の充実	-1.4
カ 芸術文化の振興	-1.4
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	-2.0
シ 観光の振興	-2.5
コ 県内中小企業の育成	-3.0
サ 雇用の安定と職業能力の開発	-4.1
イ 県政の広報・広聴活動	-4.9

- 全県との比較では、〔お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策〕等の評価が高いが、〔農林水産業の活性化対策〕等で努力が求められている。
- 前年との比較では、〔県政の広報・広聴活動〕等の評価が高く、〔阪神・淡路大震災からの復興対策〕等で努力が求められている。

問28 県民局・県民センターの認知度

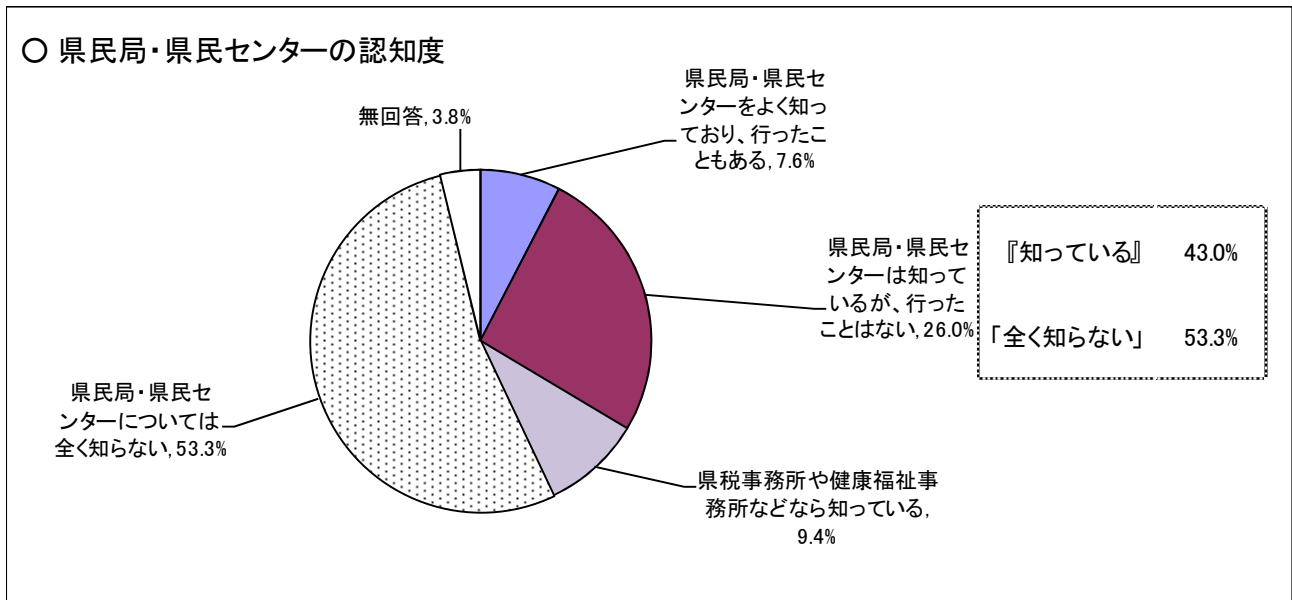
問28

あなたがお住まいの地域の県民局・県民センターについて、あてはまるものを次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

- 1 県民局・県民センターをよく知っており、行ったこともある
- 2 県民局・県民センターは知っているが、行ったことはない
- 3 事務所（県税・健康福祉・農林水産振興・土木等）なら知っている
- 4 県民局・県民センターについては全く知らない

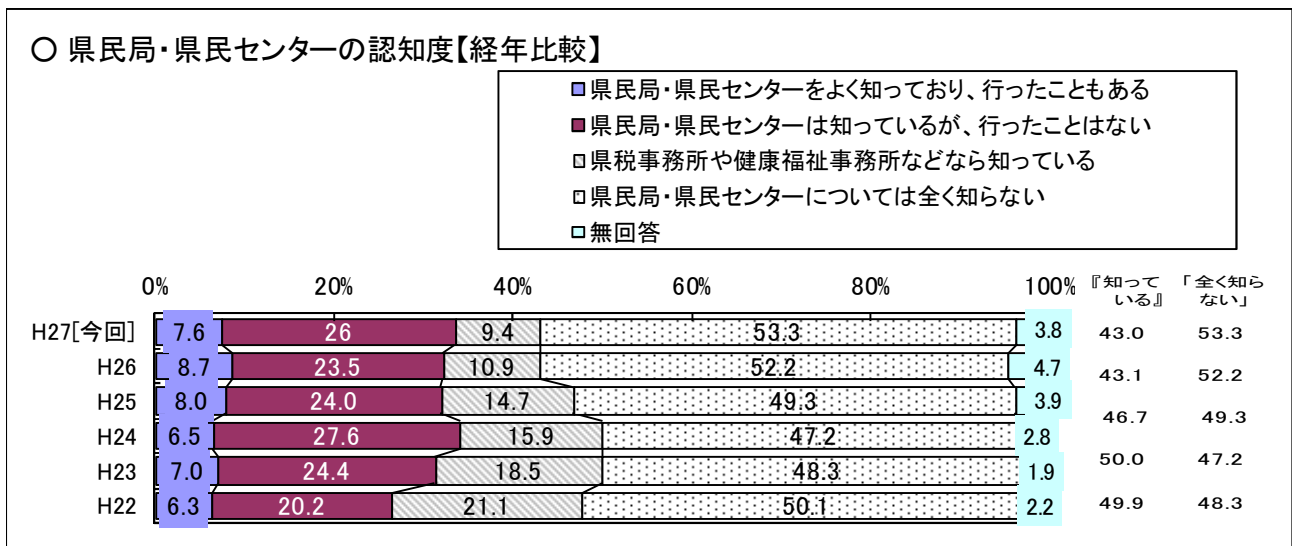
【全 県】

- 県民局・県民センターの認知度は、「よく知っており、行ったこともある」、「知っているが行ったことはない」、「事務所なら知っている」を合わせた『知っている』は43.0%となっている。



【経年比較】

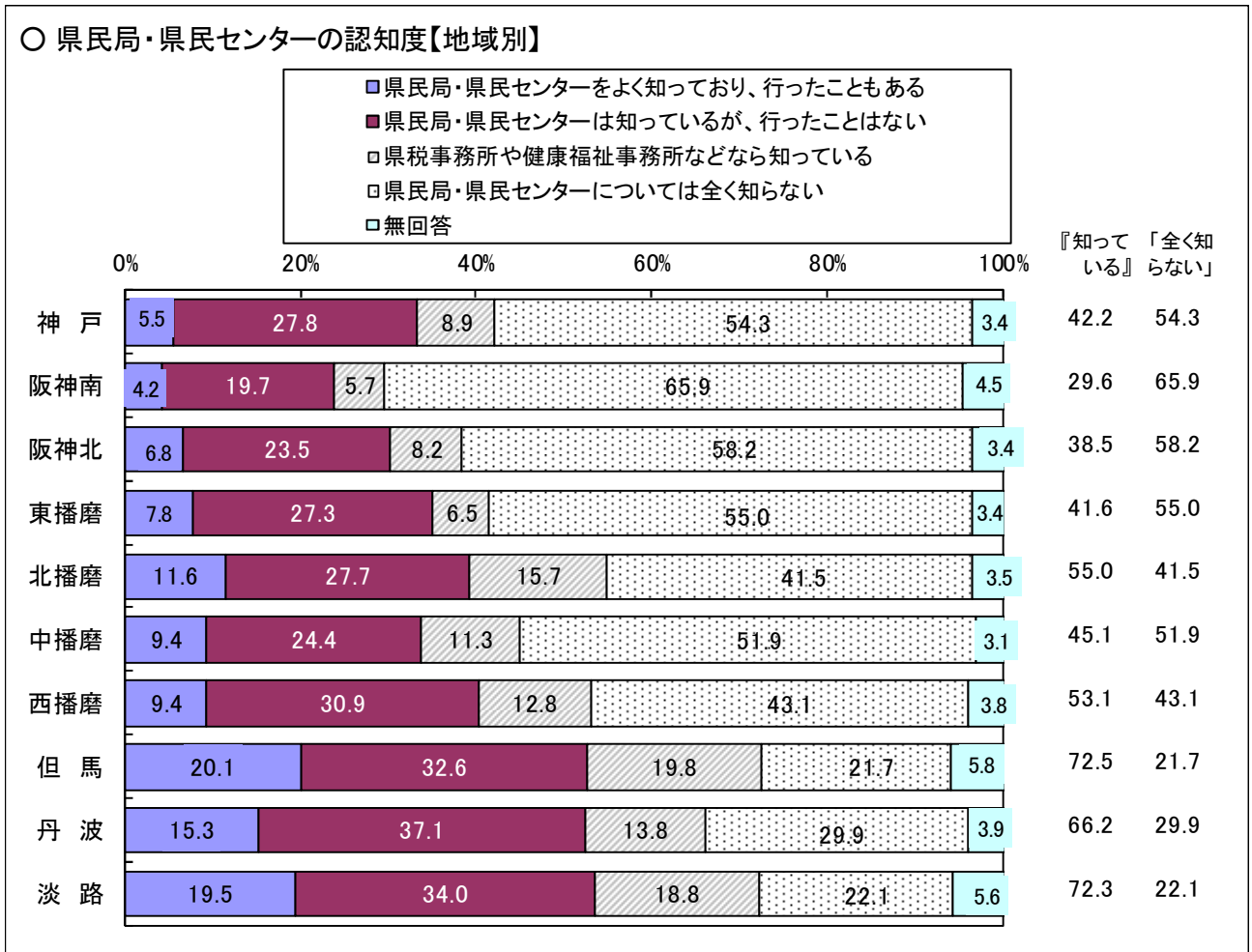
- 県民局・県民センターの認知度は、今年度は0.1ポイント減少した。





【地域別】

- 県民局・県民センターの認知度は、郡部が高く、都市部で低い傾向にある。

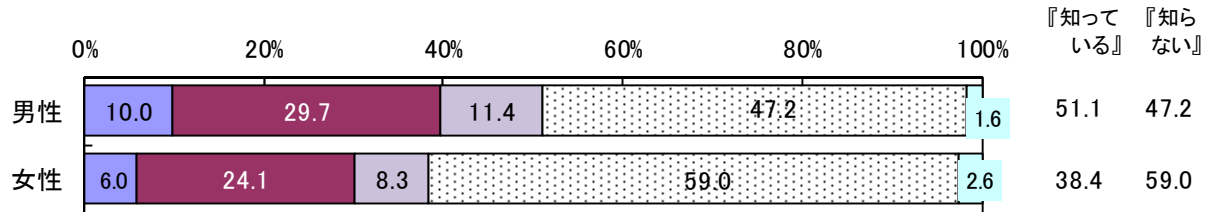


【性別、性・年代別】

男性の方が女性よりも認知度が高く、男女ともに80歳以上を除き、年齢が高くなるほど『知っている』が多くなる傾向にある。

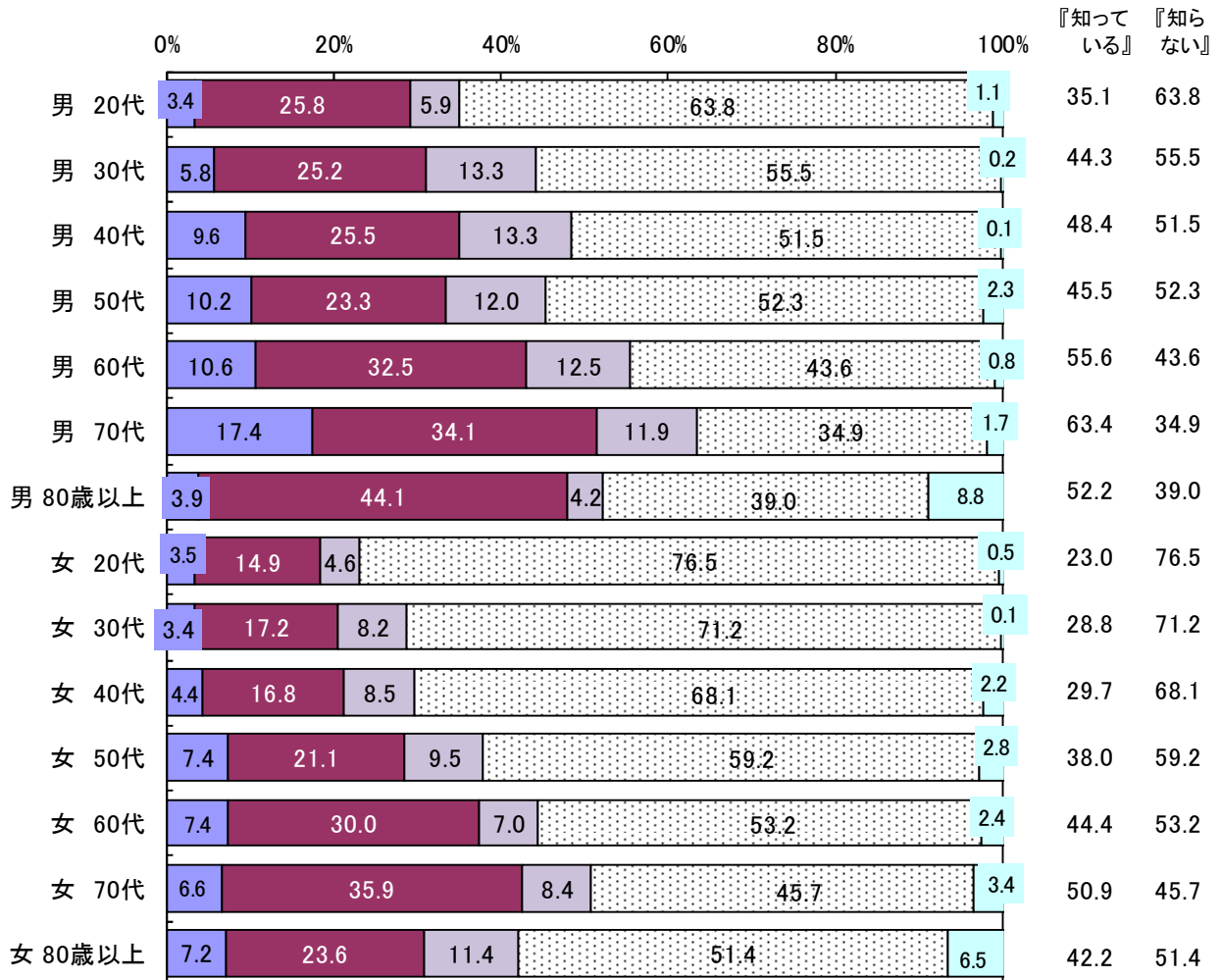
○ 県民局の認知度【性別】

- 県民局をよく知っており、行ったこともある
- 県民局は知っているが、行ったことはない
- 県税事務所や健康福祉事務所などなら知っている
- 県民局については全く知らない
- 無回答



○ 県民局の認知度【性・年代別】

- 県民局・県民センターをよく知っており、行ったこともある
- 県民局・県民センターは知っているが、行ったことはない
- 県税事務所や健康福祉事務所などなら知っている
- 県民局・県民センターについては全く知らない
- 無回答





# 県民の健康づくりと食育

## 平成27年度県民意識調査

兵庫県では、健康ひょうごの実現をめざし、「健康づくり推進プラン（H24～28）」及び「食育推進計画（第2次）（H24～28）」を策定し、健康づくりや食育の取組を進めています。

このプランや計画を見直すにあたり、生活習慣病予防や、歯及び口腔、こころ等についての健康づくり、また、心身の健康の増進につながる食育の意識等について、ご意見をお伺いし、さらなる健康ひょうごの実現に活用していきたいと考えています。

今回、多くの県民の皆さんの中から、あなたを回答者として選ばせていただきました。お忙しい中誠に恐縮ですが、下記によりご回答いただきますようお願いいたします。

※ 回答ご記入についてのお願い

- ご回答は、必ずあて名の方がご記入くださいますようお願いいたします。なお、調査票は、両面刷りになっておりますので、お開きいただき1から4ページまでの全てに回答をお願いします。
- ご記入いただいたアンケート用紙は、同封の返信用封筒に入れて、恐縮ですが、**9月17日（木）**までにご返送くださいますようお願いいたします。
- この調査は無記名でお願いしておりますので、個人的にご迷惑をおかけすることはありません。
- 調査結果は、来年2月をめどに、県ホームページなどで公表するとともに、県政の貴重な資料として活用させていただきます。
- ご不明な点がありましたら、下記にお問い合わせください。また、点字の調査票を用意いたしますので、必要な場合は下記までご連絡ください。

◆ 兵庫県企画県民部 広聴室広聴相談班 TEL 078 (362) 3021



平成27年8月  
兵庫県知事 井戸 敏三

**問1** あなたは、自分の健康を維持するために、特に何が大切だと思いますか。次の中からあてはまるものを2つまで選んで番号に○をつけてください。

- 1 栄養・食生活    2 運動・身体活動    3 休養・余暇・睡眠
- 4 歯と口の健康づくり    5 健康診断の受診

**問2** あなたは、自分の健康を維持するために、どのようなことに取り組んでいますか。それぞれの項目ごとに、あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

	している	ある程度している	あまりしていない	していない
--	------	----------	----------	-------

ア 栄養・食生活	1	2	3	4
イ 運動・身体活動	1	2	3	4
ウ 休養・余暇・睡眠	1	2	3	4
エ 歯と口の健康づくり	1	2	3	4
オ 健康診断の受診	1	2	3	4
カ 健康づくりの情報を集める	1	2	3	4

**問3** あなたの普段の食生活について、それぞれの項目ごとに、あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

	ほとんど毎日	週4～5回	週2～3回	週1回程度	ほとんどない
--	--------	-------	-------	-------	--------

ア 1日1回以上、家族や友人と楽しく食事する機会がある	1	2	3	4	5
イ 朝食を食べている	1	2	3	4	5
ウ 食料品の買い物や調理、後片付けをしている	1	2	3	4	5
エ 夕食で、そう菜や弁当などの調理済み食品を利用する	1	2	3	4	5

**問4** あなたは、飲食店やそう菜を販売するお店に望むことはありますか。次の中からあてはまるものを全て選んで番号に○をつけてください。

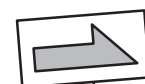
- メニューの栄養量（カロリーなど）の表記
- 量が選べる
- 野菜たっぷりメニューの充実
- 薄味メニューの充実
- 兵庫県産、国産食材の使用
- 持病（糖尿病やアレルギーなど）や体調に配慮（軟らかさ、刻み方など）したメニューの提供や対応
- 食や健康に関する情報の提供
- 店内終日禁煙の実施
- 衛生的な調理環境
- その他（ ）
- 特になし

**問5** あなたは、ウォーキングや健康体操、スポーツなどの運動（1回30分以上、週2回以上）を継続して行っていますか。次の中からあてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

- 1年以上、継続して運動している
- 継続して運動しているが、1年未満である
- ほとんど運動していない（週1回以下）
- まったく運動していない（できない）

**問6** あなたは、たばこを吸いますか。次の中からあてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

- 毎日吸っている
- ときどき吸う日がある
- 以前は吸っていたが、1か月以上吸っていない
- 吸わない



調査票を開いて **問7** へ



兵庫県マスコット はばタン

**問7** あなたは、この1か月間に、次のようなことがありましたか。それぞれの項目ごとに、あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

	よくある	ときどきある	あまりない	ほとんどない
--	------	--------	-------	--------

- |   |                    |   |   |   |   |
|---|--------------------|---|---|---|---|
| ア | 悩み、苦勞、ストレス、不満などがある | 1 | 2 | 3 | 4 |
| イ | 寝つきが悪い、熟睡できない      | 1 | 2 | 3 | 4 |

**問8** あなたは、悩み、苦勞、ストレス、不満などがあつたときに、誰に話したり、相談したりしますか。あてはまるものを全て選んで番号に○をつけてください。

- 1 家族
- 2 友人・知人
- 3 職場の上司・同僚
- 4 医師などの専門家
- 5 インターネット
- 6 相談したいが相談先がわからない、相手がない
- 7 その他の相談相手 ( )
- 8 相談しない

**問9** あなたは、歯の健康づくりのために実践していることはありますか。あてはまるものを全て選んで番号に○をつけてください。

- 1 食後に歯磨きをしている⇒ ( ) 回/日  
※1を選んだときは回数も記入してください
- 2 歯間ブラシ・デンタルフロスなどの歯間部清掃用器具を使用している
- 3 よく噛んで食べている
- 4 間食の時間を決めている
- 5 会話やお口の体操など口元をよく動かしている
- 6 その他 ( )

**問10** この1年間に歯科診療所に行きましたか。あてはまるものを全て選んで番号に○をつけてください。

- |                |           |
|----------------|-----------|
| 1 治療のため        | 2 定期健診のため |
| 3 歯石除去や歯面清掃のため | 4 行っていない  |

**問11** あなたは、かかりつけ医と、かかりつけ歯科医を決めていますか。それぞれの項目ごとに、あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

	決めている	必要だと思 うが決めて いない	必要だと思わ ないので決め ていない
--	-------	-----------------------	--------------------------

- |   |          |   |   |   |
|---|----------|---|---|---|
| ア | かかりつけ医   | 1 | 2 | 3 |
| イ | かかりつけ歯科医 | 1 | 2 | 3 |

**問12** あなたは、おおむね1年ごと（※印は2年ごと）に健康診断やがん検診を受けていますか。受けた項目を全て選んで番号に○をつけてください。なお、健康診断や人間ドックの項目としてがん検診を受診した場合も、該当する検診項目全てに○をつけてください。

- |               |           |
|---------------|-----------|
| 1 健康診断・特定健診   | 2 人間ドック   |
| 3 歯科健診        | 4 胃がん検診   |
| 5 肺がん検診（胸部X線） | 6 大腸がん検診  |
| 7 乳がん検診※      | 8 子宮がん検診※ |

**問13** あなたは、次の言葉やその意味を知っていますか。それぞれの項目ごとに、あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

	言葉も意味も知っている	言葉は知っているが、意味は知らない	言葉も意味も知らない
--	-------------	-------------------	------------

- |   |                |   |   |   |
|---|----------------|---|---|---|
| ア | 健康寿命           | 1 | 2 | 3 |
| イ | 食育             | 1 | 2 | 3 |
| ウ | メンタルヘルス        | 1 | 2 | 3 |
| エ | 8020運動         | 1 | 2 | 3 |
| オ | メタボリックシンドローム   | 1 | 2 | 3 |
| カ | ロコモティブシンドローム   | 1 | 2 | 3 |
| キ | COPD（慢性閉塞性肺疾患） | 1 | 2 | 3 |

**問14** あなたは、次のどのような食育活動に関心がありますか。次の中からあてはまるものを全て選んで番号に○をつけてください。

- 1 子どもに適切な食事や食習慣を伝える
- 2 病気の予防や改善などの健康づくり
- 3 郷土料理や食文化を伝える
- 4 農林漁業などに関する体験
- 5 食品廃棄や食品リサイクルに関する活動
- 6 備蓄食品の啓発や災害時の炊き出しなどの活動
- 7 食文化の発信など、食育に関する国際交流
- 8 その他 ( )
- 9 関心がない

**問15** あなたは、次のどのような食育活動を実践していますか。次の中からあてはまるものを全て選んで番号に○をつけてください。

- 1 子どもに適切な食事や食習慣を伝える
- 2 病気の予防や改善などの健康づくり
- 3 郷土料理や食文化を伝える
- 4 農林漁業などに関する体験
- 5 食品廃棄や食品リサイクルに関する活動
- 6 備蓄食品の啓発や災害時の炊き出しなどの活動
- 7 食文化の発信など、食育に関する国際交流
- 8 その他 ( )
- 9 実践していない



**問26** あなたは県政に関心がありますか。次の中から、あなたのお考えに近いものを1つ選んで番号に○をつけてください。

- 1 大変関心がある                      2 多少関心がある  
3 ほとんど関心がない                4 全く関心がない

**問27** 県の行っている仕事をあげています。次のア～ツについて、あなたのお考えに近いものをそれぞれの項目ごとに1つ選んで番号に○をつけてください。

よくやっている	まあまあやっている	どちらともいえない	もう少し努力が必要	もっと努力が必要
---------	-----------	-----------	-----------	----------

ア 国際的な交流や協力	1	2	3	4	5
イ 県政の広報・広聴活動	1	2	3	4	5
ウ 県政の合理的運営（行政改革）への努力	1	2	3	4	5
エ 防災対策の充実	1	2	3	4	5
オ 生涯学習活動への支援	1	2	3	4	5
カ 芸術文化の振興	1	2	3	4	5
キ 環境の保全と創造	1	2	3	4	5
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	1	2	3	4	5
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	1	2	3	4	5
コ 県内中小企業の育成	1	2	3	4	5
サ 雇用の安定と職業能力の開発	1	2	3	4	5
シ 観光の振興	1	2	3	4	5
ス 農林水産業の活性化対策	1	2	3	4	5
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	1	2	3	4	5
ソ 良質な住宅の供給	1	2	3	4	5
タ 学校教育の充実	1	2	3	4	5
チ 交通安全・防犯対策	1	2	3	4	5
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	1	2	3	4	5

**問28** あなたがお住まいの地域の県民局・県民センターについて、あてはまるものを次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

- 1 県民局・県民センターをよく知っており、行ったこともある  
2 県民局・県民センターは知っているが、行ったことはない  
3 事務所（県税・健康福祉・農林水産振興・土木等）なら知っている  
4 県民局・県民センターについては全く知らない

★最後に、お答えいただいた回答を統計的に分析するため、あなたご自身や家族構成等についてお聞かせください。下記のことについて、あてはまるものに○をつけてください。

F 1 あなたの性別は

- 1 男性                                      2 女性

F 2 あなたの年代は

- 1 20代                      2 30代                      3 40代                      4 50代  
5 60代                      6 70代                      7 80歳以上

F 3 あなたの職業は

- 1 自営業（農林漁業、商工サービス業、自由業などを含む）  
2 会社・団体などの正規社員（職員）  
3 会社・団体などの役員  
4 契約社員や派遣社員など  
5 短時間勤務のパートタイマーやアルバイト  
6 専業主婦（主夫）  
7 学生  
8 無職（専業主婦（主夫）・学生を除く）

F 4 あなたが現在お住まいのところの郵便番号は

（ご不明の場合、当調査票をお届けした封筒に記載の郵便番号をご覧ください）

-

F 5 あなたの同居のご家族の構成は

- 1 1人世帯  
2 夫婦だけ（1世代）  
3 自分（たち）と子ども、または親と自分（たち）（2世代）  
4 親と子と孫（3世代）  
5 その他（                                      ）

F 6 あなたは現在、お住まいのところに通算、何年お住まいですか。

- 1 1年未満                                      2 1～3年未満  
3 3～5年未満                                4 5～10年未満  
5 10～15年未満                              6 15～20年未満  
7 20年以上

ご協力ありがとうございました。  
同封の返信用封筒でご返送ください。



兵庫県マスコット はばタン